THE COCKPIT:5

LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

Photography copyright ©1990 Philip Makanna/Orion Press

[ザ・コクピット]松本零士

THE COCKPIT:5

LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

[Was he given birth at a wrong age? Or did the war change his fate?! Living in the period of "WAR", this great genius rarely seen these days, left this world unknown……. His ability and invention buried under the earth…….]

THE COCKPIT

「ザ・コクピット」松本零士 5

小学館

「ザ・コクピット」松本零士

5

小学館

9784091972354
1910379012001
ISBN4-09-197235-7
C0379 P1200E

定価1,200円
(本体1,165円)

[ザ・コクピット]松本零士

THE COCKPIT:5

LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

[Was he given birth at a wrong age? Or did the war change his fate?! Living in the period of "WAR", this great genius rarely seen these days, left this world unknown……. His ability and invention buried under the earth…….]

THE COCKPIT 5

LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

[Was he given birth at a wrong age? Or did the war change his fate?! Living in the period of "WAR", this great genius rarely seen these days, left this world unknown……. His ability and invention buried under the earth…….]

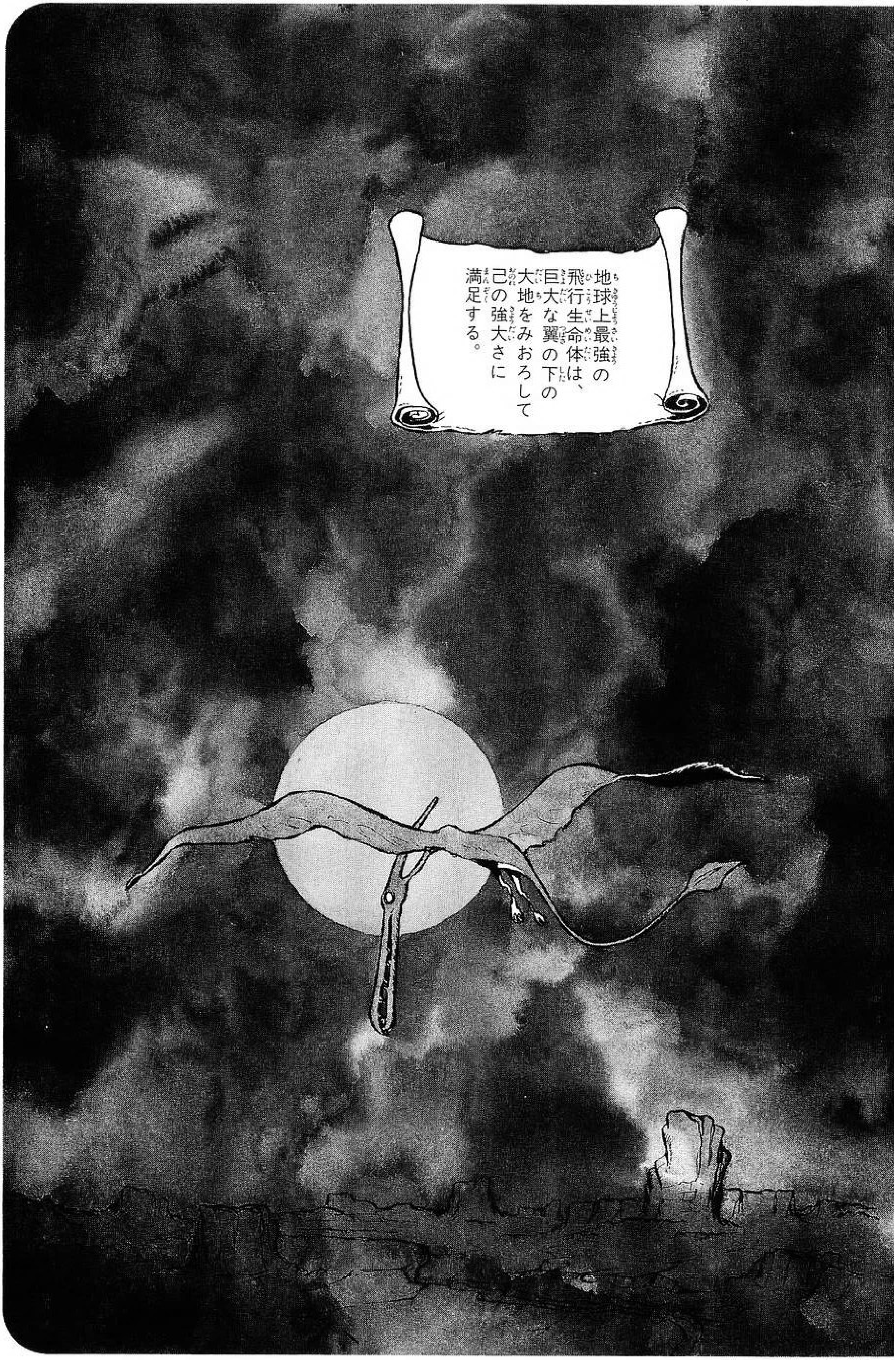
［ザ・コクピット］松本零士

THE COCKPIT

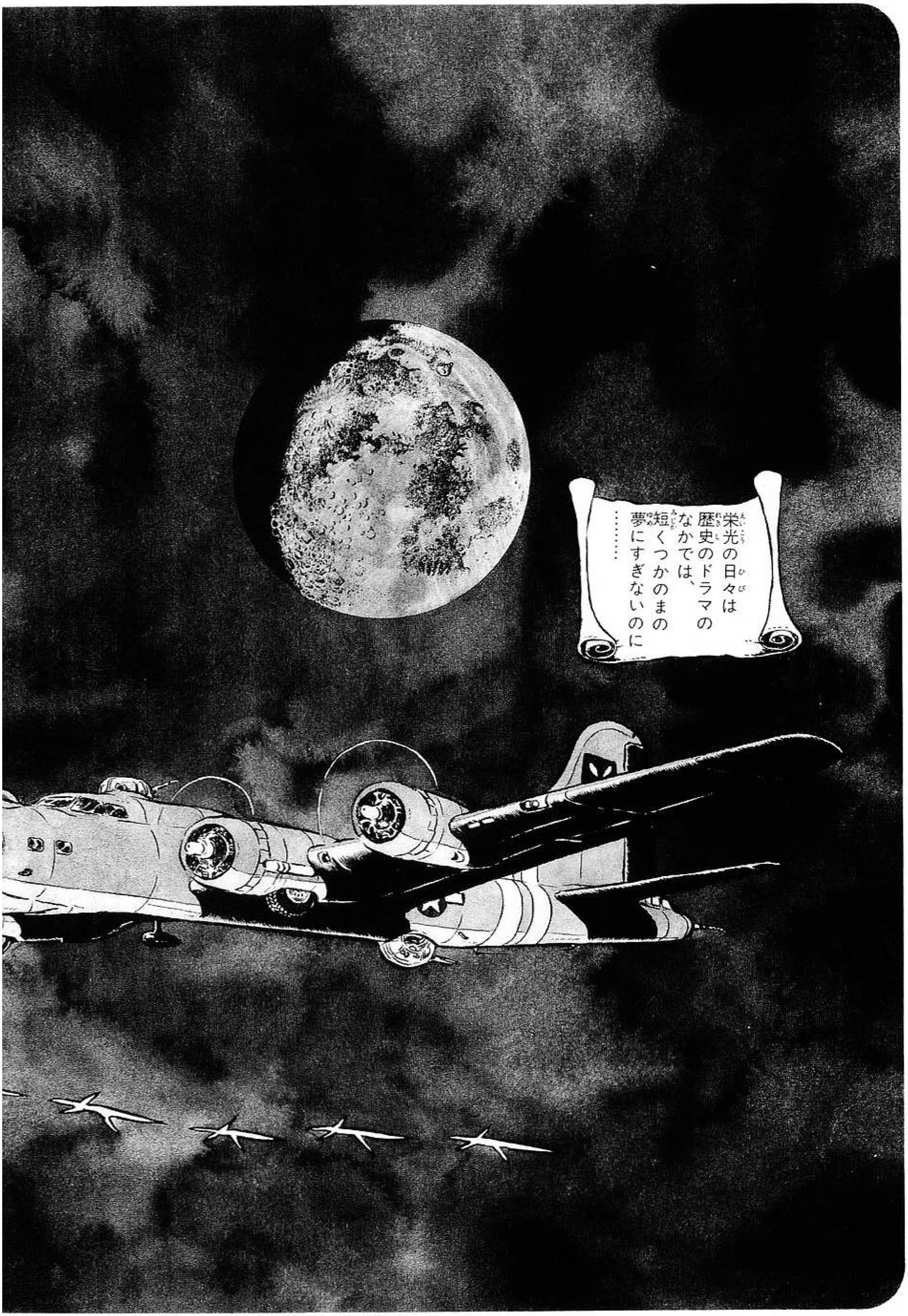
LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

CONTENTS

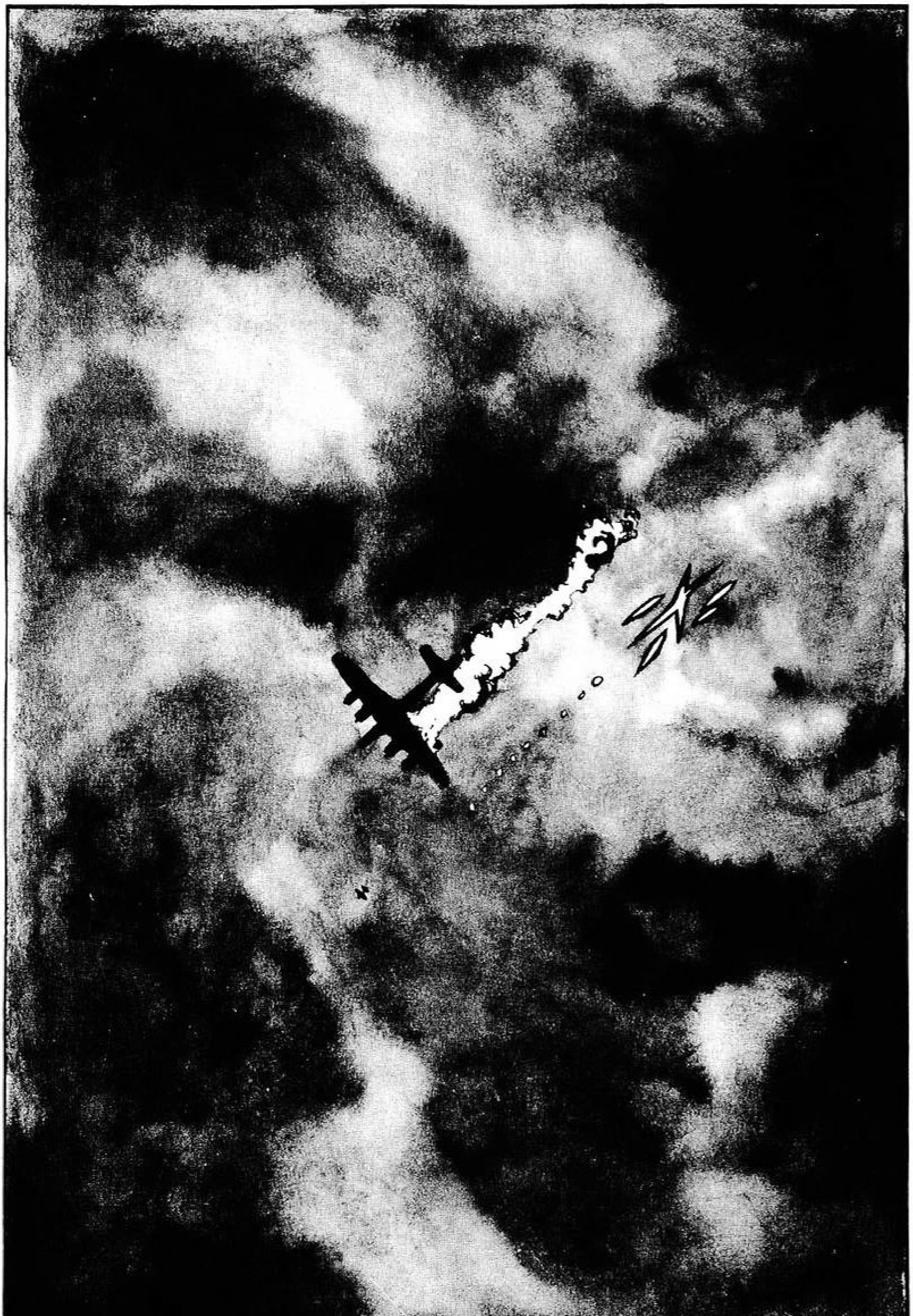
翼手龍の時代
3
空白圏飛行
31
悪魔伝の七騎士
57
曳光弾回廊
83
レッドスカル
109
低伸弾道12.7
137
吸血鬼の花束
157
断層回路
183
サンタクルーズの橋
209
妖精氷河帯
233
サンタイザベラの首飾り
257
迷路地図
287
富嶽のいたところ
313
冬の蜻蛉
341
赤い螢
365
天使の徹甲弾
389


地球上最強の
飛行生命体は、
巨大な翼の下の
大地をみおろして
己の強大さに
満足する。

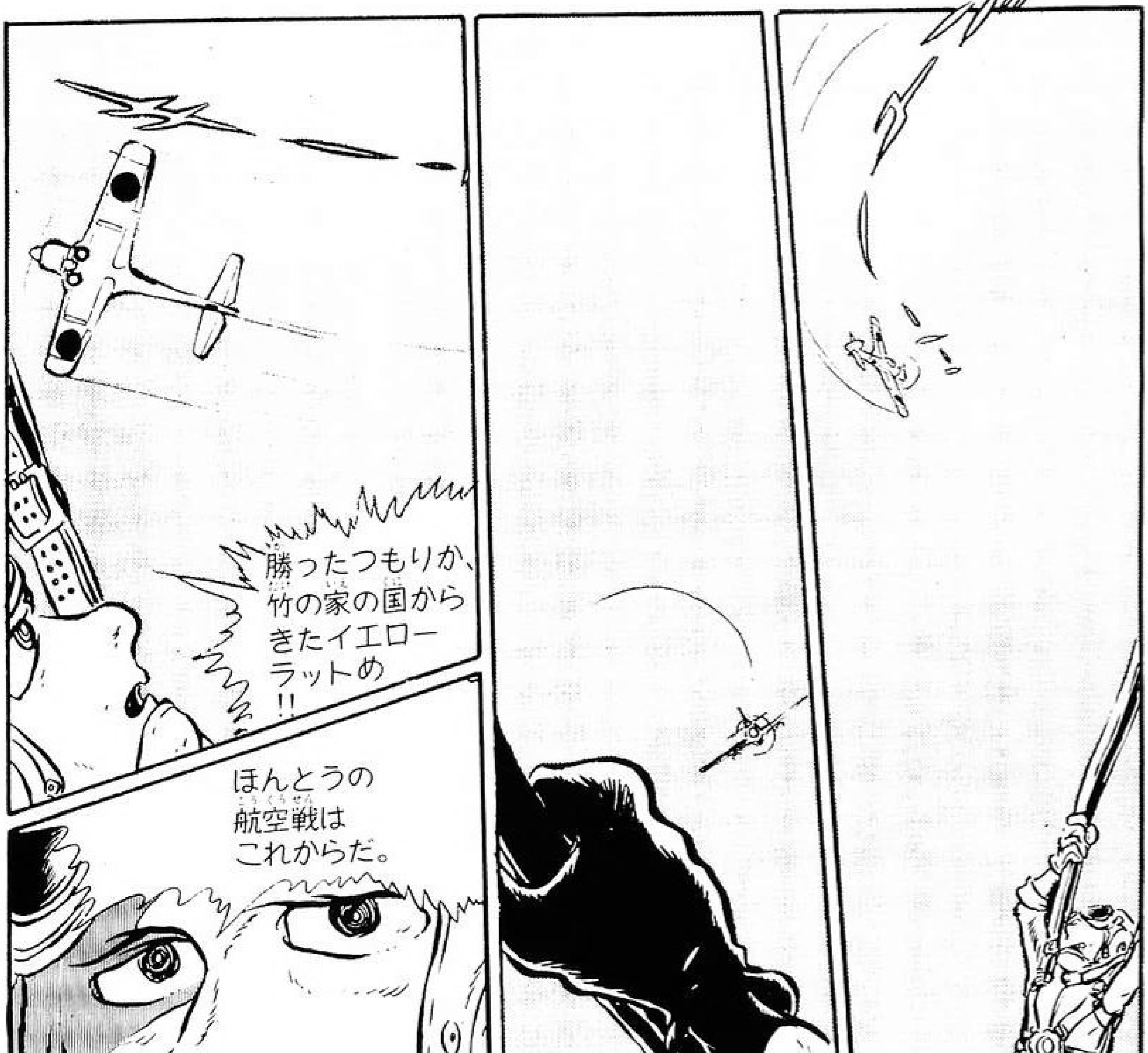
プテラノドン　じだい
翼手龍の時代


栄光の日々は歴史のドラマのなかでは、短くつかのまの夢にすぎないのに……

つかのまの夢に
酔いしれて、
その後に残すものは
ものいわぬ化石だけ
だ……………

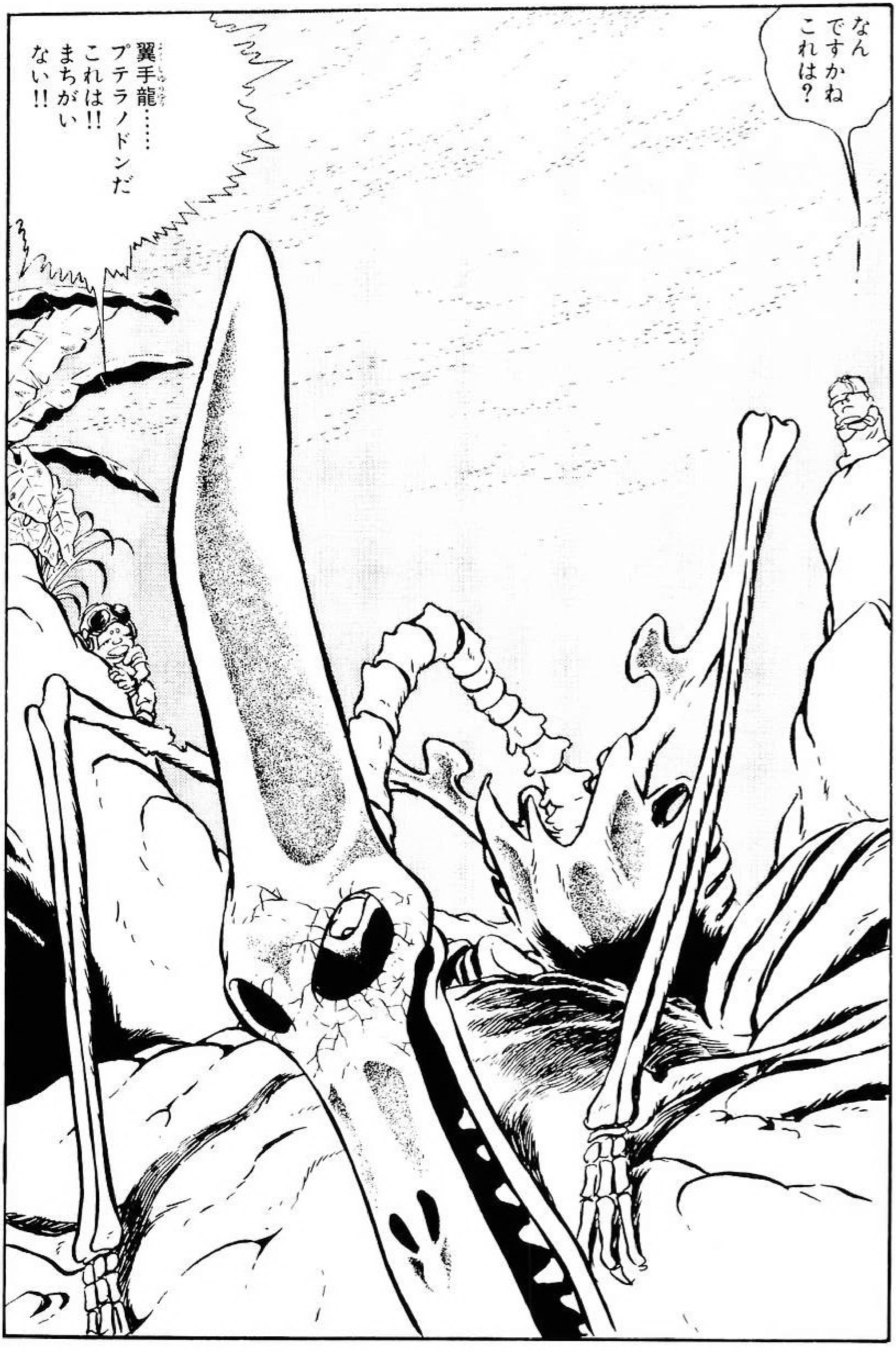


ズドドドド

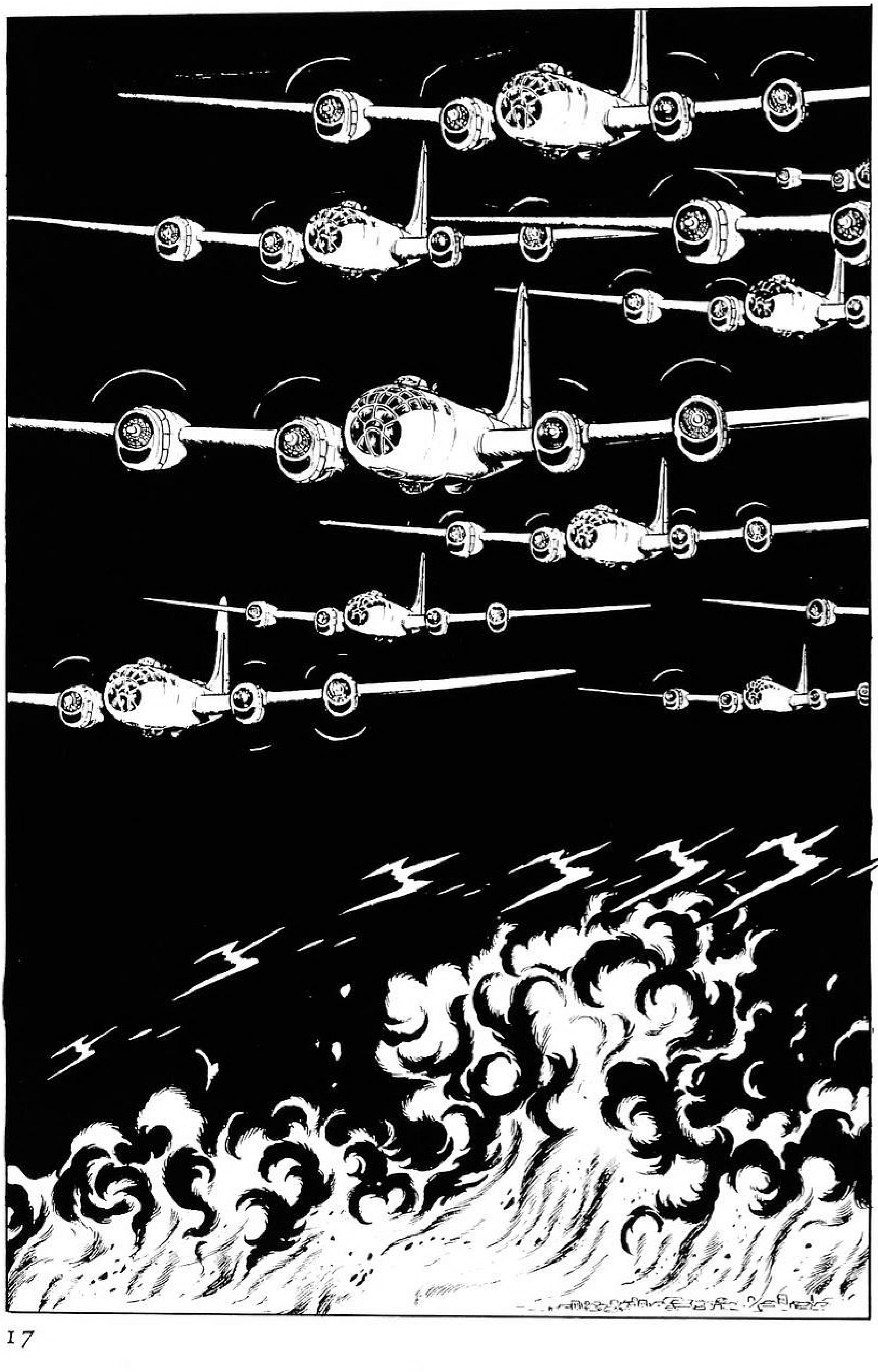

勝ったつもりか、竹の家の国からきたイエローラットめ!!
ほんとうの航空戦はこれからだ。
俺は……おまえの、その戦闘機をつくった工場も町も、おまえの竹と紙の家も、かならず焼き払ってやる。

俺が……この俺が、この俺の手でかならずやってやる。
ふっふっふふふ………みてろいまにみてろ。
ひーっひっひっひひひひ………
ドン・ベンジャミン・フラングラー大尉……シカゴの大富豪のひとり息子……この男がニューギニアで撃墜されたのは一九四三年、昭和十八年のことである。

やったらしいですな黒木さん。
やった、やった!! B―17だった。おー赤飯かありがたい。
大型機ははじめてですかな?
うん、四発機ははじめてだよ。
まるで巨大な翼手龍のようにみえたよ。
翼手龍といえば……アレはどうしたろうか?
おおむねほりだしましたよ、みるかね。
俺は戦争よりアレのほうに興味がある男だ。
すごいな!!
これは完全だ!!


なんですかね　これは？
翼手龍……プテラノドンだ　これは!!　まちがいない!!

ジュラ紀や白亜紀に全盛を誇った空飛ぶ爬虫類さ。
こいつはまるできょう撃ちおとしたB—17の骨みたいにみえる。
頭蓋骨にヒビがはいったのはおしいが、敵の爆弾が地面に穴をあけてくれたおかげでみつかったんだ。文句はいえないなあ。
まったく。
どうしますかこの骨?
なんとかして家へもってかえってかざる。
家……ちゅうと東京の?
東京のどまんなかさ。



日本軍の高射砲は例外的なものをのぞいて、弾着がはるか下方です。
D.B.FRANGELAR
工業地帯と軍事基地上空は射程の長い対空砲が多くて危険ですが、市街地の上空は問題ありません。射程8000メートル以下の旧式砲ばかりのようです。
よろしい!!
わが編隊は市街地の絨毯爆撃が任務だ。
安心してやろう諸君

私設古代博物館
？
大きな声はだせないが骨は大丈夫だったのか、あの骨は？
あなたがださなくても私がだします。
まわりをみてモノをいってるのですか、まわりを!!
まあまあまあ。

無事じゃよ。
ンドノラテプ
それじゃね、いつかえれるかわからんよ。
考古学博士になるのがあの子の夢じゃった……

この骨が、翼手龍の骨が燃えてなくなるとき……あの子も死んでしまう……そんな気がわしにはするよ。
この骨は私が守ります。けっして燃やしたりはしません!!
がんばっとくれ。わしゃ寝るよ。ゆうべの騒ぎでちっとも寝れなんだ。
もう一枚やいてくれ。
フラングラー大尉、東京爆撃をはじめてから、油ぎってきたなあ。
うん、目つきも血ばしってきたぜ。体重もふえたみたいだ。よく食べるよ。

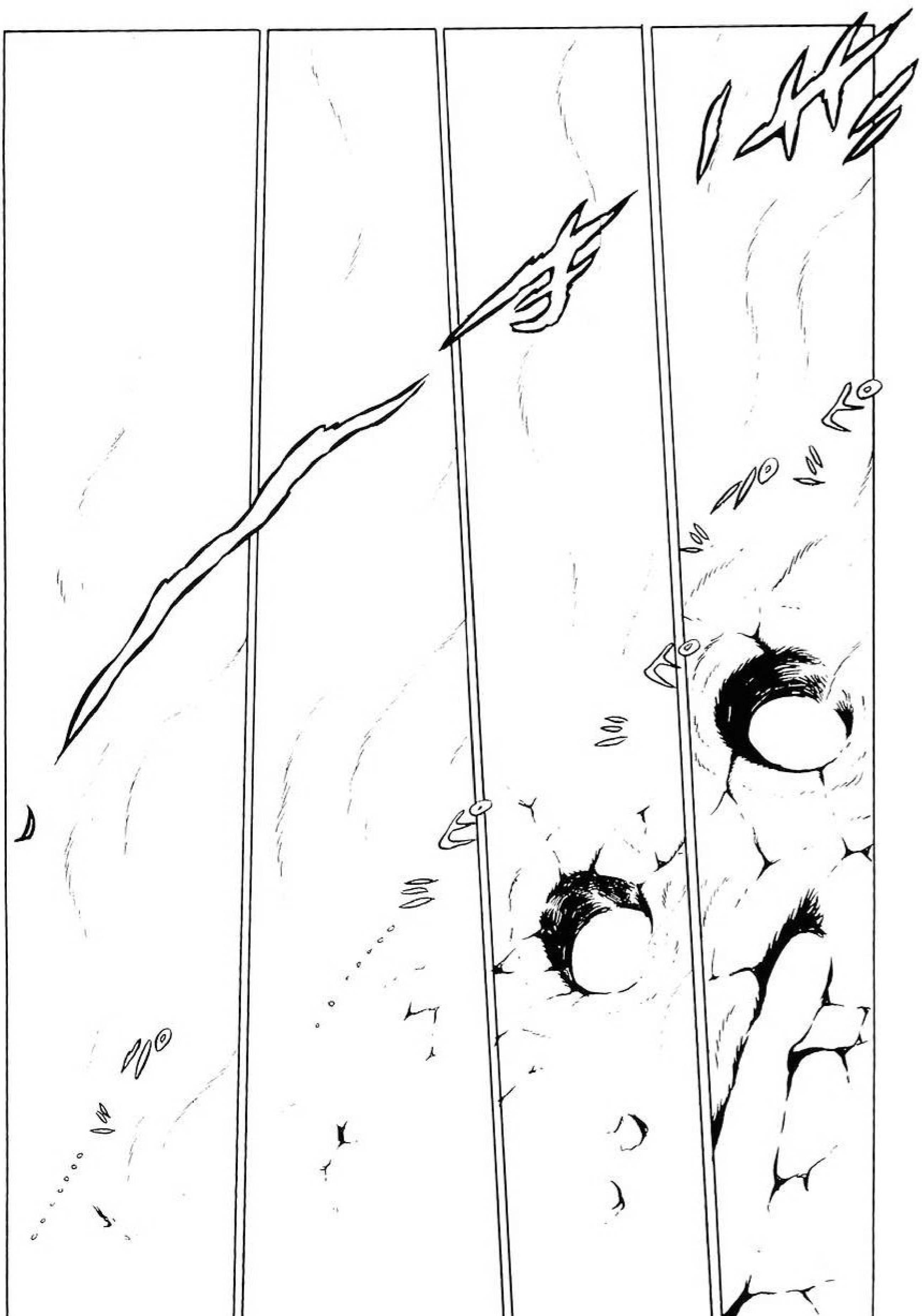
ほんとうの爆撃機のり
なんだろうなあ。
ニューギニアで撃墜された
仇をうってるんだろう。
ほんとうの爆撃機のりは
市街の絨毯爆撃は
好きじゃないよ。
ドイツ軍のロンドン爆撃や
日本軍の重慶爆撃を
人類史上空前の残虐行為だと
いって非難してたものな
わが国は………
東京爆撃がそのなかでは
一番大規模だ!!
光栄ある虐殺者か。
パール・ハーバーが先だ!!
灰と石ころだけになるまで
俺はやる!!

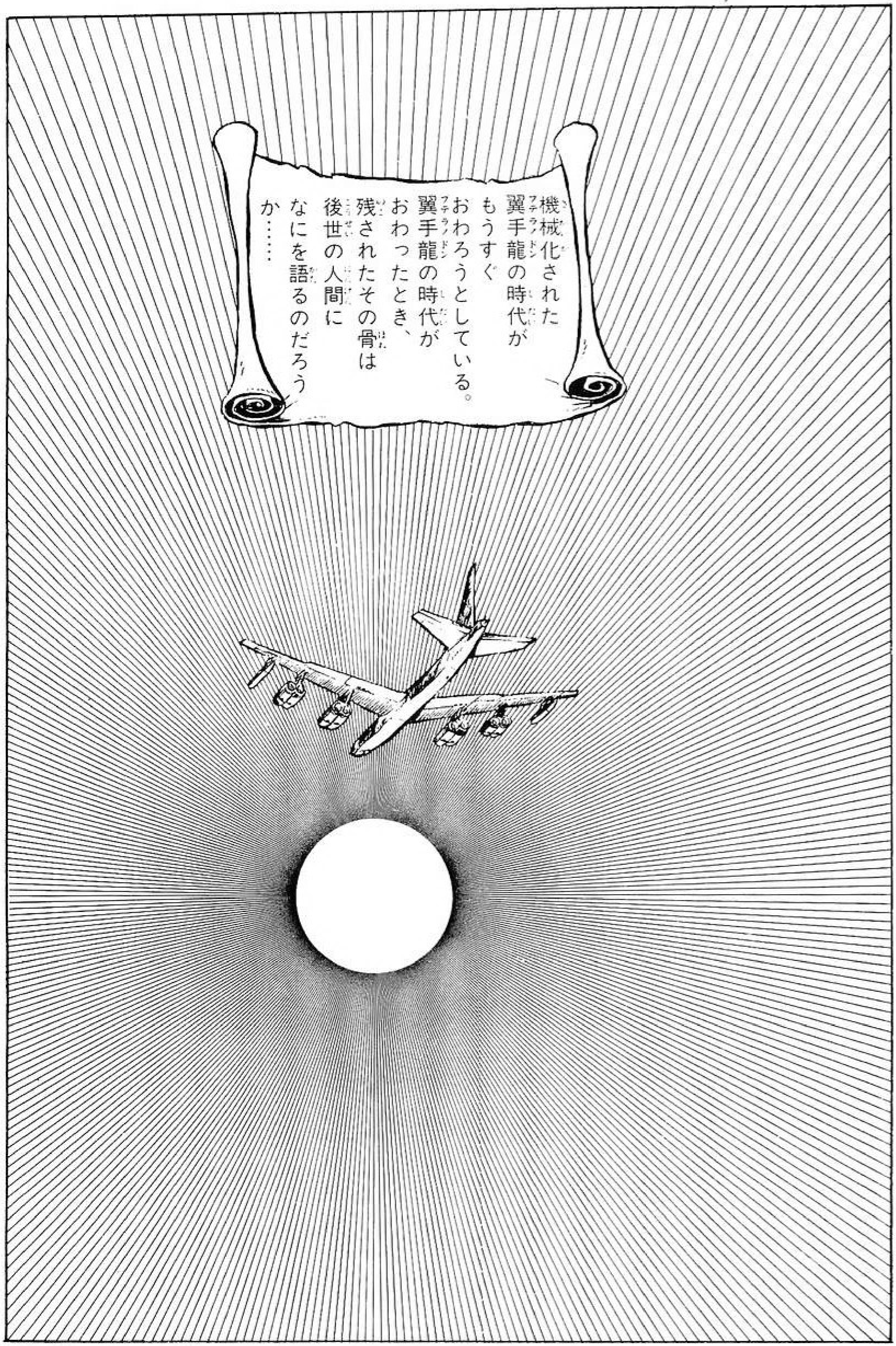
もうダメだよ。はやく避難しなさい。火がじきここへ移る。
私は翼手龍を守ります。
あの人の命を!!
よーし、風下から先に焼き払え、囲むのだ。囲んでひとり残らず焼き殺せ!!
D.B.FRANGELAR

おえーっ、おえーっ。
人の焼けるにおいはたまらん。
いいにおいだ。とくに敵の焼けるにおいはな。
満足だ!!
親の翼手龍が、とりもどしにきてるみたい……
俺の家が……翼手龍の骨が……!!
畜生!!

くたばれ!!
くそ!!

なんだこれは？
骨はかえさない……この骨はあの人のもの。
あの人の……



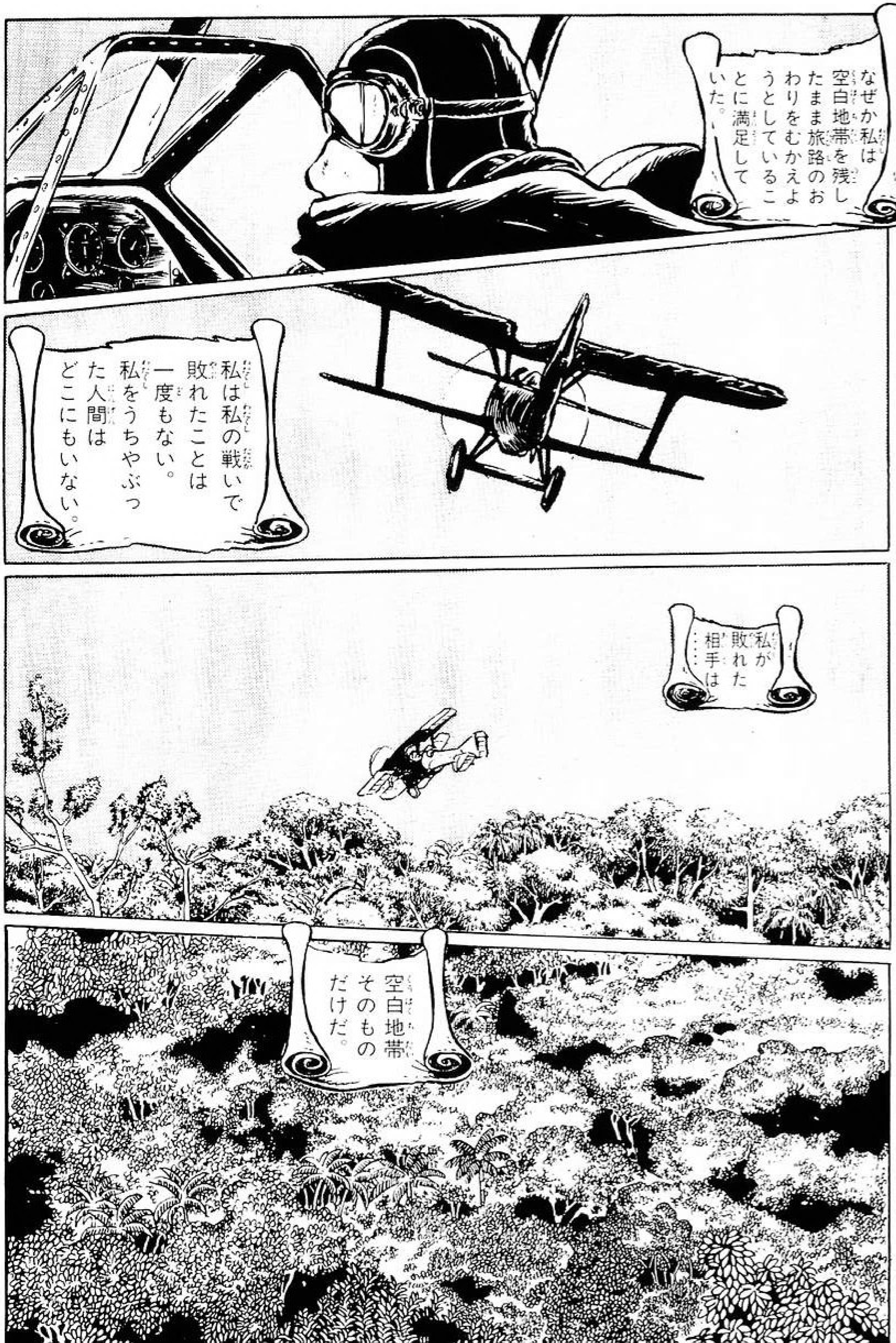


「翼手龍の時代」掲載・ビッグコミックオリジナル昭和53年２月20日号

かつて地図の上には
無数の空白地帯があった。
その空白地帯を
埋めるのが私の生きがいだった。
いま私は私の旅路のおわりにきている。
私が埋めていった空白地帯が
どんなところだったか
すべてを憶えてはいない。
……ただそこは私の青春を捧げた
後悔の残らない場所だった。
だが、私の人生に残された時間に
ついにアマゾンの
すべての空白地帯を埋めるには
いたらなかった。
航空探険家 G・F・ゴンドワナ

くうはくけん
空白圏

飛行（ひこう）
GFG

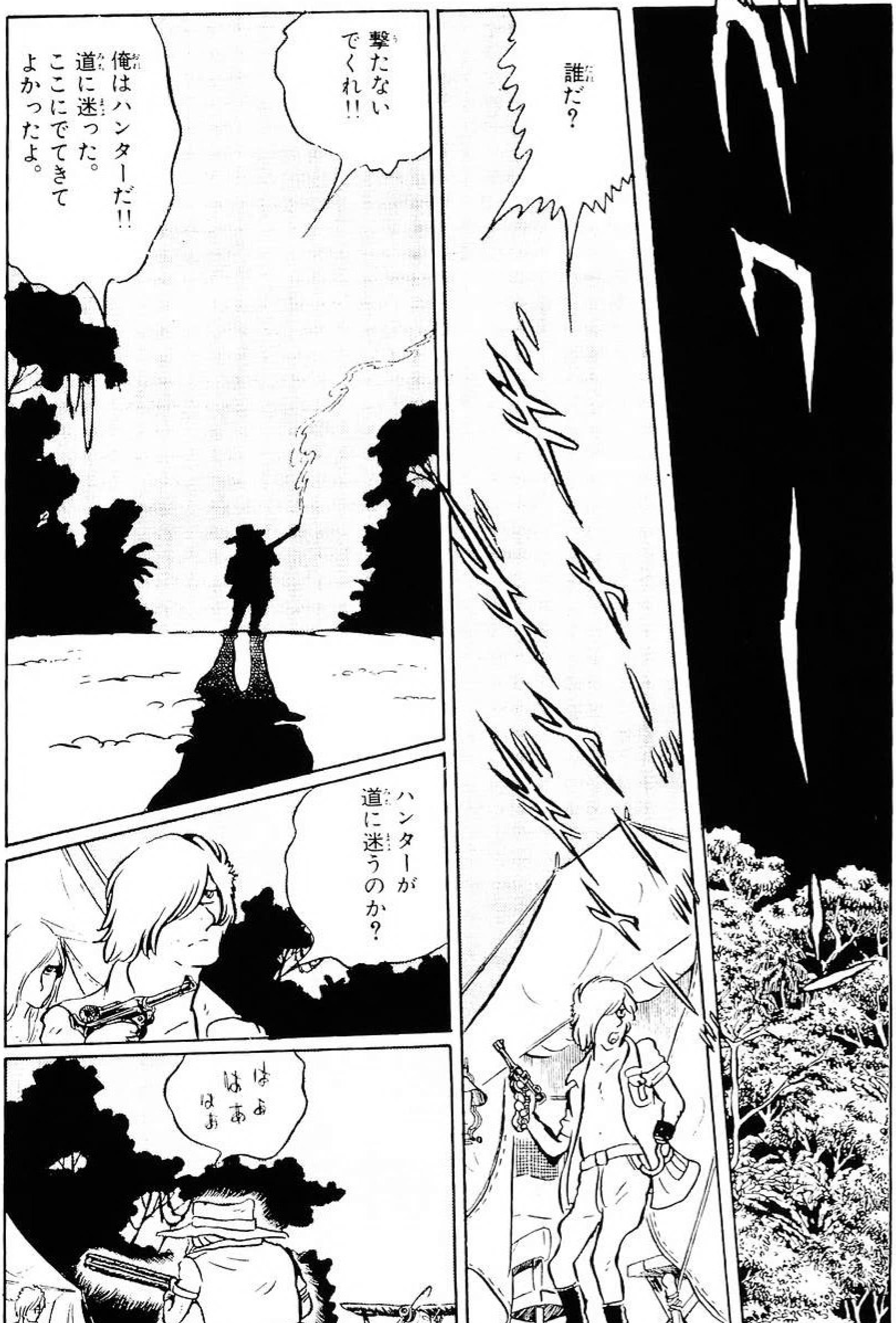

なぜか私は空白地帯を残したまま旅路のおわりをむかえようとしていることに満足していた。
私は私の戦いで敗れたことは一度もない。私をうちやぶった人間はどこにもいない。
私が敗れた相手は……
空白地帯そのものだけだ。

1923年、アマゾンの支流サバンテ
これでビーフシチューでもあればヨーロッパの別荘地なみだが……
ジャガーのシチューはうまいといえばうまい。うまくないといえばうまくない。

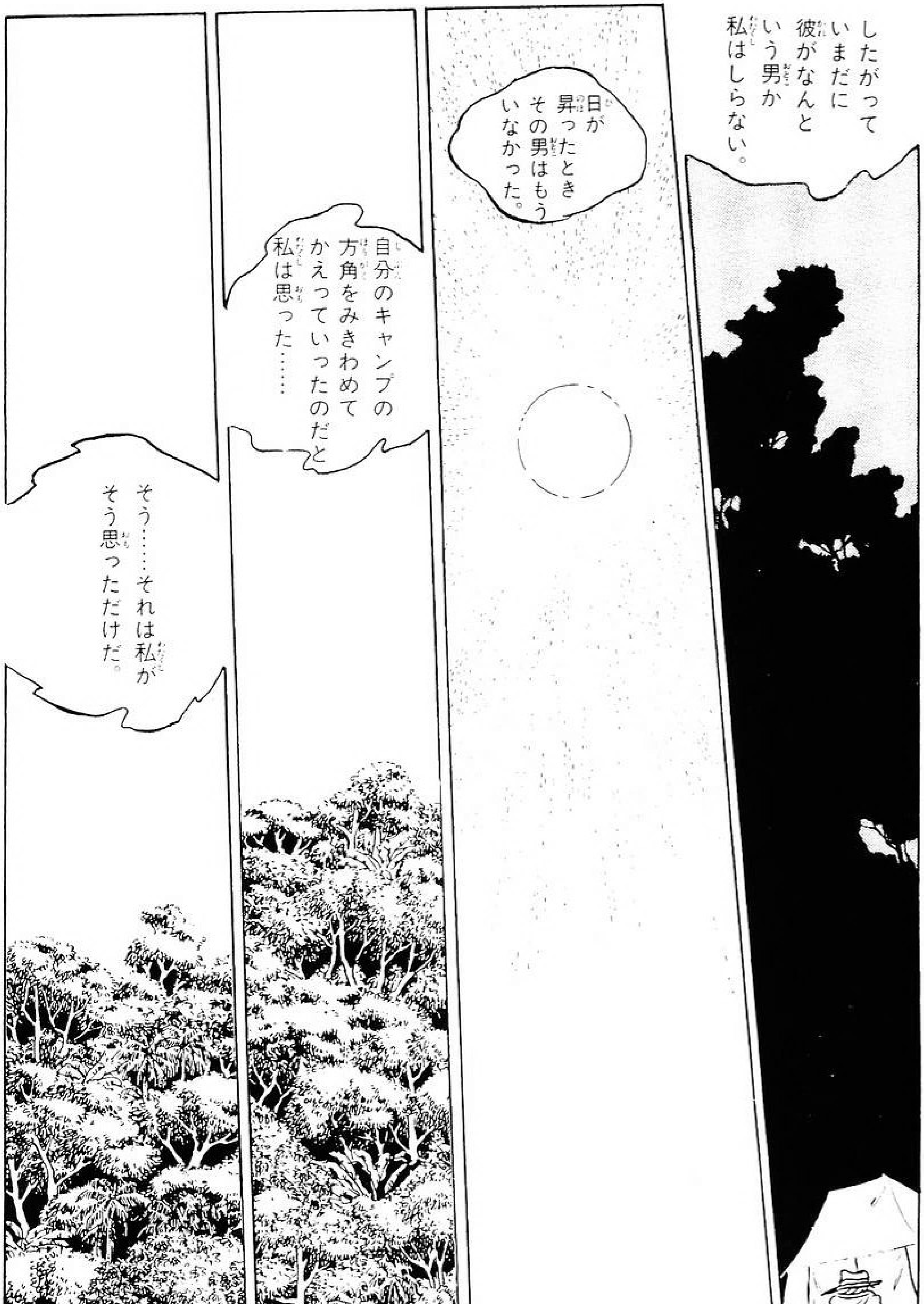
血と野獣のにおいよ。
あなたの体からも同じにおいがするわ、ゴンドワナ。
きみにもうつってきたようだな、イレーネ。
似たもの同士ね。
エンジンの調子はいいの?
ここは熱帯だからね!! 俺の飛行機は暑いところではきげんがいい。
アラスカから北極へむかったときは散々だったなあ。
エンジンもふるえあがったし俺もふるえあがった。
俺が埋めた空白地帯は四十八か所。

三十二番目の
空白地帯は
俺の左手を
くいやがった。
どうして
あなたは
自分の名前を、
たしかめた空白
地帯に一か所も
つけなかったの？
だまって
地図会社に
教えてしま
うなんて……
俺は空白地帯を
埋めるのが
生きがいで、
名前を残す
ことじゃない。
途中、
きみという
生涯の伴侶を
みつけたしね。
そうだ…この女
イレーネは
私の空白地帯の
ひとつを満たして
くれた。
金持の血の
ような
ワインを飲み
……
私にとって
石コロにしか
すぎない
宝石を愛する女
イレーネ。

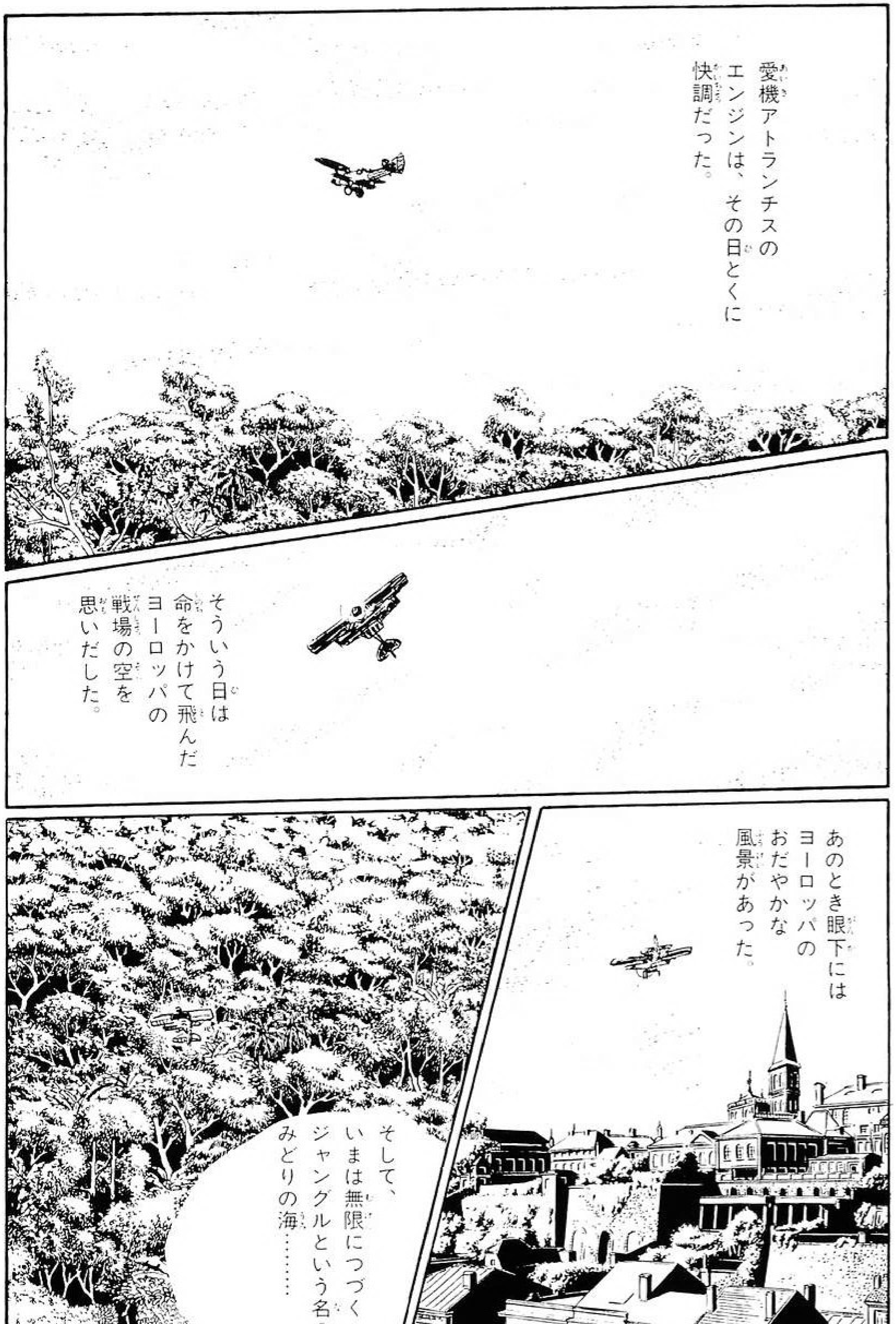
アフリカの植民地で生まれ、砂とジャングルと害虫と貧しさにつつまれて育った私とは正反対の女だ。
雑音にしかすぎない音楽に涙を流し……
迷惑な話だが月夜のヤブ蚊の飛びかうなかで愛を語るのが好きな女……
そしてなによりも誰よりも私を愛してくれた女…イレーネ。
その俗っぽい名前も私の空白を満たしてくれた……

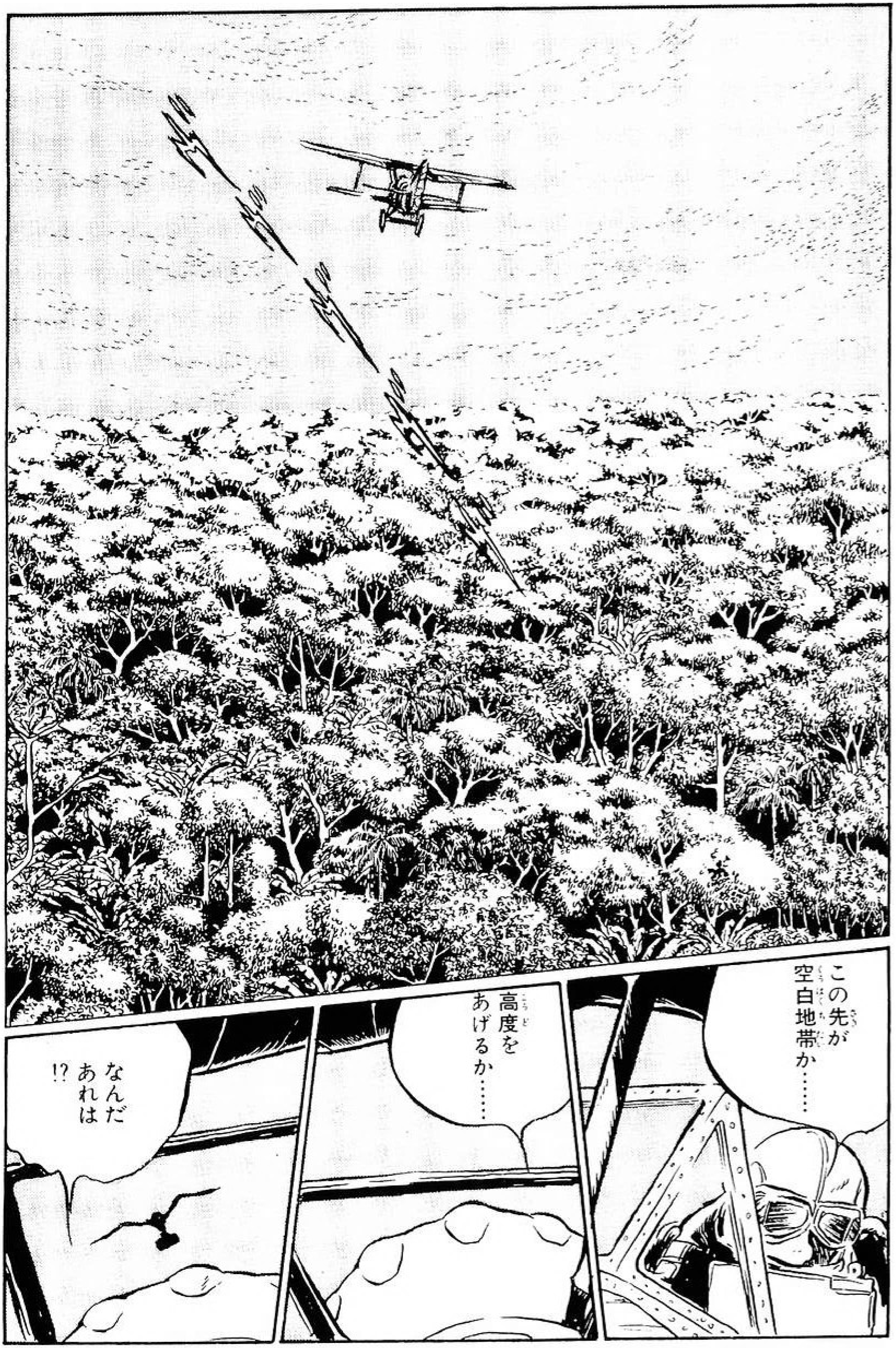

誰だ？
撃たないでくれ!!
俺はハンターだ!! 道に迷った。ここにでてきてよかったよ。
ハンターが道に迷うのか？
はぁ はぁ はぁ

ジャガーのシチューだ食うか?
好き。
まずいか?
い、いや少しハラぐあいが悪くてね。
残してもいいぞ、それしかないんだ。
ダブルライフルか、でかいな。ここには象はいないぞ。
なれてるんでね。
あっちのテントを貸そう。
すまん、日が昇れば自分のテントへもどるよ。
わざとか意識してか、その男は名前をなのらなかった。


したがって
いまだに
彼がなんと
いう男か
私はしらない。
日が
昇ったとき
その男はもう
いなかった。
自分のキャンプの
方角をみきわめて
かえっていったのだと
私は思った……
そう……それは私が
そう思っただけだ。

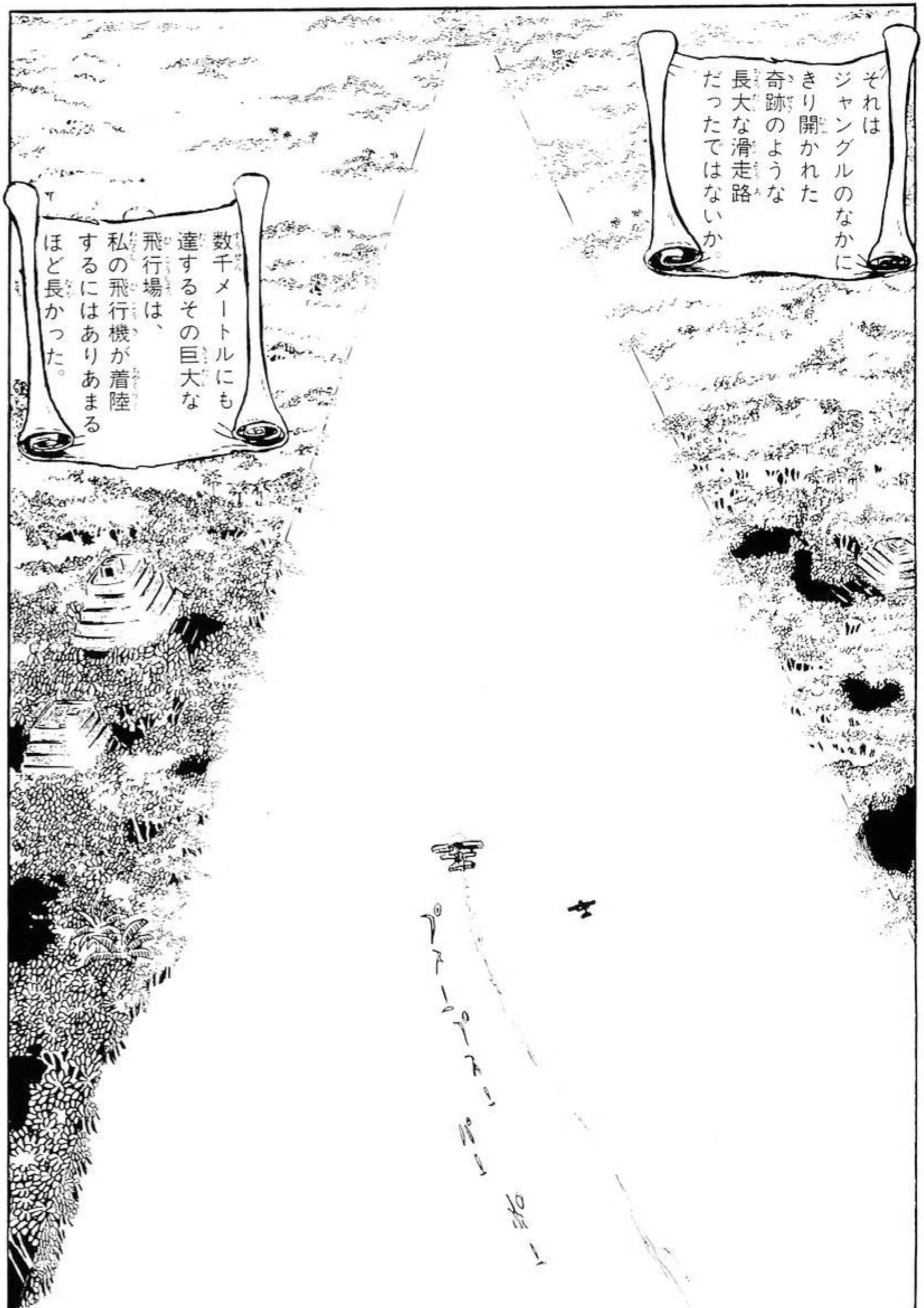
きょうは風もおだやかだ。サバンテ上流の空白地帯をみきわめられるだろう。
まってるわ、気をつけてね。
ジャガーをよく煮こんでおいてくれ。まだかたい。
わかったわゴンドワナ!!


愛機アトランチスのエンジンは、その日とくに快調だった。
そういう日は命をかけて飛んだヨーロッパの戦場の空を思いだした。
あのとき眼下にはヨーロッパのおだやかな風景があった。
そして、いまは無限につづくジャングルという名のみどりの海………


この先が空白地帯か……
高度をあげるか……
なんだあれは!?

わ!!
くそっ!
鳥をまきこんだにしてはショックがひどいな。
俺もここでおしまいか……

私はなんども
観念したことが
あるが、
そのときは
ほんとうに
すべてはおわったと
思った。
この人跡未踏の
大ジャングルで
飛行機のおりられ
そうな場所は
どこにも
ないからだ。
サバンテの上流の
河幅は
河と呼ぶには
あまりにも細く、
からみつくツタや
草木の下にときどき
キラリと輝く水面を
みせているに
すぎないのだ。
すべてを
あきらめた私が
ふと前方を
みたとき、
信じられない
ものを
私はみたのだ。


それは
ジャングルのなかに
きり開かれた
奇跡のような
長大な滑走路
だったではないか。
数千メートルにも
達するその巨大な
飛行場は、
私の飛行機が着陸
するにはありあまる
ほど長かった。
プスープスーッ
パーッ
ポーッ

俺は夢をみているのかなあ。
しっかりした舗装だぞ。
!!
なんだこれは!?
レンガ……
いやこれは……
金だ!!
純金のインゴットだ!!
なんで鳥がこんなものを……
!!

これは……
同じもの………
金のインゴットを敷きつめた滑走路……
ばかな!!
私の機が走った部分だけ表面のコケがとれて光り輝く三本の線となってみえた。
まぎれもなくこの巨大な滑走路は純金のインゴット、純金のブロックを敷きつめてつくられていたのだ。

鳥がインゴットを。
このコケが鳥の好みにあうのか……
……この飛行場を地図に書きこむべきかどうか
実際それは私の心を悩ました。
なにか空白地帯の探険から脱線したような気がしたからだ。
なにはともあれエンジンの修理をしなければ……
われたシリンダーを金で埋めればいいか……
材料は無限にある。

その夜
純金の滑走路の上を
黒いジャガーが
風のように
かけぬけるのを
みた。
なにものとも
しれぬ人の目が、
じっと飛行機と
格闘する私を
みつめている
ような気が
した。
修理には
二日かかった。
やっとの思いで
離陸した私の目に、
私の機が踏みしるした
車輪の跡が
金色にキラキラ光って
いるのがうつった。
たしかに私の目は
それをみた。

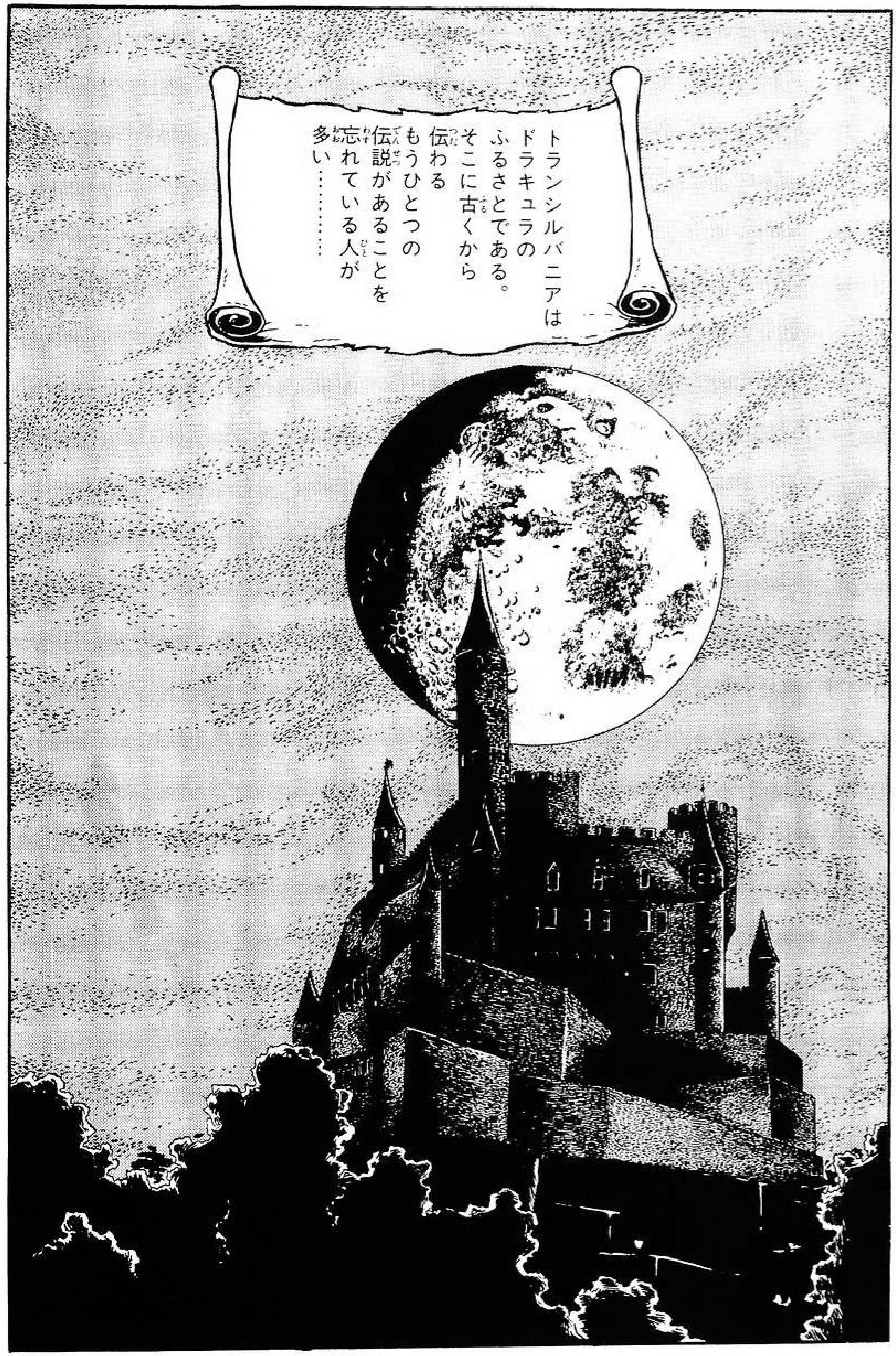
サバンテのキャンプへもどったとき燃料はもう底をついていた。
ブァーイ ブァーイ
イレーネ!!
原図がない。
イレーネさまはハンターといっしょにボートでおかえりになりました。
ハンターと?
いいにくいのですがとても仲むつまじく。
つまり夜もたいへんに……そこらへんの草むらで仲むつまじく……
昔からのしりあいらしく…
昔からの?
……………
ゴンドワナは私がなんでいっしょについて歩いてたと思ったかしら。

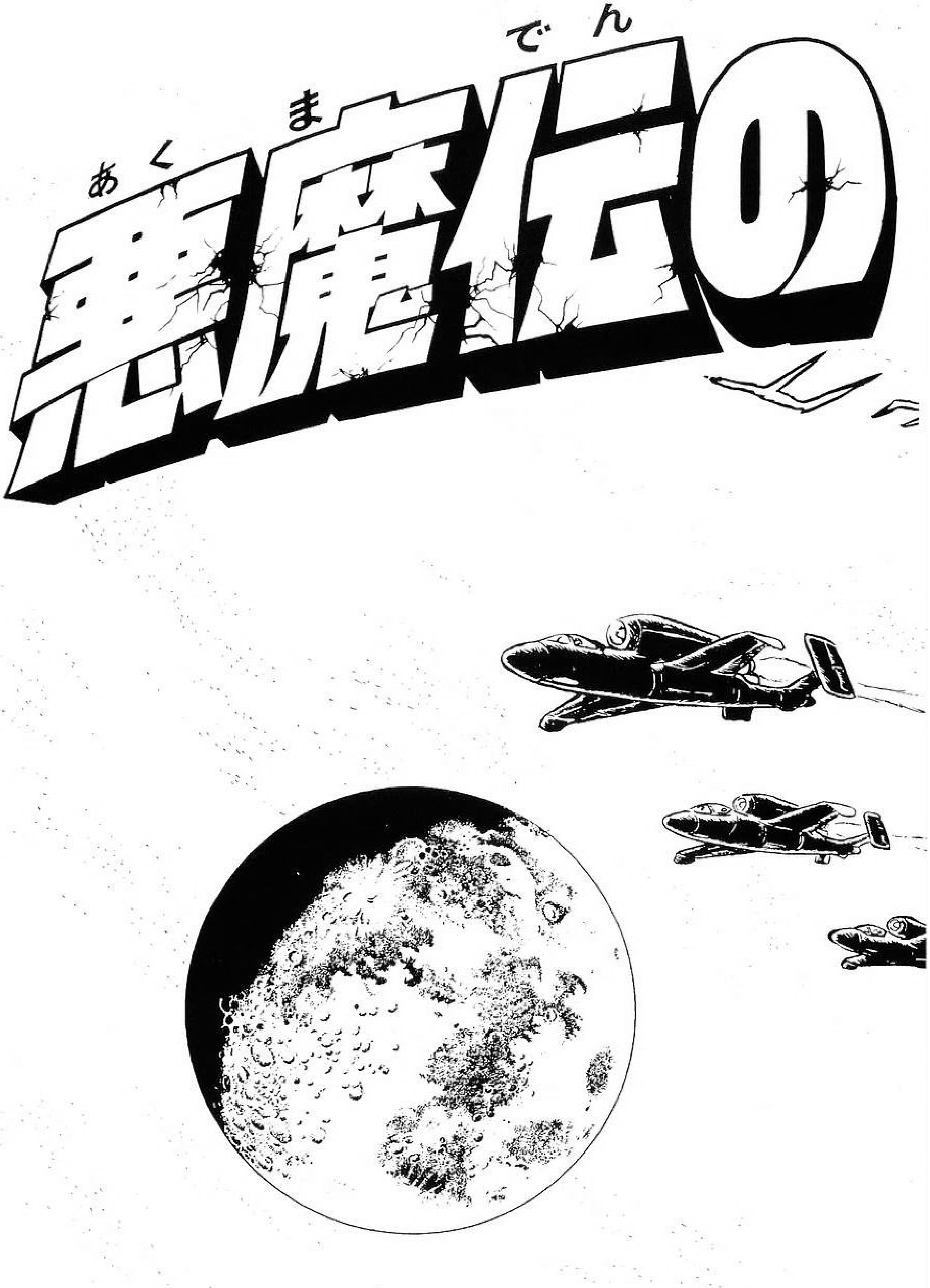
自分に
おまえが
ホレてたと
思ってたん
だろうよ。
ゴンドワナは
ここらの
インディオに
つたわる
金の広場の伝説を
しらないわ。
しらなくても
地図は
つくってた。
これで探険にくる
自信がついたよ
イレーネ。
かえって
こなかった
ところをみると、
あいつはいまごろ
どこかに墜落して
骨になってる
だろう。
ここらは
死んで
三日もあれば
完全な白骨に
なれるからな。
自分の女が、
俺という
男のうでの
なかで
なんども夢を
みたとも
しらず……
おめでたい
ガキめ。
ああ
サンフィー
ルド。
!!

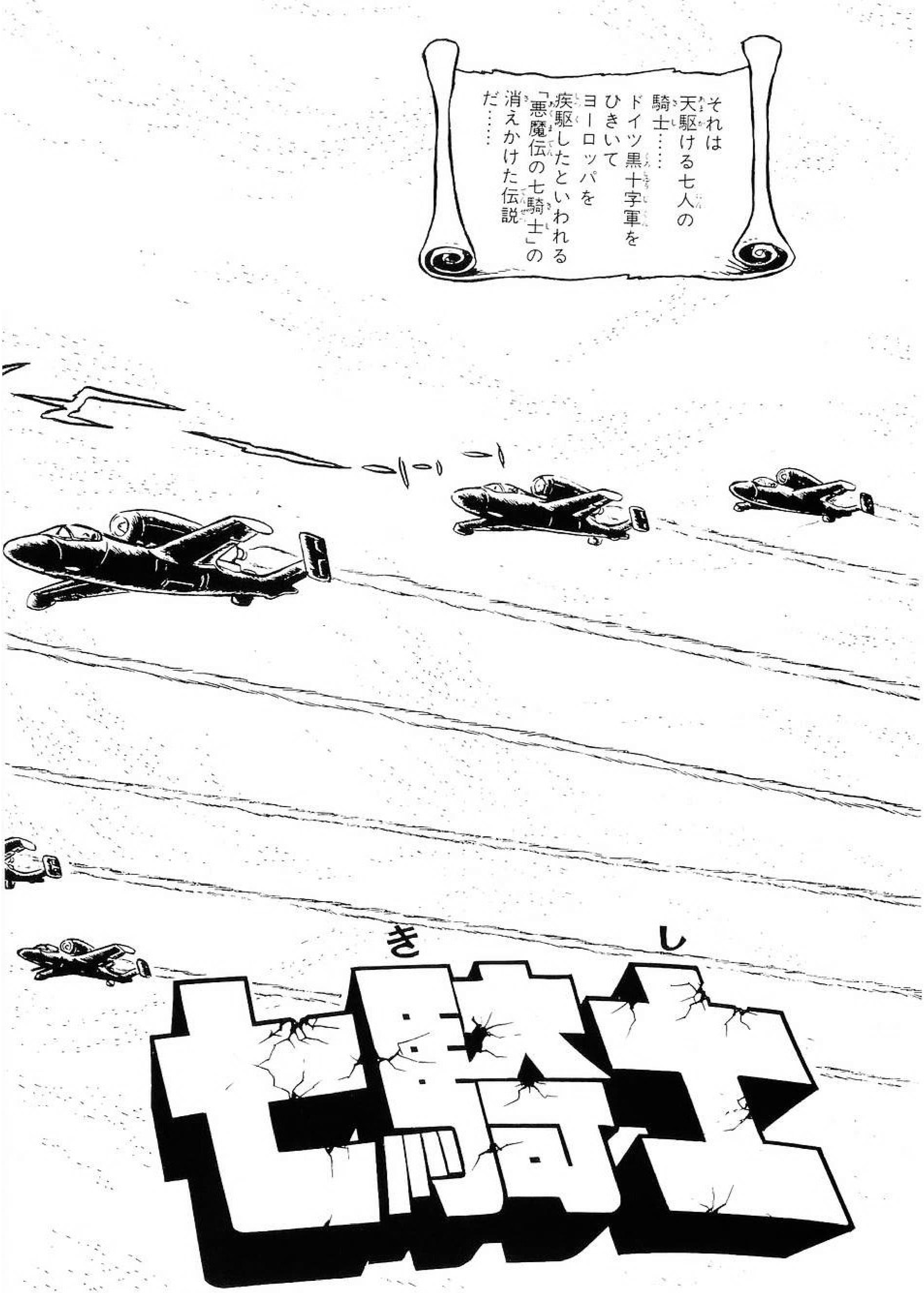
あっさり飛んでいってしまったぞ、あきらめのいいやつだ。
しっていてダマされたふりをしているのは、
しらずにダマされているほどみじめなものではない。
私を裏切った者など私の目の前に広がる様ざまな空白地帯にくらべたら、とるにたらないゴミのような存在にすぎない。
私はそう信じて飛びつづけた。
航空探険家としての生涯を悔いるなにもない。

その後、あの純金を敷きつめた大飛行場を発見したという話はきかない。イレーネとその男の目的が、それの発見にあったとしても不幸にして成功したという話をきいたことがない。
現代の人工衛星からもその滑走路を発見した様子もない。
しかし私はたしかにみたのだ。名もしれぬ宇宙からきたような鳥の乱舞…あの滑走路を……
かつてそこからなにものが発着していたのか見当もつかない大飛行場を……
私はG・F・ゴンドワナ、いま、旅路のおわりにきている。
思えばイレーネの心のなかも私にとっては自分の飛んだ空白地帯だったのかもしれない。
そこを飛びながら地図に書き残すことのできなかった大空白地帯だったのかもしれないと、いまになって思うようになった。

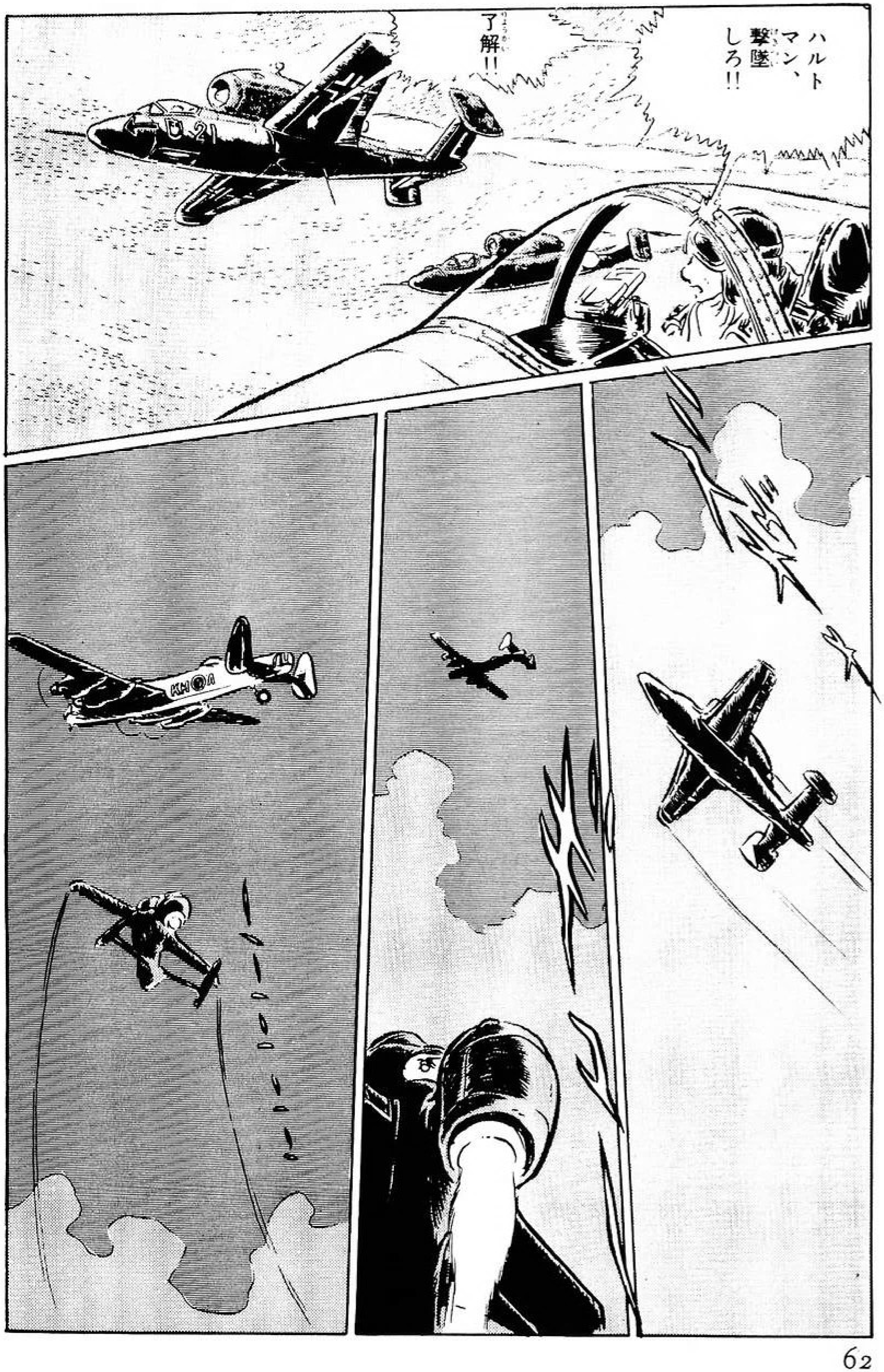
「空白圏飛行」掲載・ビッグコミックオリジナル昭和53年3月5日号

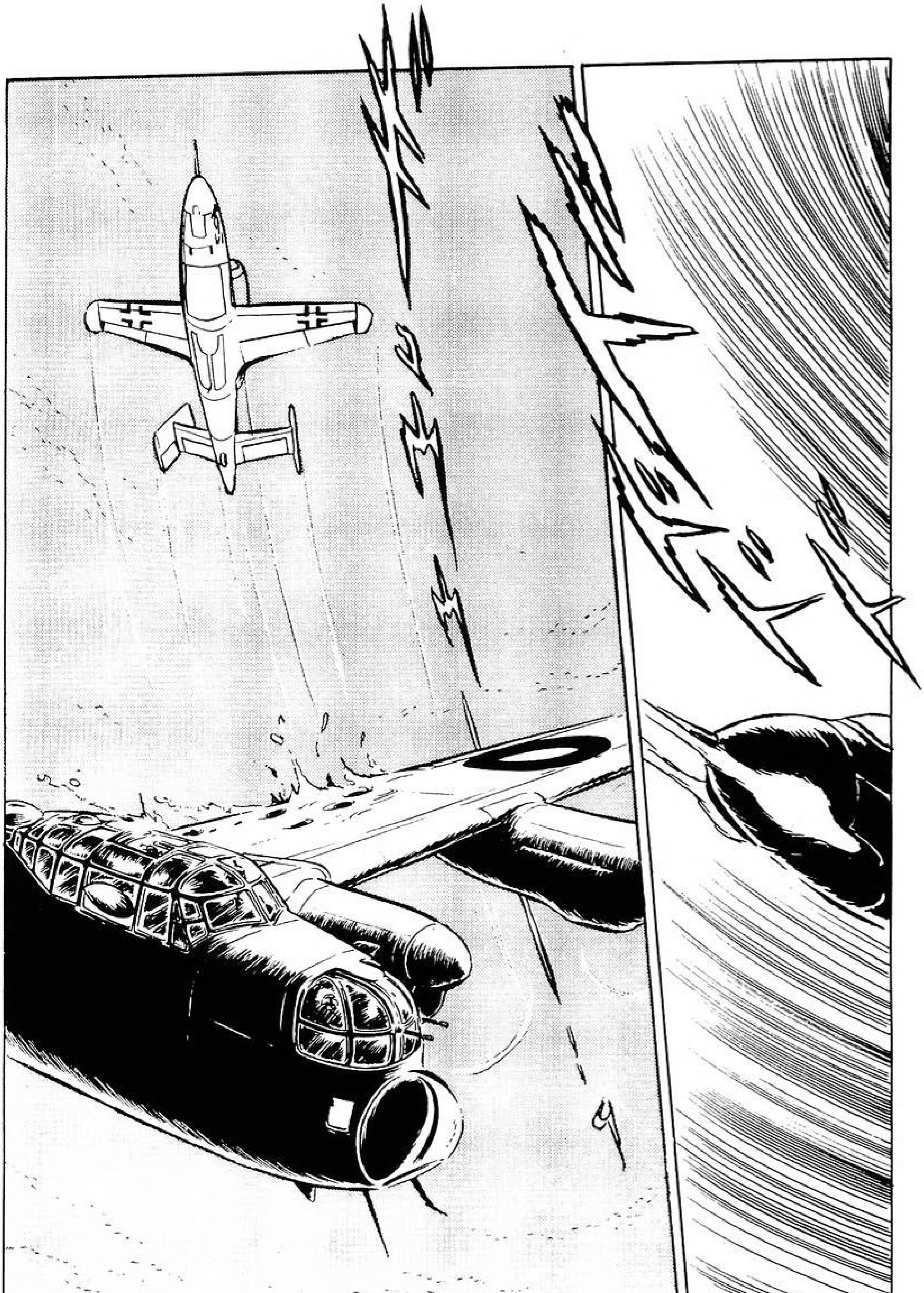

トランシルバニアは
ドラキュラの
ふるさとである。
そこに古くから
伝わる
もうひとつの
伝説があることを
忘れている人が
多い……


あくま でん
悪魔伝の

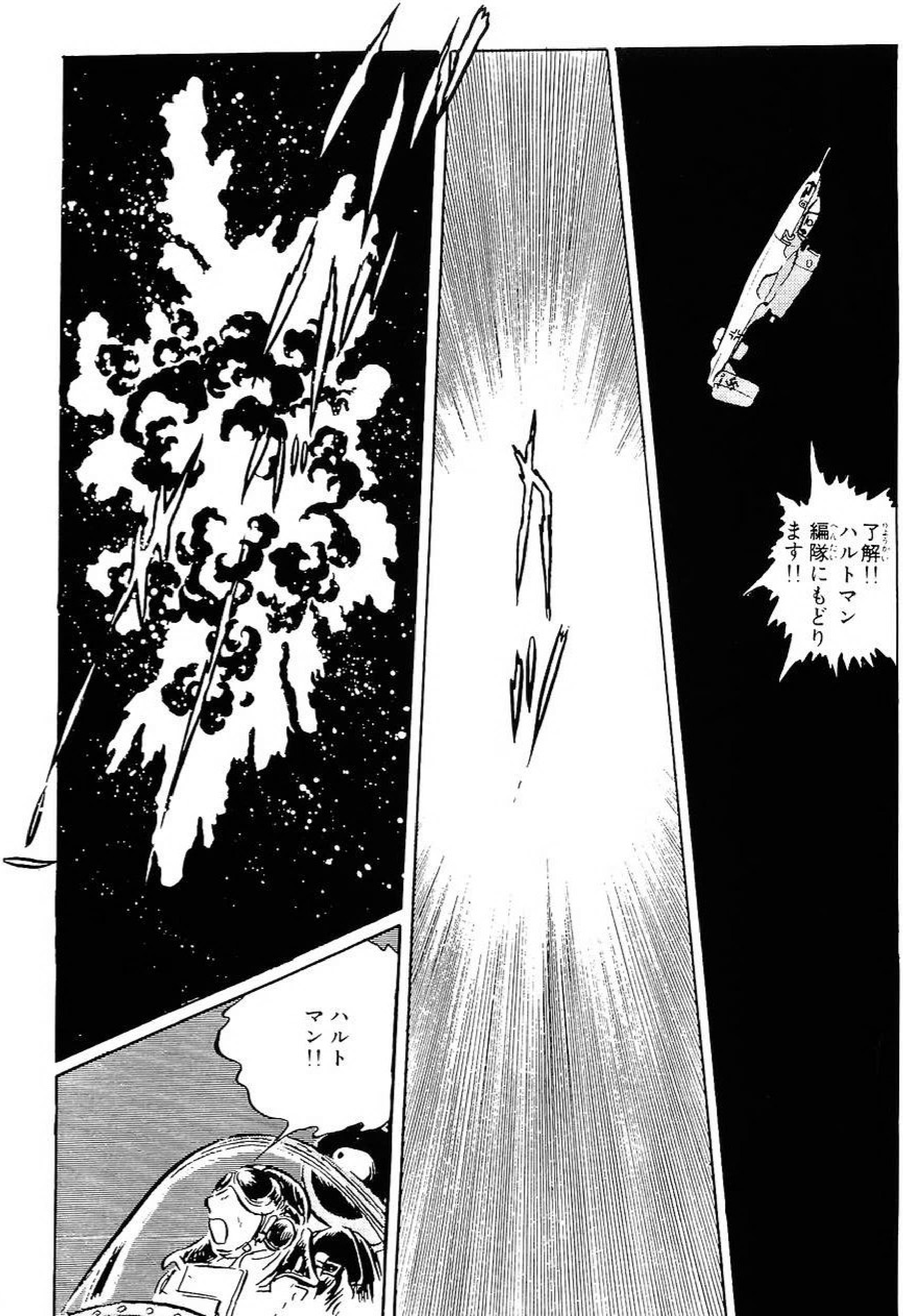

それは
天駆ける七人の
騎士……
ドイツ黒十字軍を
ひきいて
ヨーロッパを
疾駆したといわれる
「悪魔伝の七騎士」の
消えかけた伝説
だ……
七騎士

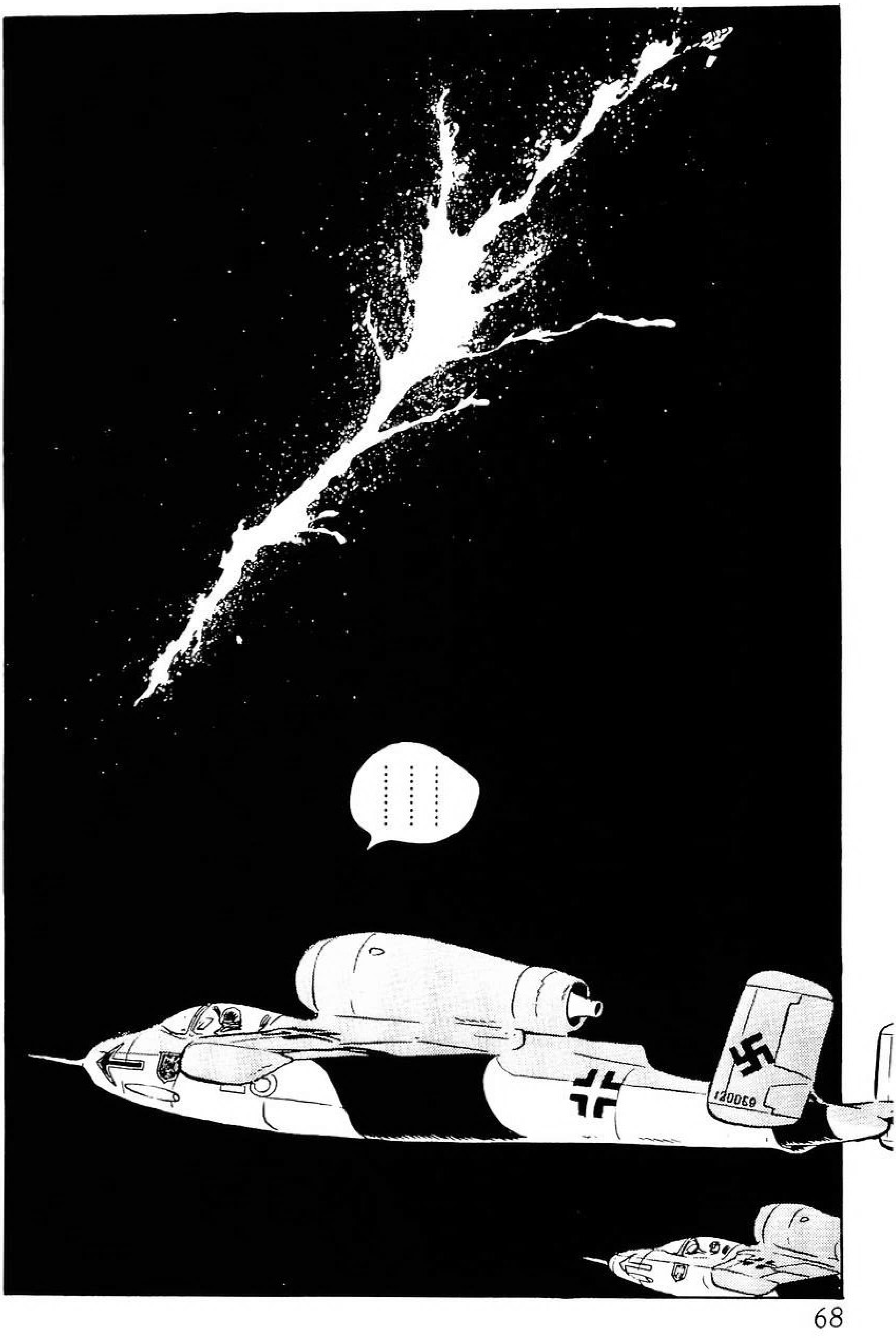
ハルトマン!! こちらホイールロック!! 上方にランカスターがみえるか?
こちらハルトマン!! みえます。上方千メートル!! 雲の上です。

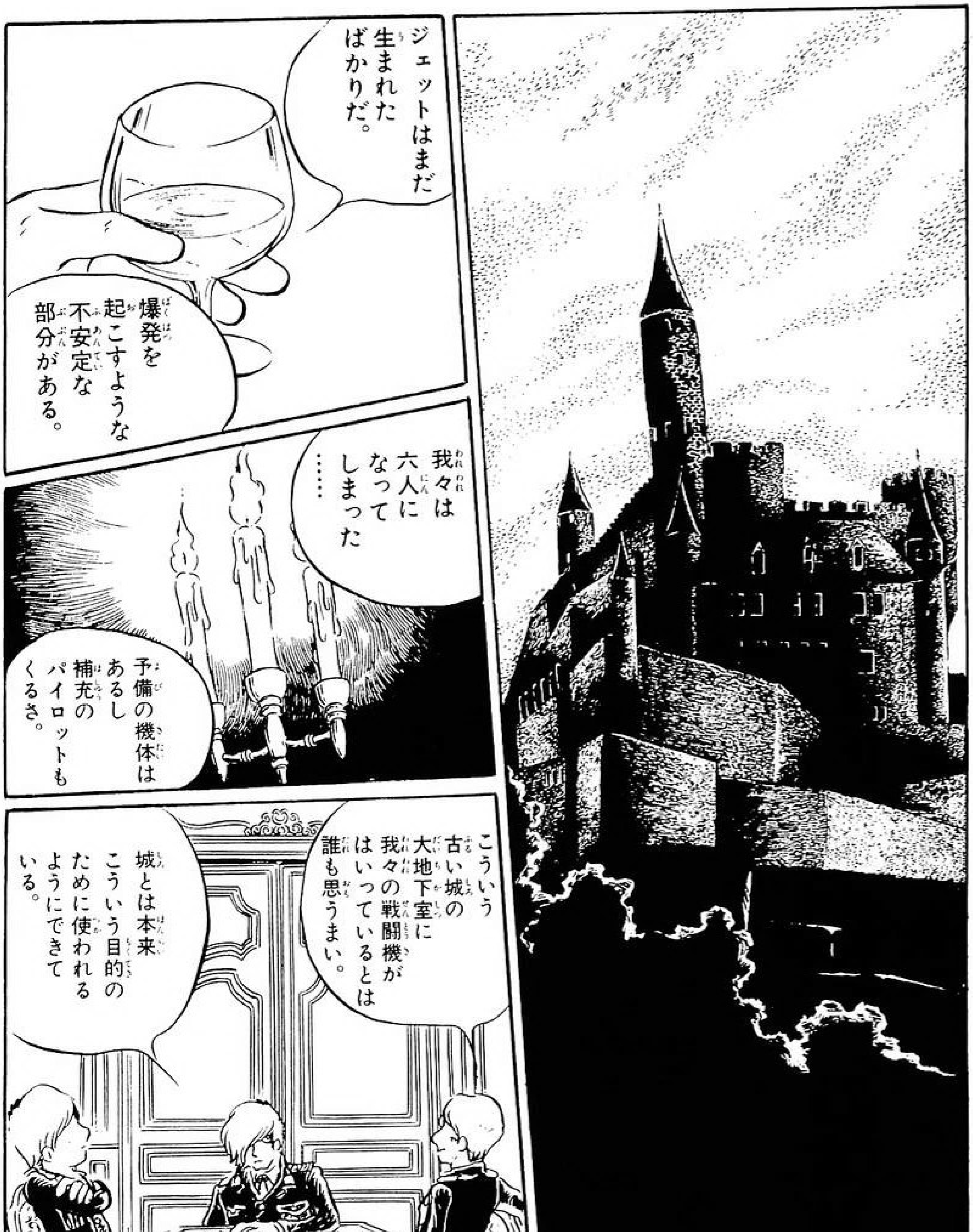

ハルトマン、撃墜しろ!!
了解!!



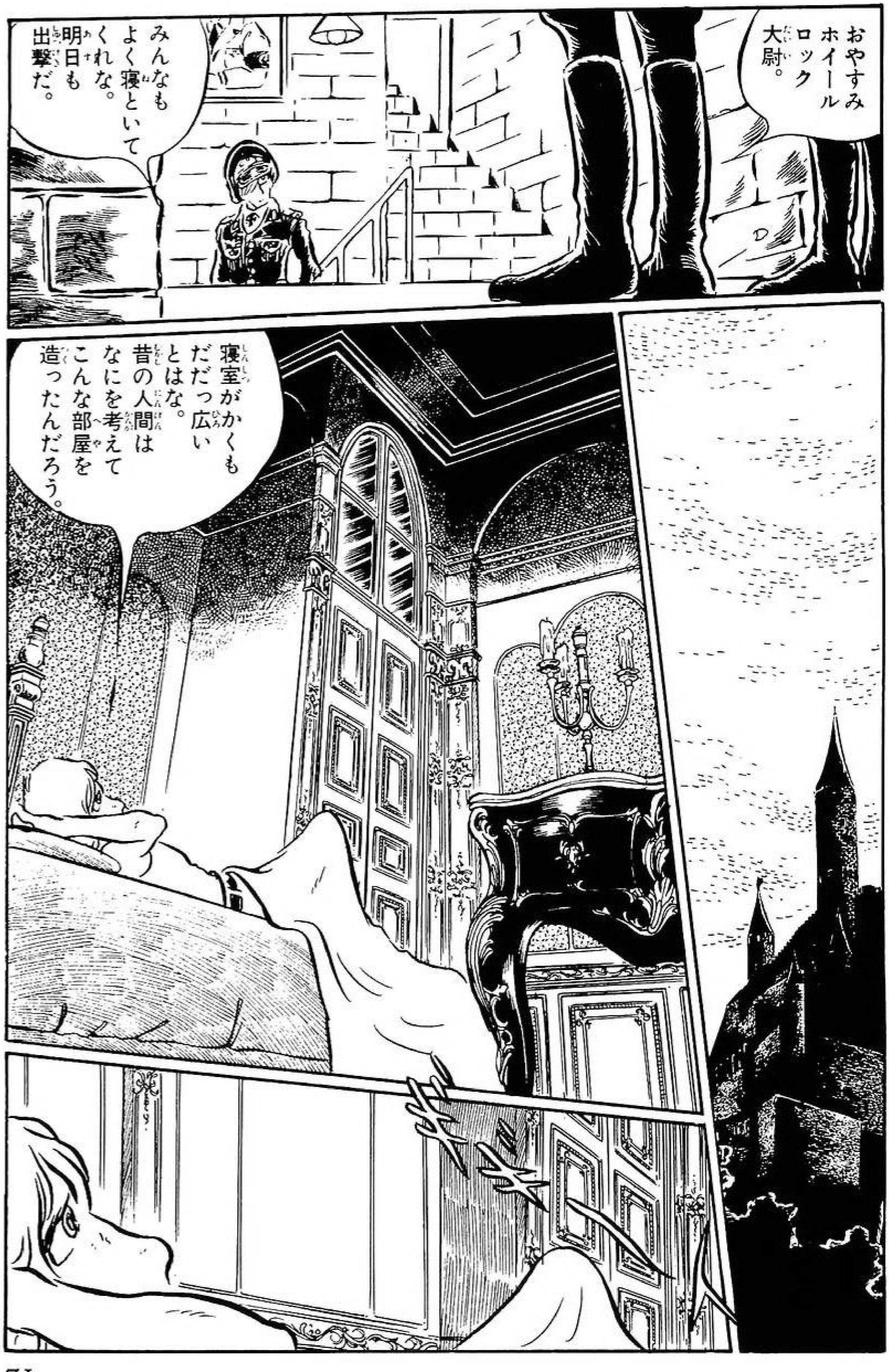
ゴオオオオオ
よし！ハルトマン編隊にもどれ!!

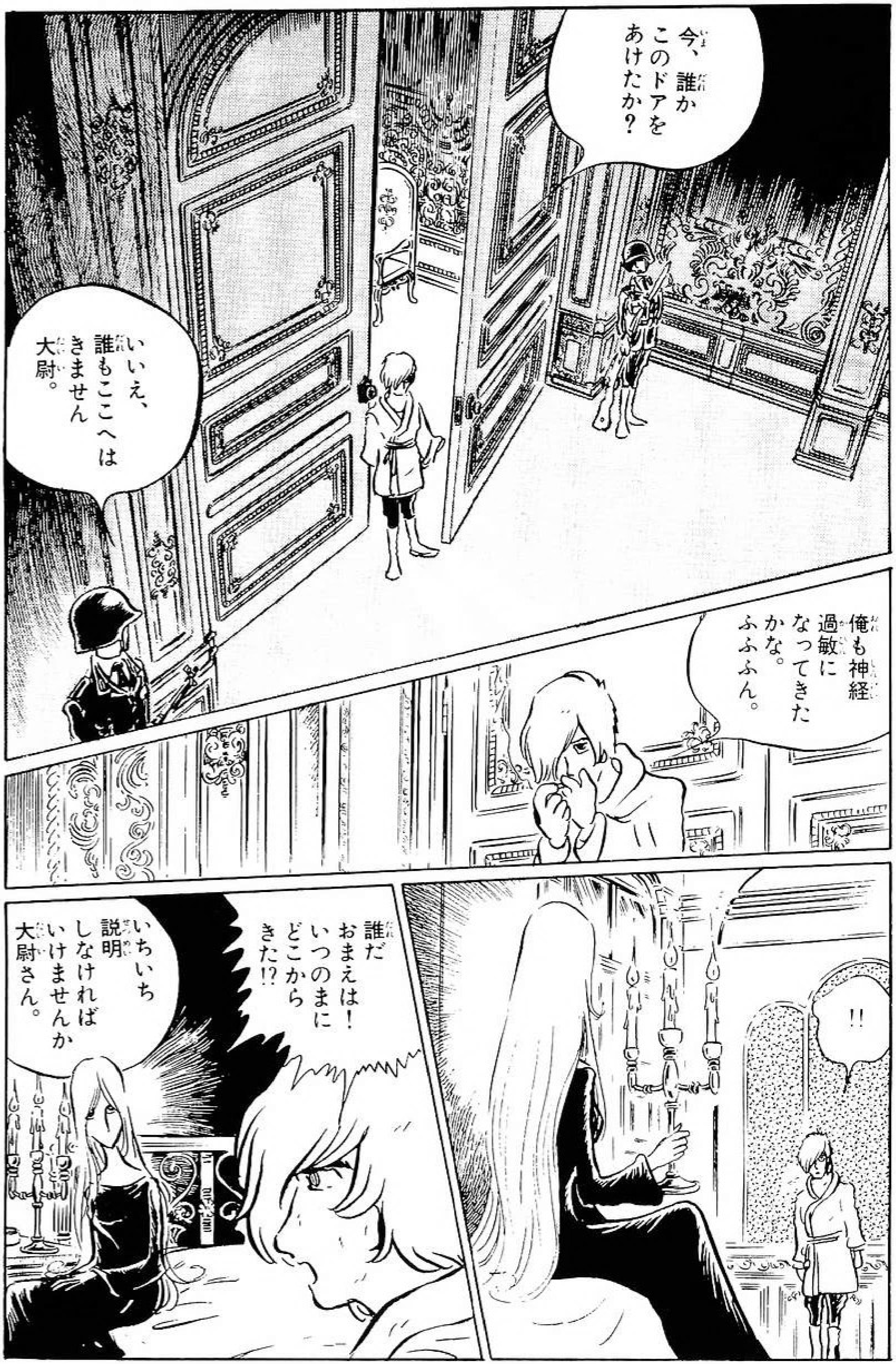

了解!!ハルトマン編隊にもどります!!
ハルトマン!!




こういう古い城の大地下室に我々の戦闘機がはいっているとは誰も思うまい。
城とは本来こういう目的のために使われるようにできている。
ジェットはまだ生まれたばかりだ。
爆発を起こすような不安定な部分がある。
我々は六人になってしまった……
予備の機体はあるし補充のパイロットもくるさ。

こういう時は機体の小さいHe162は収容が楽だ。
いくら英軍が偵察にきても絶対みつけられない。


おやすみホイールロック大尉。
みんなもよく寝といてくれな。明日も出撃だ。
寝室がかくもだだっ広いとはな。昔の人間はなにを考えてこんな部屋を造ったんだろう。

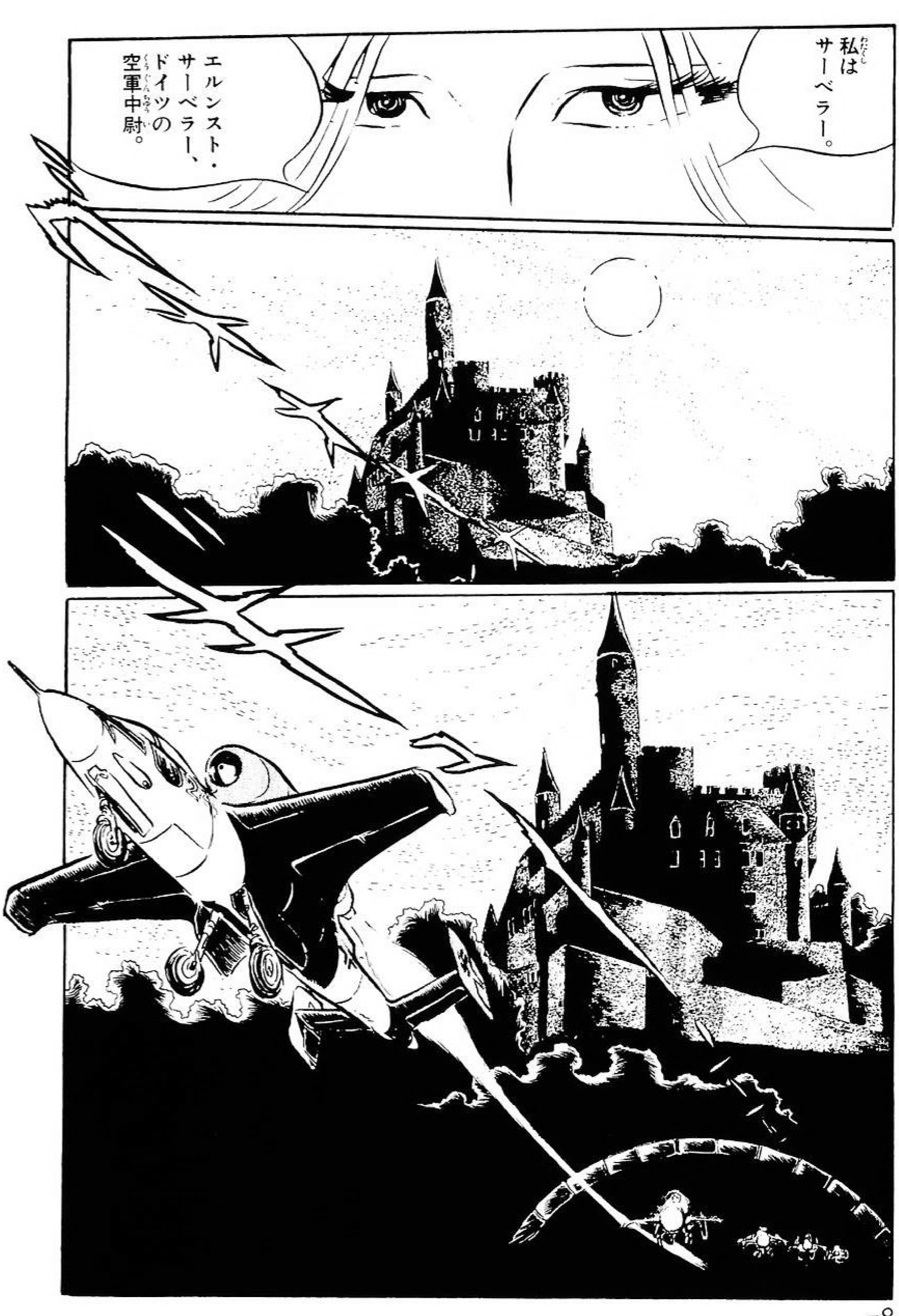

今、誰かこのドアをあけたか？
いいえ、誰もここへはきません大尉。
俺も神経過敏になってきたかな。ふふふん。
!!
誰だおまえは！いつのまにどこからきた!?
いちいち説明しなければいけませんか大尉さん。

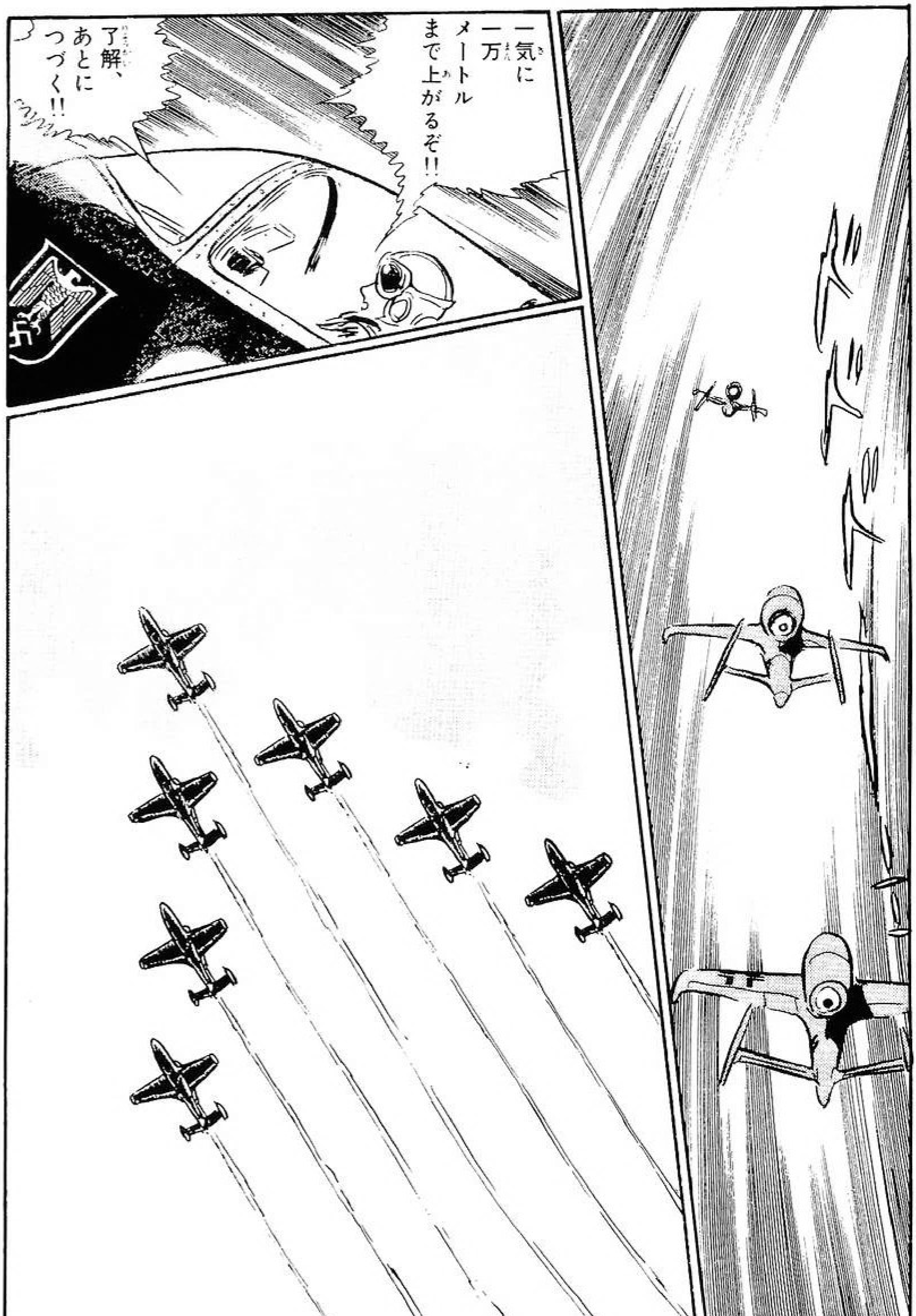
それもそうだな。名前は……
エルンストサーベラー……

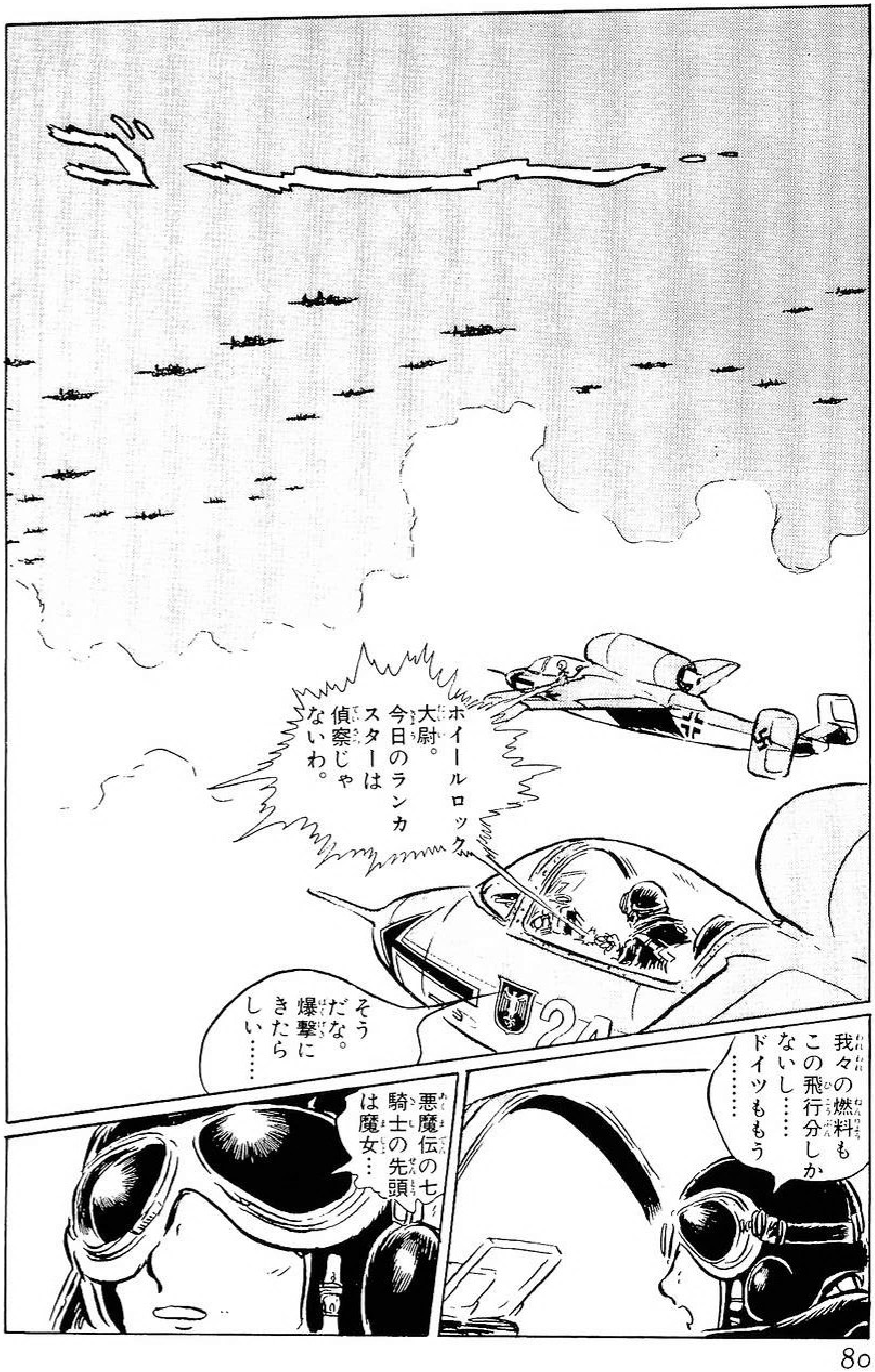
どこの生まれだ？
トランシルバニア。
ルーマニア人か？
そこで生まれただけ……ドイツ人よ。
ドラキュラ伯爵の生まれ故郷だな、あそこは。
ドラキュラの話しか知らないの、大尉さん……
ドラキュラはトランシルバニアの名物男だものな。
トランシルバニアにはもうひとつ古い伝説があるわ。
どんな！
「悪魔伝の七騎士」。

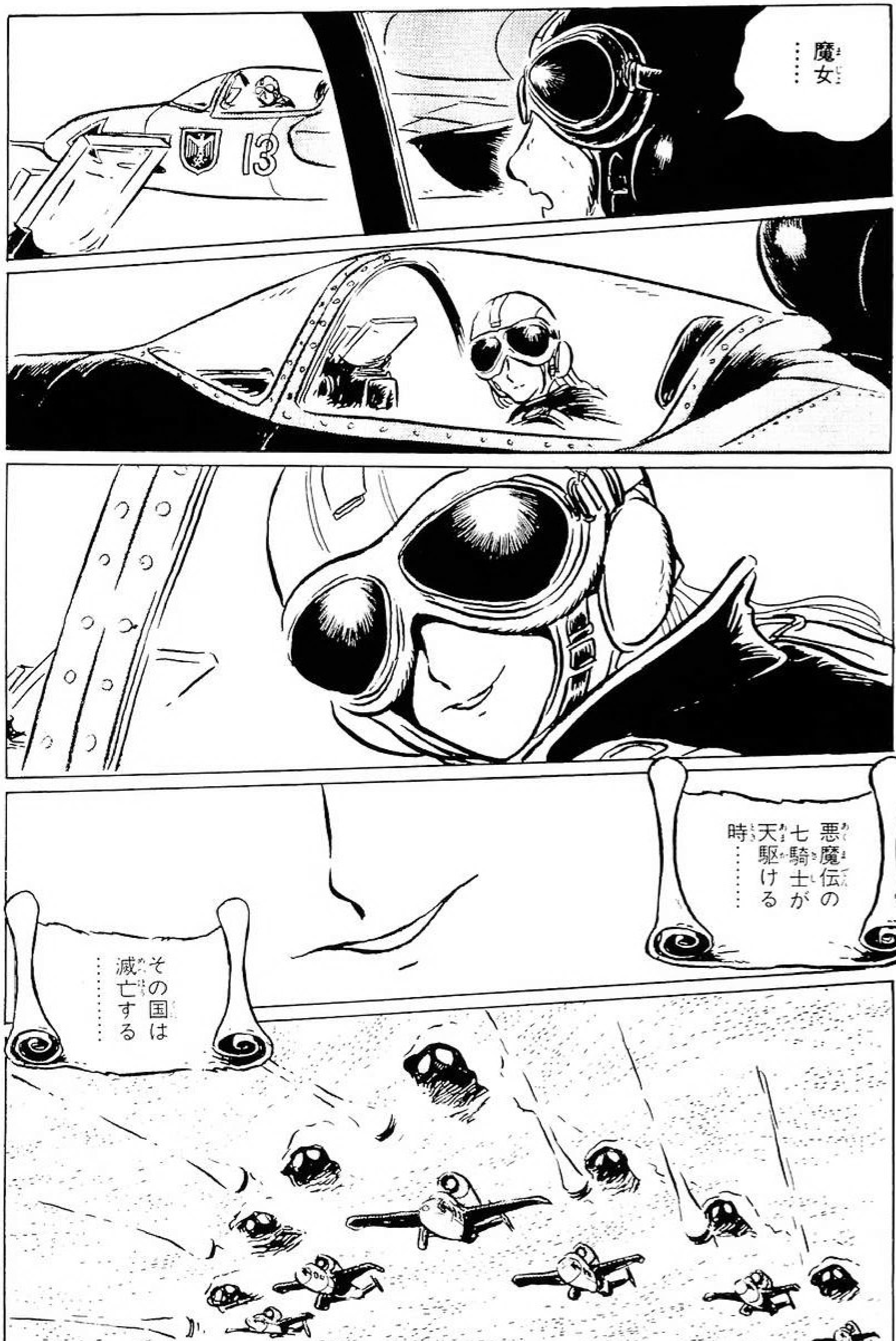
悪魔伝の七騎士？
戦いの終りの時に悪魔伝の七騎士が空を駆けてゆく……
悪魔伝の七騎士が空を駆ける時……戦う祖国が亡びる。
悪魔伝の七騎士の先頭をゆくのは悪魔伝の魔女……

会ってみたいものだ。
そう……
明日の出撃は何時なの？
ランカスターの定期便は朝か夕方ときまってるけど……
なんでそんなことをきく？
おまえはなんだ？
だって出撃する時間がわからないと寝る時間のとりようがないでしょう。
え……
するときみが補充のパイロットか？ハルトマンのかわりの？
ドイツ空軍にも女のパイロットは何人かいるわ。ホイールロック大尉。


私はサーベラー。
エルンスト・サーベラー、ドイツの空軍中尉。


一気に一万メートルまで上がるぞ!!
了解、あとにつづく!!


ゴーーー
ホイールロック大尉。今日のランカスターは偵察じゃないわ。
そうだな。爆撃にきたらしい……
我々の燃料もこの飛行分しかないし……ドイツももう……
悪魔伝の七騎士の先頭は魔女…


魔女……
悪魔伝の七騎士が天駆ける時……
その国は滅亡する……

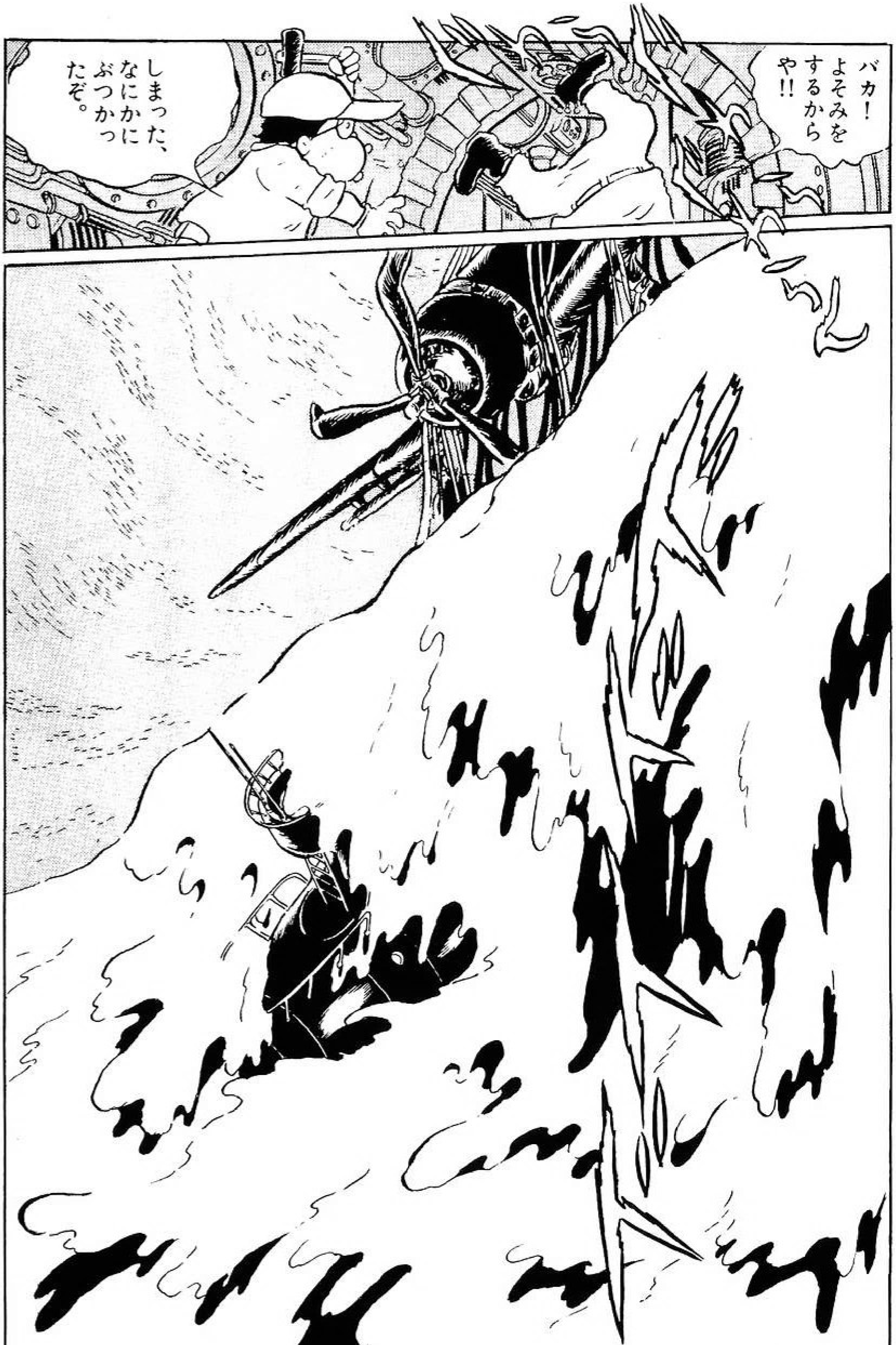
「悪魔伝の七騎士」掲載・ビッグコミックオリジナル昭和53年4月5日号

水深一〇〇〇……
……一二〇〇
水は透明だ。
プランクトンは
少ない……
艇体機材とも
異常はない……
前方に
金属物体
……
ほかの
潜水作業船……
いや……
ちがう……
あれは……

曳光弾回

ろう
廊

キューキュー艦爆ってナンヤ？
なんだ、おまえしらんのか。それはつまり……
一番たくさんの連合軍艦船を撃沈した……


バカ！よそみをするからや!!
しまった、なにかにぶつかったぞ。

緊急事態緊急事態!!海底に衝突……海底に……
ダメや、通信器材がイカレてしもうたぜ。
ヘリウムの残量は?
タンクがふたつ壊れた。あと……三十分……
三十分……?
どないするねん??
………………
………………
こっちをみてるぜ。

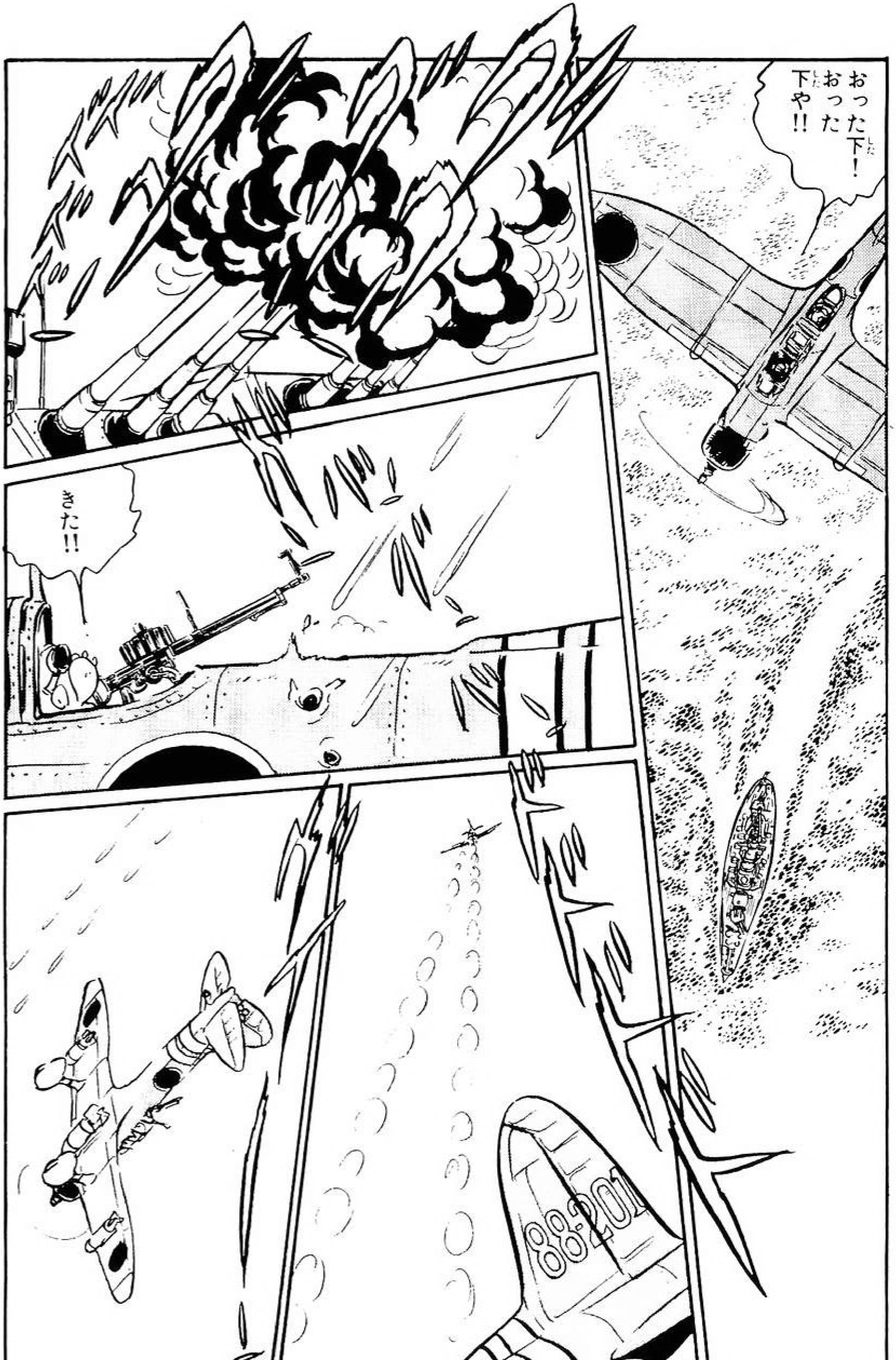
あいつに
みこまれ
たのかなあ
……
どうする
？
死ぬまでに
ハラごしらえ
しとくねん。
草井……
こうなるのは
覚悟の上で
もぐったん
だものなあ。
マニラの
海底は様子がよう
わからんので
ヤバイと思お
たんやがなあ。
あいつは
ハラいっぱい
食って死んだ
ろうか？
草井……

九九式艦上爆撃機……かつてのパール・ハーバー上空に雄飛した固定脚の艦上爆撃機として有名である。
ドイツのスツーカの同族だと語りつがれている急降下爆撃機であるが、スツーカが陸上の目標を多く攻撃したのにくらべ、九九艦爆は、空母から発進して、洋上はるかの敵艦船を降下爆撃した名機で、連合国側艦船をもっとも多く撃沈した機体として評価されている。
くそ〜〜 だんだん イキが くるしく なってきた。
さわぐな、草井。ヘリウムの 消費がはやい。
なん年か たったら 俺たちも ああなって ……
誰かに 発見される のか……

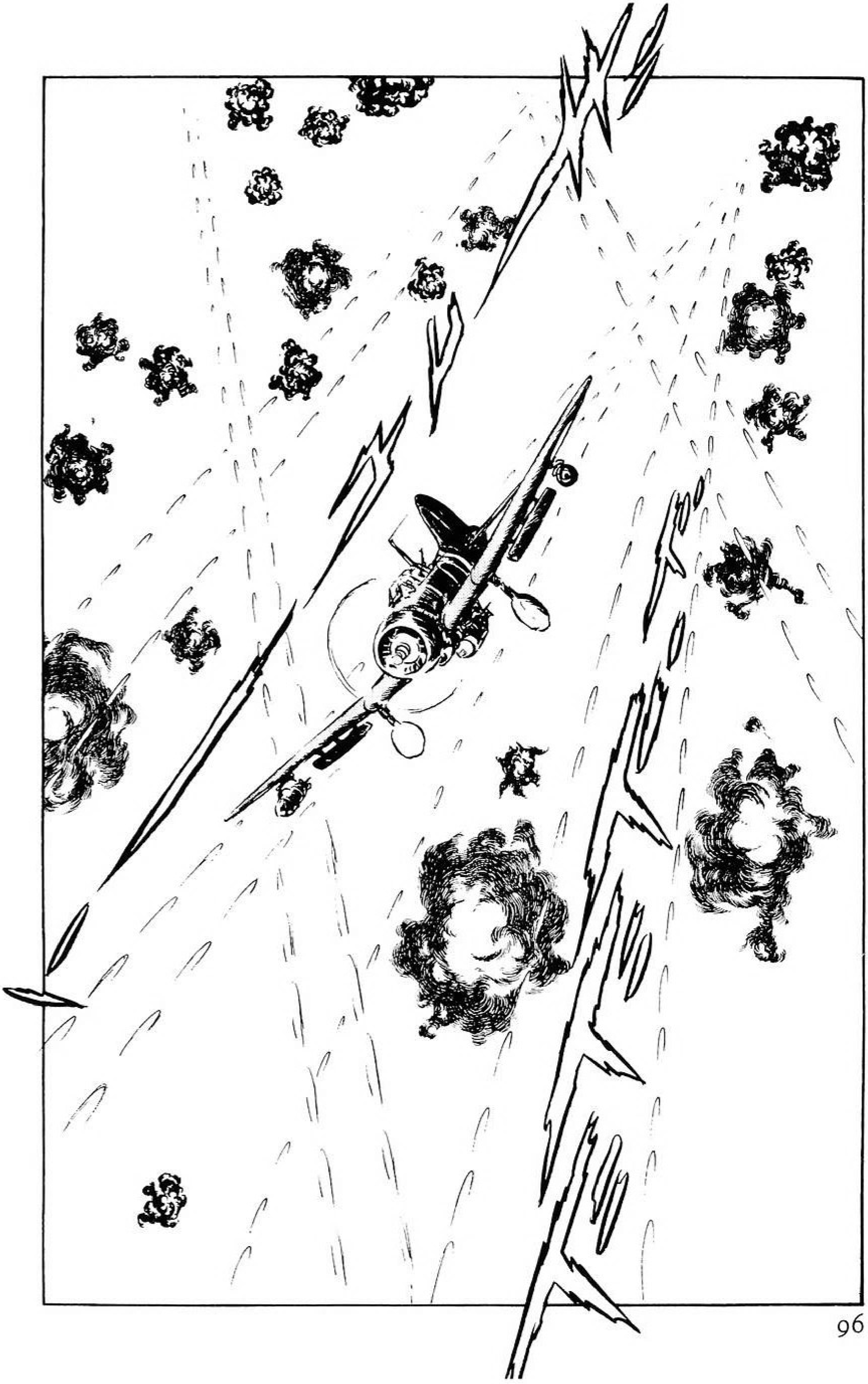
そうだ、
俺が母艦を
飛びたったのは
もう遠い昔の
ことだ。
双脚の下に広がる
サンゴ海の色は
信じられないほど
青かったのを
おぼえている……
88-208

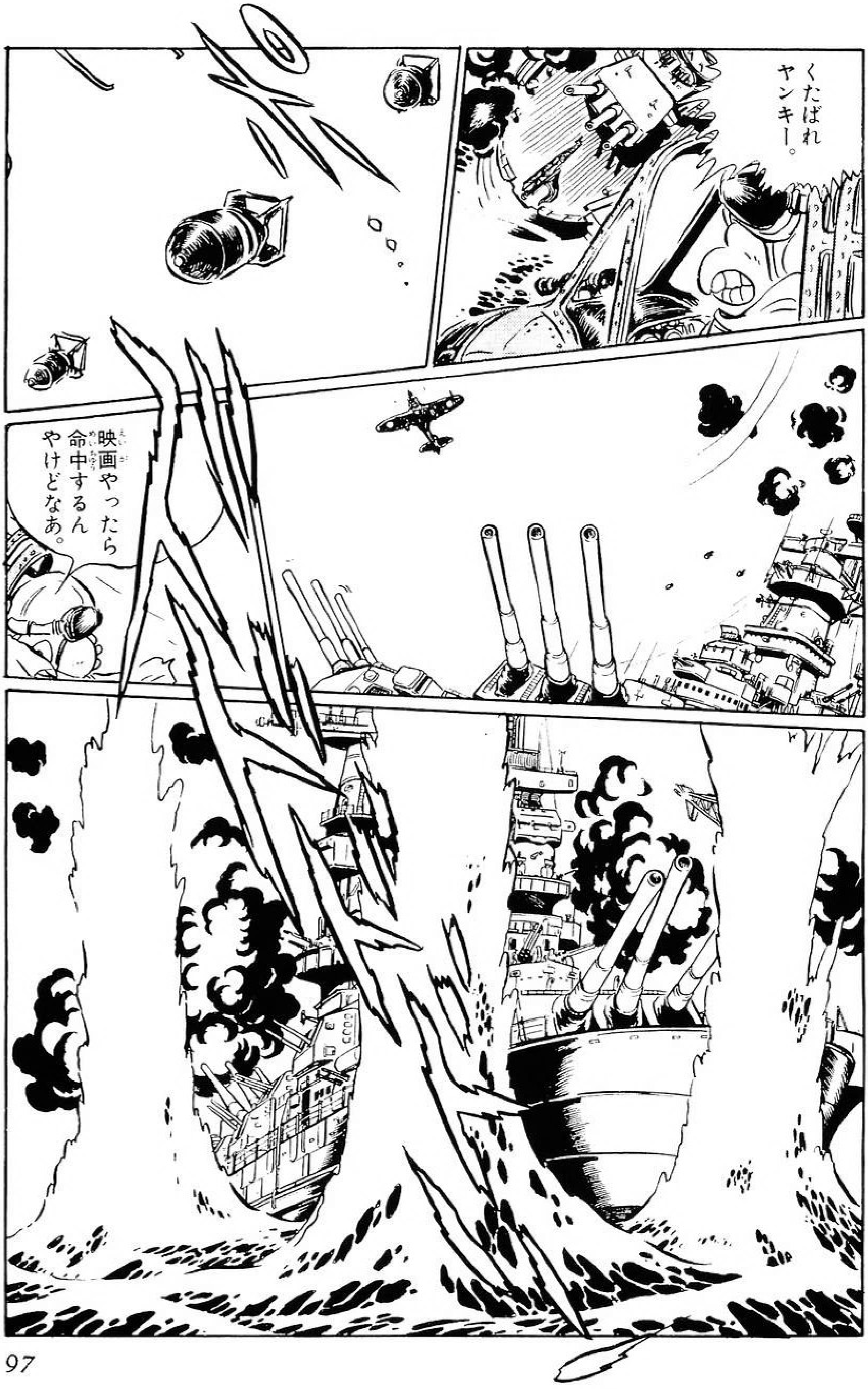
山本、機銃のぐあいはどうだ？
銃力のぐあいが少しおかしい。ふりまわしが重いねん。
零戦があんなについてるから大丈夫だ。
アホ、アテになるか。すりぬけてくる敵機の13ミリ一発くろうたらこっちはアカンのやど。海軍も飛行機つくるやつも……
どうして弾があたることを考えてくれなんだのかなあ。
きょうおとす爆弾でなん発目だ？
四十四発目や。
……あまりエンギがようない。
まったく……
飛行機もガタがきちょる。
こらもう時代おくれやねん。

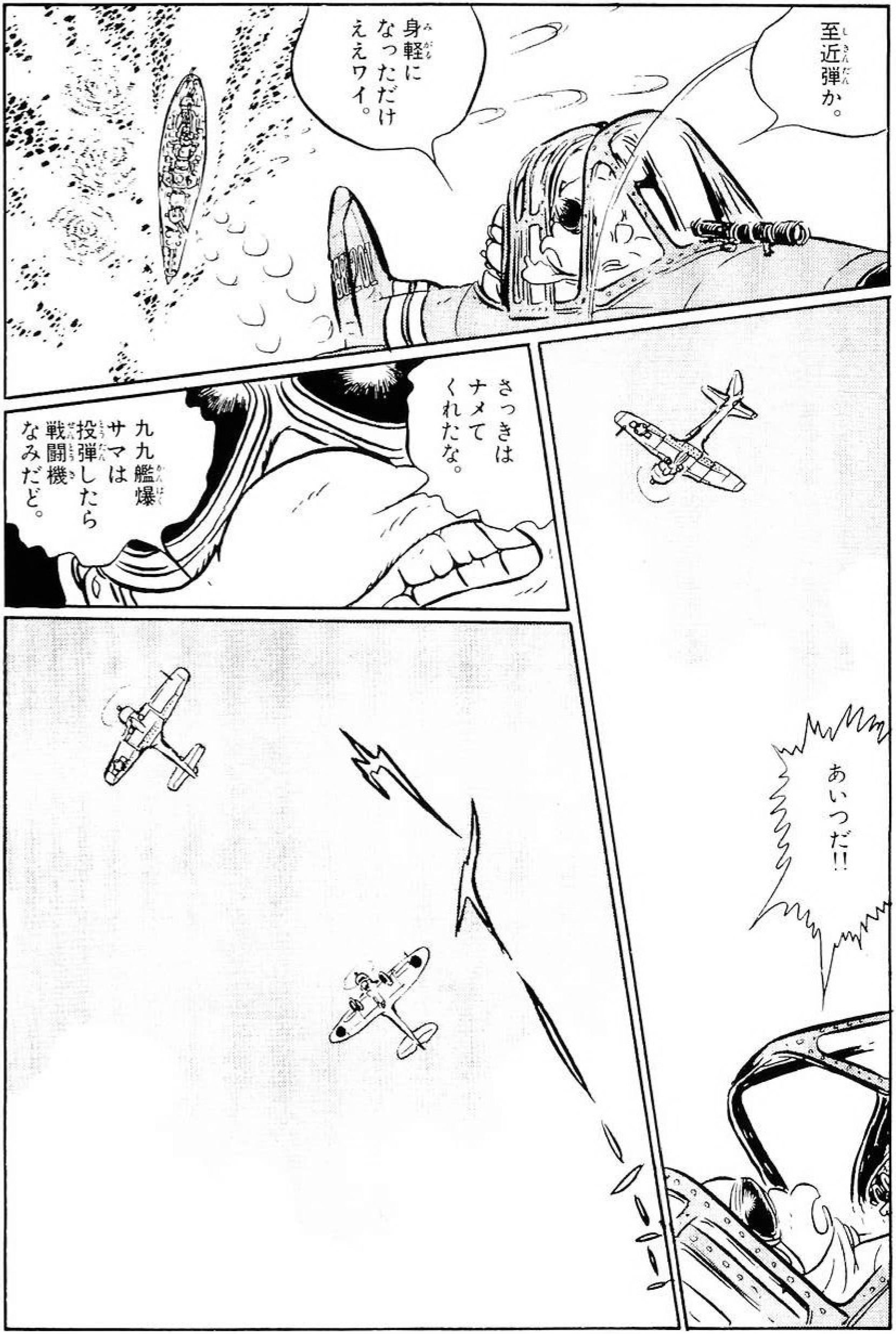
戦闘機に捕捉されたら逃げられんで。
気をつけてくれ。
時代おくれだろうとなんだろうと、この飛行機は俺の体だ。
これしか俺にはないんだからしかたがない…やられてたまるか。
指揮官機の信号弾や、突撃せよ！
突撃？どこに敵がいる？

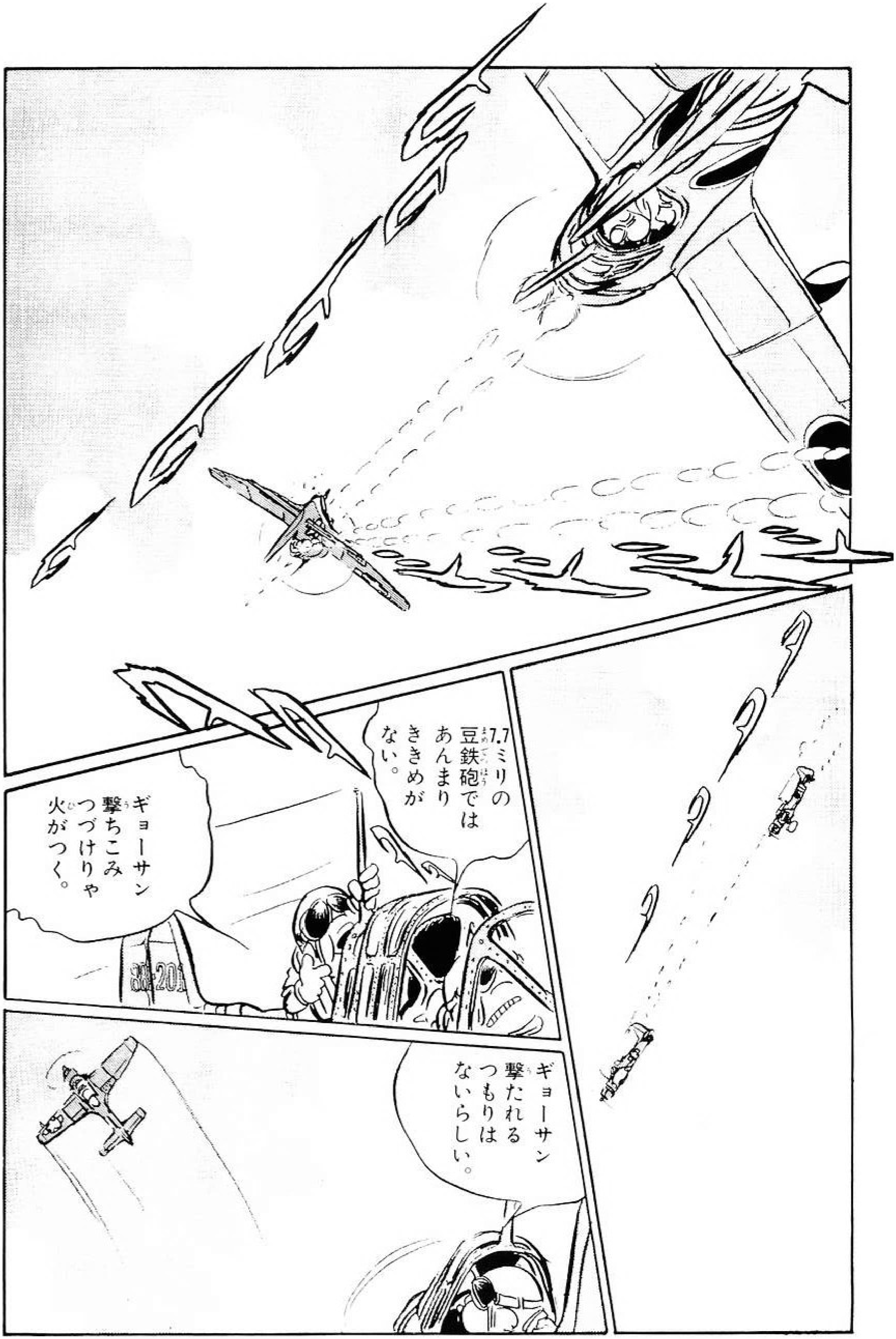

おった下！
おった
下や!!
きた!!
88-201

なんだ
あいつは!!
戦闘機や
ないで
あれは!!
ドーントレス
や!!
あいつも
艦爆や。
くそ!!
艦爆が艦爆に
おとされて
たまるか。
相手に
したるから
まっちょれ
畜生!!
いくぞ
山本!!
おちるなよ。
!!




くたばれ
ヤンキー。
映画やったら
命中するんやけどなあ。

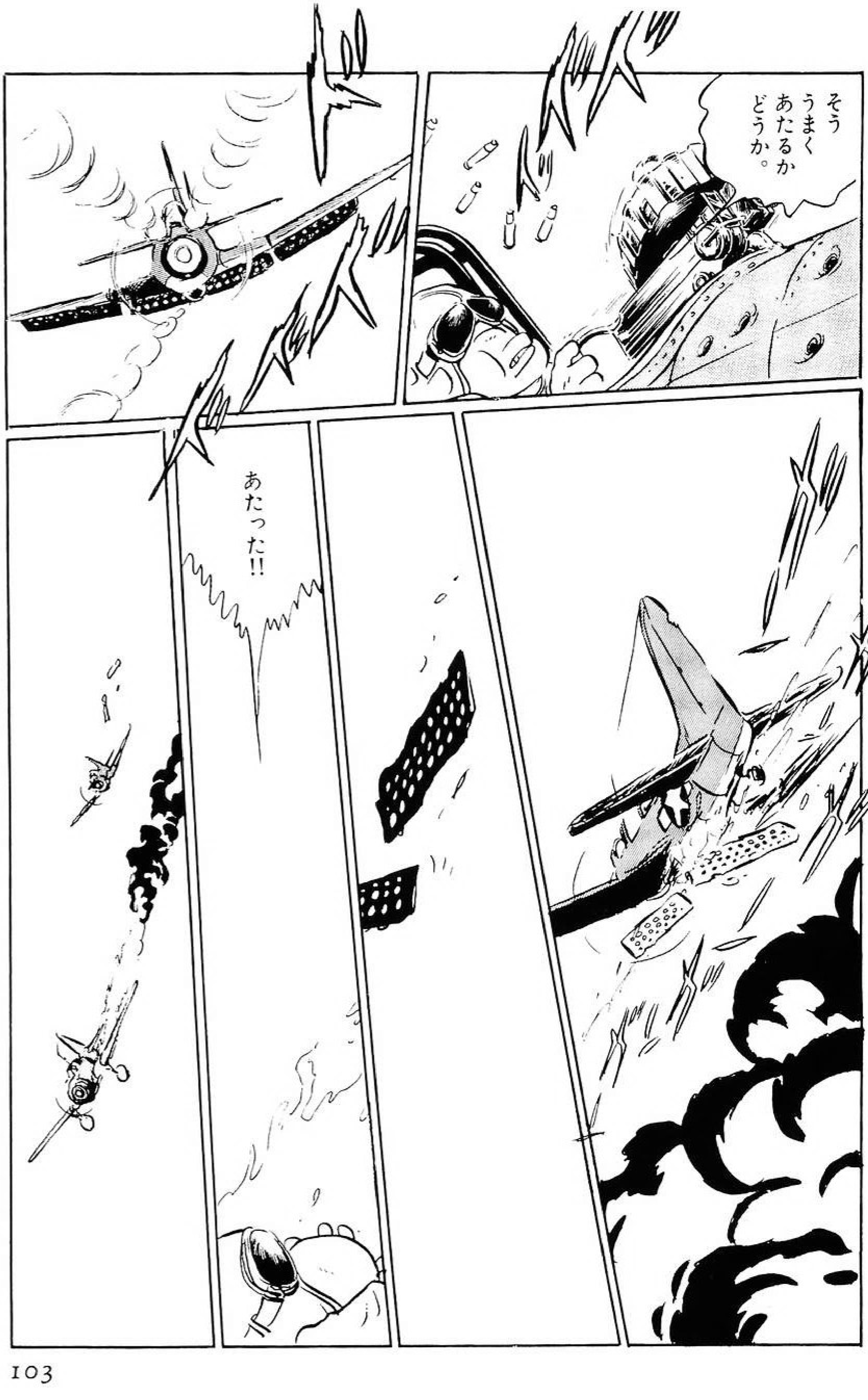

至近弾か。
身軽になっただけええワイ。
さっきはナメてくれたな。
九九艦爆サマは投弾したら戦闘機なみだど。
あいつだ!!

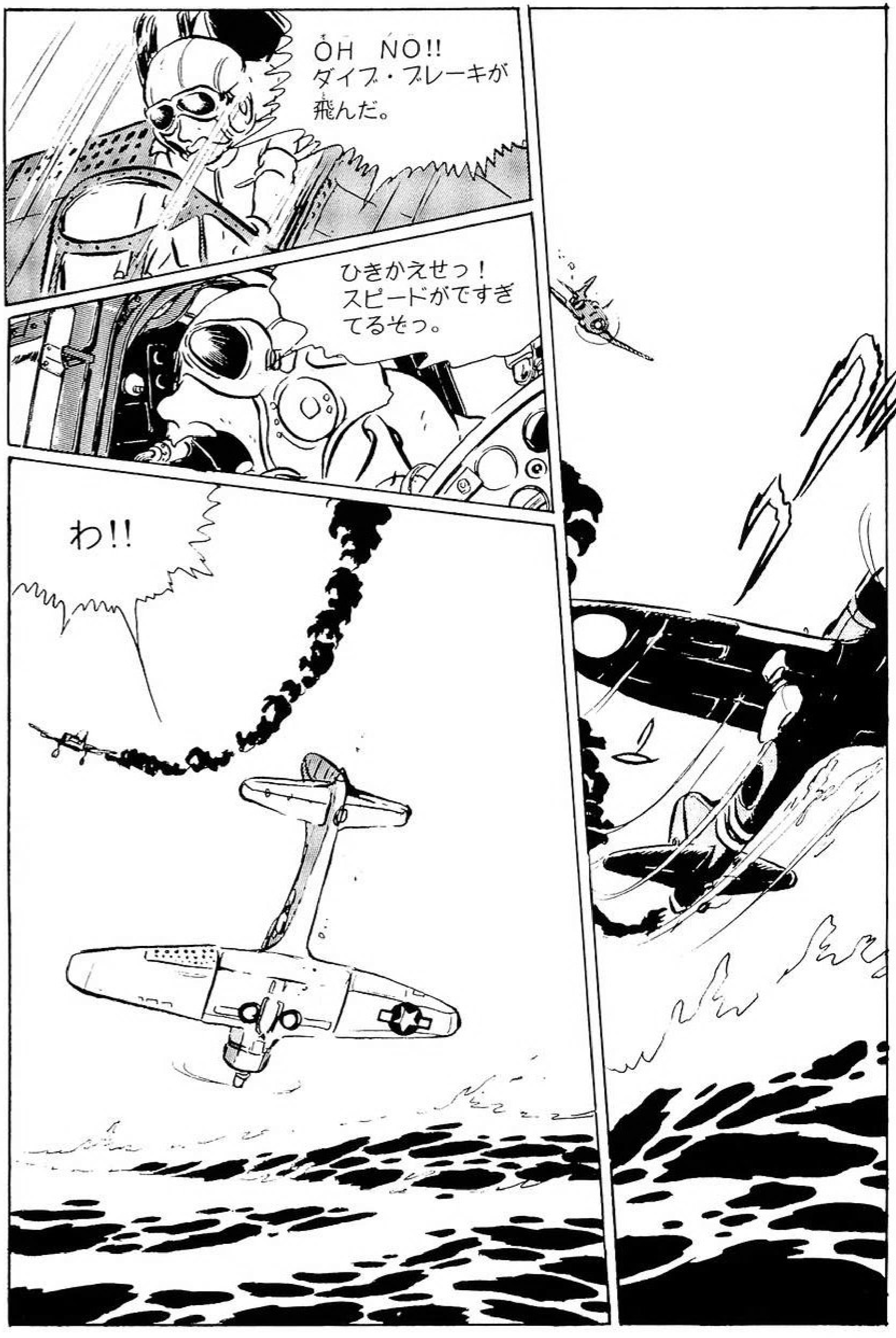

7.7ミリの豆鉄砲ではあんまりききめがない。
ギョーサン撃ちこみつづけりゃ火がつく。
ギョーサン撃たれるつもりはないらしい。

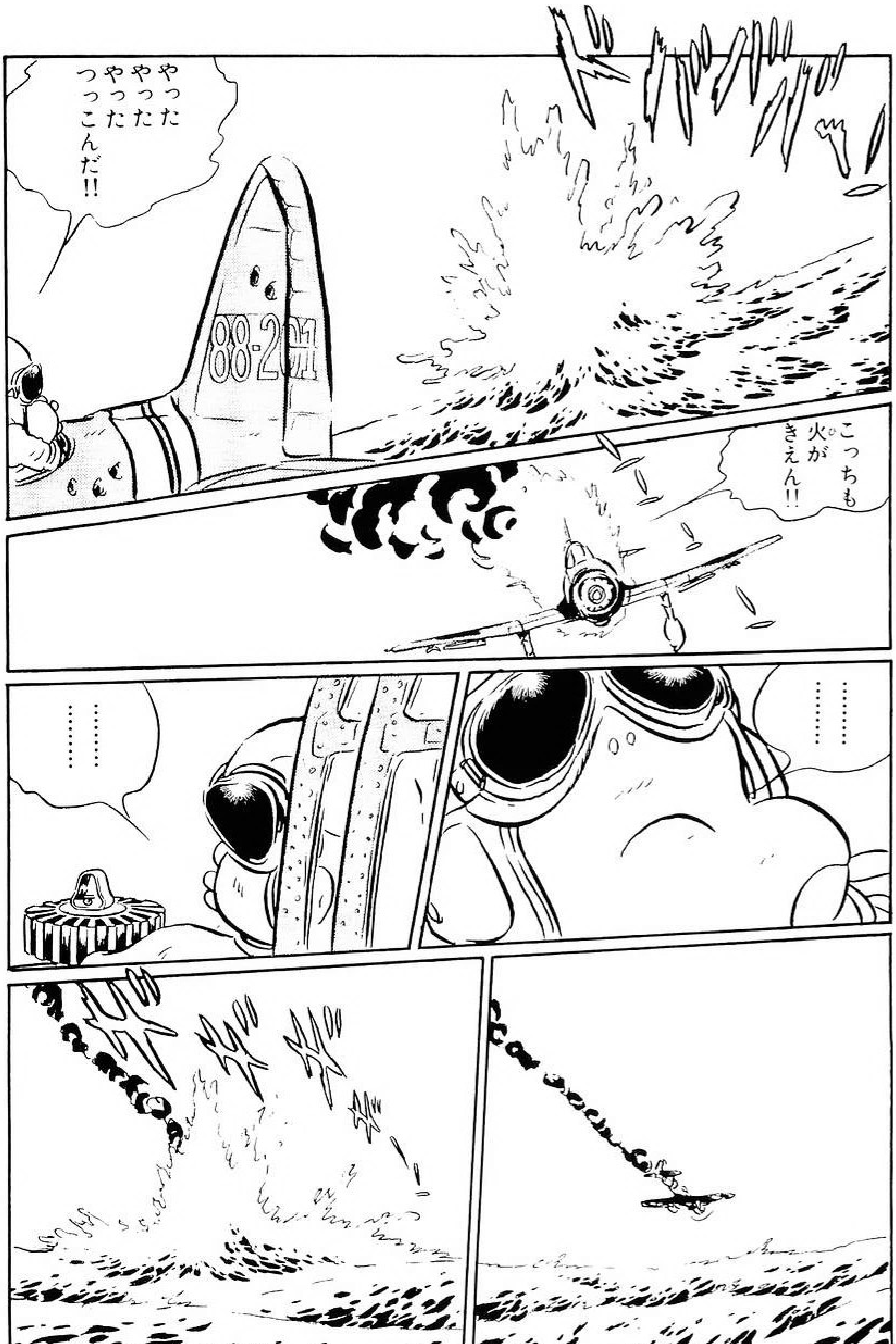
ドドドドドド
わ……
わー、もうやめよ〜
誰かきてくれ〜〜〜
戦闘機はどこや〜〜。
九九艦爆は低速の上に防弾鋼板がなく、たいていの場合、敵戦闘機の一撃で火を吹いた例が多い。
それらはガンカメラで鮮明に写されて、現在、我々もみることができる。

このあとで制式化された艦爆、流星や、紫電改戦闘機、4式戦、疾風などは、後方から撃ちまくられ、脚や風防が飛び散るほど被弾しながらも、なかなか火を吹かなかった事実が、やはり残された米軍ガンカメラフィルムによって、みることができる。
急降下で火をけすぞ!! 山本撃ちまくれ!!
ケ、ケムリでみえん。

急降下制動板を撃て!!撃ちとばせ!!


そう
うまく
あたるか
どうか。
あたった!!


OH NO!!
ダイブ・ブレーキが
飛んだ。
ひきかえせっ!
スピードがですぎ
てるぞっ。
わ!!

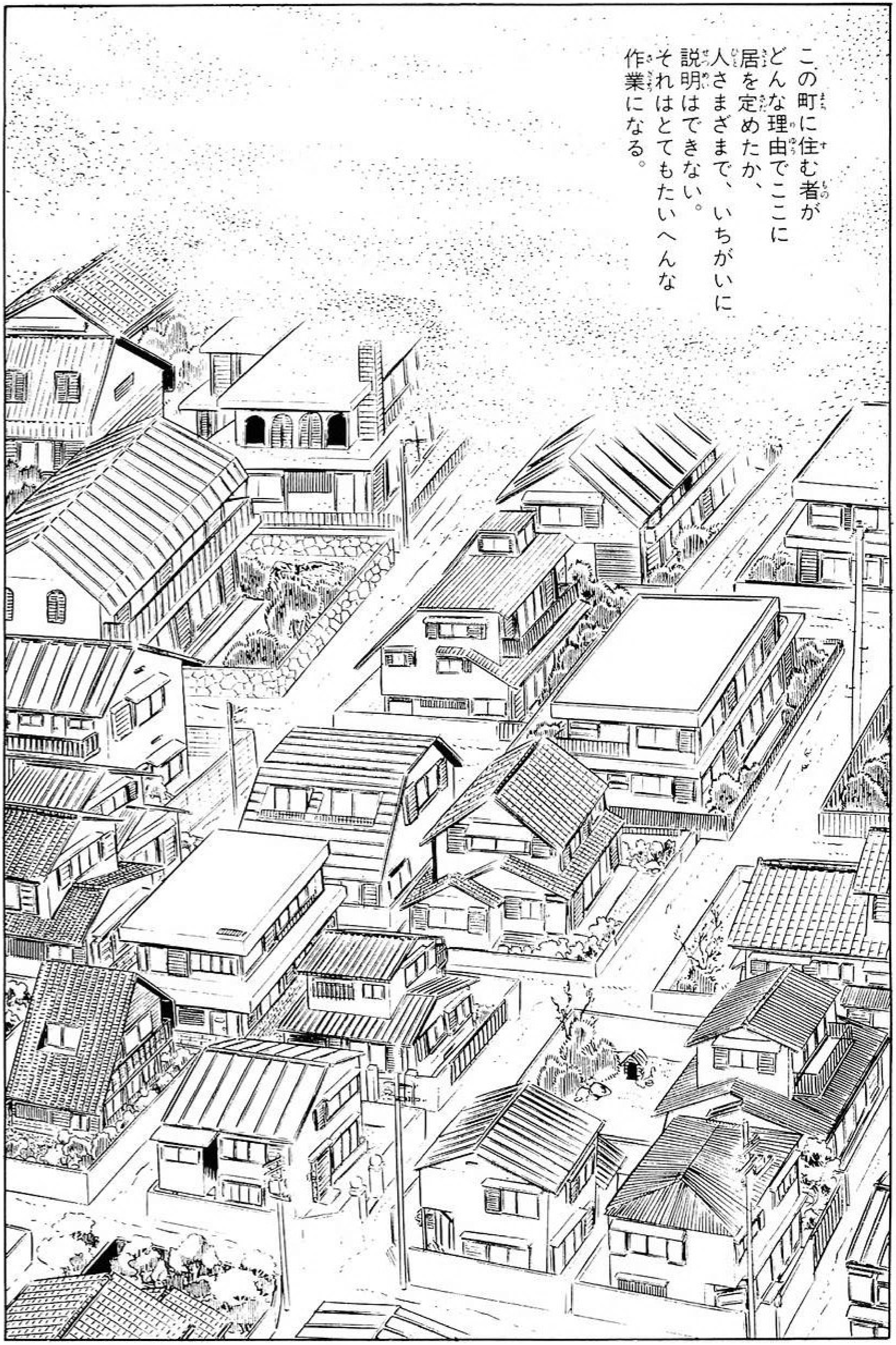

やった やった やった つっこんだ!!
こっちも火がきえん!!
……
……

そうだ、あのときの海の色は信じられないほど青かったのだ。
俺は死んだ……
俺が死んだのか世界のほうが消滅したのかわからないが…
ときの流れのないところへ俺ははいりこんでしまった…

おい!! 草井、浮上しはじめたぞ!!
ほんとだ!!
あ……
あいつが助けてくれたような気がせえへんか、草井……
え……
みえない川へ急降下していくぜ。
降下していく先は底がないみたいだ……

九九式艦上爆撃機II型
連合軍艦船の最多撃沈記録をもつ
不滅の急降下爆撃機……
ユンカースJu87スツーカの同志……
九九艦爆はいま
ふたりの乗員とともに
永久に還らない最後のダイブに
うつったのだ……

スカル


この町に住む者が
どんな理由でここに
居を定めたか、
人さまざまで、いちがいに
説明はできない。
それはとてもたいへんな
作業になる。

レッド

しかしこの町内に住む二大奇人は、とてつもなくつとに有名であった。
なぜかというと奇人だからなのである。
古人はいった、執念ほど恐るべきものはこの世に存在せんのじゃと。
復讐のために生きる男ほど、生き生きと希望に満ちあふれているようにみえる人間はないのじゃと。
これはそういう男の物語である。

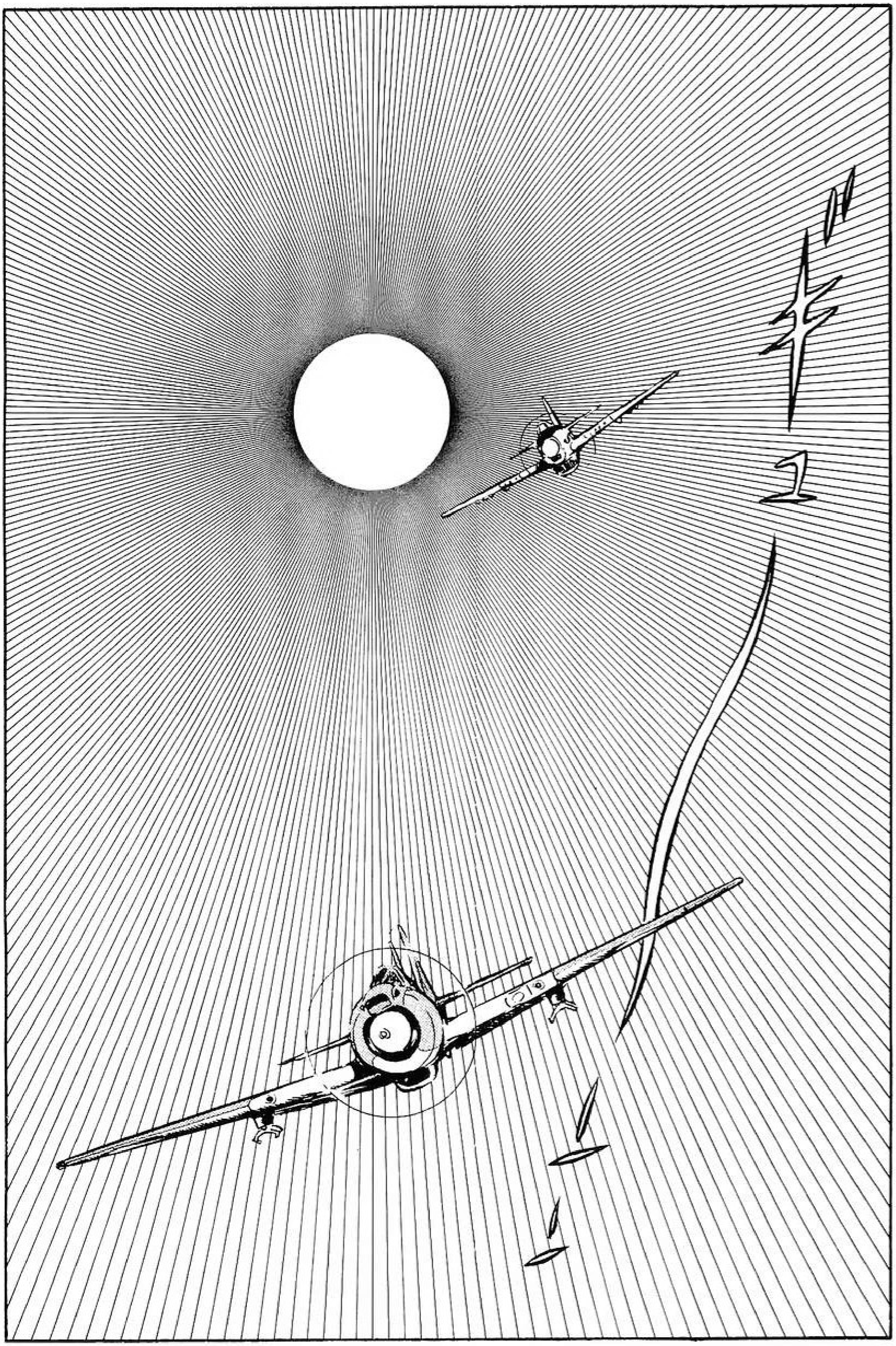
わっせ
わっせ
わっせ。
きょうは日曜日ですねー。
そうです、日曜日です。
わっせ
わっせ
わっせ。
ごせいがでますな、まったく。
でませいでか。
わっせわっせわっせ。

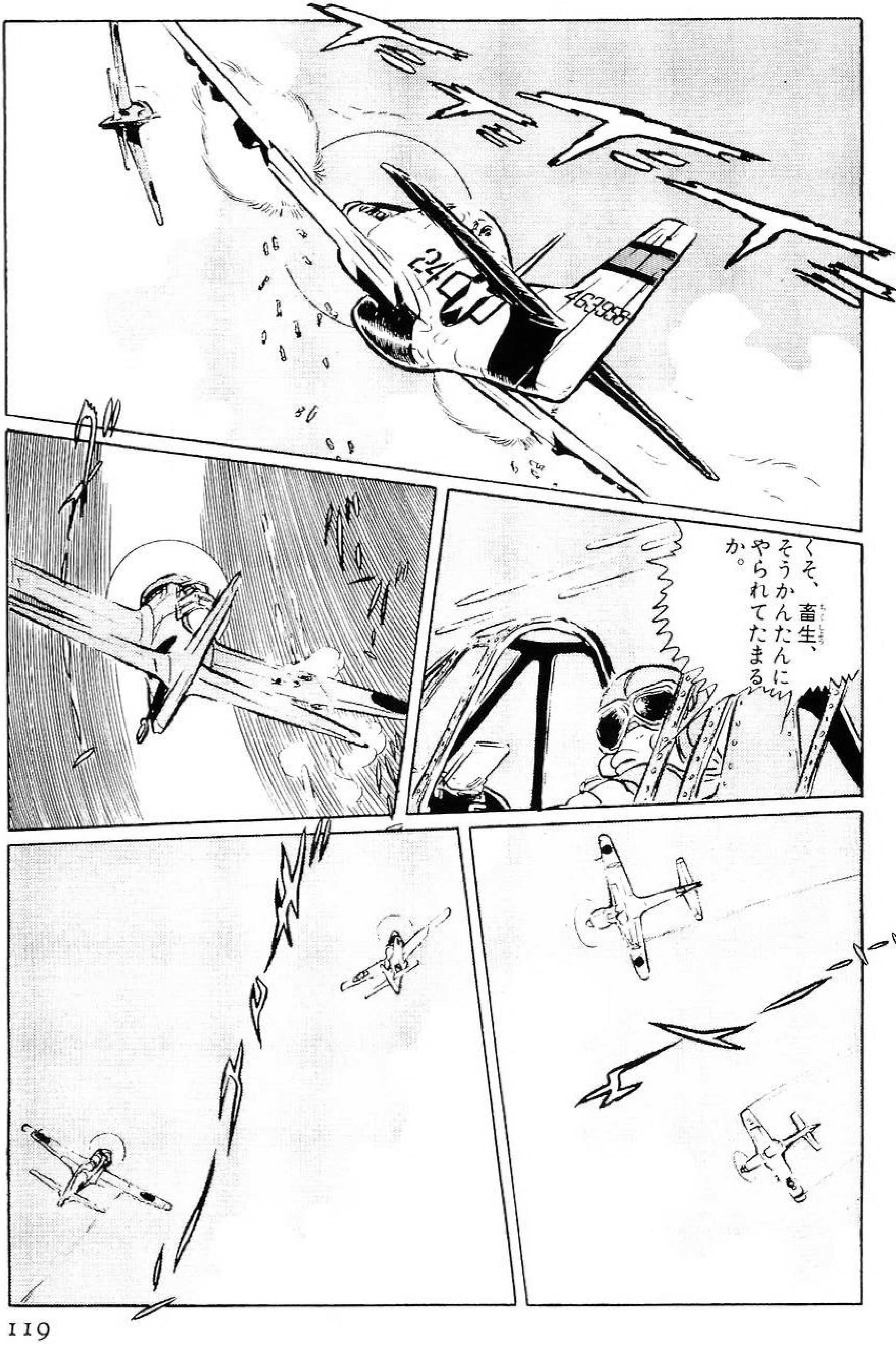
ピラミッドでもおつくりなんですか？
土マンジュウですがな。
土マンジュウならあっちでもつくっとりまっせ。
おしりあいですか？
しらんがな。
同好の士はすぐ仲よしになるもんですがのう。
そうともかぎりまへんねんど。
人は人、我は我なり、しらんへん。
そうですか。
……………
……………
………
ヤバイ。

あんた、やっぱり気になっとるんやろ？
ちゃうわい、バカ。
うちにはわかるねん。気にしてますねん。
女は男のすることに口だしするもんやないわい。
口だししたらどうするちゅうねん。
こないするねん。
いてまえ、日本女のツラ汚し――。
あほんだら、クソテーシュ。
あっちの土マンジュウ宅で夫婦ゲンカの結果亭主が散弾銃ぶっぱなしたそうだ。
ふ～ん。壁に穴がふたつあいた？ふ～ん。

あいつもがんばっとる。
ぺ～こ～ぺ～と
どこいくねん、あんた!!
偵察。
なんぼ昔偵察機にのっとったからちゅうて、なにを偵察するねん。
男女のナニの偵察なんかしよったら、家へいれたらへんで、あんた!!
あら女やあらへんねん。
わが日本はじき亡びるねん。
あわれ亡国の民よ。

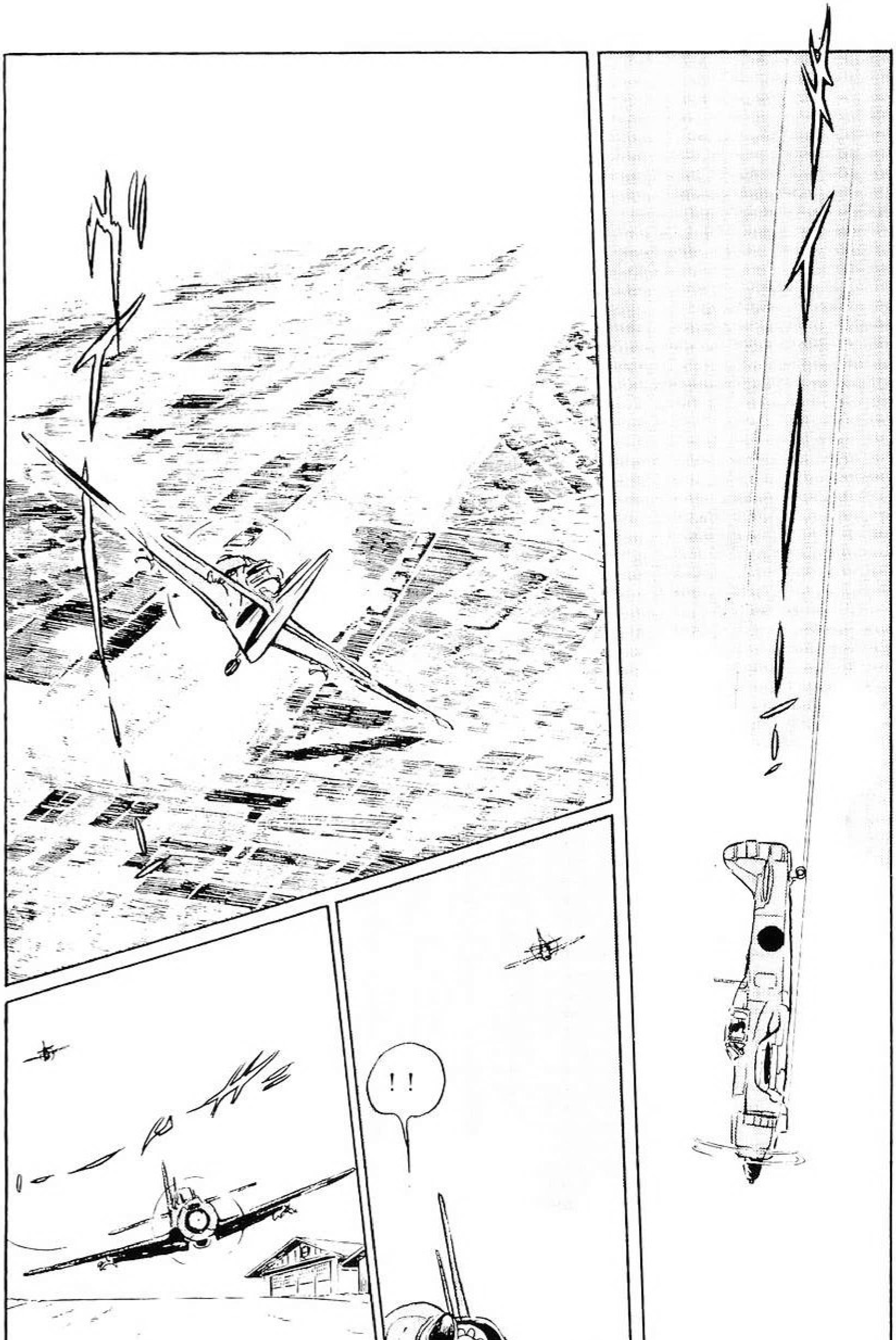
!!
ニッポン
ケイサツ
ドスケベー。
フーフゲンカニ
ワリコンデ
ミーノ
ショットガン
ウバイトッタ。
バカターレ。
ウチコロサレ
ナカッタダケ
ヨロコビ
ナサーイ。
ナニーッ。
ミーノ
フルサトノ
キャリホルニア
ダッタラ、
コンバット
マグナムデ
ズバンボンノ
グエーヤヨ。
ホワットイズ
イッタイ
ナンデコンナ
トコロニ
スムネンカ?
ユー
シャーラップ。
モウイチド
イウテミイ。
ワー
バカ
ツカマル、
カクセ
カクセ。
……外人は
あなどり
がたい。
あんときも
あなどり
がたかった
もんな──。

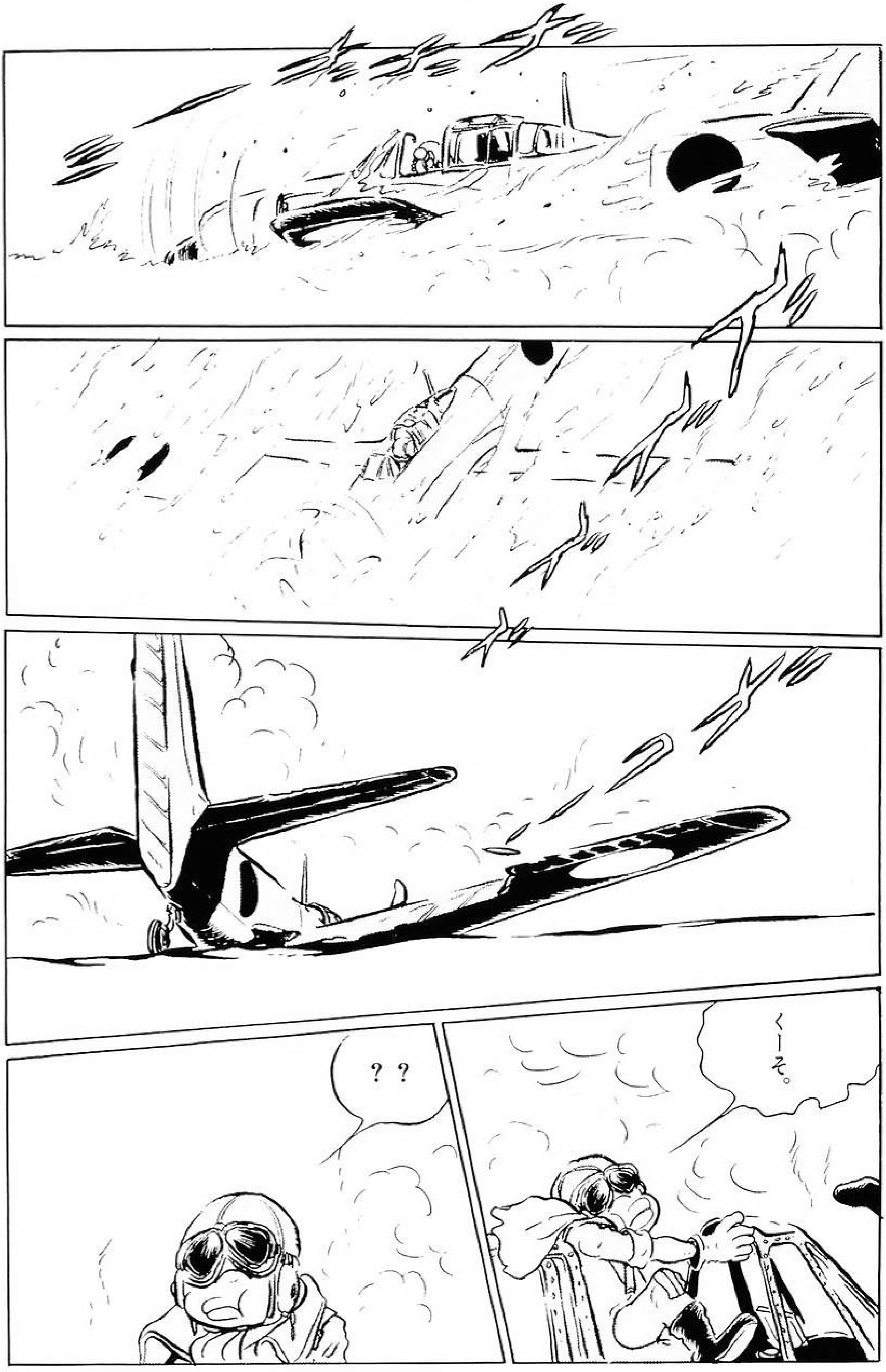

ギュー

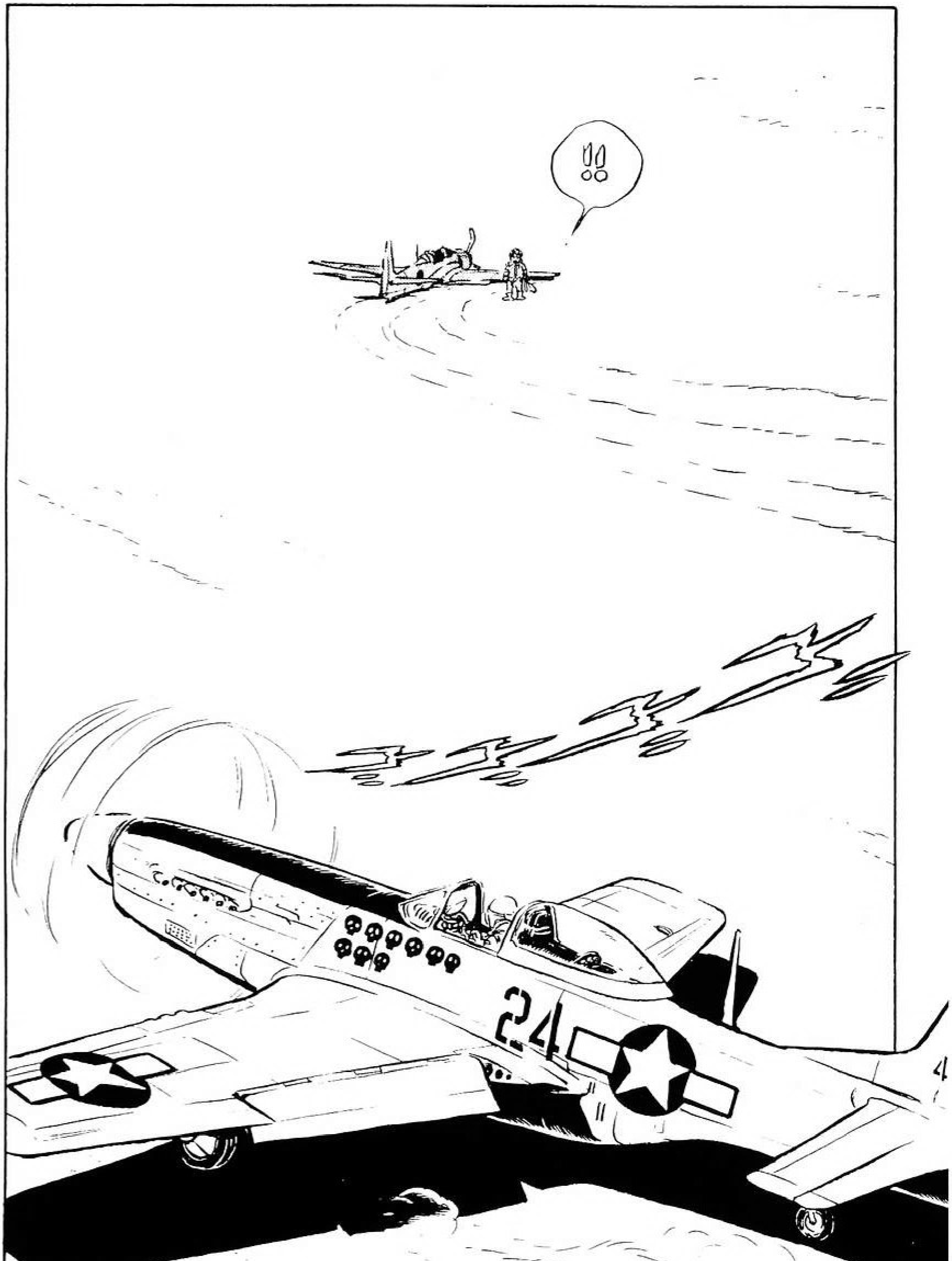

くそ、畜生、
そうかんたんに
やられてたまる
か。

みろ、てめー。
くそー機銃が故障か。
もう日本のメカニズムはムチャクチャやねん。

やっと無線がきこえるようになってきた。
おい、誰か、ワイや野崎や。
任務をすべて放棄しただちに着陸せよ。
ホーキ？
飛行団長命令である、着陸せよ。
そんなこといわれても……




くーそ。
？？

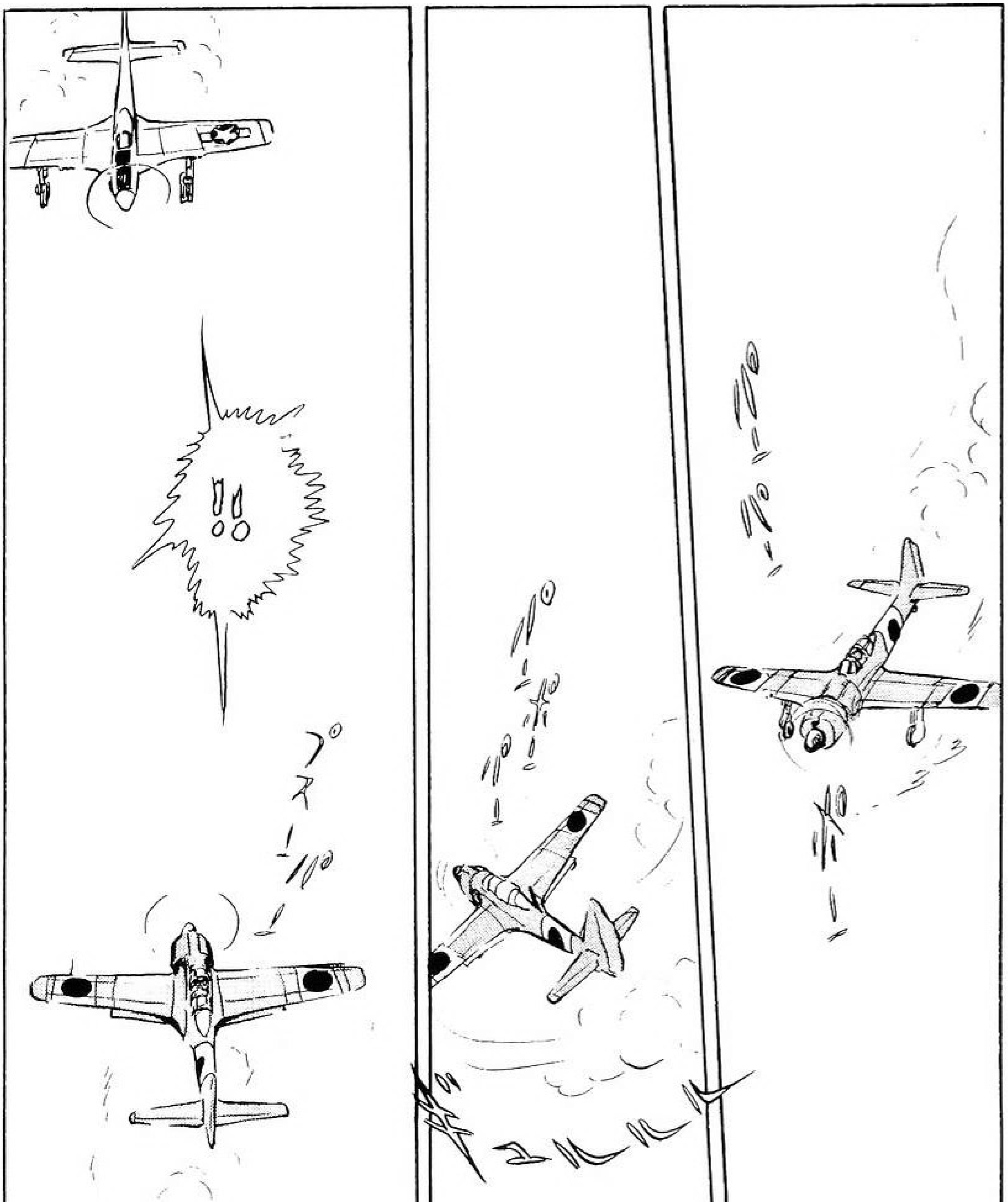


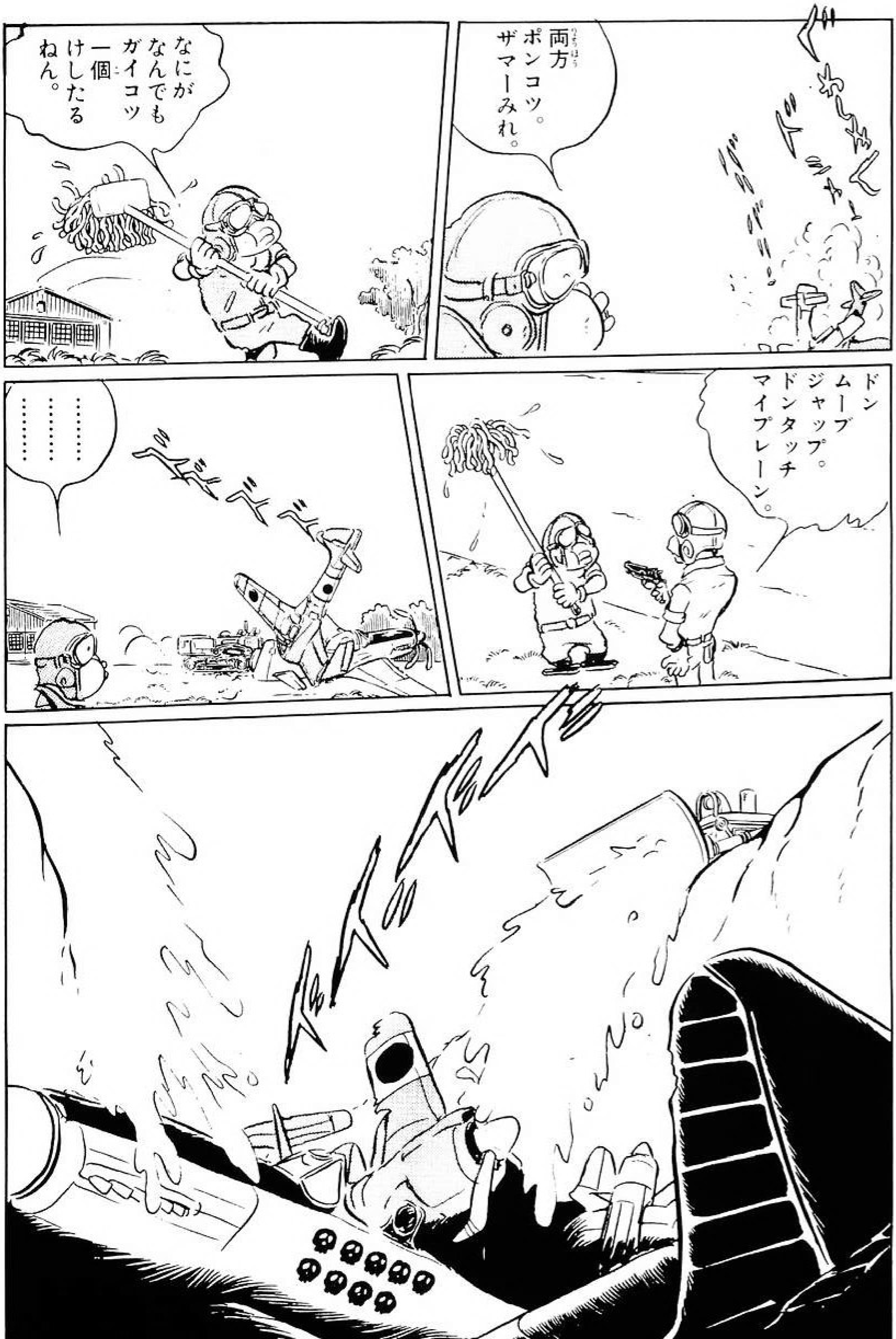
なに〜っ戦争は一週間まえにおわっとったあ?
なんで誰も教えてくれへんねん。かなわん。
すまん。
??
ハーレハレハレハレルーャ
ユー、エアプレーン、ジャストショットダウン。
アイアムエースオブUSAF。
バカコケ。撃墜されたんちゃうわい。これは自発的不時着やわい。
ノー、アイアム ア ショットダウン。
あいつも年とったな〜〜〜。
ハゲガイタマシイネー——。
クソ、アノイジッパリメ。
ミーハガンバルド。
ナニヲガンバルネン。ミーニハワカリマセーン。

ドスコイドスコイ。

アイツモゴウジョウダッタモンネー。
いややや!!
ワイは絶対にいややや!!
あいつらの空母にこれを運ぶのは絶対いややや!!
ハコビナサーイ。
ノー!!
運ばんこともない。
オーユーグッドボーイ。
ガイコツひとつけせ。
ナニ?
赤いガイコツひとつけせ。あとのはホラでもウソでも勝手にかいとれ。しかし、ワイを撃墜したちゅう最後の赤い骸骨はけせ!!
ヤカンシー、ジャップ。

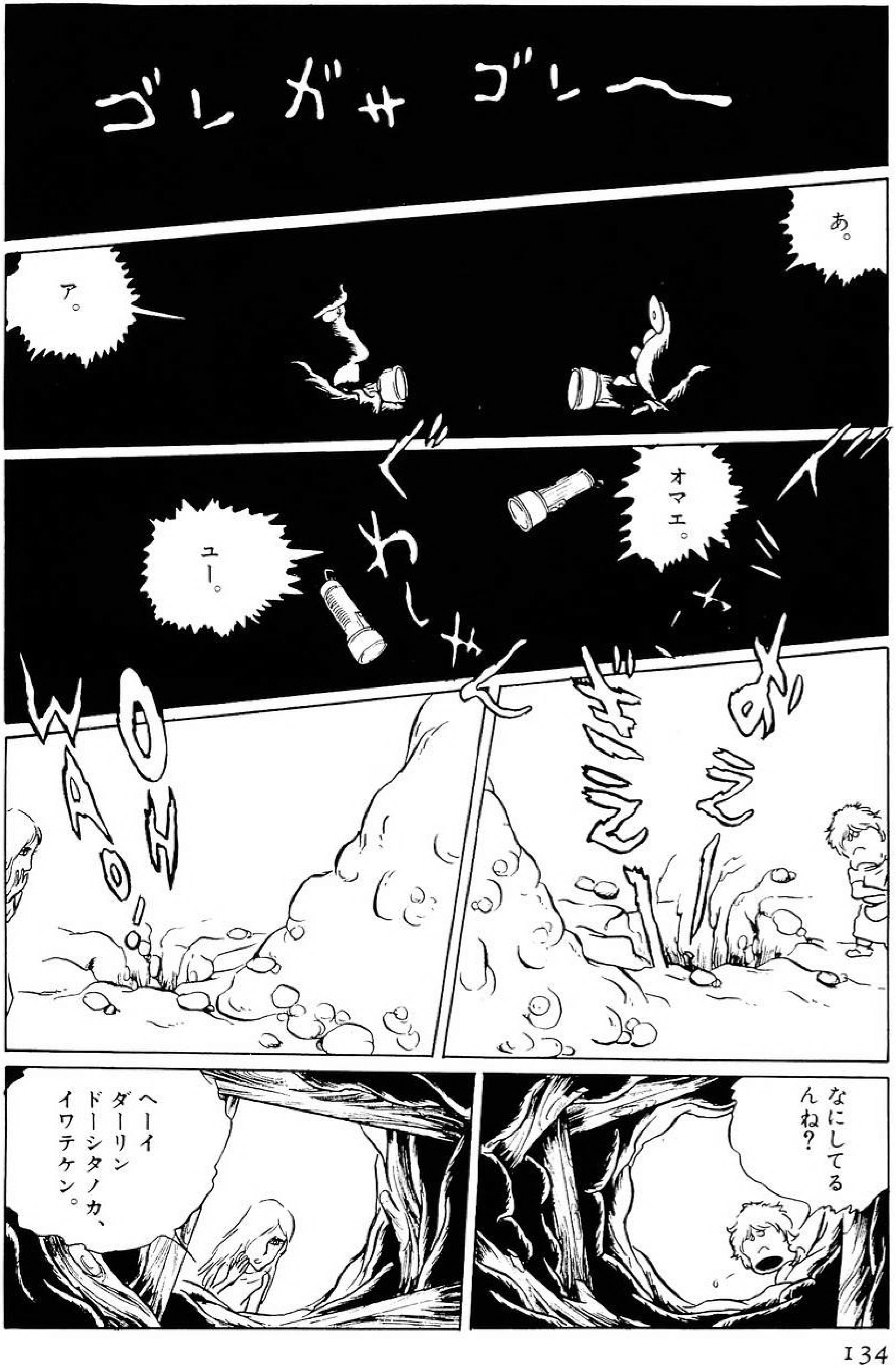
ほうか
ほうか
ダレが。
タノマン。
ユー、
ハコベ。
お、
俺が
……
俺は
まだ新米で、
ひとりで
飛んだのは
ただの一回。
OK!!
グッドゴー
フライト。
ミーガ
エスコート
スル。
終戦以来
整備もせずに
ほったらかしの
飛行機が、まともに
飛ぶかや。


!!
プスー!!

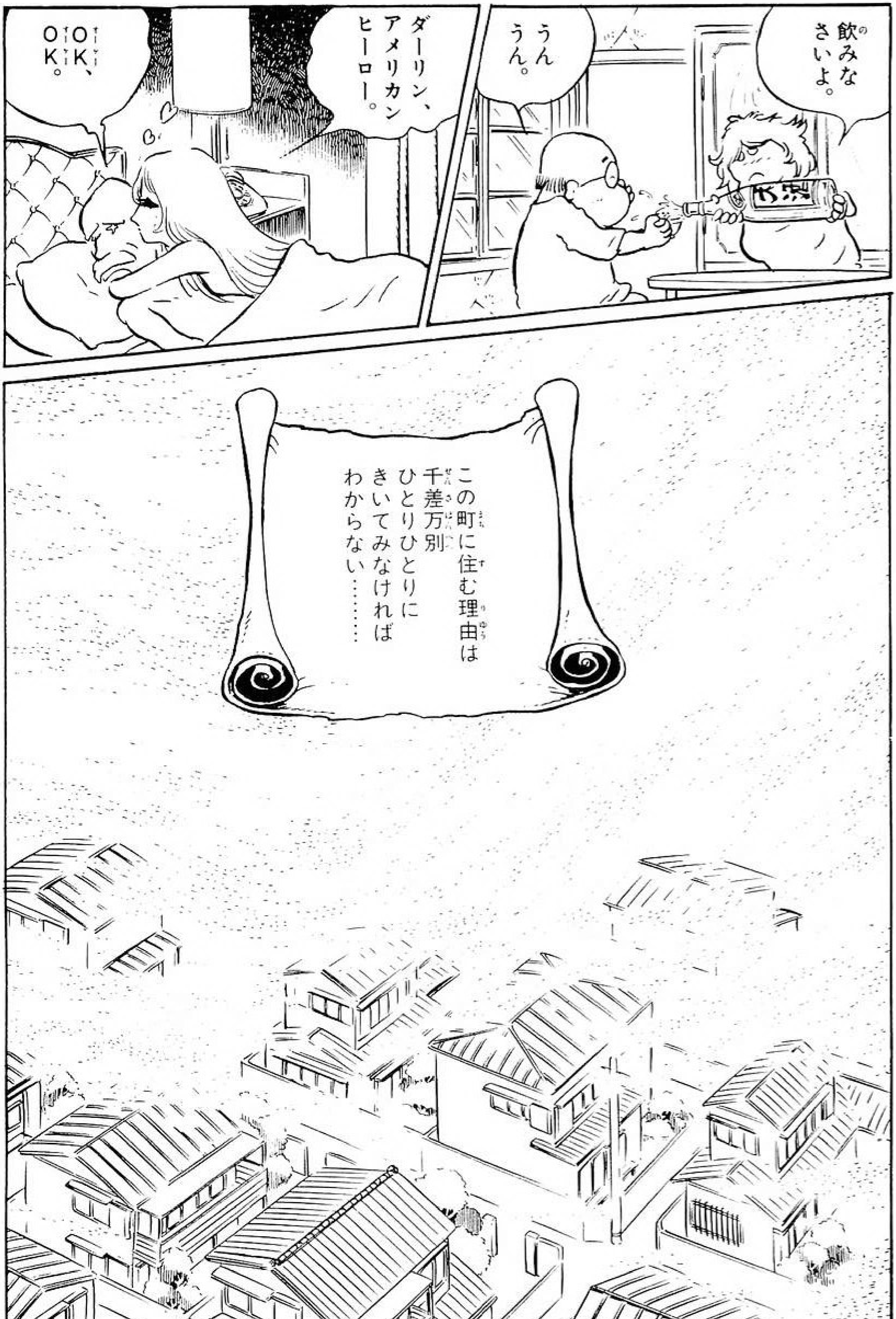

両方ポンコツ。ザマーみれ。
なにがなんでもガイコツ一個けしたるねん。
ドンムーブジャップ。ドンタッチマイプレーン。
…………

ここは日本……いずれわが恥はそそぐ……
バカバカシイ、もうペンキのガイコツなんてきえてるさ。
アイツニサキヲコサレテナルカ。
ここは日本、かならずほりあてる。
オオムネココラアタリ……
ここらあたり……

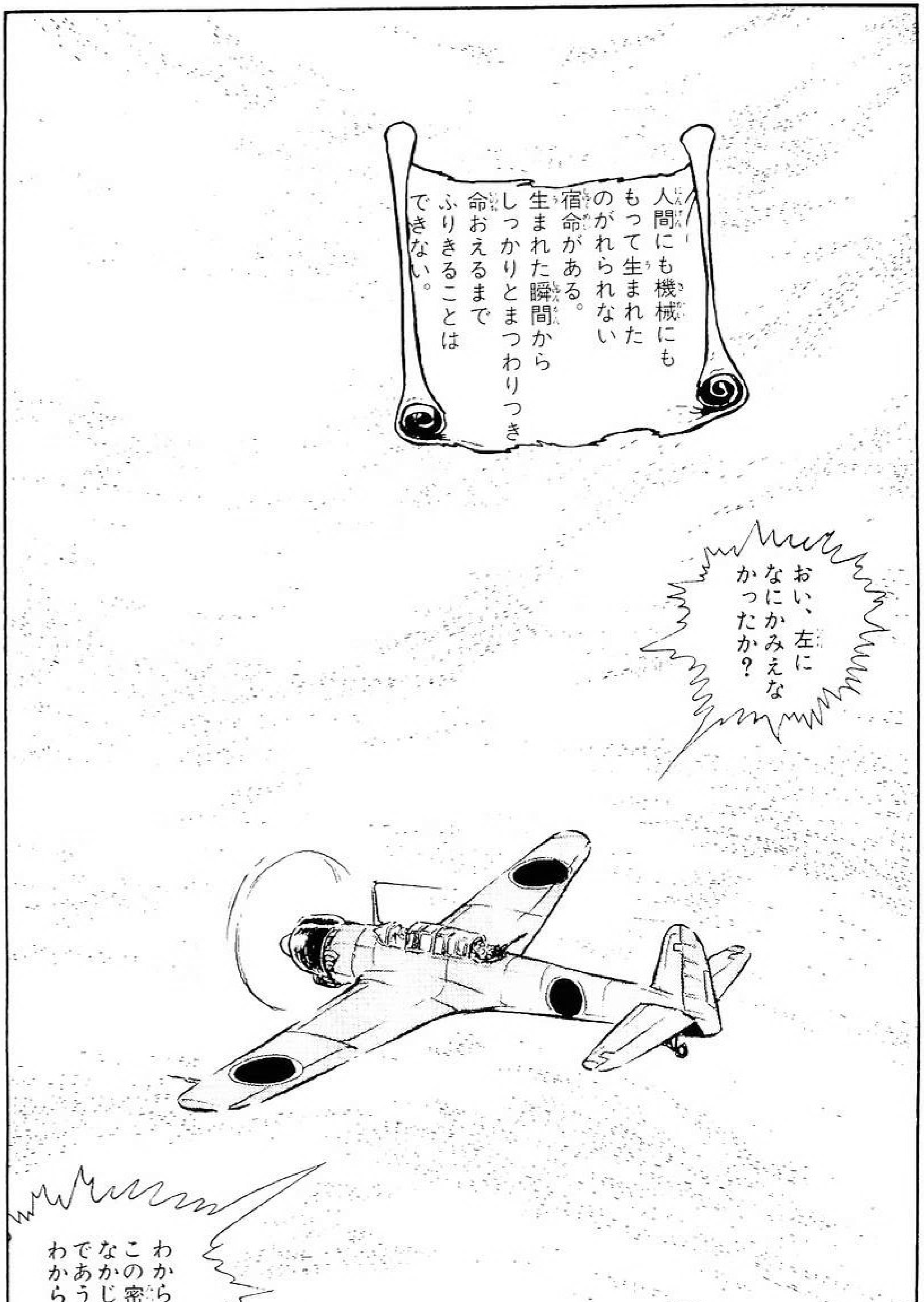
あった!!
オー
マイプレ
ーン!!
P―51D、
……まちがい
ない……
オー、
オー、
オー。
よし、
外板
ひっぺ
がして。
ミーノ
ウォー
モニュ
メント。
レッド
スカルヲ
カイシュウ
セネバ。


ゴレガサゴレー
あ。
ア。
オマエ。
ユー。
WOOH!
なにしてるんね?
ヘーイ
ダーリン
ドーシタノカ、
イワテケン。

あったねん。
!!
コレダ。
オーマイダーリン。
こいつをなにがなんでもヌリツブして。
コレデシンジルカ、オレガエースダッタトイウコトヲ?
イツモハナシテクレタトオリ……
ほんとにあったんやねー。
土に埋まったジュラルミンは、深いところにあればあんまり腐しょくにあわん。
ここが飛行場のあとだなんてね〜。
わいの青春の埋まっとるところやねん!!

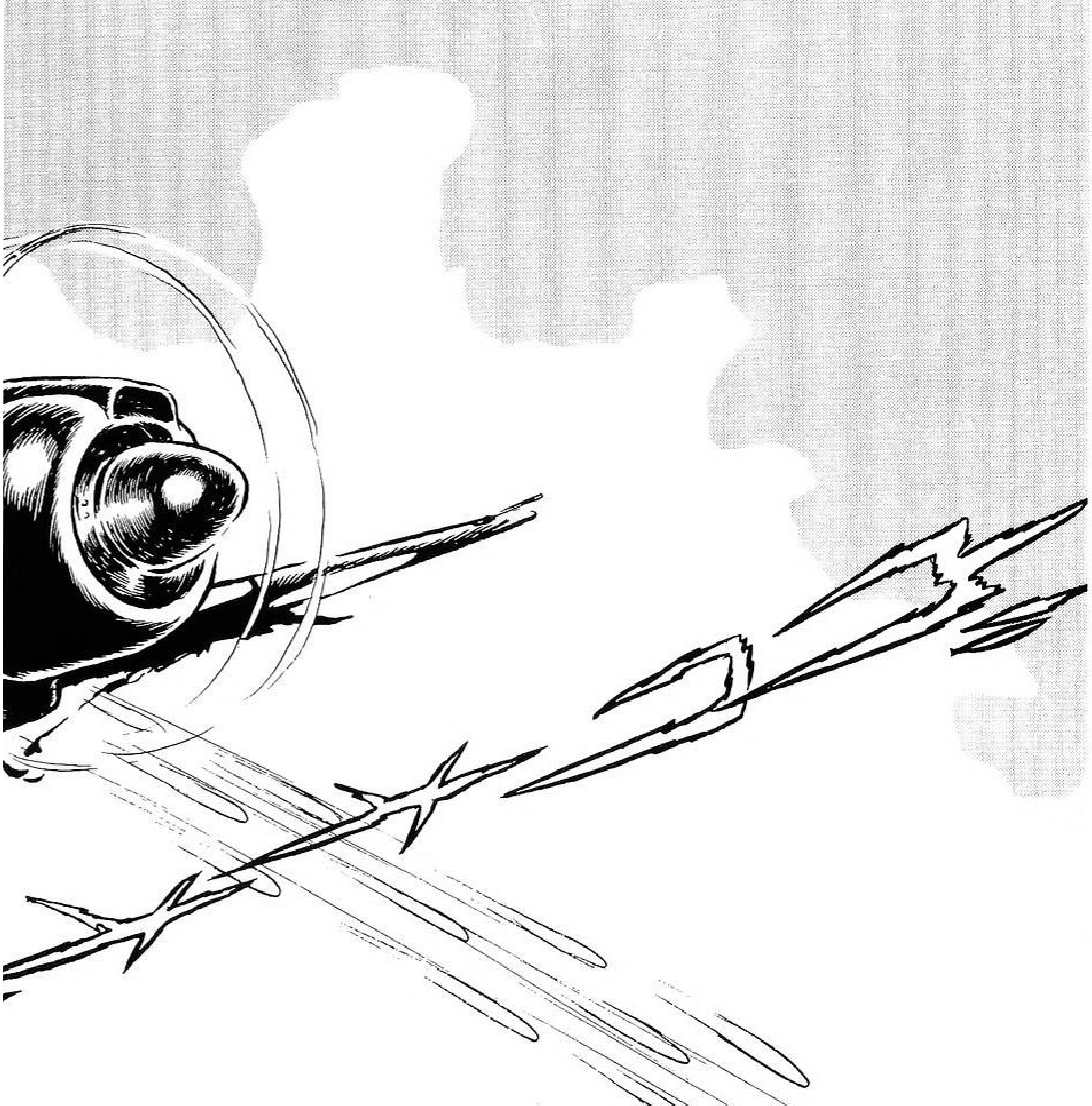


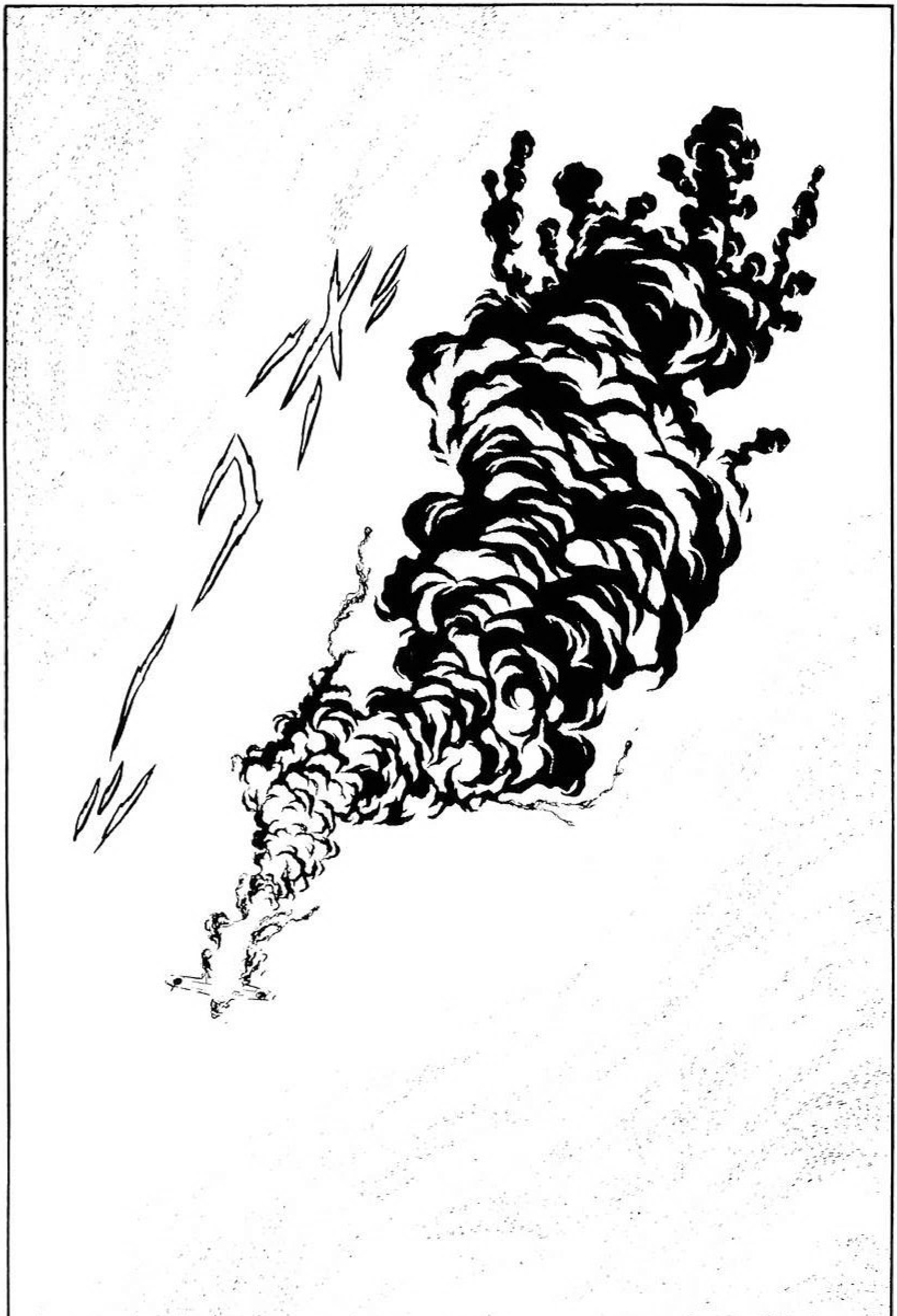
「レッドスカル」掲載・ビッグコミックオリジナル昭和53年7月5日号

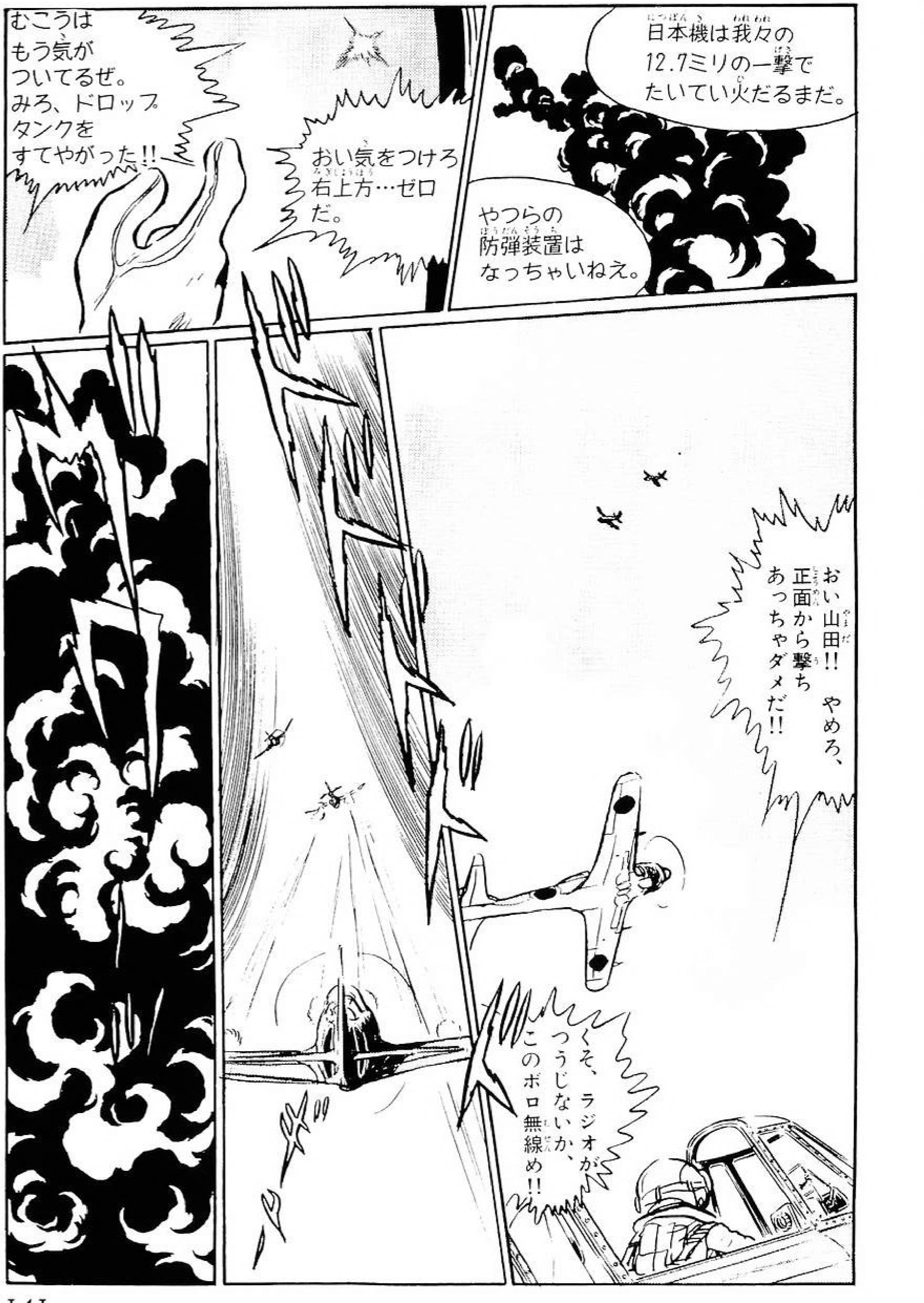

人間にも機械にも
もって生まれた
のがれられない
宿命がある。
生まれた瞬間から
しっかりとまつわりつき
命おえるまで
ふりきることは
できない。
おい、左に
なにかみえな
かったか？
わからん!!
この密雲の
なかじゃ。
であうまで
わからん!!

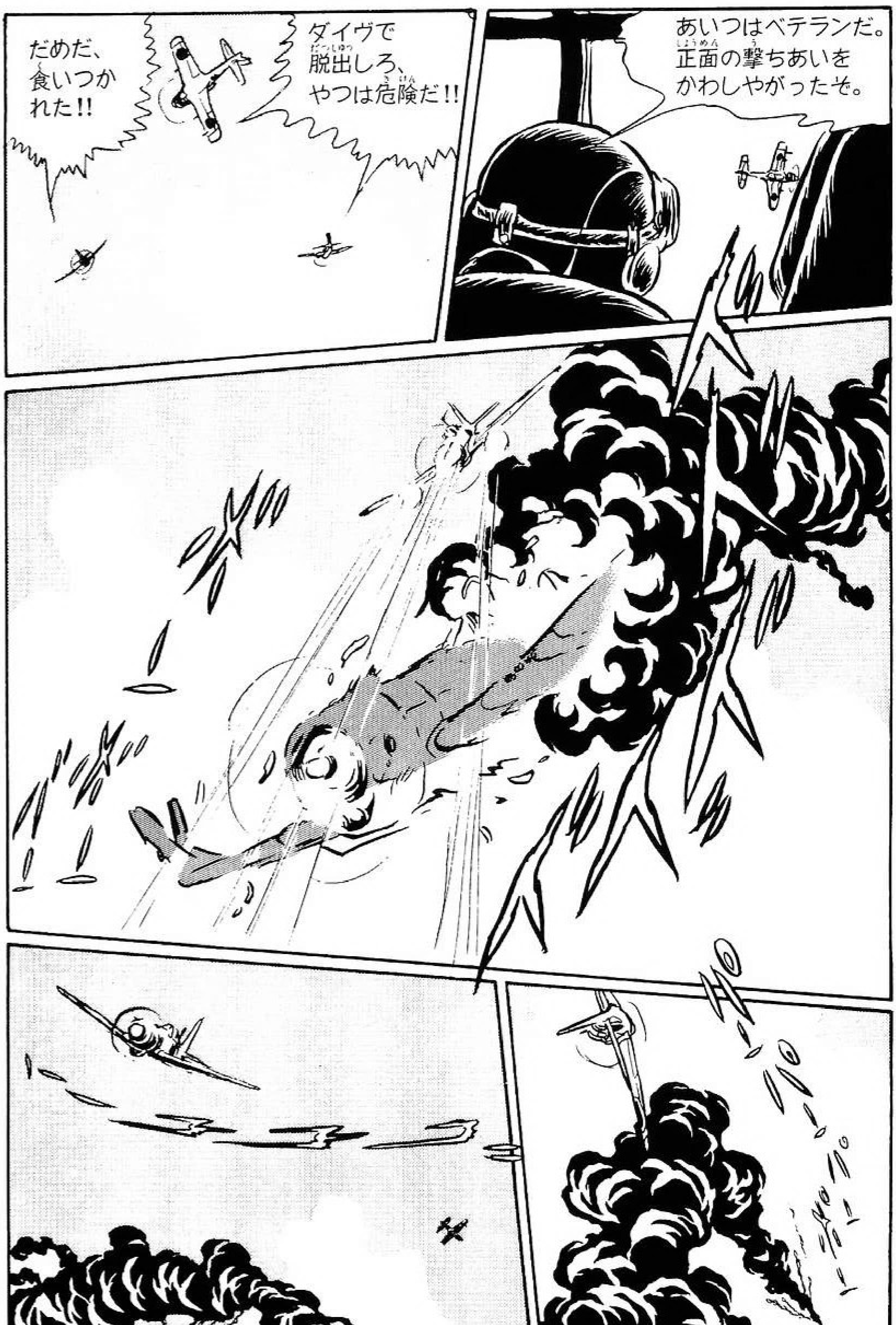
ていしんだん
挺身弾

道(どう)12.7




ズウーン

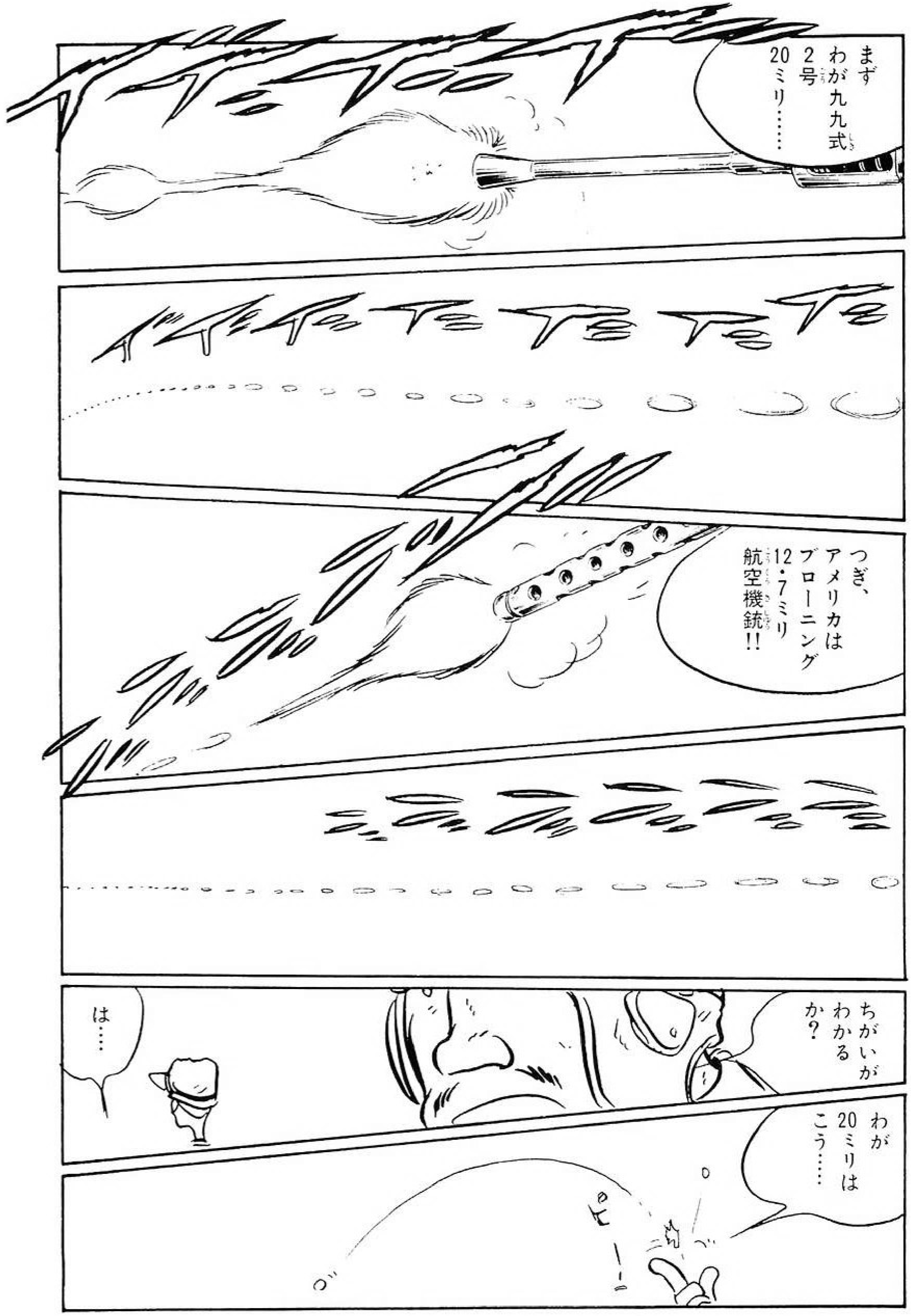

日本機は我々の
12.7ミリの一撃で
たいてい火だるまだ。
やつらの
防弾装置は
なっちゃいねえ。
むこうは
もう気が
ついてるぜ。
みろ、ドロップ
タンクを
すてやがった!!
おい気をつけろ
右上方…ゼロ
だ。
おい山田!! やめろ、
正面から撃ち
あっちゃダメだ!!
くそ、ラジオが
つうじないか、
このボロ無線め!!


あいつはベテランだ。正面の撃ちあいをかわしやがったぞ。
ダイヴで脱出しろ、やつは危険だ!!
だめだ、食いつかれた!!

ドドドドド

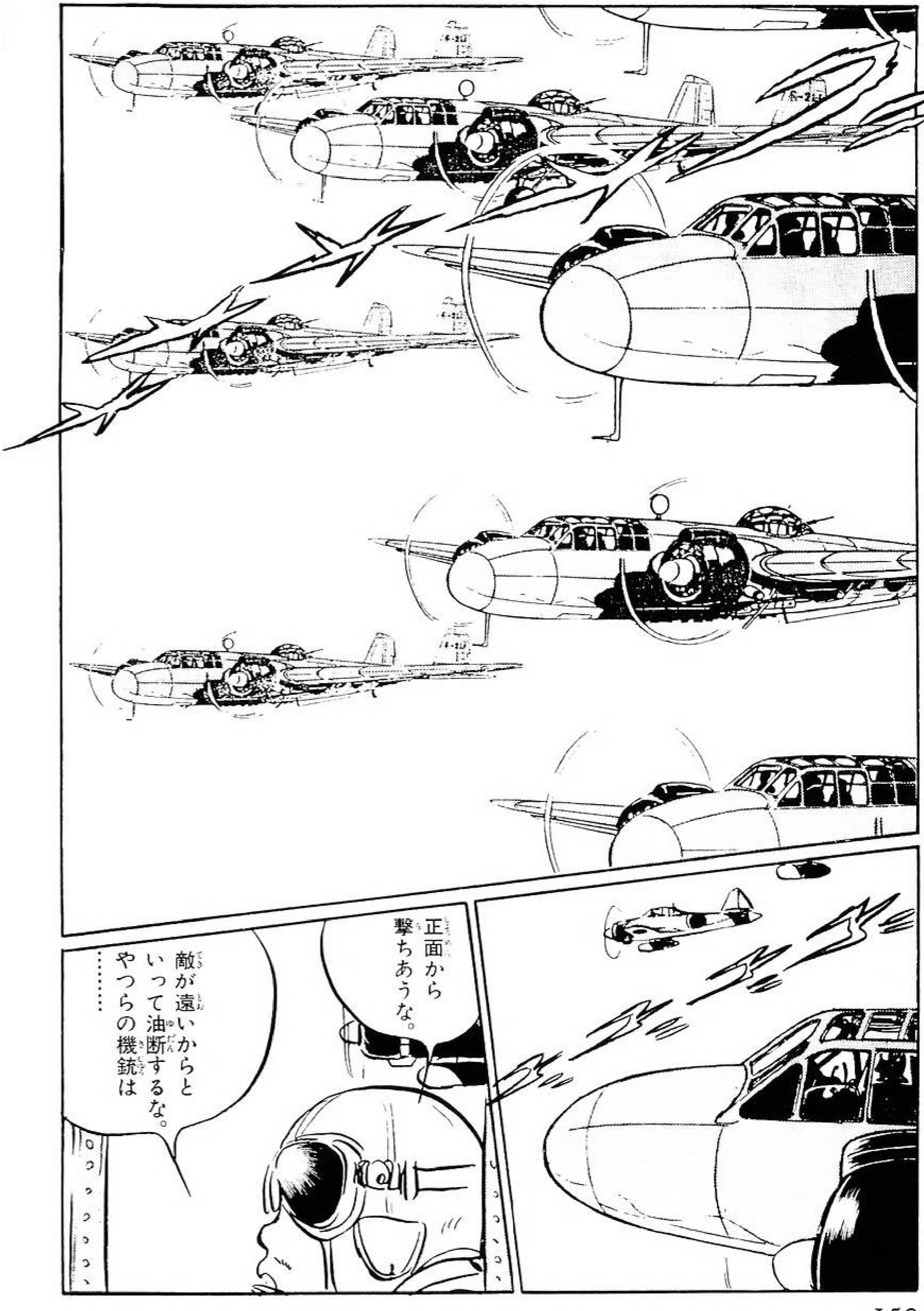
自分の基地の上空で敵があばれるとはな……
世も末だ。
世井中尉だ。
あいつは絶対死なん。たとえわが軍が全滅しても絶対に死なん。
ミッドウェー海戦のとき、わが空母が全滅しても、燃料のつづくかぎり最後まで艦隊上空を飛びつづけて敵とわたりあった男だ。
歴戦の勇士やな。
まったくだ……

どこへおちた?
グラマンはあそこ。ゼロ戦は海のなか。
拾いにいったか?
うん。
弾も二、三百発残ってたぞ。
機銃はみんな無傷だ。
ブローニング12・7ミリか……
米軍全部に共通してつかわれている重機関銃だ。
そこへいくと大日本帝国陸軍はどうかしてるよなあ。
7.7ミリでも13ミリでも20ミリでも、陸軍と海軍では規格がちがって同じ弾もつかってねえ。
モノのありあまってる米軍が機銃の口径を統一して同じ弾をつかえるようにしているのに。
わが国が、マチマチにして多種多様な口径の弾薬をつかっている。
な〜〜〜んにもない
試射できるのか?
このままぶんどったのが射てます。

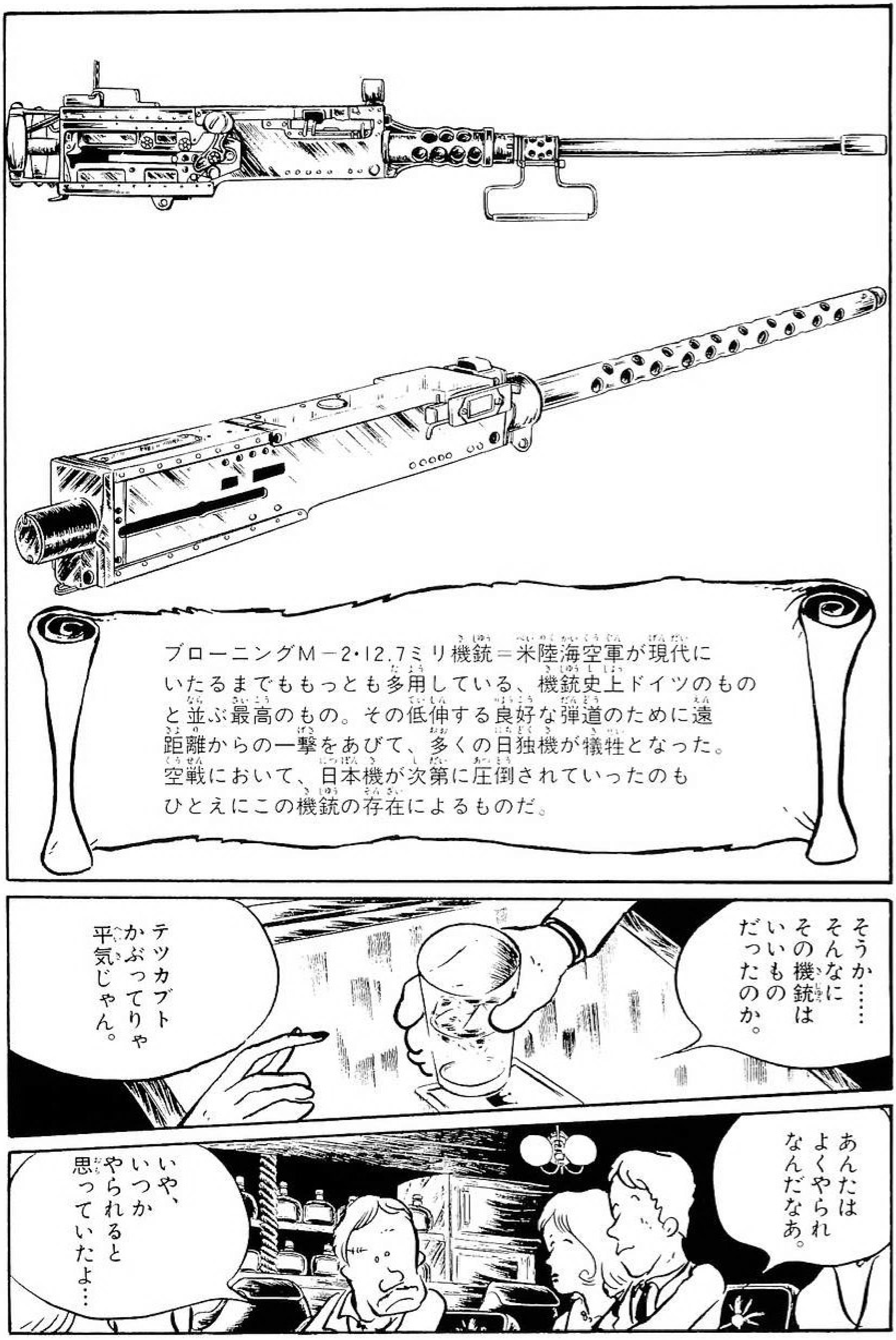

まずわが九九式2号20ミリ……
つぎ、アメリカはブローニング12・7ミリ航空機銃!!
ちがいがわかるか?
は……
わが20ミリはこう……
ピュー!!

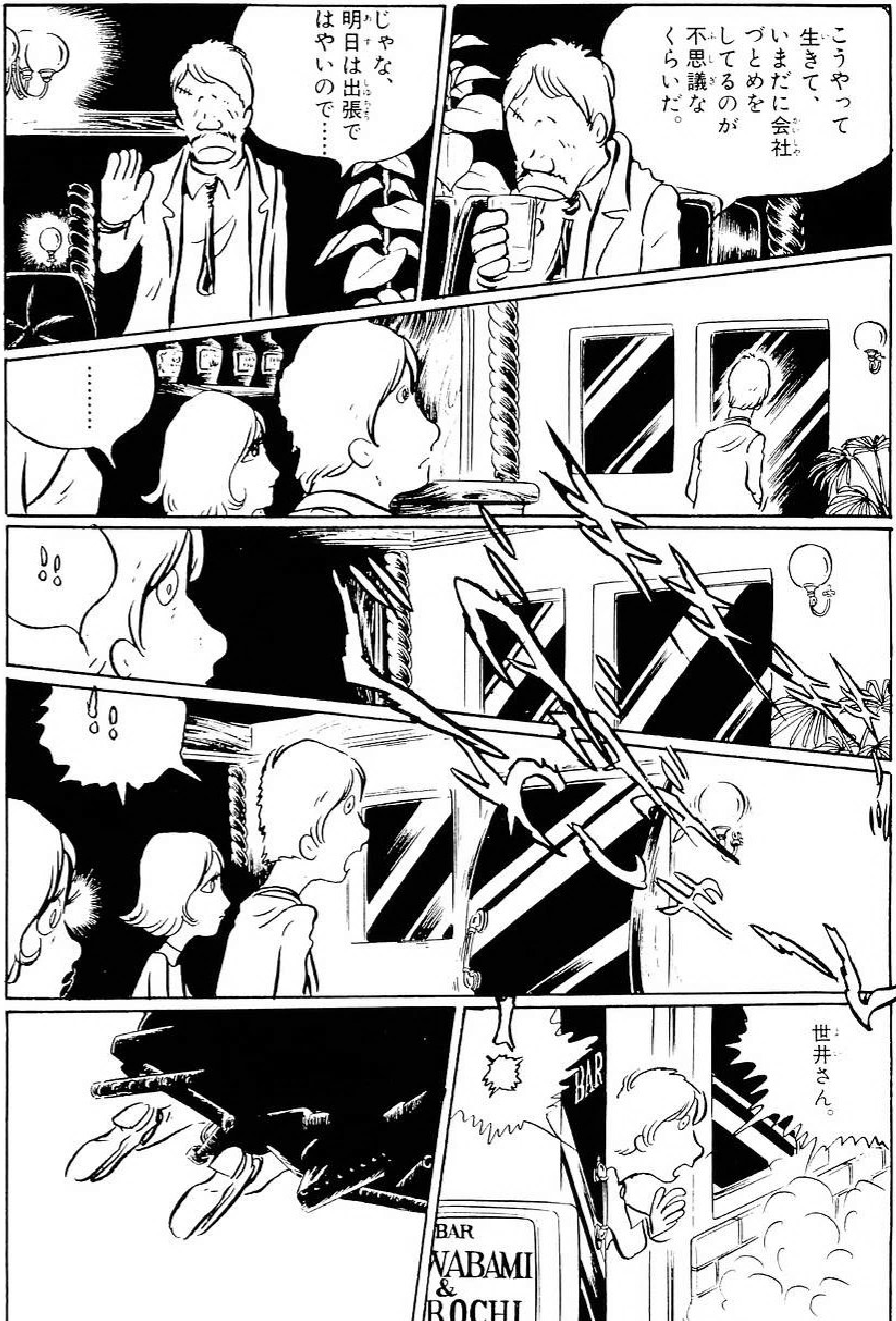
ブローニングはこう……
一発あたりゃ、そりゃな20ミリの威力は世にもものすごくてな。
大穴があくし、機体なんかバラバラになりかねん……
ただあてるのがたいへんなんだよな〜〜〜。
熟練した者ならやれるが…
新米じゃ弾がとどくところまで近よることもできん。
こっちの弾はとどかずともあっちの弾は正確にとどいてくる…
しかも、装備機銃の数が多いので文字どおり弾幕そのもの……
……
なんだあいつらは……

明朝出撃する陸攻の搭乗員で………
悪いものをみせたな…
生きながらみんな幽霊のようにみえる……
この機銃の威力はずっとまえからわかっていた事なのに………
渡洋爆撃で96陸攻が中国本土へ飛んだときにも…
こいつを装備した中国空軍のアメリカ製戦闘機に相当の中攻がやられた…
この機銃は日本機にとっては厄病神だ。
いや死神かもしれん………


正面から撃ちあうな。
敵が遠いからといって油断するな。やつらの機銃は……

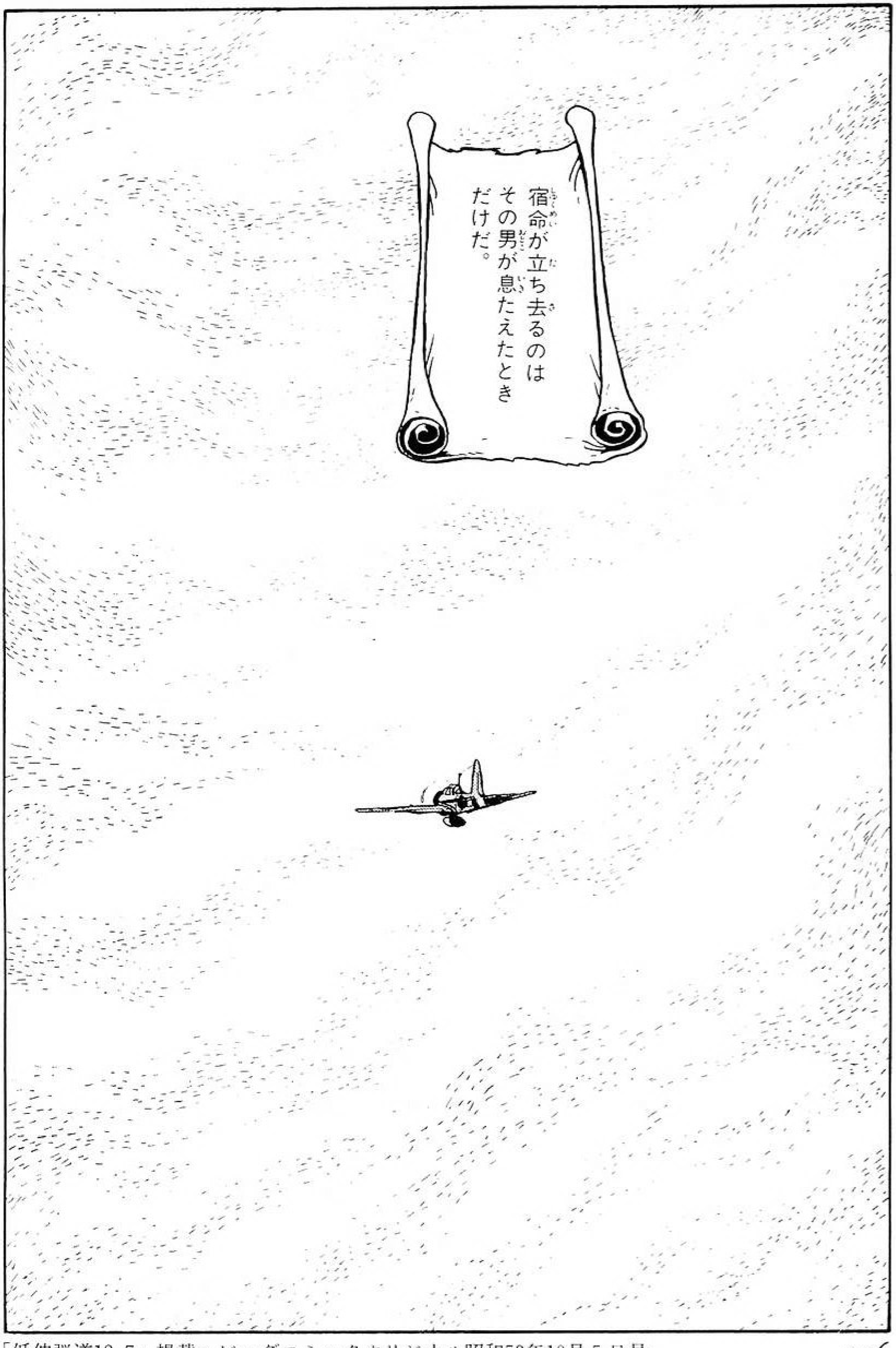
!!
だめだ…みんな12・7ミリの一撃で火を吹く……
ブローニングの12・7ミリで……
俺たちが負けるのは飛行機の性能じゃない……パイロットの腕だけでもない。
空母の数だけでも、ドジな作戦のせいだけでもない。
あの12・7ミリのせいだ……
といっても誰も信じてはくれないなあ。


ブローニングM－2・12.7ミリ機銃＝米陸海空軍が現代にいたるまでももっとも多用している、機銃史上ドイツのものと並ぶ最高のもの。その低伸する良好な弾道のために遠距離からの一撃をあびて、多くの日独機が犠牲となった。空戦において、日本機が次第に圧倒されていったのもひとえにこの機銃の存在によるものだ。
そうか……そんなにその機銃はいいものだったのか。
テツカブトかぶってりゃ平気じゃん。
あんたはよくやられなんだなあ。
いや、いつかやられると思っていたよ…。


こうやって生きて、いまだに会社づとめをしてるのが不思議なくらいだ。
じゃな、明日は出張ではやいので……
……
!!
!!
世井さん。

米軍がスクラップ業者に払いさげた廃品の機銃を撃てないようにぶったぎったもので……
機関銃のブッ切り……
こいつだよ。こいつがその12・7ミリだよ。
いいんだよ、俺はもともとこいつにやられて死ぬべきだったんだ。
死に場所をまちがえると人間みじめなもんだよな。
俺のみじめな生活は、なくてもいいようなものだったのさ。
いまこいつがおむかえにきてくれたのさ。
そんなことはない、そんなことはない。生きてかえったから子供もできたし、おもしろいこともあったじゃないか!!

パイロットの生きがいは空さ……
飛べないパイロットなんて死んだ鳥と同じだよ。
ふふ…
ブローニング12・7ミリか……こんなところでめぐりあうとはなあ。
自衛隊だってつかってるんですよこの機銃は…


宿命が立ち去るのは
その男が息たえたとき
だけだ。

人はあとになって
あることに気がつき
慄然たる恐怖に
おそわれることがある。
考えまいとしても
ふり払えない恐怖に
おそわれることがある。
右だ…右の大きな木のわきだ。
……ジャップのヘルメットが
みえるぞ。

吸血鬼(きゅうけつき)の

花束（はなたば）

やばかったなあ。
なんかイヤな予感がしたんだ。
島田と大井が死んだぜ。
ハチの巣か……………
敵は?
さあ三人ころがってるけどあとは崖下へころげおちたらしい。
擲弾筒の弾を手榴弾がわりに投げつけられるとは思わんかったからなあ。

擲弾筒はどうしますか中隊長。
フテレフテレ、弾がなければただの筒だ。
俺たちゃもっと重いモノを運ばなならんのじゃど。
ここは作戦上はなんの意味もないジャングルだろ。前線は、あーっちゃのほうや。
なのに、なんで俺たちゃまちぶせをくうんだ?
これで三回目だよ。
もう十回もこうやってモノ運びにジャングルへわけいってるからなあ。
よほど重要な任務をおびとると敵に思われとるらしいな。
迷惑なこっちゃ。
たかがエンジン一個や二個拾ったのに、いちいち敵に目をつけられてたらかなわんなあ。
エンジンは敵性語である、発動機といえ発動機と……

ジャングルは密林、パンツはサルマタ。
ブラジャーは乳バンドだわかるか?
バンドも敵性語であります。
チチバンドではまずいか。されればチチオビかのう。
どうした山越。
ハッ、長いあいだそのようなものみたこともありまへんので鼻血がでました。
あいつは血をだして死んだ。
鼻血では人は死なん。
……………
あったあれだ!!

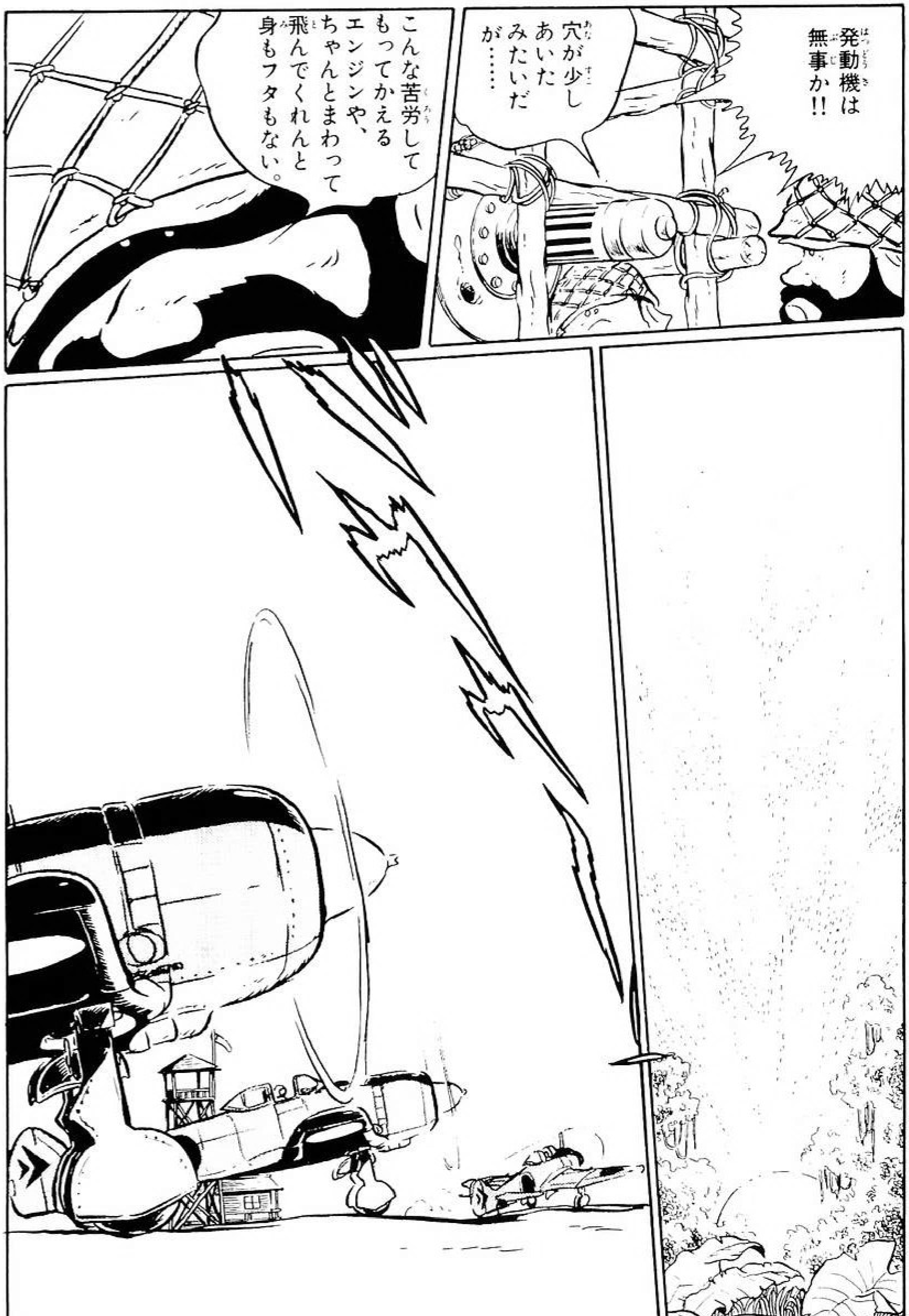
搭乗者はどうした?
機体がたいした傷みかたはしとらんのだからどこかに……

いたか……
むごいなあ。
座ったまま死んだんだから俺たちよりはましだ。
遺品をもったらさあ分解して運ぶぞ。
これをこれから………
あそこまで運ぶのかと思うと気が遠くなるなあ。

わが軍にはスペアのエンジン……いや交換用の発動機がないのだ。
やむをえませんなあ。
五キロ先のトラックまでだ。がまんせえ。
トラックは貨物自動車、五キロちゅうのはなん里ぐらいかなあ。
これで拾ったエンジンは十一個目やなあ山越。
戦争にきたつもりがクズ拾いにきたのかなあ。みてくれ、手がマメだらけだ。
物井中隊長にオレに大井に島田に大友に熊田に川上に藤本に相沢に横溝に山本に神崎に油科がいたのに、
とうとうきょう、大井と島田がやられてしもうた。
あいつらもかわいそうだけどエンジンもいちだんと重いで。
くそ〜〜〜、もうへたばって目もみえん。
バカ、日がくれたんだよ。

トラックだ トラックだ。
おーい。
!?
なんだこのトラックは？
!!
気をつけろ！

やろ!
ピュル
大丈夫か?
熊田がやられた!!


発動機は無事か!!
穴が少しあいたみたいだが……
こんな苦労してもってかえるエンジンや、ちゃんとまわって飛んでくれんと身もフタもない。

飛んだみたいやど。
一機ふえたわけや。
一機ふえたってさびしい編隊や。
飲んでくれとよ、戦隊長からのねぎらいの酒だ。
ド
大酒
ねぎらいはいいけど、またエンジン拾いさせられるのは……
かなわんなあ。

おい、また一機かえってこないな。
戦隊長のいわく。
!!!
……………
あ〜あ・・・
まあこんどはいくらか近い場所じゃやぞ。
とはいうても似たようなジャングルか？

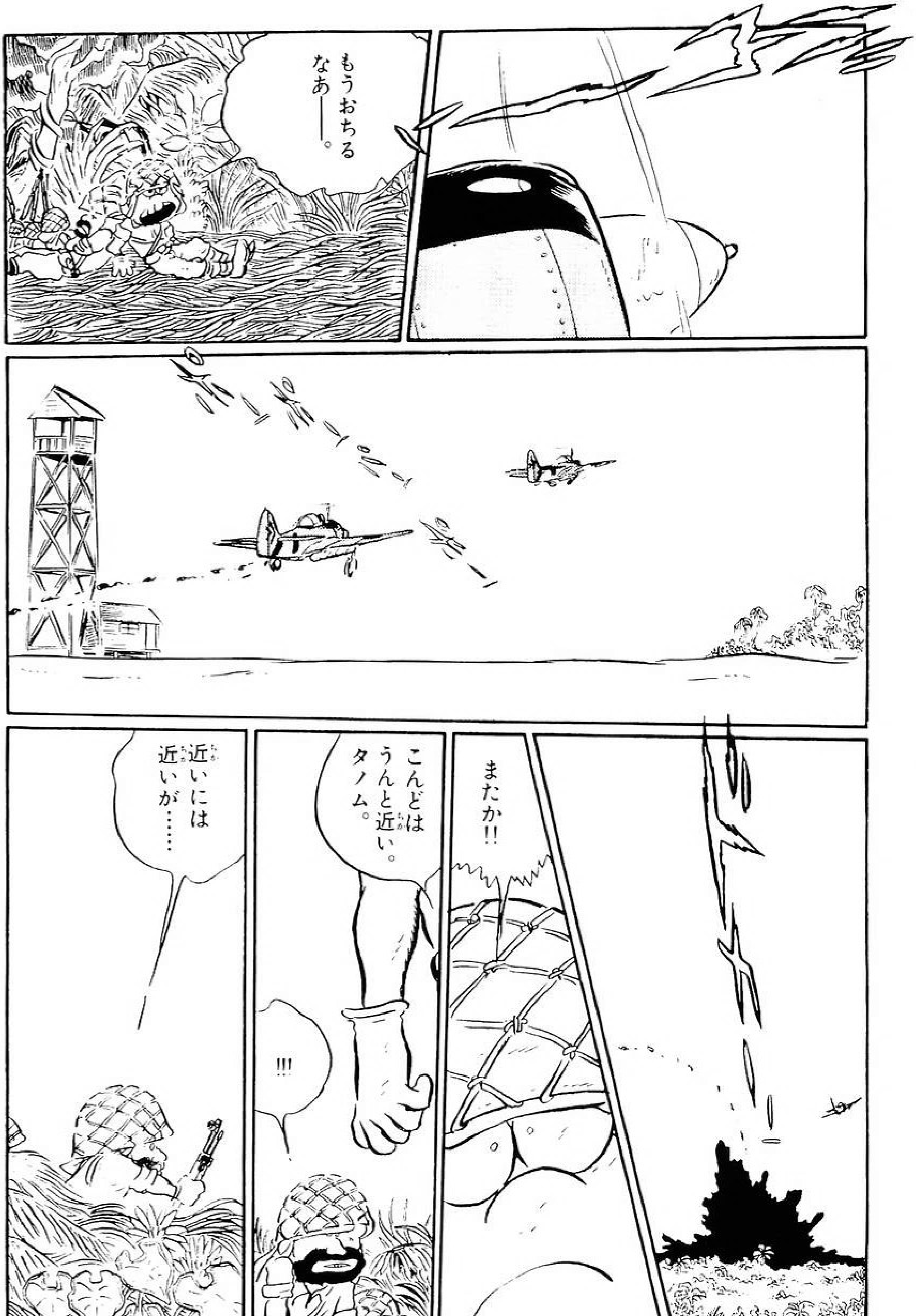
この戦争で俺たちが、一番ワリの悪いことをしているのではありますまいか？
俺もそう思う。
クワーッ
わっ！
くそっ、こんどは強力だ。兵力も大きい。
こっちの弾も大きいわい。
あー、おまえらなにをもってきたんだ？
230キロの爆弾…日ごろきたえたエンジン運びのウデで………
信管はついとるのか？
もちろんいまハメた。
せーの！
OH NO!

おー
こんかいもエンジンをもってかえってきたか。
??
どうした、ええ、おい？わしが戦隊長だぞ、コラ。
全員鼓膜に異常をきたしたらしいであります。
敵の捕虜も数名おりますが、耳の状態は同じであります。
あーいーうー。
また無事飛んだ。

えーっ。
また拾いにいけェ？
わが国の戦闘機は、よっぽどエンジンが丈夫で機体がひ弱なんやろか？
どうもそうらしい。
搭乗員も生きとったためしがない。
まちぶせでこっちもだんだん人数がへる。
相対的にエンジンも重くなる。
ズルズルズルズルズル

諸君、スマン。
もうおちんように飛んでくれっ。
ありゃ!
やったやった。
味方も一機おちよったで。
あの山のむこうや。

もう俺たちも死にそう。
!!!
また搭乗員も……
人数がたりん、エンジンに多少の傷がつくのもいたしかたないなあ。


もうおちるなあ――。
またか!!
こんどはうんと近い。タノム。
!!!
近いには近いが……

敵も近い……
くそっ。
俺たちふたりだけか……
そうらしいです。
あれだ。
もうとても運びきれませんよ。

!!!
十六個目で回収不能か……
なあ山越……俺はうすうす感づいていたんだが……
中隊長もですか……
はあ……
おまえもか山越!!
この傷です。
トラックのところでやられたときの……
俺たちはいつも……
同じエンジンを拾ってかえっていたのかも……

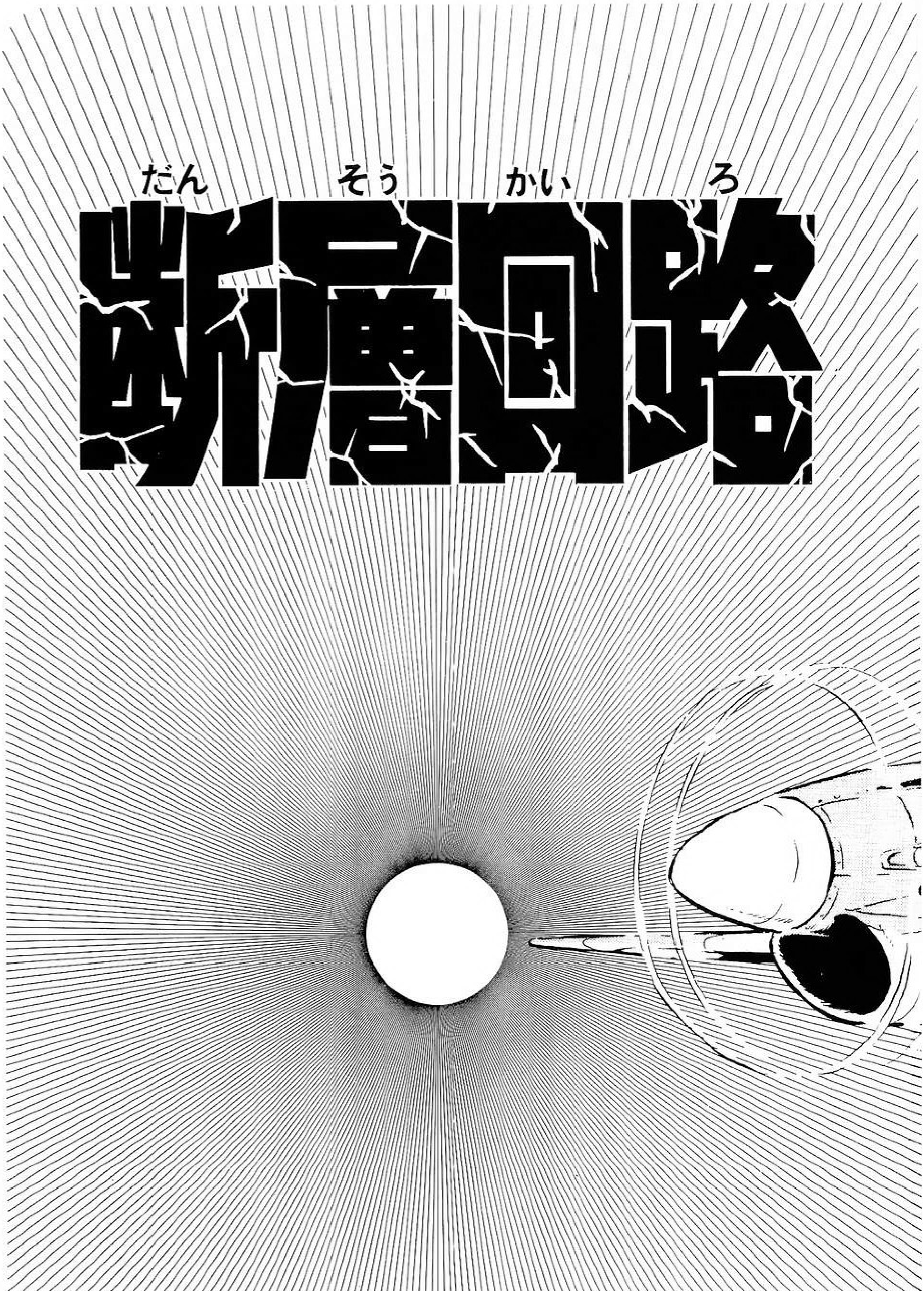
メモがある、誰にもいわなんだが……発動機番号はいつも同じだった。
同じ発動機ばかりを十六回も…………
まるで吸血鬼の花束みたいにみえるなあ……
もうもってかえる努力を放棄しましょう中隊長。そのほうが人が死ななくてすむみたいですよ。

「吸血鬼の花束」掲載・ビッグコミックオリジナル昭和53年8月5日号

THE COCKPIT

LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

人生って生きることなのね。
そうだよ、生きるってことが、人生なんだよ。ブチュッ。

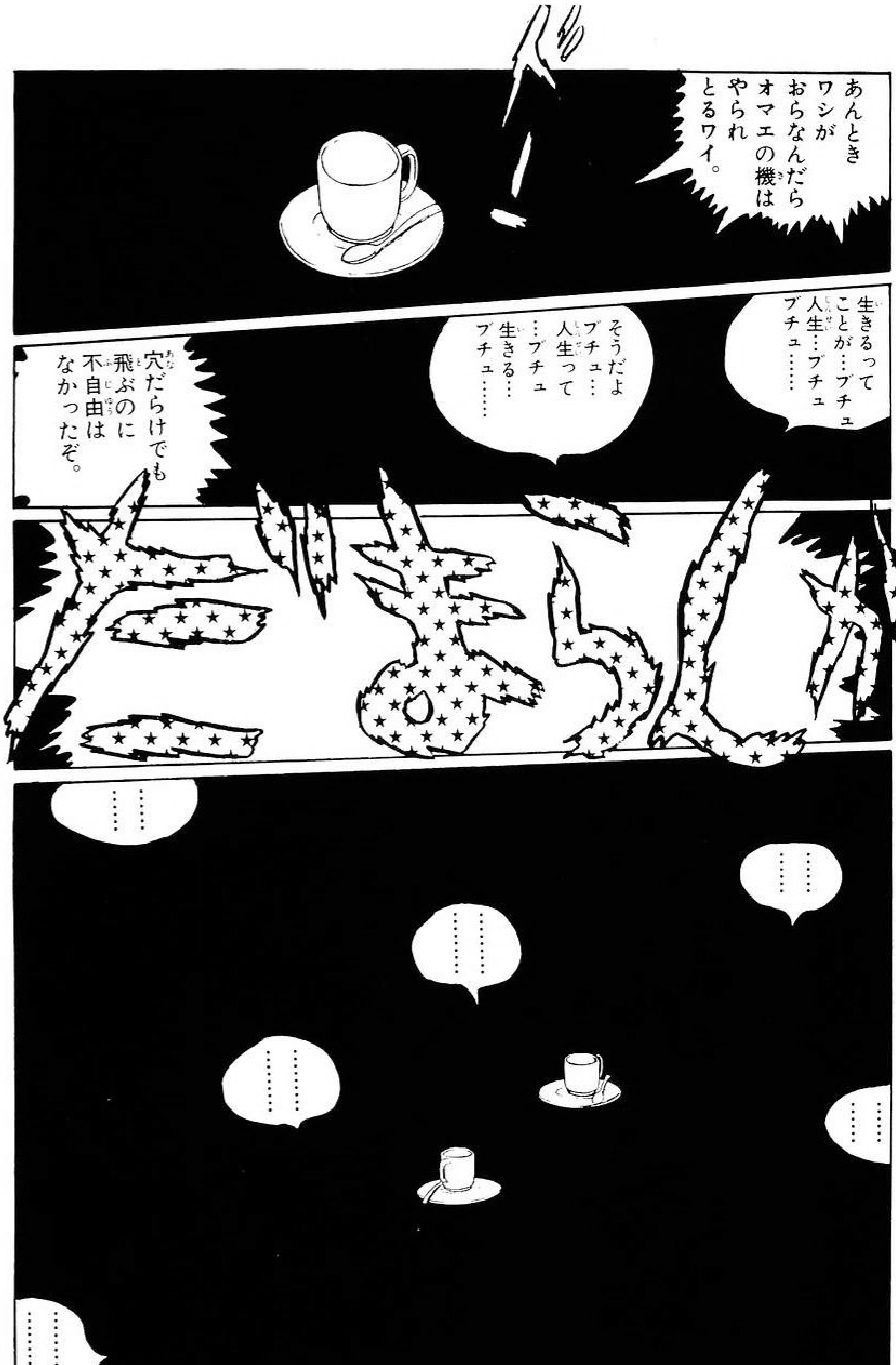


断層回路（だんそうかいろ）

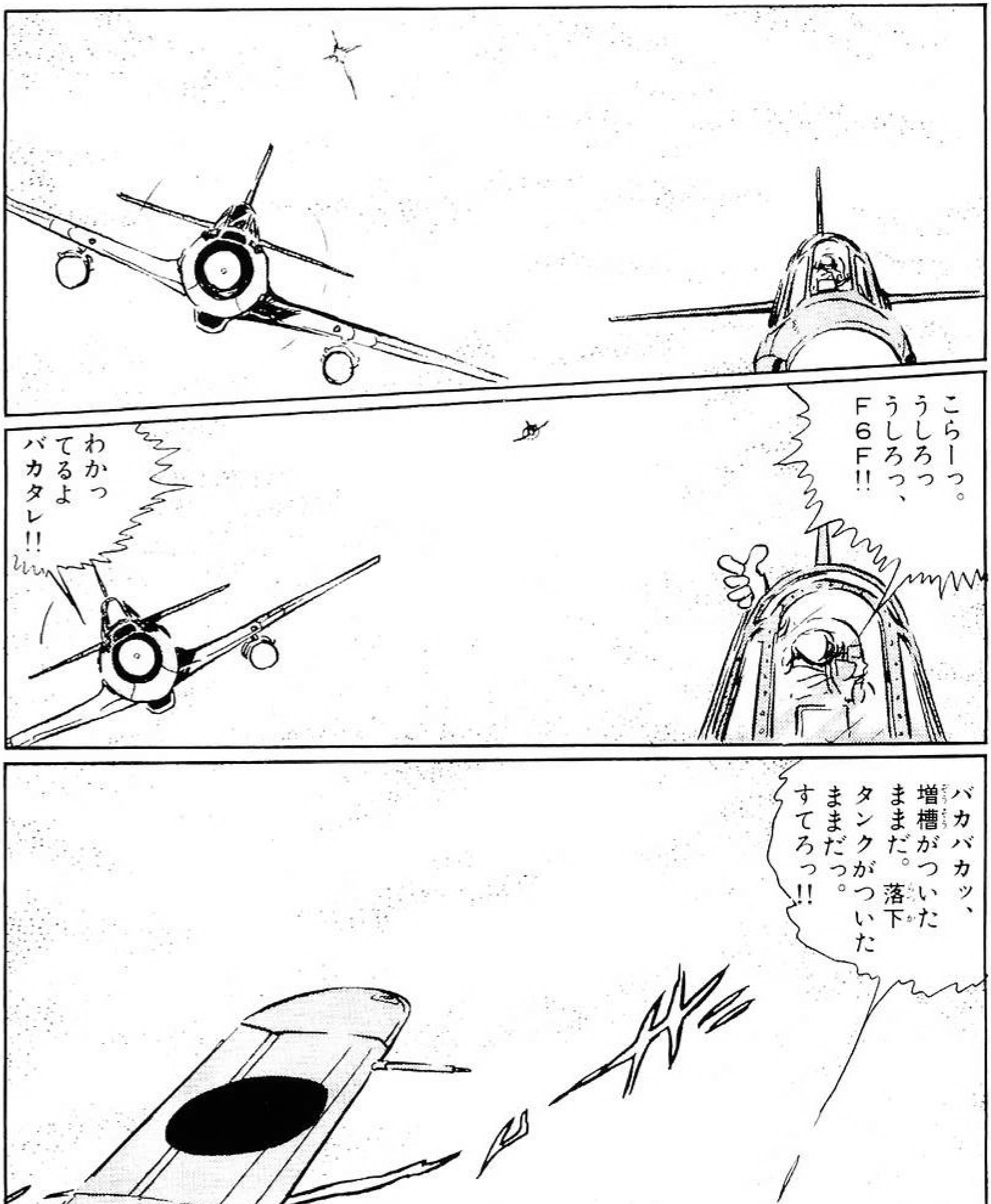
おーい、こら～どうした～なにか～やられたのか～なんとかいえ～!!
ラジオがつうじないのに空中でわめいてもきこえるか、バカタレ～～～アホ～～～!!

よかっただ!! やっぱり 生きるってことが 人生だったのね。
ブチュッ… そうだ…ブチュッ とも…ブチュッ ブチュブチュ…
なにを いうかつ、 キサマ〜〜〜!!

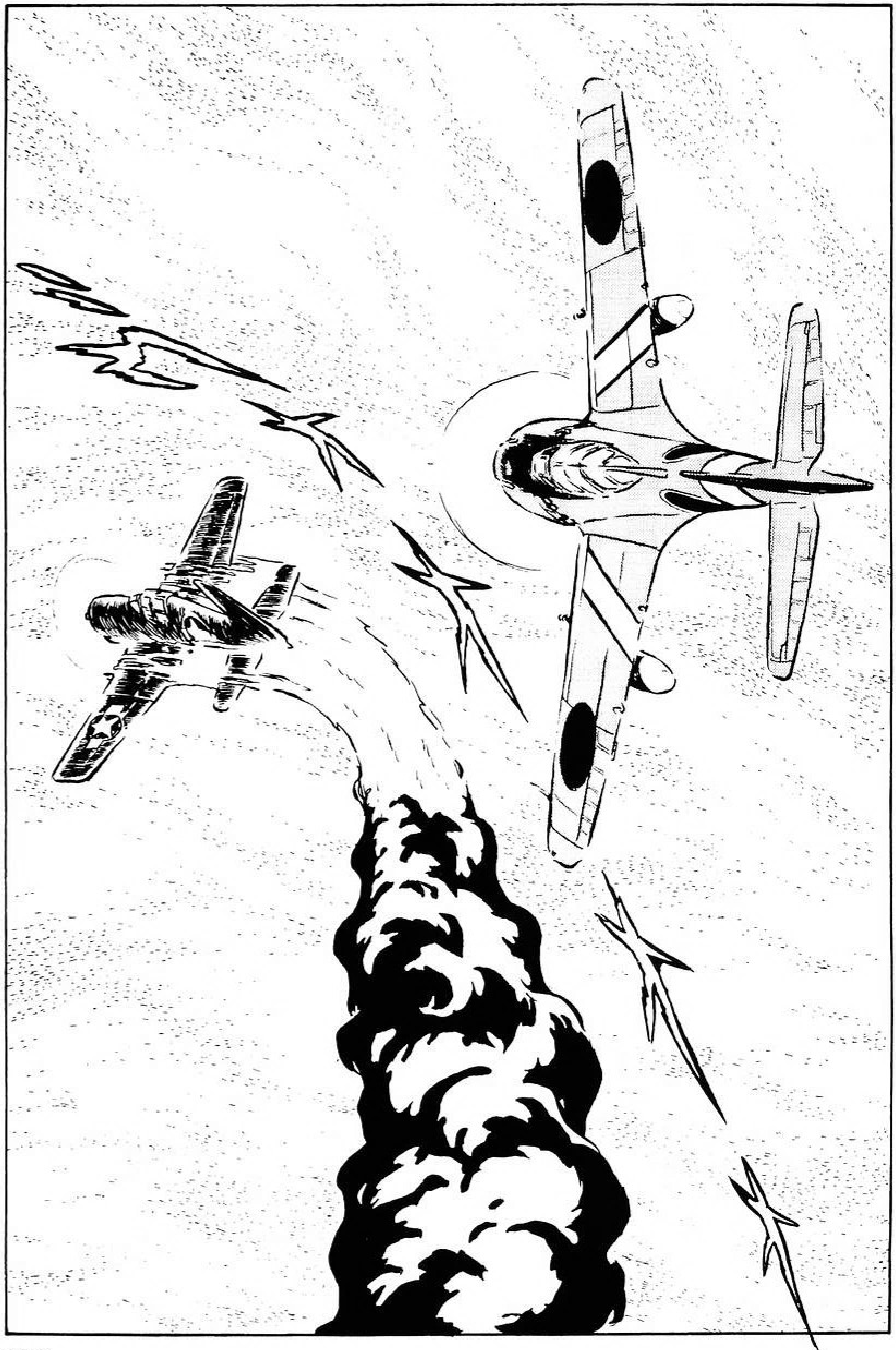
心配するなっ、この四式戦はグラマンよりはやい。援護してやるから安心しろよっ!!
きこえないったらきこえないよっ。ラジオの周波数がちがうんだよっ、バカモノめが!!



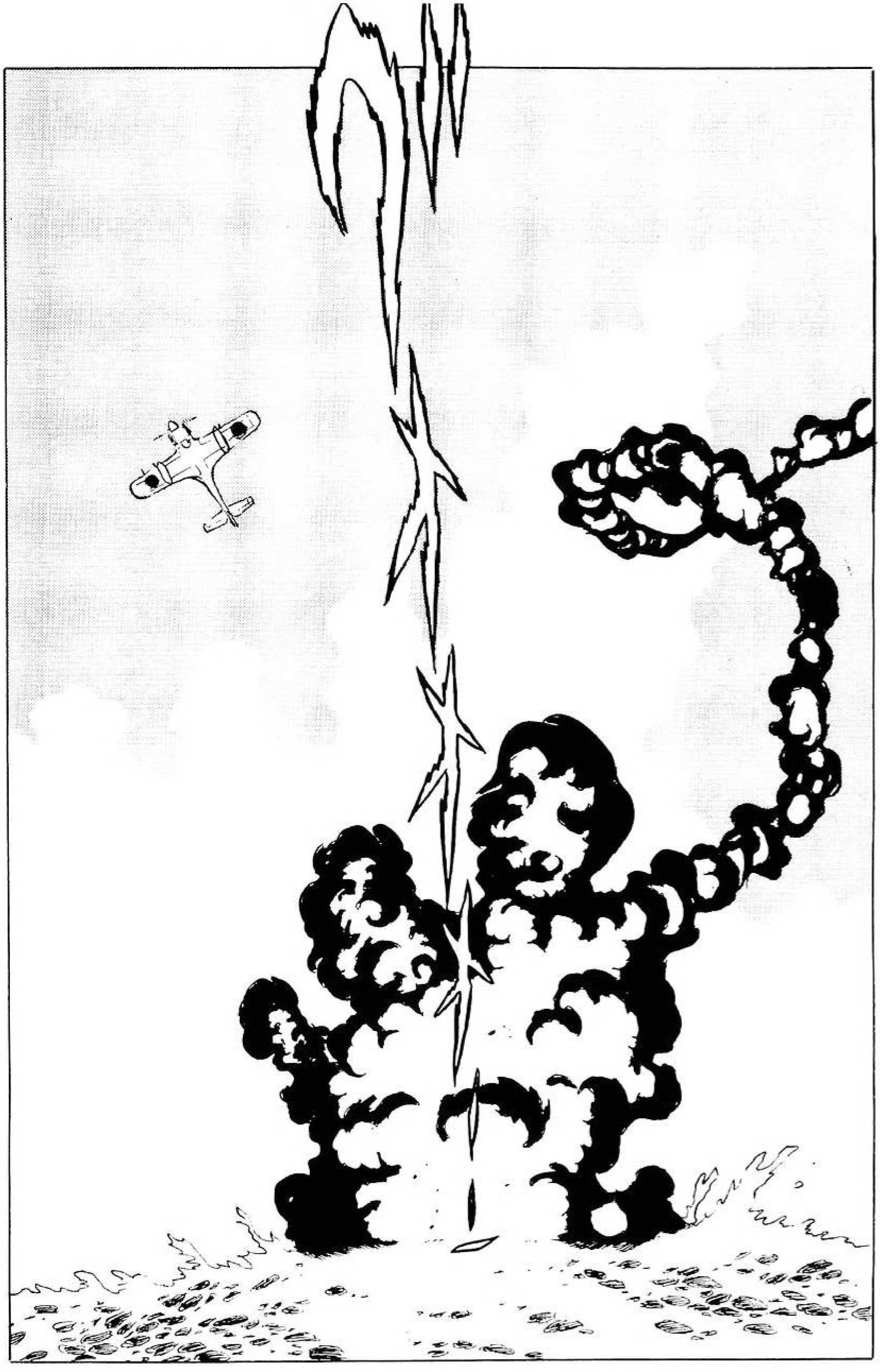
あんとき ワシが おらなんだら オマエの機は やられ とるワイ。
生きるって ことが…ブチュ 人生…ブチュ ブチュ……
そうだよ ブチュ… 人生って …ブチュ 生きる… ブチュ……
穴だらけでも 飛ぶのに 不自由は なかったぞ。
……
……
……
……
……
……


こらーっ。うしろっうしろっ、F6F!!
わかってるよバカタレ!!
バカバカッ、増槽がついたままだ。落下タンクがついたままだっ。すてろっ!!

ホモかなんかがはいってるのかしら。
チワゲンカみたいだったなあ。
中年よ、いやらしい。なにしてるのかしら。
誰か電気つけてくれないかしらね。
俺たちも人のことはいえないよ。
バカ、つけられたらぼくらがこまる。
人生とは生きることなのよ、そうよそうよ。

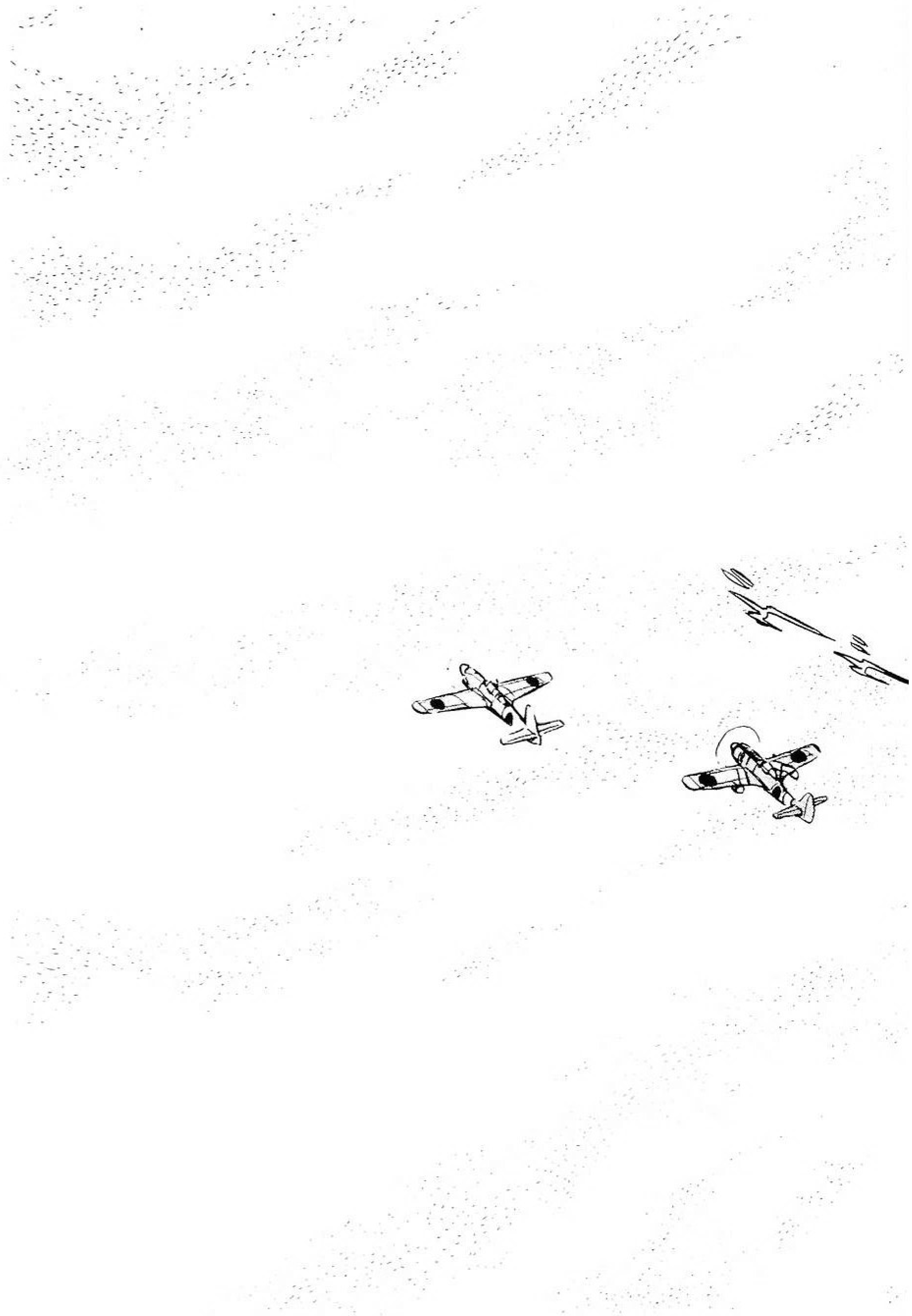


落下タンクをつけたままでもワシャ、空中戦には自信があったんじゃや、空中戦には!!
そりゃ相手がヘタクソだったのか運がよかったんだよ、運が!!
ワケのわからんことをいってるな中年のホモは。
人生とはブチュ〜〜!!
ヘタクソだなく〜、おまえは。



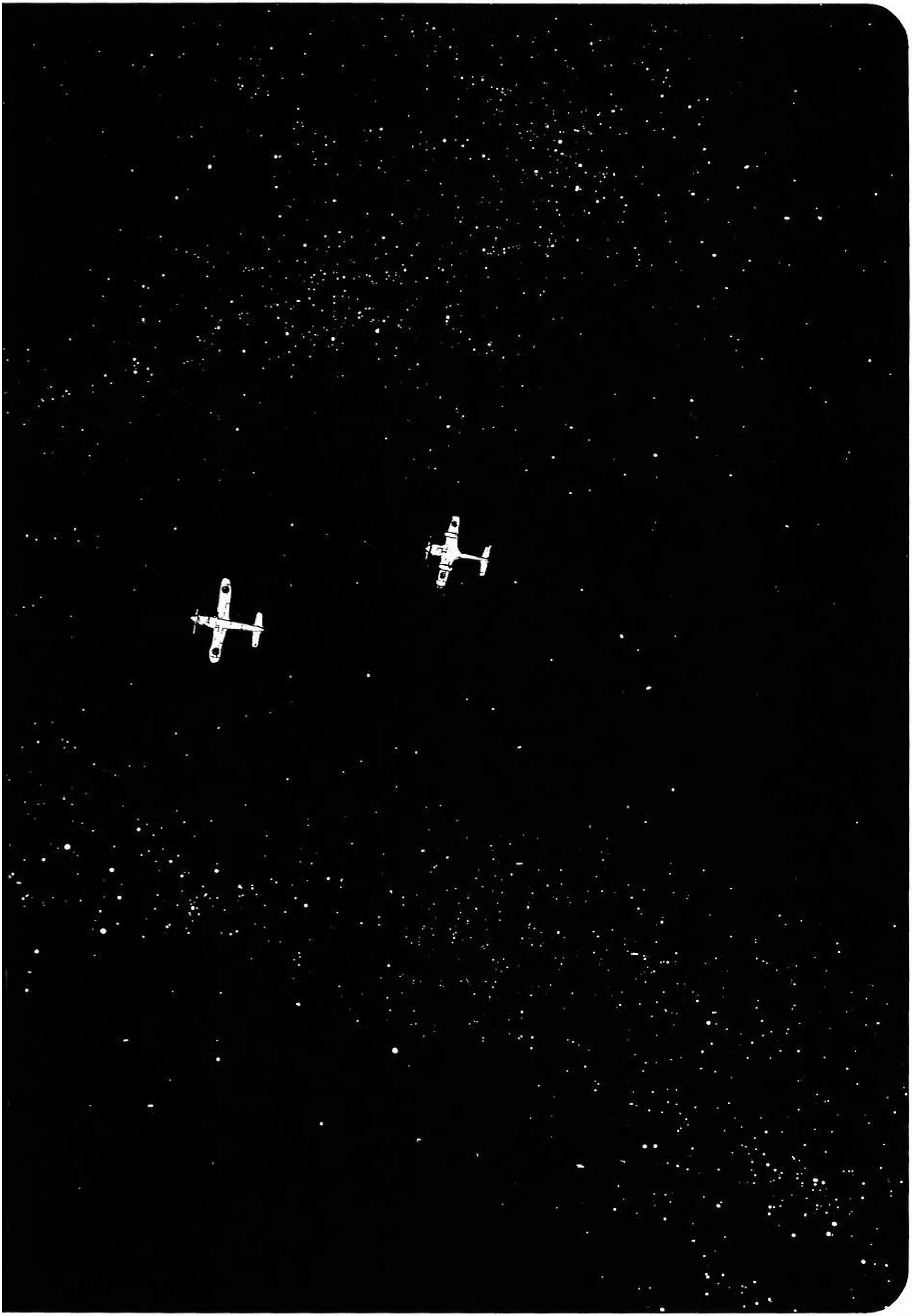
増槽をつけたまま空戦をやったのは自信があったからじゃなくて、洋上航法がヘタクソなんで燃料ぎれが心配だったんだろが!?
……
……

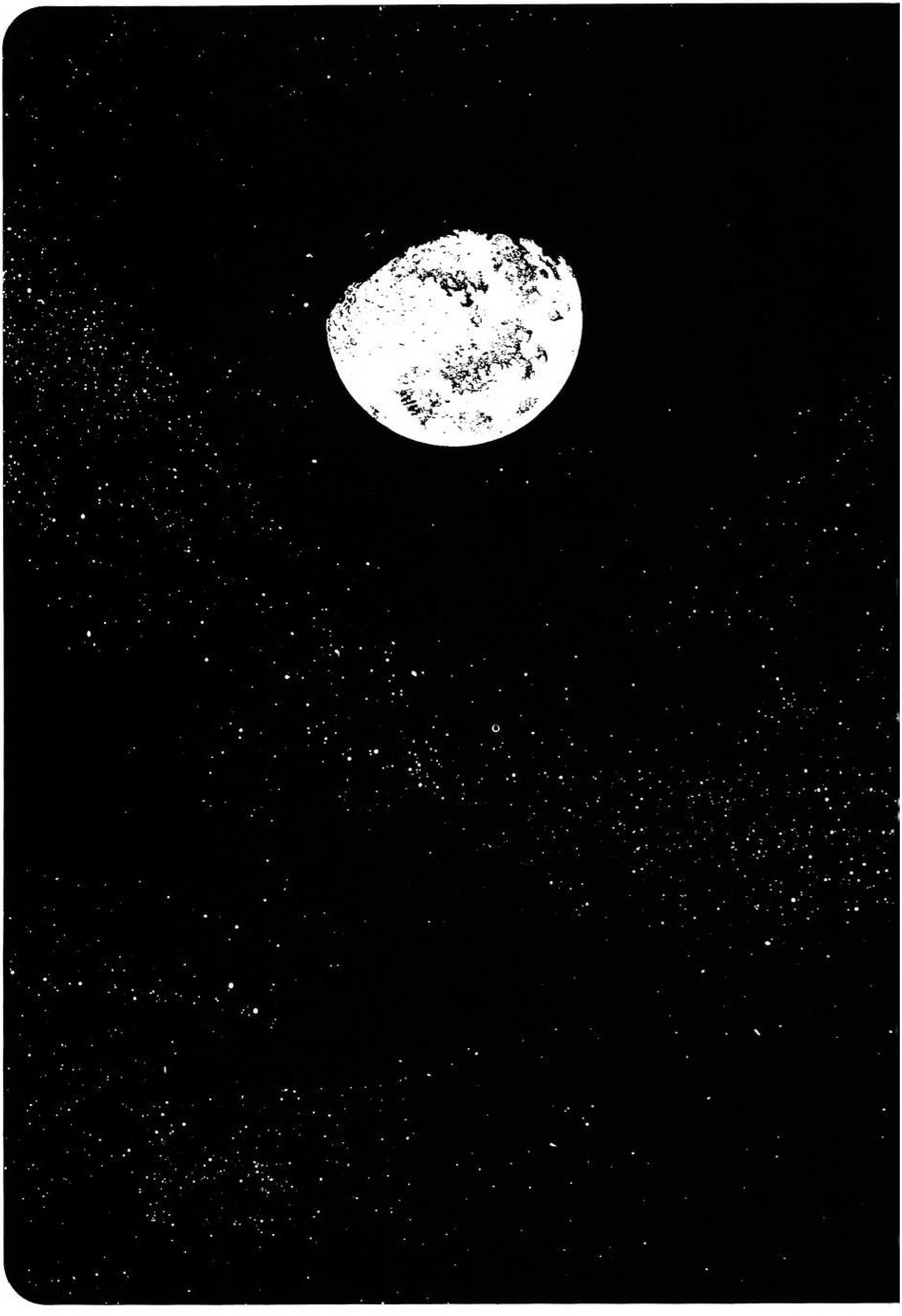
バーカモンが!! 当時、ガソリンの一滴は血の一滴といわれとった。忘れたんか、エエ、オイ!?
わが陸軍はモノを大切にするよう教育されとったのじゃど、この!!
……
……



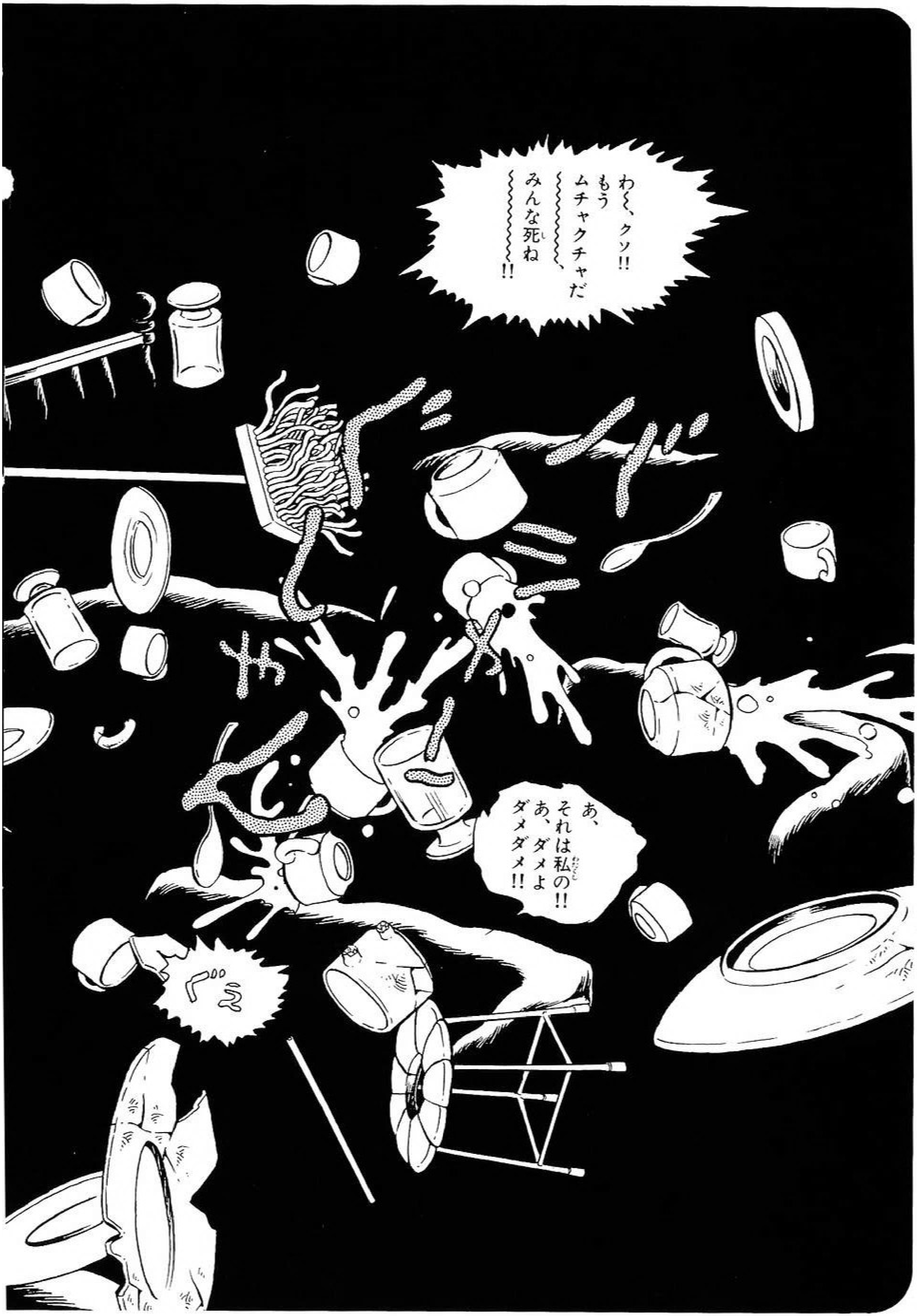
陸軍航空隊など海の上ではへの役にもたたん。飛んでゆく方向さえわからんのだ。
なにをいうか!!
海軍がヘマばかりやるから、どんだけの陸兵が絶海の孤島にとり残されて苦しみながら死んでいったか考えてみろ。
恥をしれ。しらんかこら!!
戦争をはじめたのは陸軍だっ!!
パールハーバーに爆弾おっことしたのは海軍だワイ。
海軍は勝てる戦場でも負けた。ミッドウエーでもスリガオ海峡でも負けたじゃんけ。
インパールはなんだ。陸軍は負けんかったんか。
あれは補給がつづかなかったから、負けるべくして負けたんじゃ。
陸軍はミッドウェーみたいな勝てる戦いで負けたことはない。勝てるときはつねに勝っちょる!!

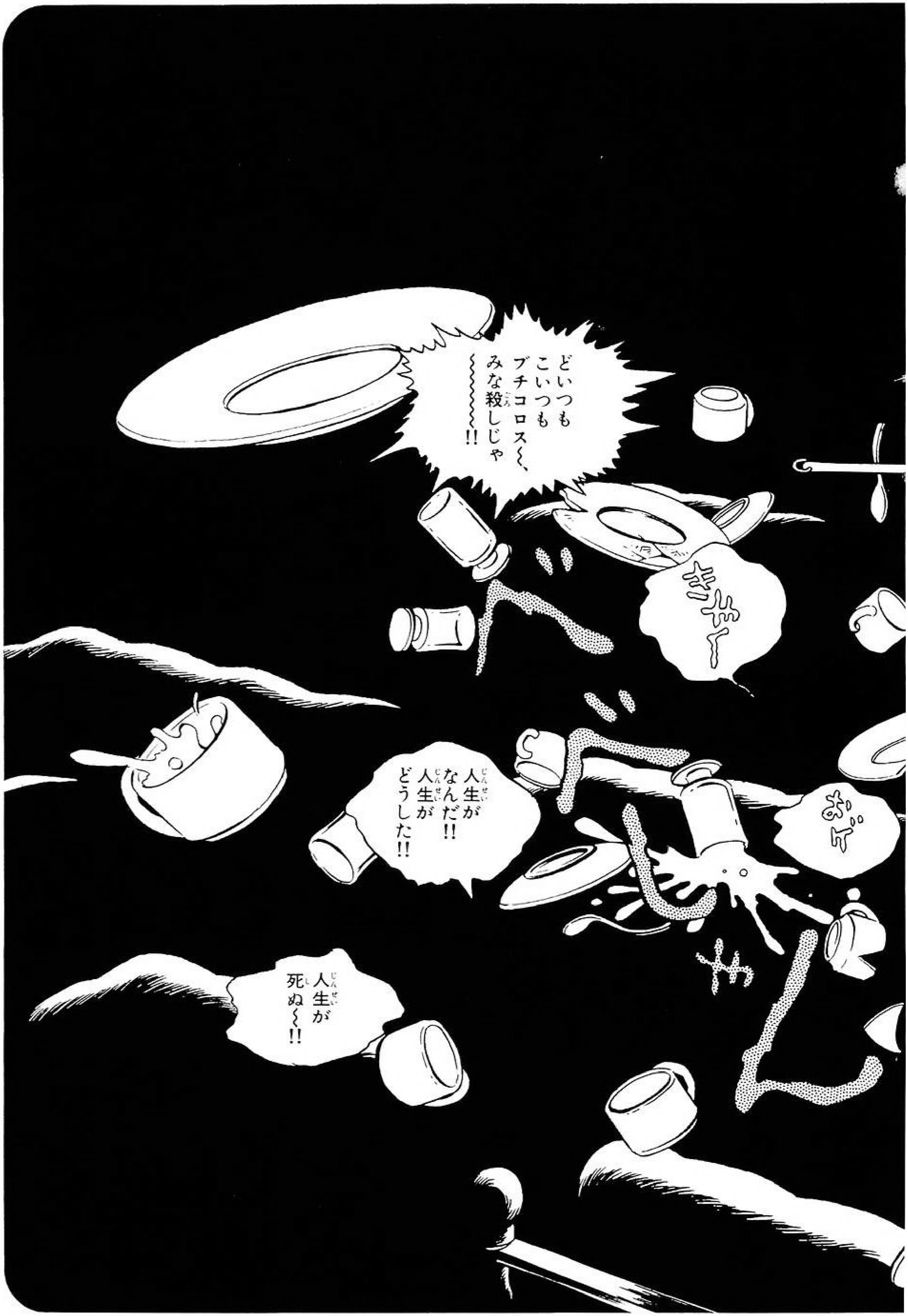
ガダルカナルの陸軍は弾と命のムダづかいをして負けた。
海軍が制海権や制空権をうしなったからじゃ。
陸軍がムチャクチャに進撃するからだ。装備も悪い旧式のくせに。
大和や武蔵に材料をとられて陸軍は三八式に甘んじて戦ったのじゃ。
大和を一隻ツブしゃ、戦車が千台も一万台もできた。
たとえタイガー戦車が一万台あっても、それを運んでやる海軍の船がなかったらガダルカナルでは勝てなんだ。
船は山ほどあったのに、海軍がドジふんだからじゃぞ。
陸軍は海軍が手をひいてやらにゃ海の上を渡れなんだからだ。それもできんでなぜ海の上で戦争した。
バカタレ、海の上で方向がわかるのは鳥くらいのもんだ。だいたい、陸軍は海でウロツクようにはできとらん。
空には星がマタタイとろーが、星をみて航海するのは原始人だってやっとったぞ。





雨の日は星はみえんワイ。
昼間はなおさらみえんワイ。
みえなくとも心でみるようつとめるのがプロフェッショナルだ!!
精神力だけで戦いに勝てるか。
バカ、やるときめたらどこまでもやるのが男じゃワイ。


わ〜、クソ!!
もう
ムチャクチャだ〜〜〜〜〜、
みんな死ね〜〜〜〜〜〜!!
あ、
それは私の!!
あ、ダメよ
ダメダメ!!


どいつもこいつもブチコロス～、みな殺しじゃ～～～～!!
人生がなんだ!!人生がどうした!!
人生が死ぬ～!!

このクソ中年ども、いいかげんにしやがれ!!
いや、ワシラは中年ではない。
老人じゃ老人。

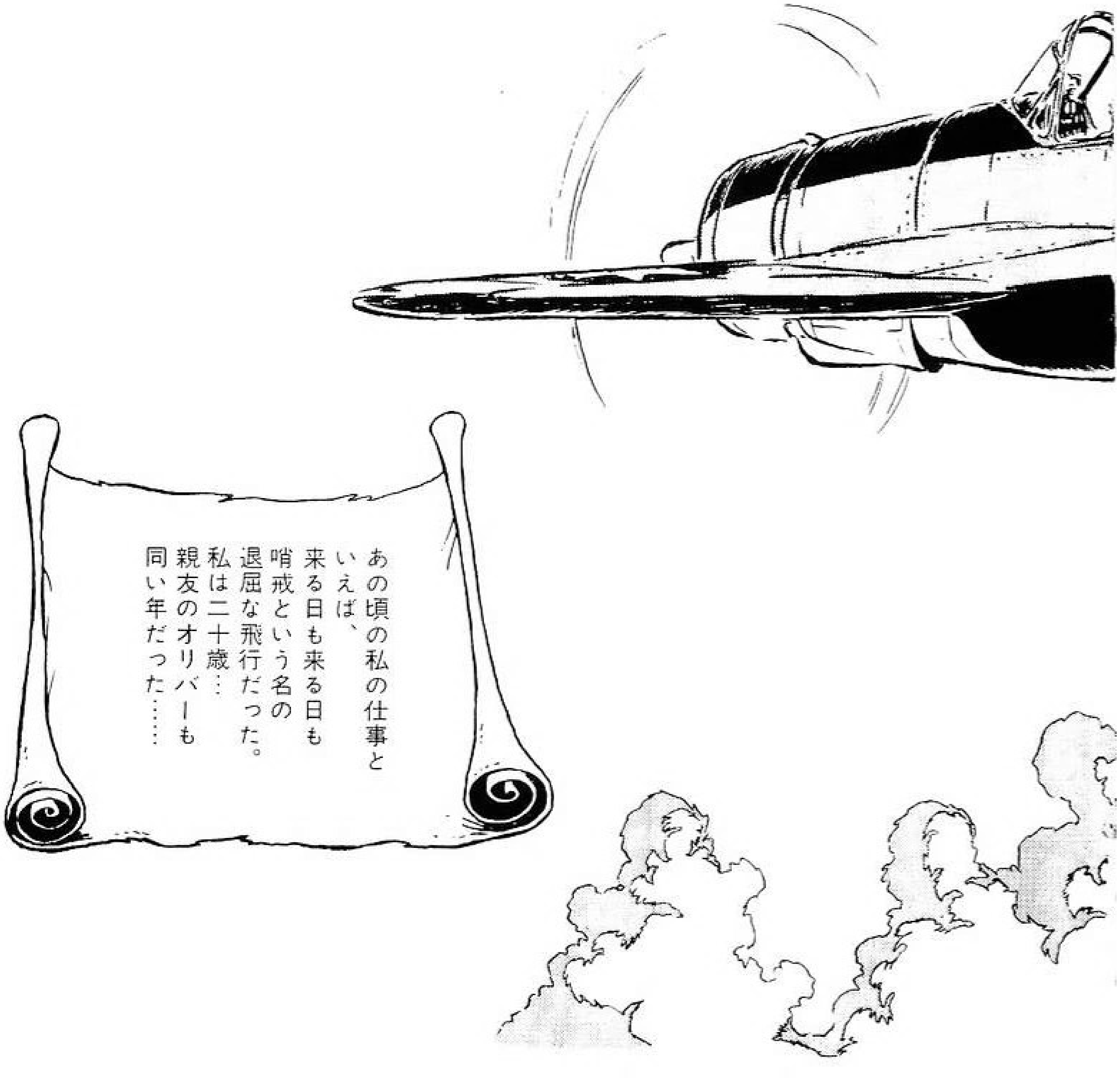
「断層回路」掲載・ビッグコミックオリジナル昭和53年9月5日号

THE COCKPIT

LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

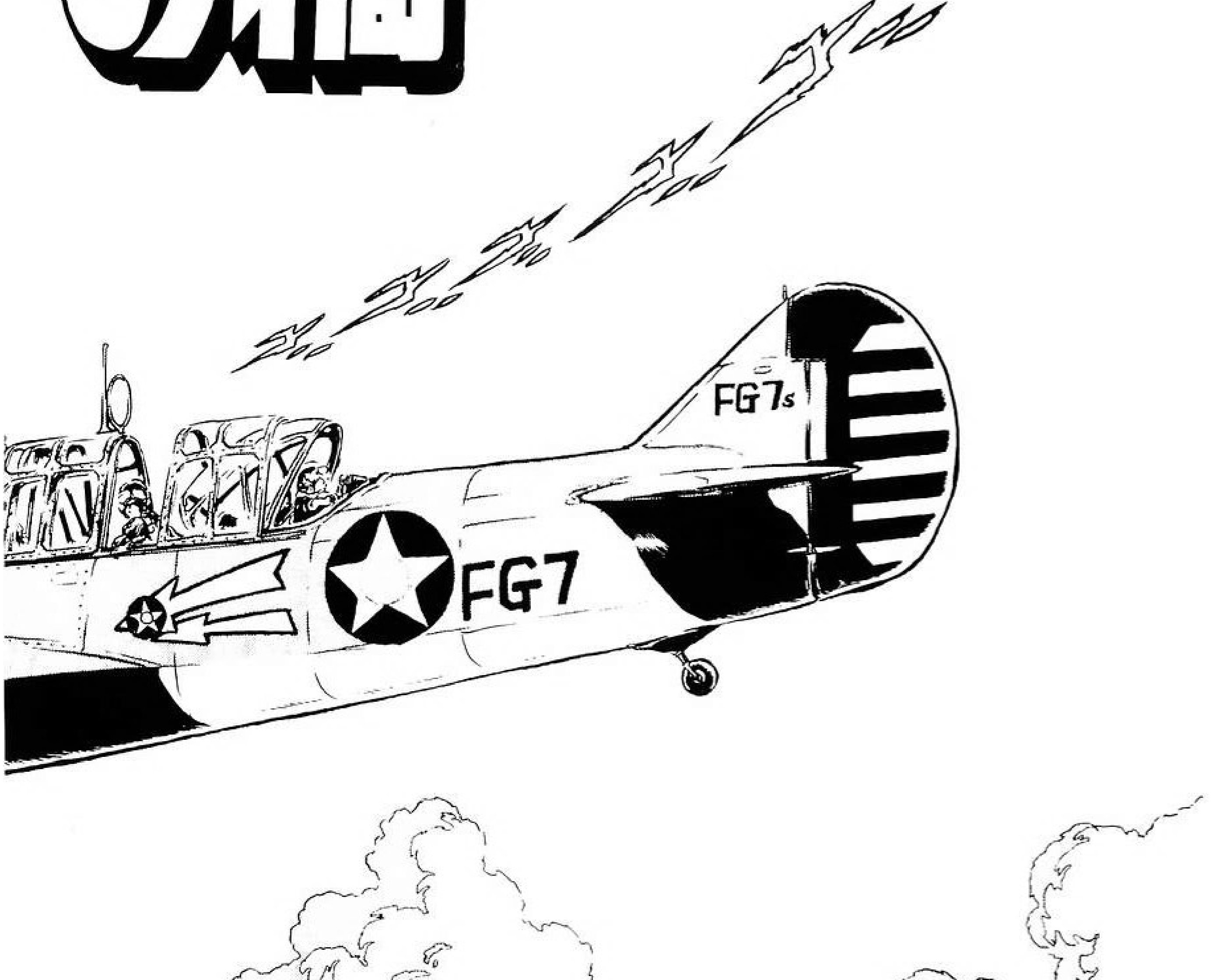
俺は暗黒の世界にいる。
俺の名はサミエル・リャード…
あれ以来ずっと暗黒の中にいる。
そのおかげで俺の思い出は
年をとらない……
友人たちの顔もみな若かった
あの頃のままだ……

サンタ クルーズ


あの頃の私の仕事と
いえば、
来る日も来る日も
哨戒という名の
退屈な飛行だった。
私は二十歳…
親友のオリバーも
同い年だった……

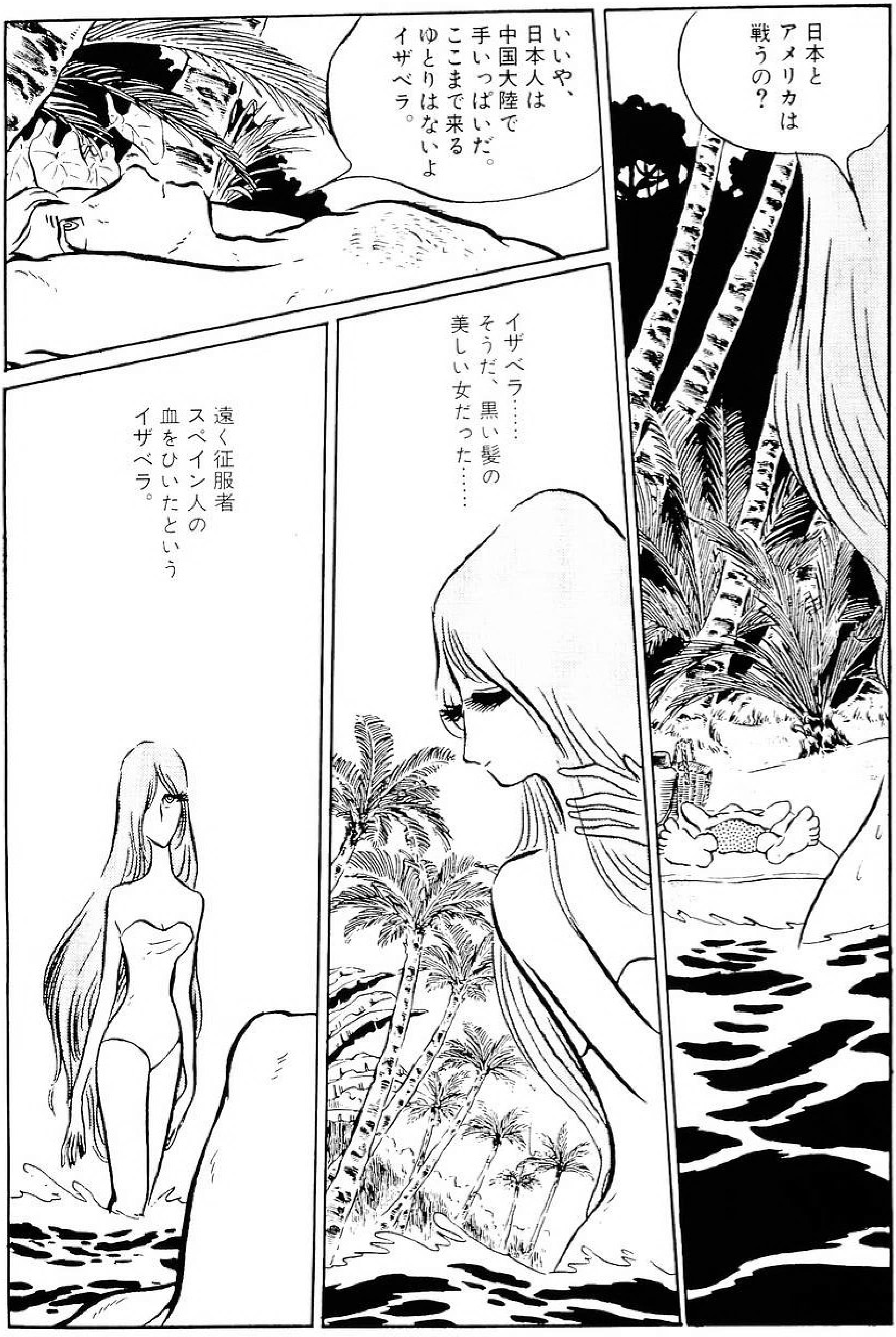
はし

の橋

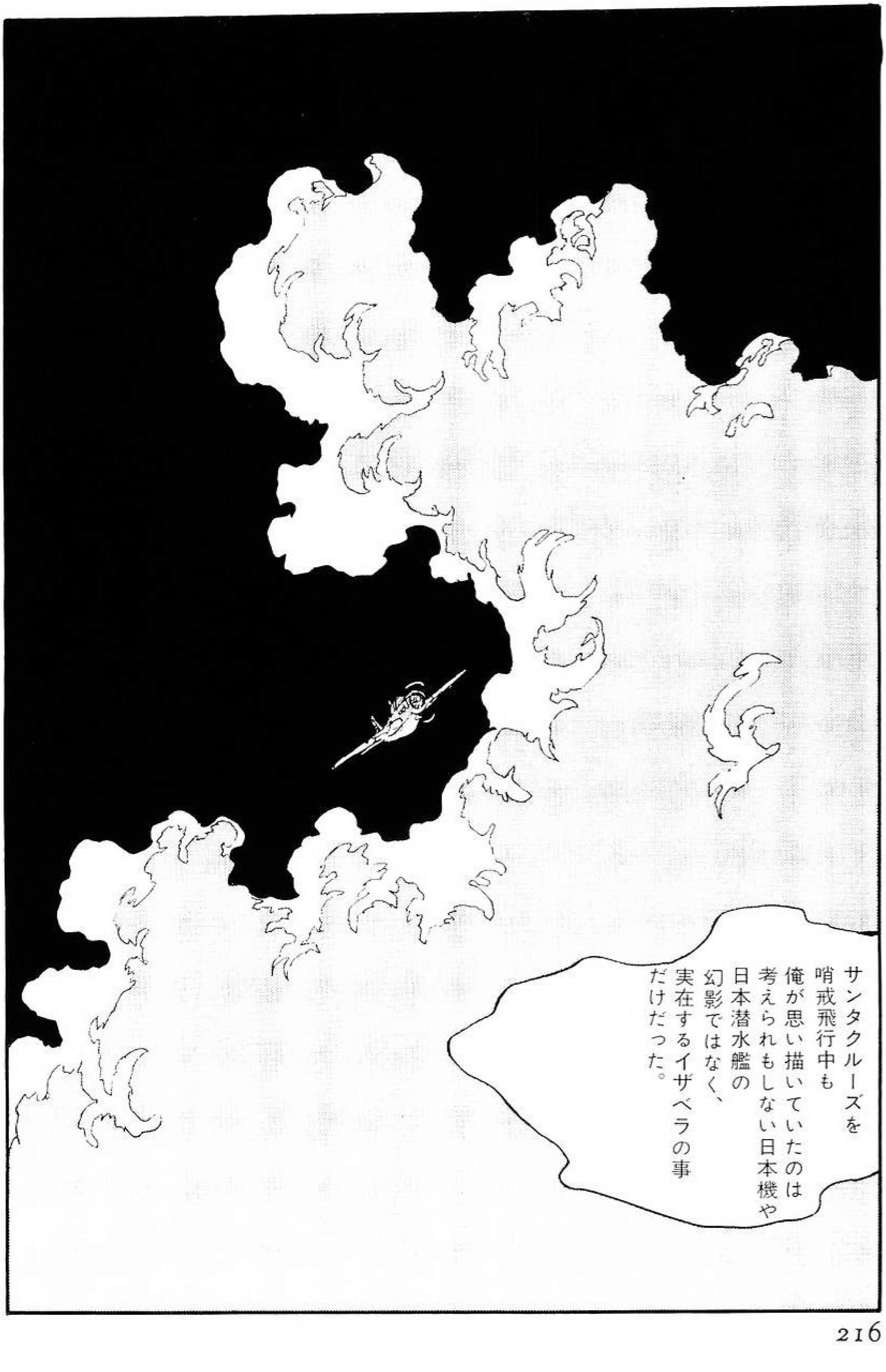


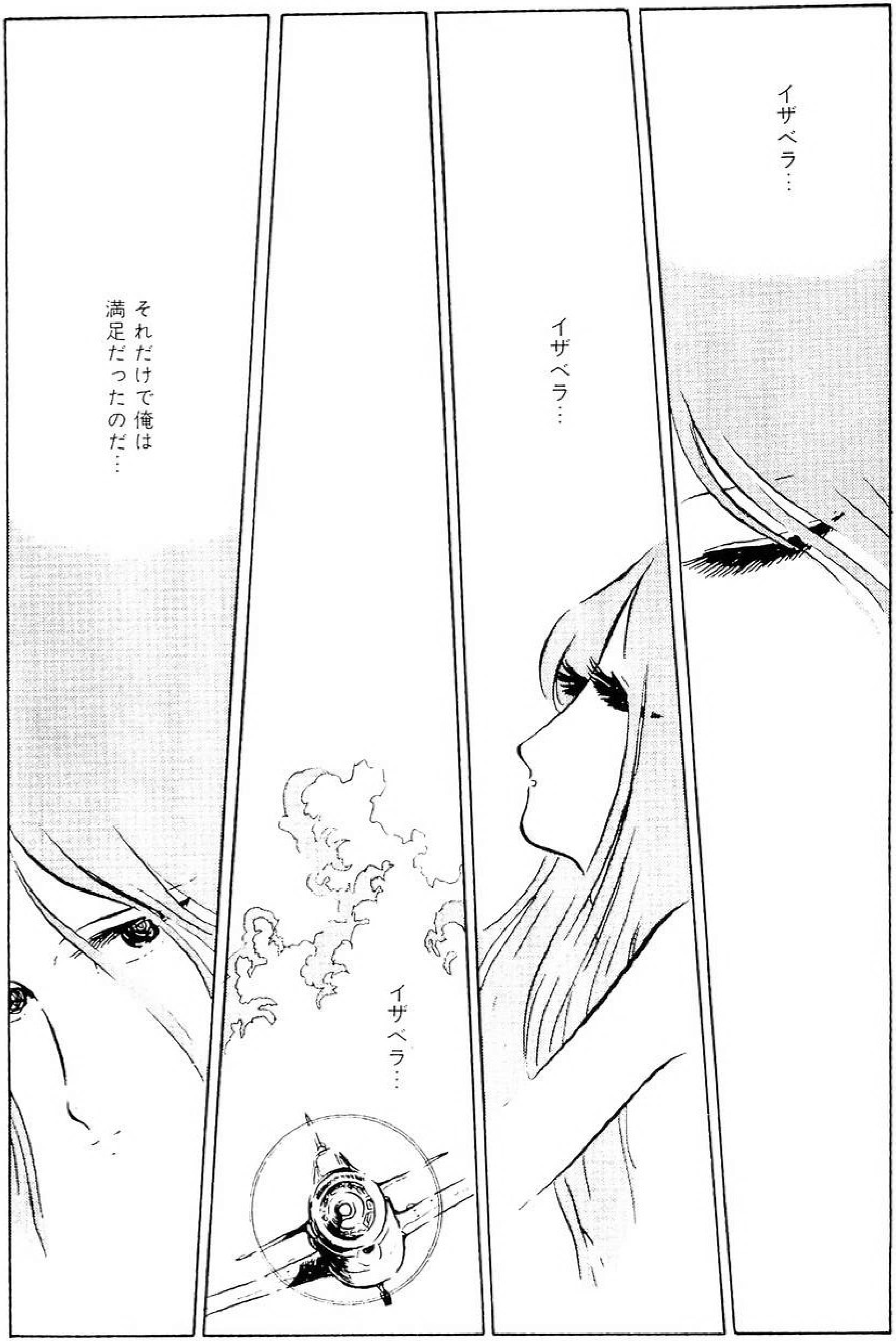
オリバーは
よくいったものだ、
おまえの名が
コルトだったらな
……と。
オリバーの
フルネームは
オリバー・
ウインチェスター
かの有名な
ウインチェスター
銃器会社の
創設者と同じ名前だ。
したがって
俺がコルトなら
サミエル・コルト…
コルト拳銃の産みの親
コルト社の創設者
サミエル・コルトと
なるわけである。
二大銃器メーカーの
創設者がペアで
空を飛んでいると
いう事になるのだ。
めでたい話だ。
俺はもとより
オリバーも
西部劇以来の
有名人とは
何の関わり合いも
ない、
ただの男だった。
俺たちの
○—47は
三座だったから
真ン中の席に
もう一人
気楽な奴が
居たのだが……
名前も顔も
どうしても
思い出せない…
つまり
それくらい
気楽な奴
だったんだ。
仕事がない時は
俺もオリバーも
存分に楽しんだ。
俺たちは
若かったんだ。

ルソン島にうちよせるサンタクルーズ湾の海の水は青くきれいだった。
空も青く、島は緑にあふれていた。
昔、スペイン人がここを地上の楽園だと考えたのも無理はない。
近頃じゃ日本人もフィリピンを楽園だと考えているらしいぜ、サミエルよ。
スペイン人も考えたし、俺たちもそう考えたんだ。日本人が考えてもおかしくはないさ。


日本とアメリカは戦うの？
いいや、日本人は中国大陸で手いっぱいだ。ここまで来るゆとりはないよイザベラ。
イザベラ……そうだ、黒い髪の美しい女だった……
遠く征服者スペイン人の血をひいたというイザベラ。

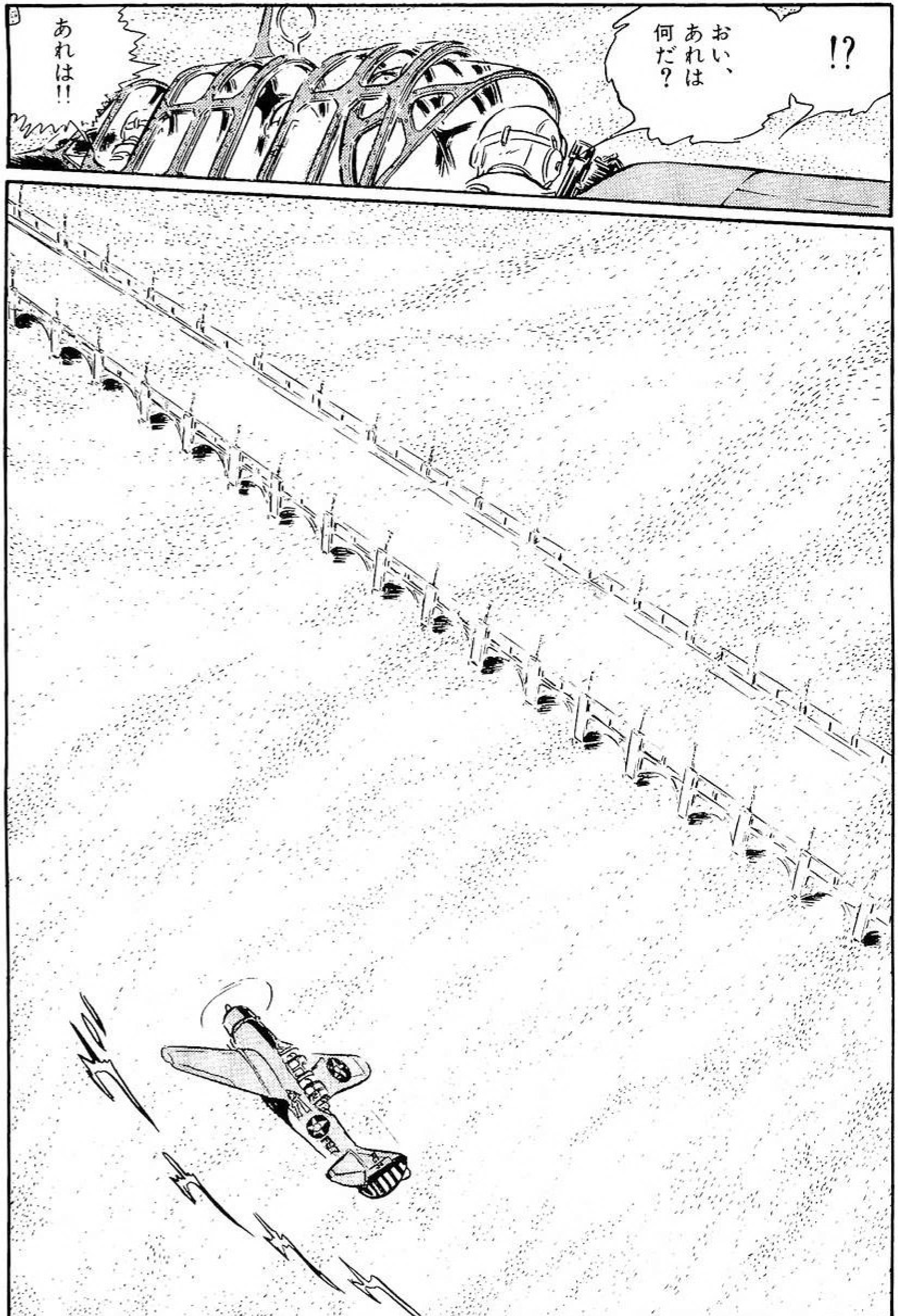
俺がこの目で
全てを見た
ただ一人の女
イザベラ……
ルソンの緑と
サンタクルーズの
青い水との間に
生まれたような
美しい女
イザベラ……
俺の世界の全て…
俺の青春の全てだった女
イザベラ……

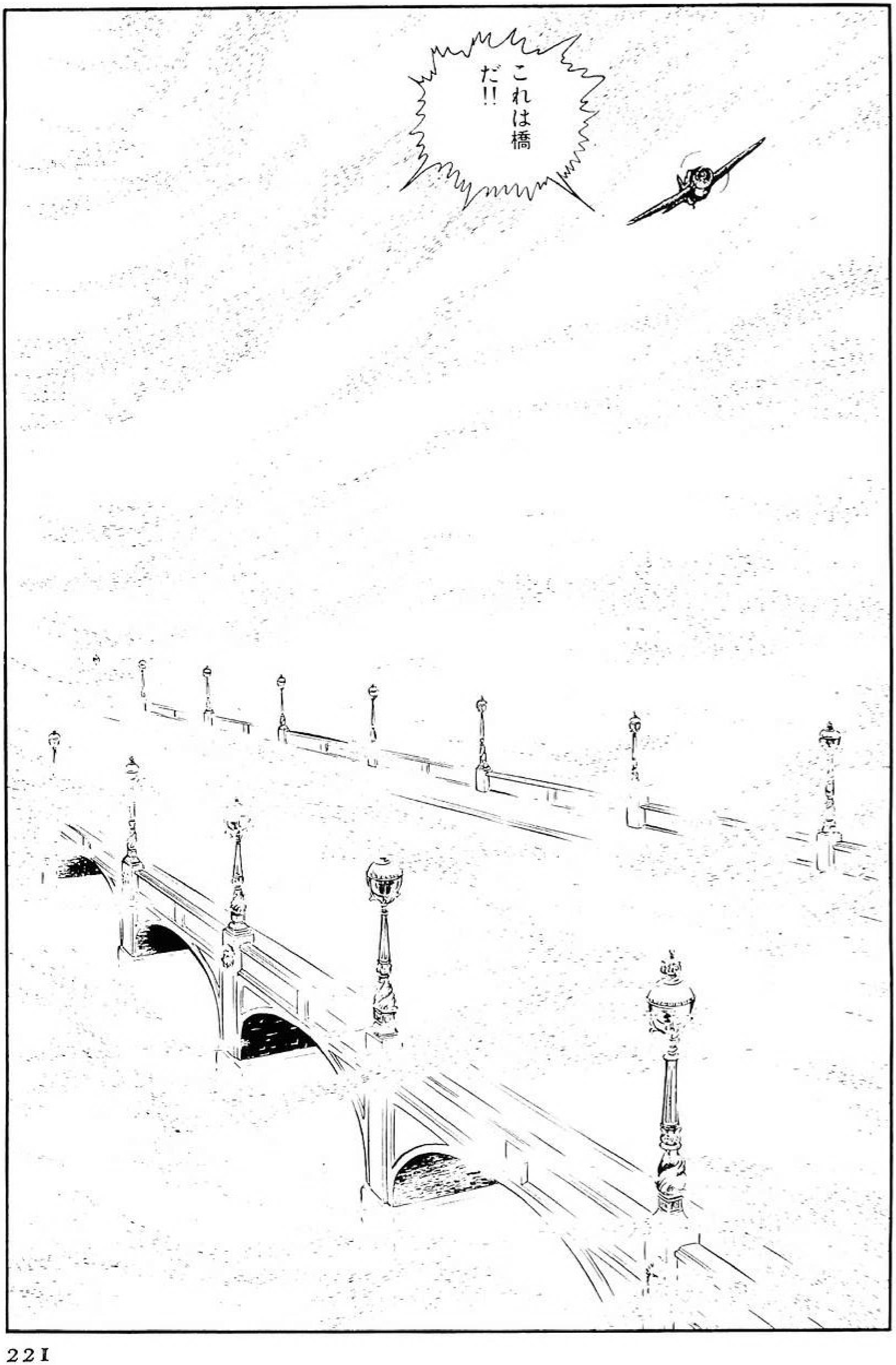

サンタクルーズを
哨戒飛行中も
俺が思い描いていたのは
考えられもしない日本機や
日本潜水艦の
幻影ではなく、
実在するイザベラの事
だけだった。

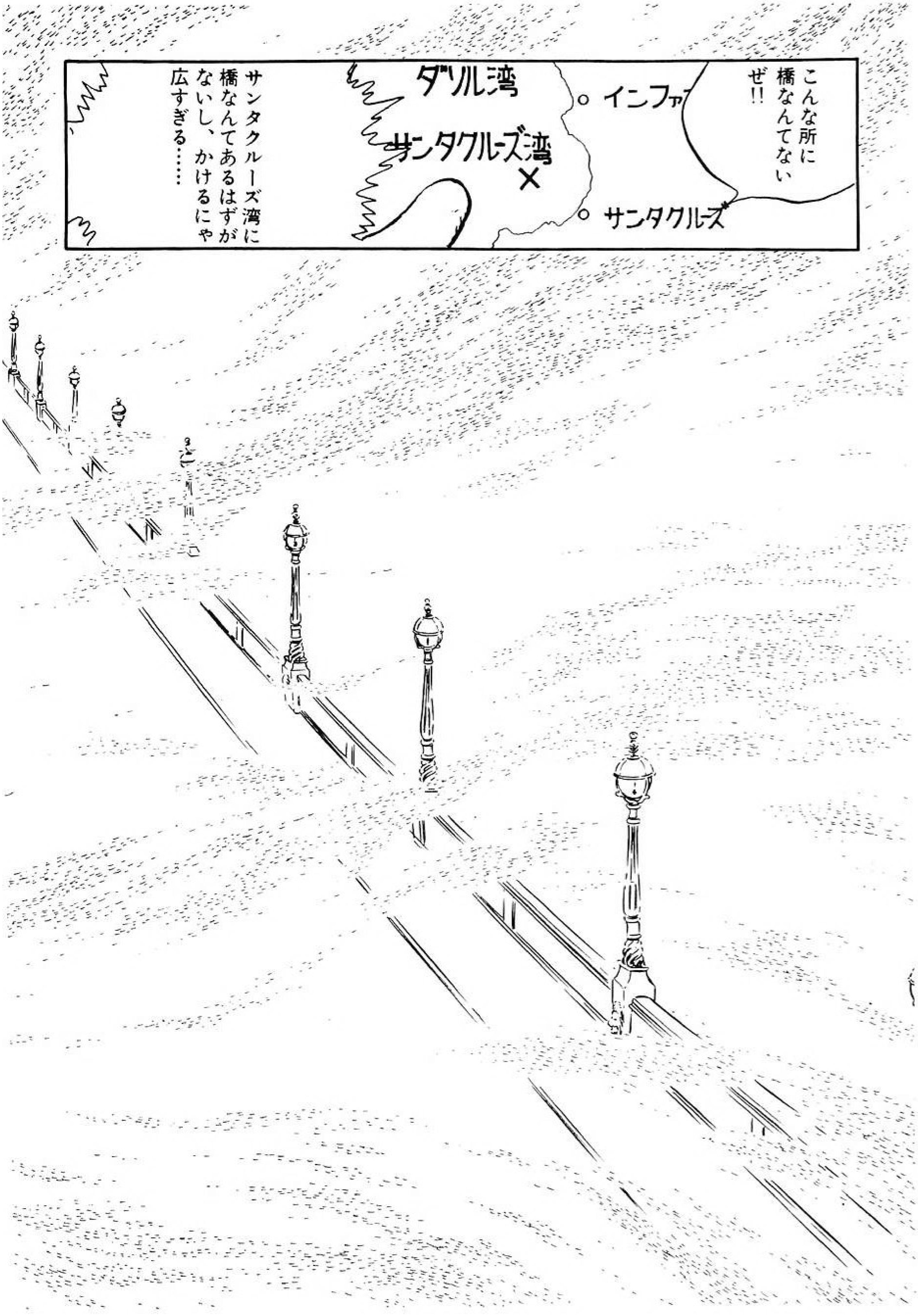

イザベラ…
イザベラ…
イザベラ…
それだけで俺は
満足だったのだ…

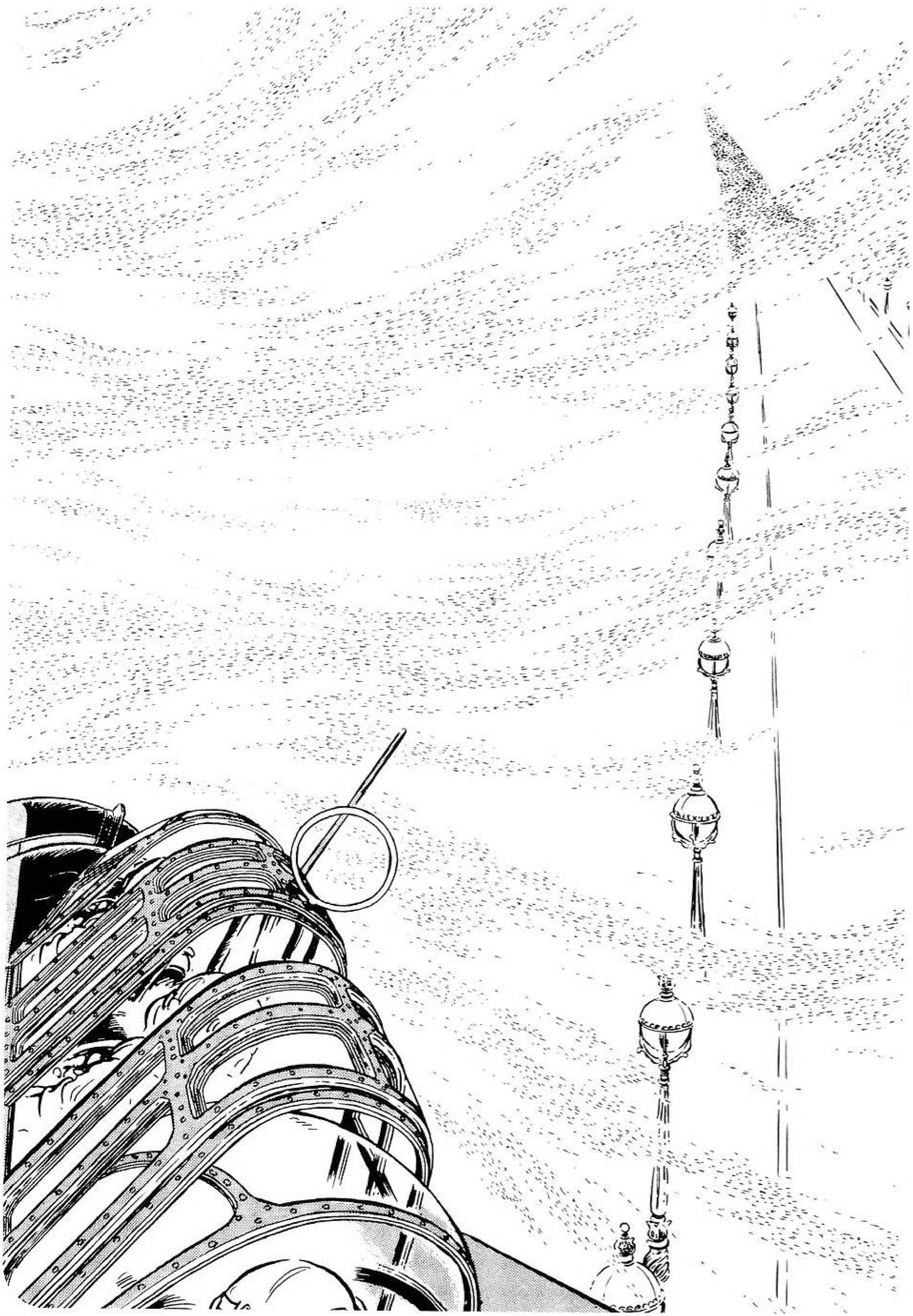
おいサミエル!! コースを少し はずれたぞ!! 北へずれてる ぼんやりするな。
あ そうか…
日本の潜水艦が 水路偵察に 侵入するかも しれないから 注意しろって 司令部からの 命令だ。
わかってるよ オリバー。
こんな所へ 日本の潜水艦が 来るもんかって!!
俺も そう思う けどな。
何か光った ぜ。
そうだな…

ここはどこだ?
サンタクルーズ湾の真ン中だ。
漁船じゃないのか?
うん。
高度を下げよう。
何か出やがったかな?退屈しなくていいや。
おい何で霧が出てるんだ?
低い雲だろう。スコール…でもないしな。
俺にはそれが霧に感じられたおかしな話だと思うが…何しろそこはロンドンじゃなくて、熱帯のまっ昼間の海の上だったんだから…霧など出るわけがない。
海面が見えない。
高度は?
六百だ…まだ水にぶつけやしないって安心しろ。


!?
おい、あれは何だ？
あれは!!


これは橋だ!!

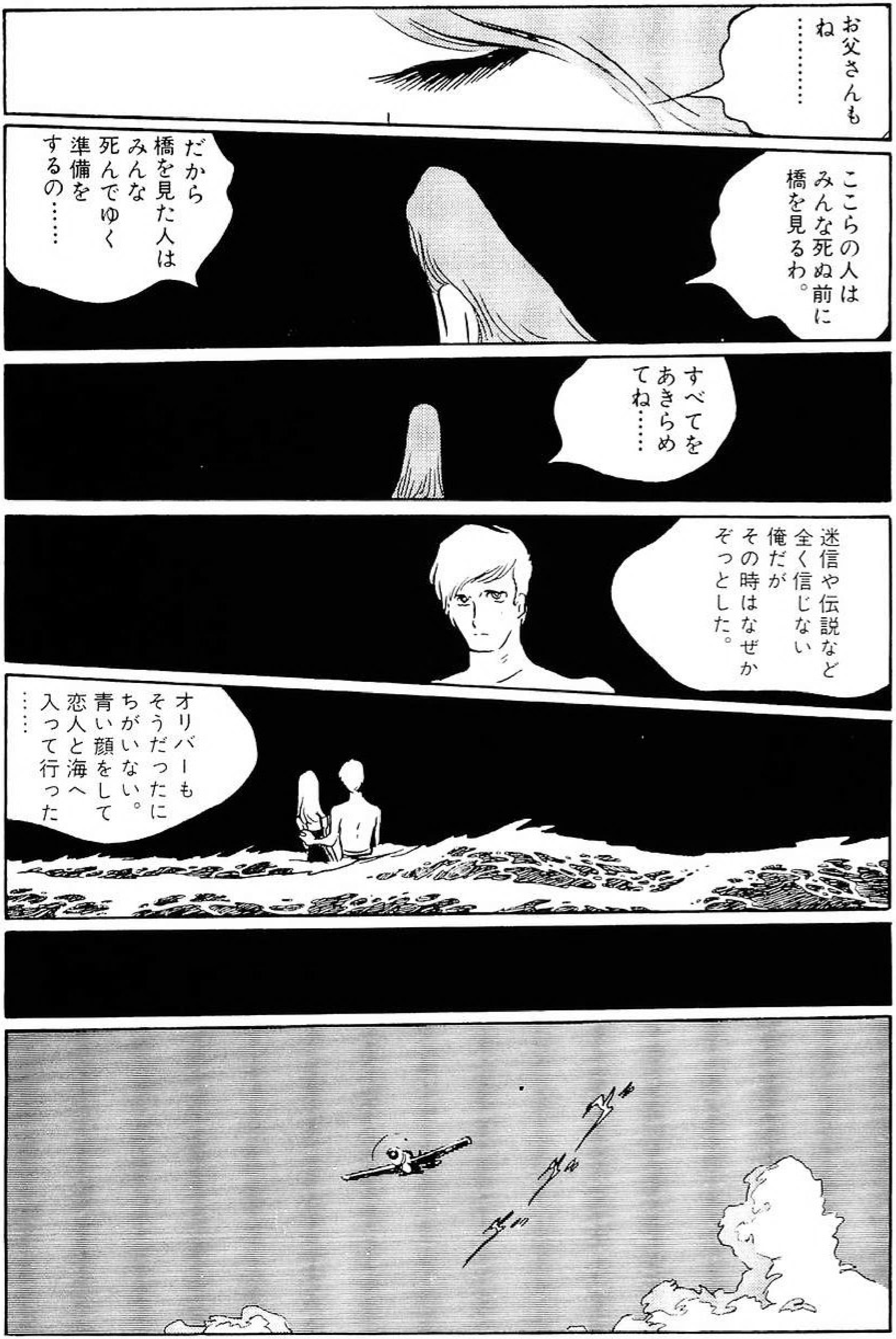

こんな所に
橋なんてない
ぜ!!
インファ
サンタクルーズ
ダソル湾
サンタクルーズ湾
サンタクルーズ湾に
橋なんてあるはずが
ないし、かけるにゃ
広すぎる……



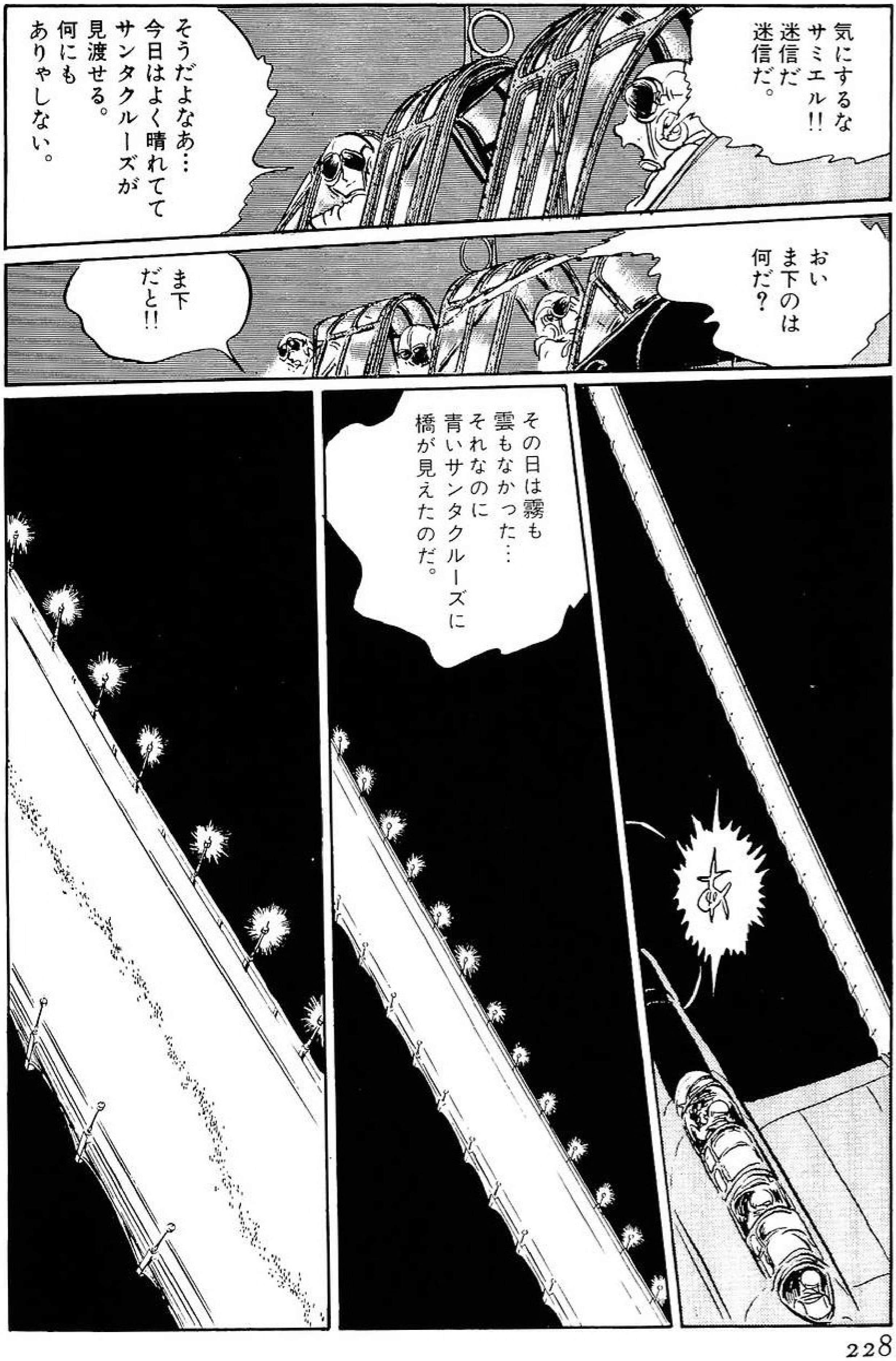
高度を上げて全部を見られないか？
この霧だ、上からは見えないかもな…
上がってみると何だか気持が悪くなって来たぜ。
その日はやけに機体が重かった。
このノースアメリカン０—47がいささか時代おくれなのはわかっていたが、その日のエンジンはまるで霧を吸い込んでカゼをひいたみたいにせき込んでいた。
いきなり霧をぬけて上へ出た。
そして下を見ると霧などどこにもなく青いサンタクルーズ湾が果てしなく広がっていた。

俺たち夢を見たのかなあ。
たしかに橋があったぜ、たしかに見たぜ。
橋を見たの?
ああ…俺もオリバーもね。
広くて長くてまっ白できれいな橋だった……
……
サンタクルーズに橋なんてない事はわかってるから二人して寝ぼけた事にしといたがね。
イザベラ!!
……
サンタクルーズに橋はあるわ!!

え?
見た人は
いずれその橋を
渡り……
死者の国へ
行く白い橋が
……
ずっと昔から
サンタ
クルーズには
あるの……
その橋を
渡る宿命に
ある人だけに
見えるという
サンタクルーズの
橋が……
伝説かい
イザベラ。
はは、
気にする事は
ないよ、
伝説なんて
いくらでも
おかしな話が
あるんだ。
サンタクルーズに
橋はあるわ!!
私の母さんも
その橋を見たと
いって…しばらくして
死んだわ!!



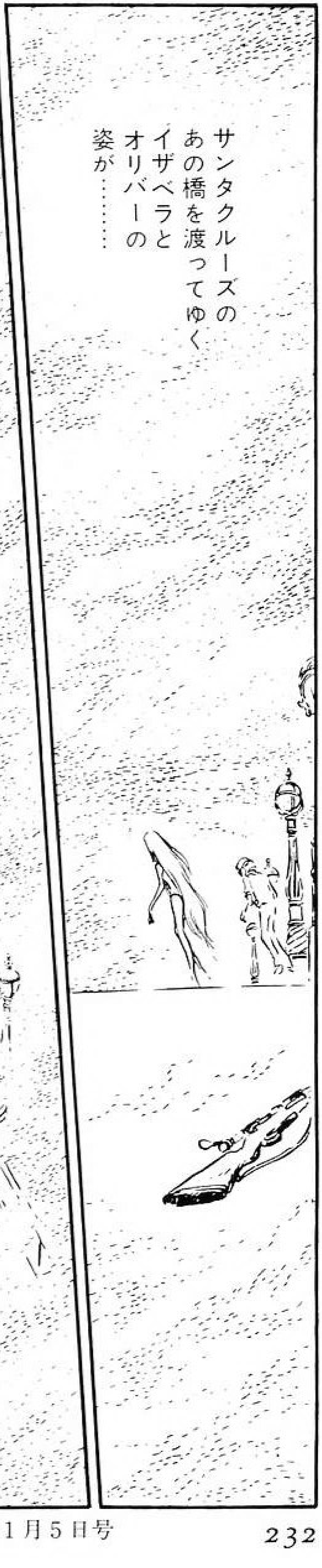
お父さんもね…………
ここらの人はみんな死ぬ前に橋を見るわ。
だから橋を見た人はみんな死んでゆく準備をするの……
すべてをあきらめてね……
迷信や伝説など全く信じない俺だがその時はなぜかぞっとした。
オリバーもそうだったにちがいない。青い顔をして恋人と海へ入って行った……


気にするな サミエル!! 迷信だ 迷信だ。
そうだよなあ… 今日はよく晴れてて サンタクルーズが 見渡せる。 何にも ありゃしない。
おい ま下のは 何だ?
ま下 だと!!
その日は霧も 雲もなかった… それなのに 青いサンタクルーズに 橋が見えたのだ。

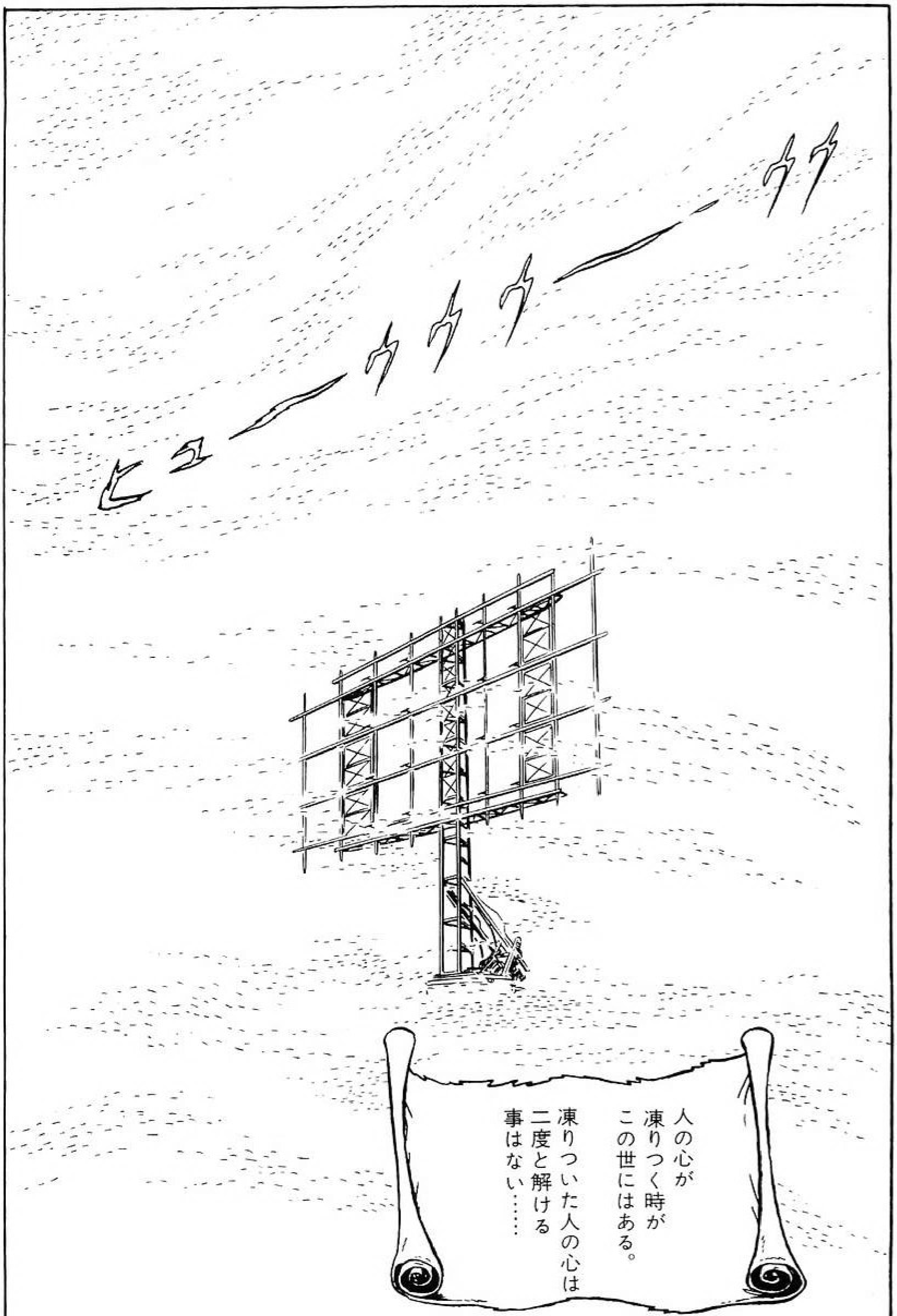
きのうとちがって
その橋の上を
大勢の人が渡って
いるのが見えた。
アメリカ人もいた、
日本人もいた
フィリピン人も
いた……

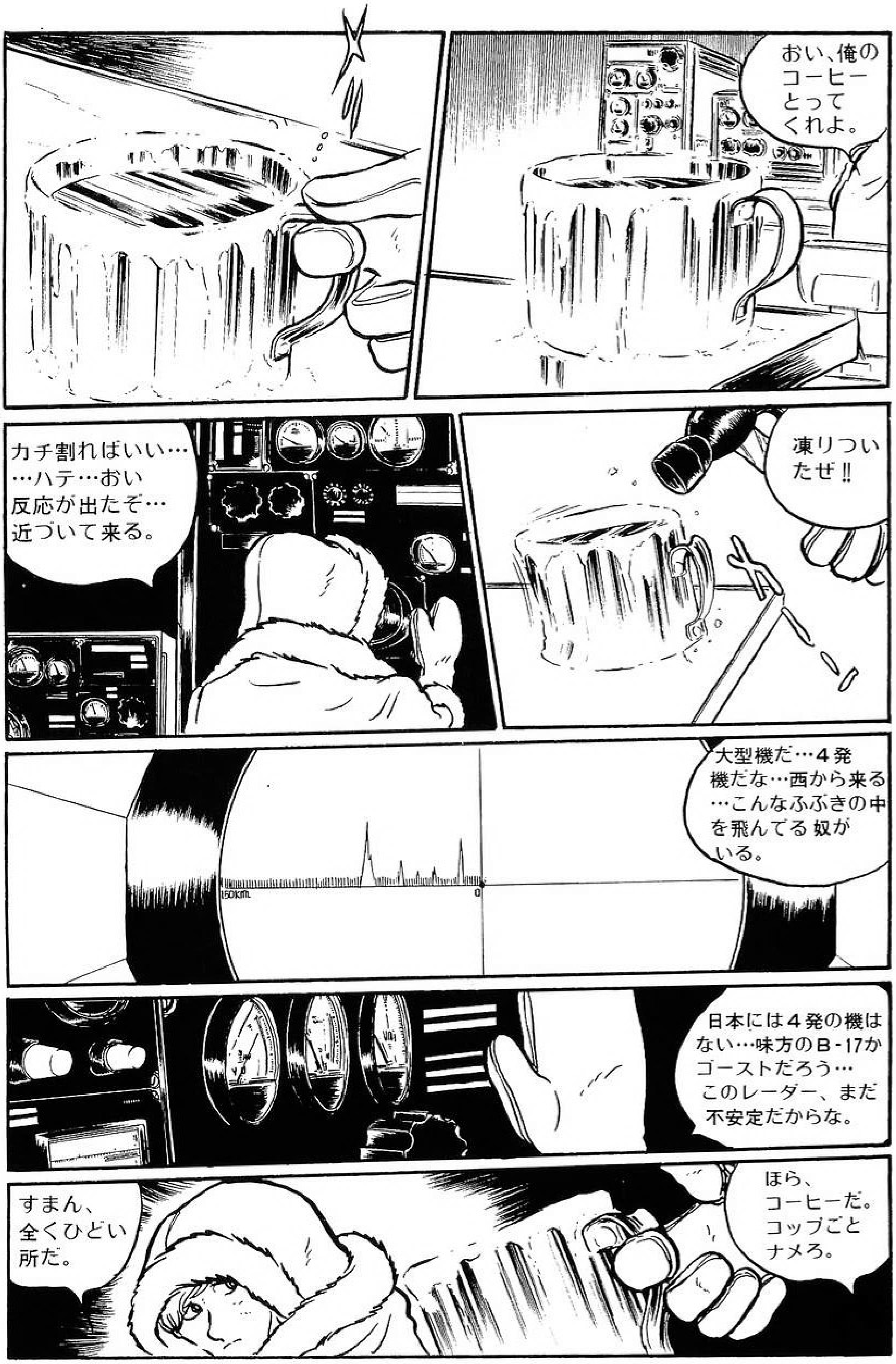
どこへ向って
かかっているのか
わからない橋の上を
泥と血にまみれた
死人のような人々が
黙々と歩き、渡って
ゆくのを俺は見た……
オリバーも、
きっと見たに
ちがいない。
それは血も凍る
ような光景だった
…俺は日本兵など
見た事もない……
それなのに何よりも多く
日本兵が
その橋を渡ってゆくのだ。
彼等の兵器を
背負い……
彼等の国の
ユニフォームを
着て……

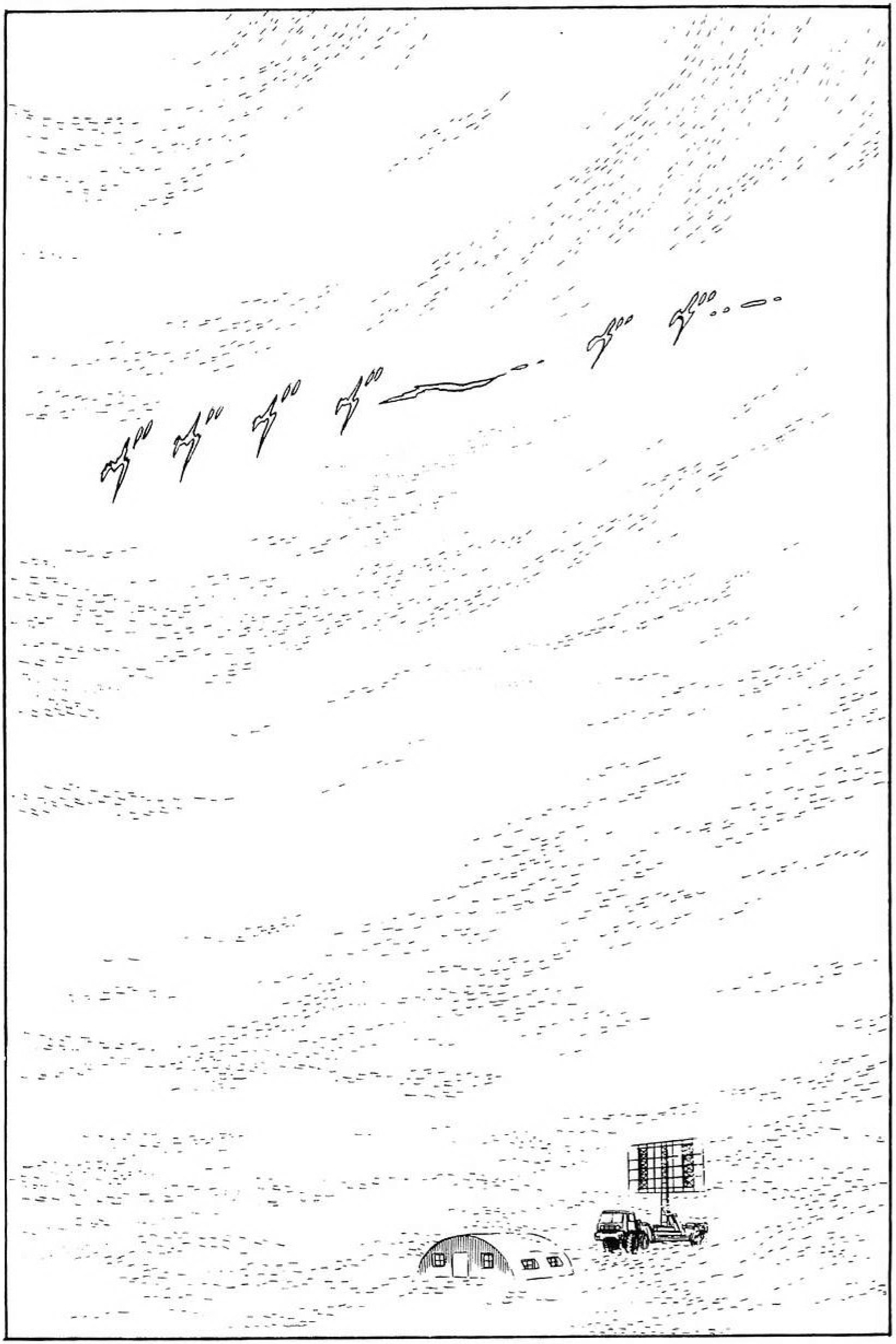
衝撃で気がついた時、まわりは日本機で充満していた。
オリバー!!
後年有名になったゼロが俺の旧式機のまわりを乱舞していたのだ。
いっしょにおちたオリバーがどうなったか俺にはわからない……
イザベラが戦争の中でどうなったのかそれも知らない。
両目を失って暗黒の中におちた俺は、戦争が終った日アメリカへ帰った。
オリバーもイザベラも死んだにちがいない。
暗黒の中にいる俺には見えるのだ。目でなく心の中に見えるのだ。



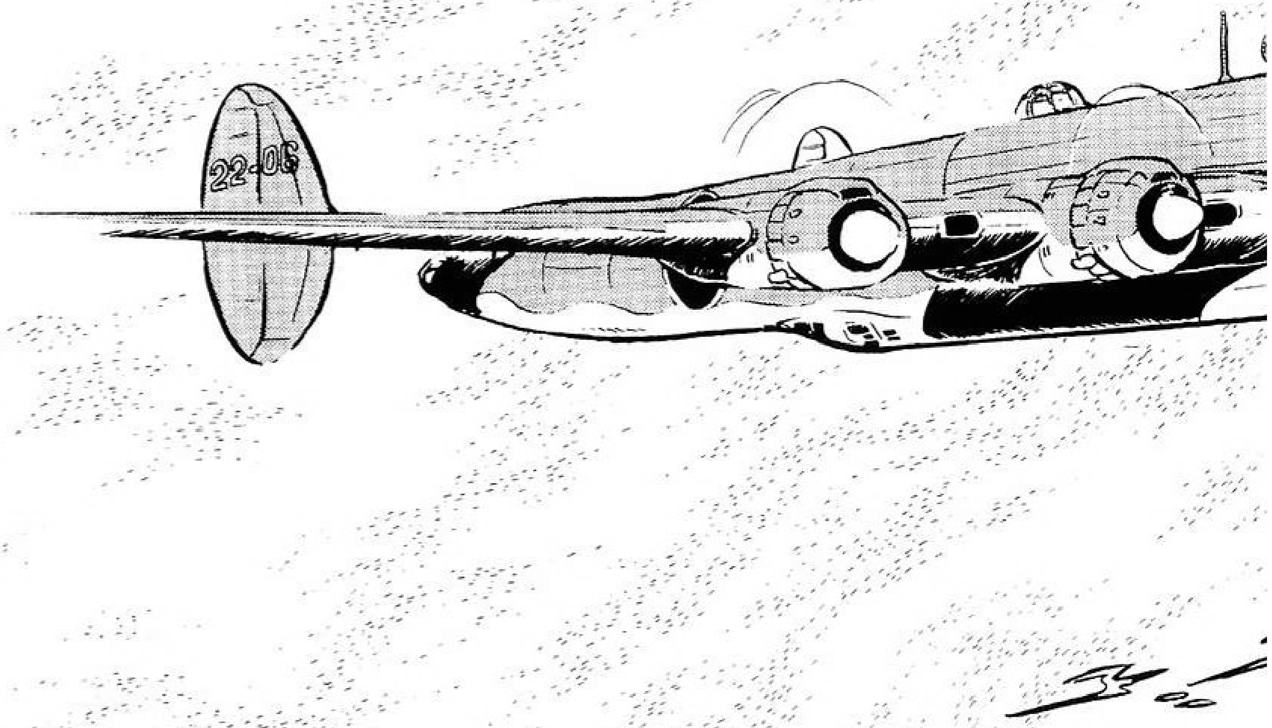
「サンタクルーズの橋」掲載・ビッグコミックオリジナル昭和54年1月5日号


ヒュ――ウウウ――ウウ
人の心が
凍りつく時が
この世にはある。
凍りついた人の心は
二度と解ける
事はない……

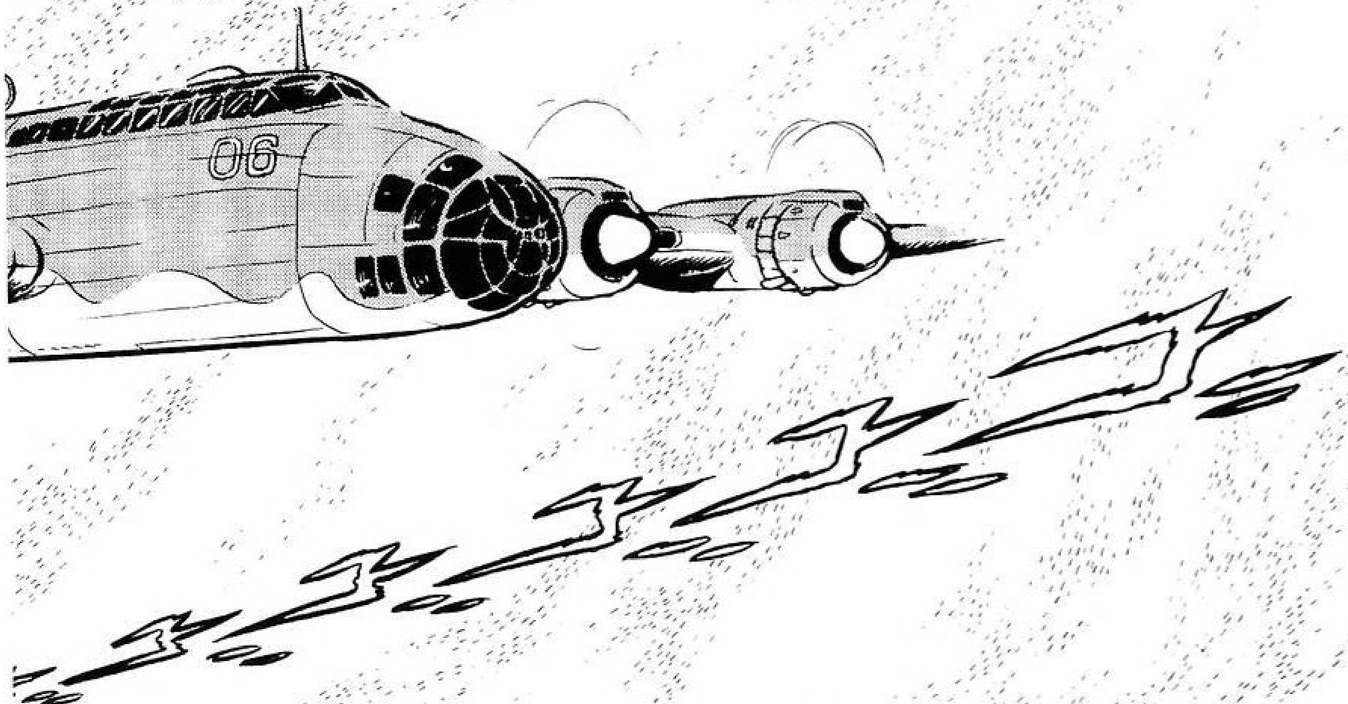

おい、俺のコーヒーとってくれよ。
凍りついたぜ!!
カチ割ればいい…
…ハテ…おい
反応が出たぞ…
近づいて来る。
150KM
0
大型機だ…4発機だな…西から来る…こんなふぶきの中を飛んでる奴がいる。
日本には4発の機はない…味方のB-17かゴーストだろう…このレーダー、まだ不安定だからな。
ほら、コーヒーだ。コップごとナメろ。
すまん、全くひどい所だ。



妖精（ようせい）

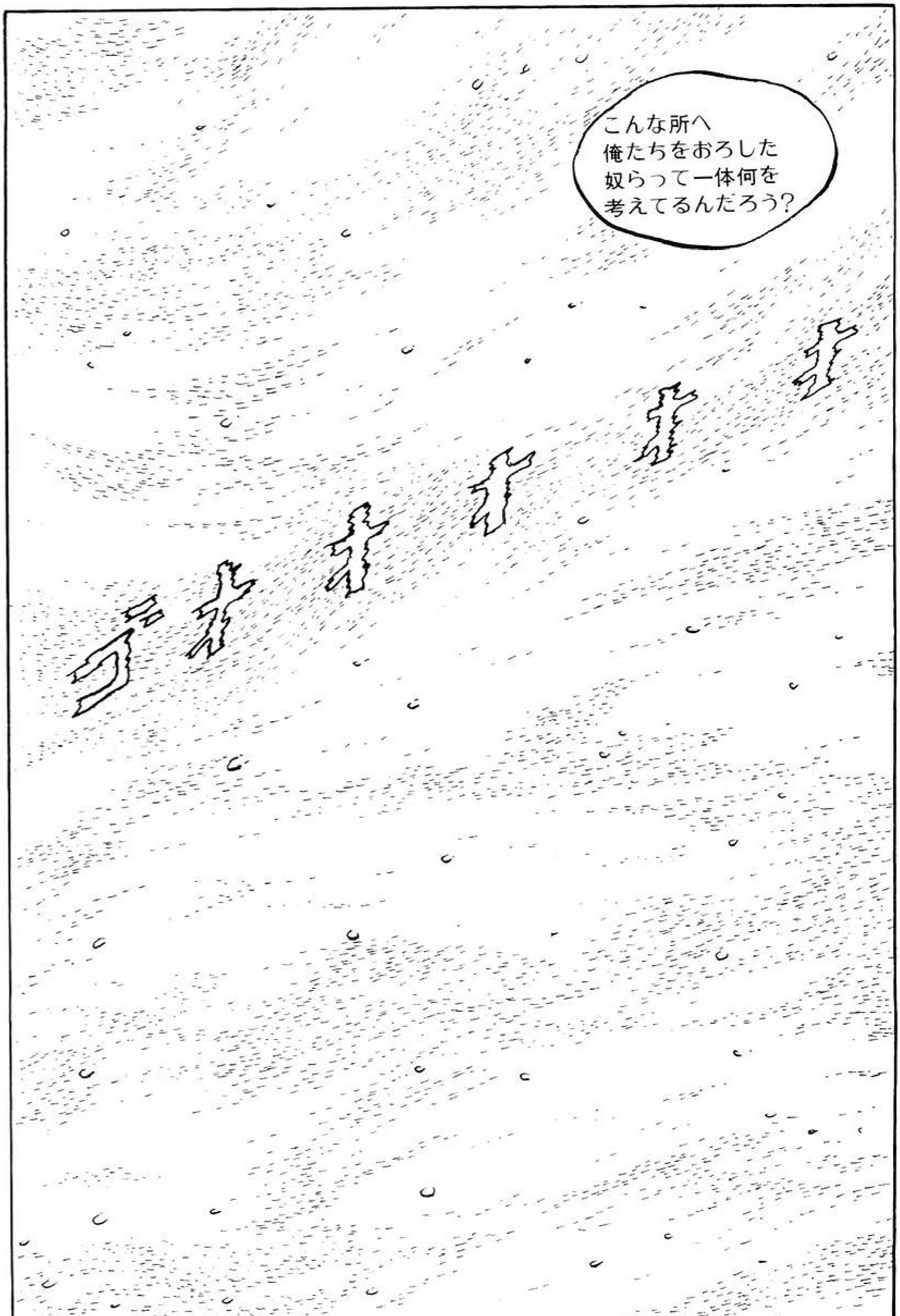


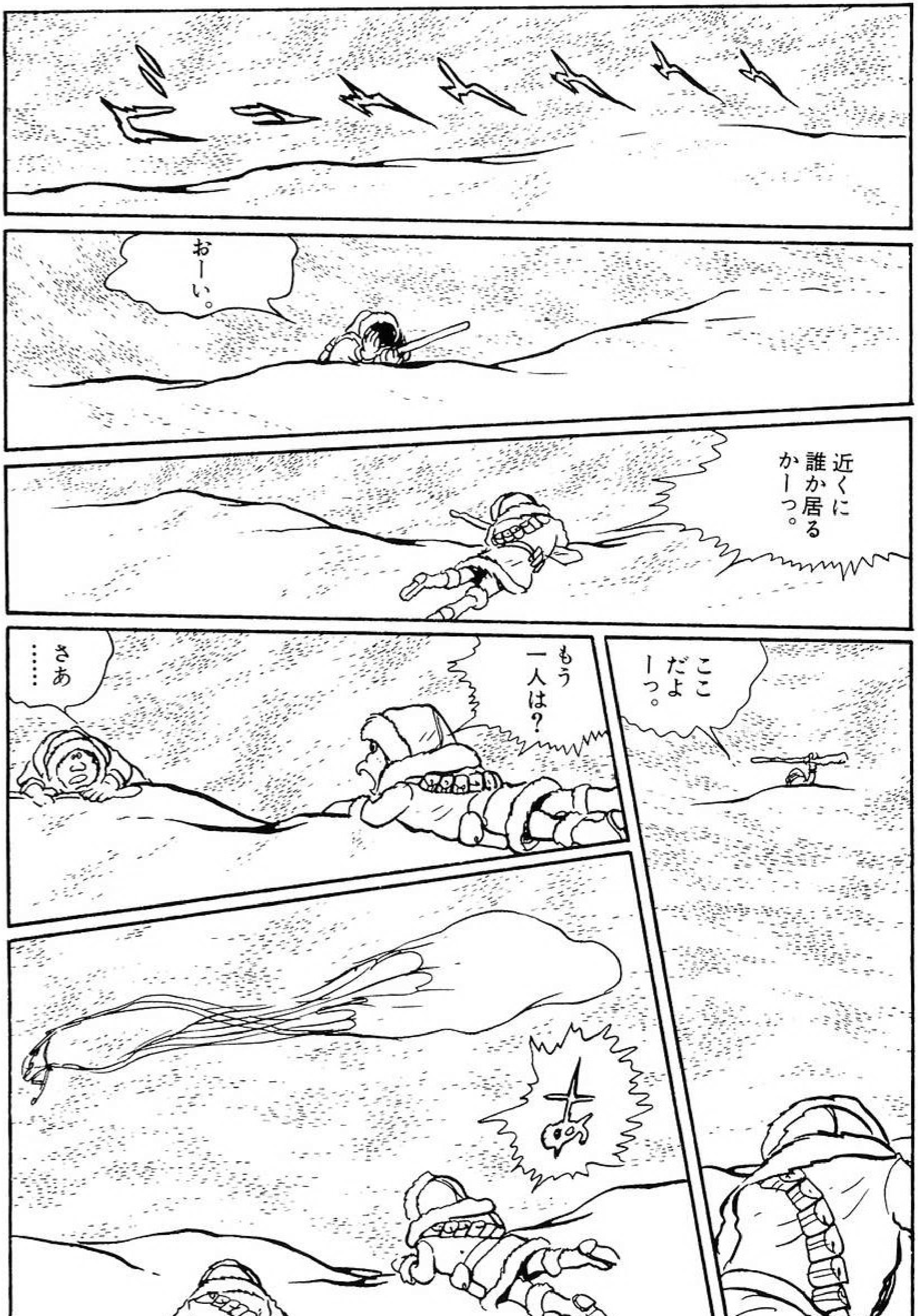
氷河帯（ひょうがたい）



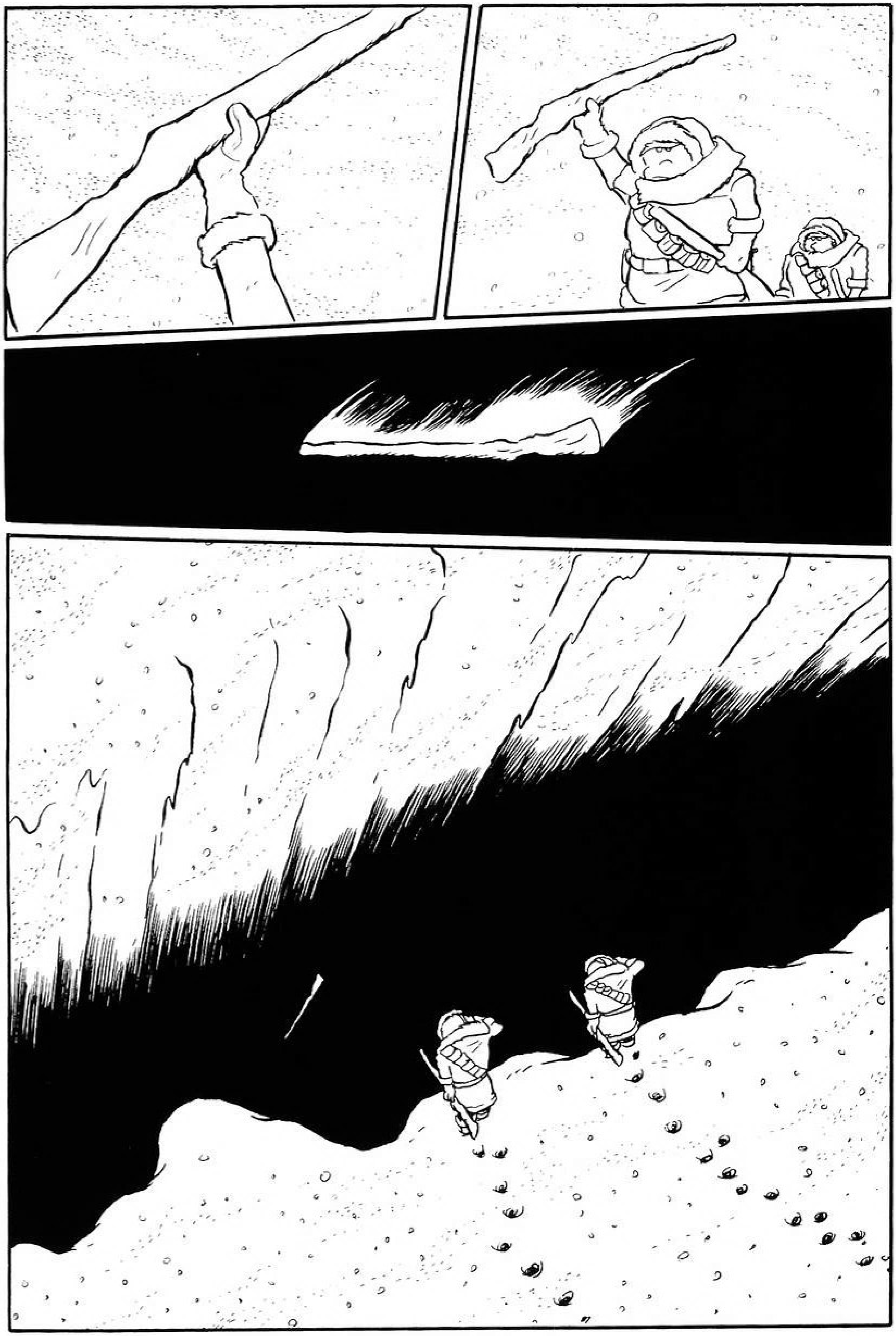
こら～っ、何か見えるか～っ。
だめです、まっ白でなっ～んも見えません!!
お客さん、ここが目的地の上空でっせ。何も見えませんがどないしますか？
わかった。爆弾倉を開けて、旋回していてくれ。

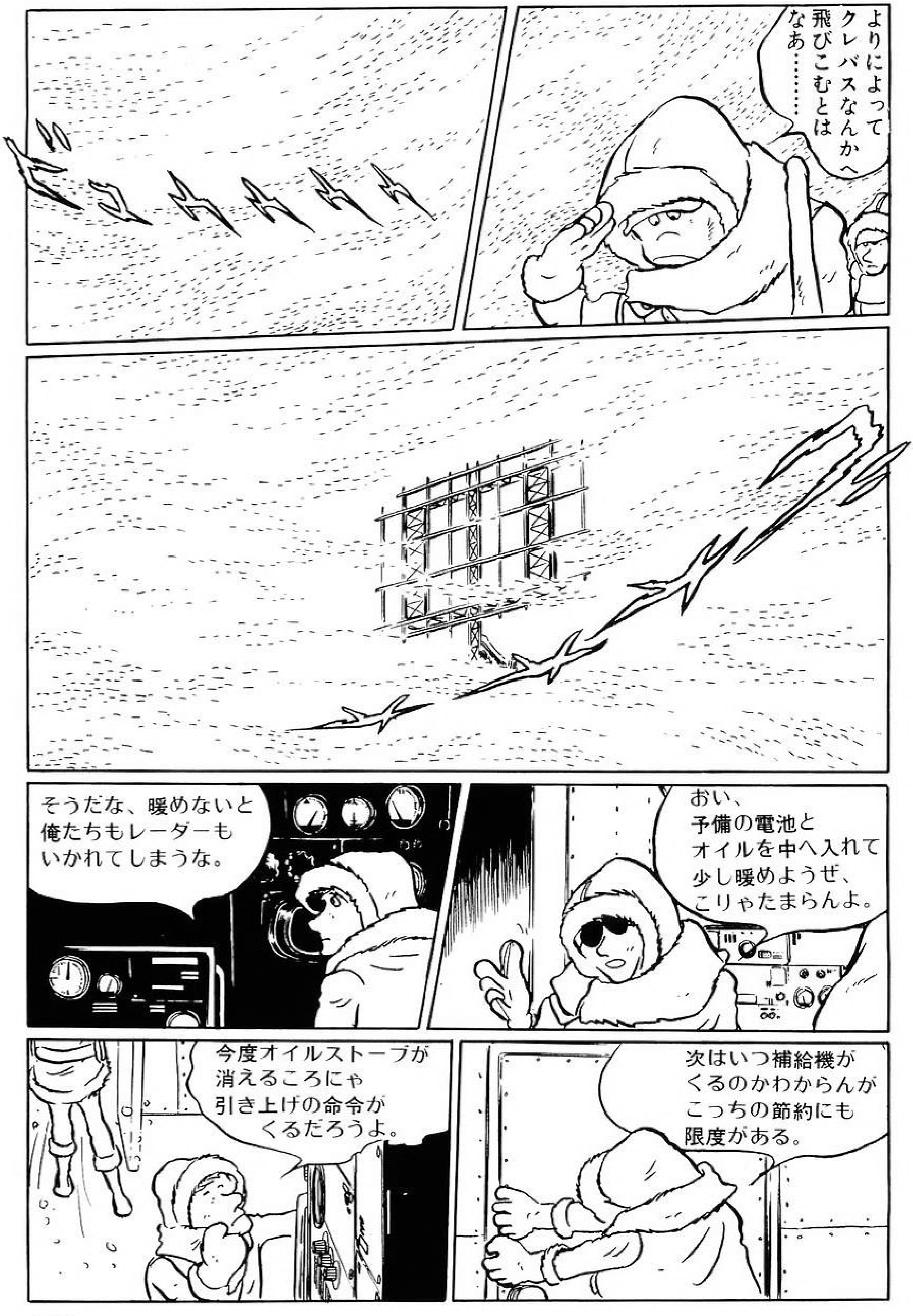
帰って行くぜ、
上をぐるぐる
回ってたけど…
迷ったのかな…ここへ
補給物資を持って来て
くれたとも思えんし。
あ〜あ、早くお迎えの
飛行機が来てくれ
ねえかなあ……
これじゃ
無理だぜ、
温度も下が
る一方だ。
レーダーも
ダメだ。
アンテナに
氷がついた
らしい。
ヒーターが全然
効かないんだ。
部屋のを止めて
アンテナの防水
装置に流して
るのに…


こんな所へ
俺たちをおろした
奴らって一体何を
考えてるんだろう?
ゴオオオオ


おーい。
近くに誰か居るかーっ。
ここだよーっ。
もう一人は?
さあ……

あれは……!!
こっちだ!!
あいつの銃だ。
……
あ



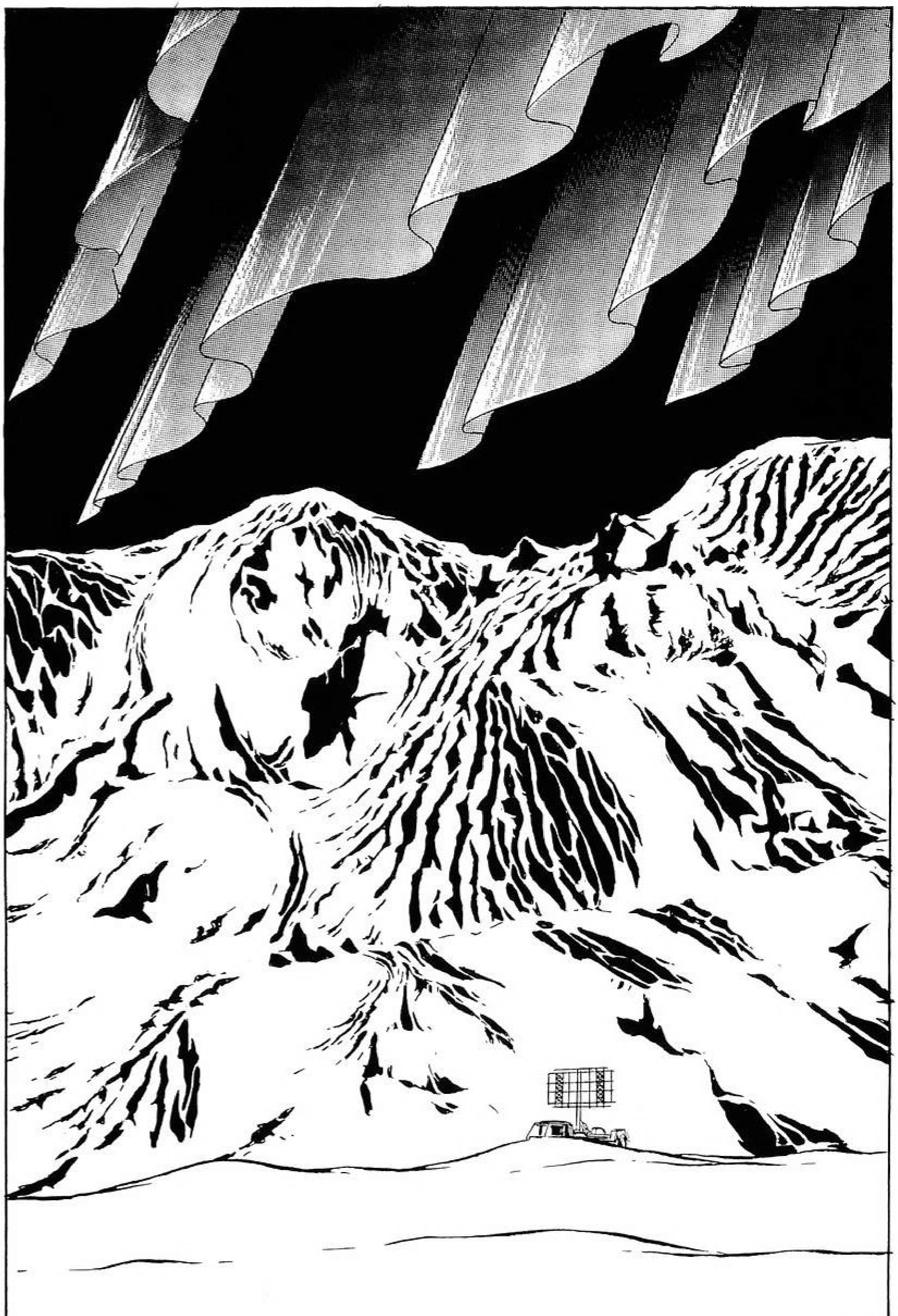

よりによって
クレバスなんかへ
飛びこむとは
なあ……
おい、
予備の電池と
オイルを中へ入れて
少し暖めようぜ、
こりゃたまらんよ。
そうだな、暖めないと
俺たちもレーダーも
いかれてしまうな。
次はいつ補給機が
くるのかわからんが
こっちの節約にも
限度がある。
今度オイルストーブが
消えるころにゃ
引き上げの命令が
くるだろうよ。

まったくひどい所だ。俺も割の悪い仕事へまわされたもんだ。
シートも凍りついてら。
くそっ……オイルカンも凍りついてとれねえ。
!!
ジャップ!!

WAO!
何をグズグズしてるんだ、ドアをあけっぱなしにして‼
ジャップがいた
ジャップがいた
日本兵だ。
何だ、いきなり‼
ここであわてることなんてあるか？
お前、夢を見てたのか？そんな腰ぬけとは思わなかったぜ。
日本兵だって、こんな所にか？
そうだろ？袋に入れた小銃を持ってやがるぜ。
いたいた！たしかに日本人だ。
ああ――っ‼

!!
くそっ!!
!!
COLT'S PT.F.A.MFG.CO.
HARTFORD.CT.USA
おいダメだ、ピストルが凍って動かない!!
ライフルもだ、カチカチに凍りついて動きゃしねえ!!
めんどうなことになるぜ、こりゃ!!
おい敵だ!!敵がいた、電探基地だ。
ここが目標か!!やばいな。
だめだ、銃が凍りついて動かない。
俺のもだ、どうしよう。

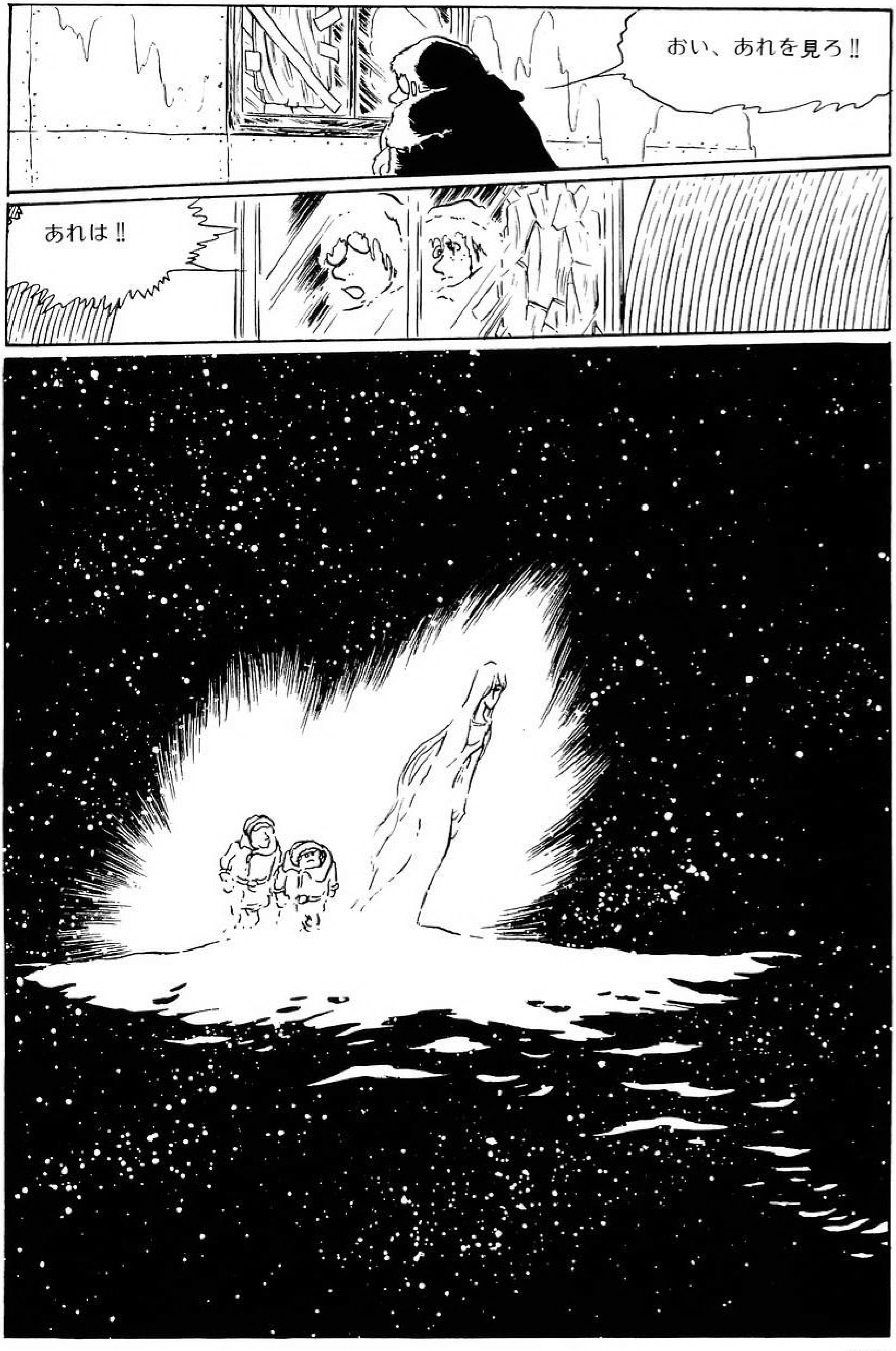
手榴弾はどうだ？
やってみよう。
こいつもピンが凍りついてる。
これじゃ攻撃目標を発見しても手も足もでない。
むこうも撃ってこないいな。
これじゃ手も足も出ないぜ。
つかみ合いをするのはいやだなあ。
気温はさがる一方だ。オイルを中に入れなきゃこごえちまうよ。
ヒュゥゥゥゥー



無線機は！
これもカチカチ。
何もかも氷のかたまりになってしまった。
気がついたらどえらい所に敵の電探基地があるんだなあ。
しかしオーロラはきれいだよ。
レーダーも何もかも、どうにもならん。
見ろ、メーターにまで氷がはってきたぞ。
なあ、少し気になることがあるんだがお前、気がつかなかったか？
何が？

あいつら、本当に日本兵だったんだろうか？
え？
あいつら俺たちと同じ防寒コート着てたように思わないか？
……そういやなあ。
足が短く見えるだけで……同じだった……な。
この服は軍服じゃなくてここで地磁気の観測をするための研究者用に作ったものだ。
俺たちだって兵隊じゃなかった……本来なら、ここで観測をする観測員だった。
戦争さえなけりゃな。
おかしいがな。
!!
はち合わせしたアメリカ兵も俺と同じ服を着ていた。
何……

アメリカからの輸入品で……もともとここでアメリカと地磁気の共同観測をする観測隊員用の防寒服だ。
戦争が始まらなけりゃな………
俺たちはここでアメリカ人と共同観測をしていた……
この妖精氷河帯でね。
オーロラのきれいな夜……氷河に凍りついた妖精がとけてでて歌を歌うという伝説のある所……
妖精を見た者は永遠に凍りついてとけることがないという所……
もともと日本人と共同観測をする場所だったからケンカはするなというわけかなあ。
妖精が武器を凍りつかせて、やめさせたのかもしれん。


おい、あれを見ろ!!
あれは!!

D点のレーダー基地との連絡はとれません。
偵察機を飛ばしましたが、ナダレがあったらしく所在がわからないとのことです。
あちらは寒いからなあ………
降下した三隊員の消息をみとめえず、無電連絡、発火信号等の生存反応もなく……
見えるのは無限に続く大氷河のみ……

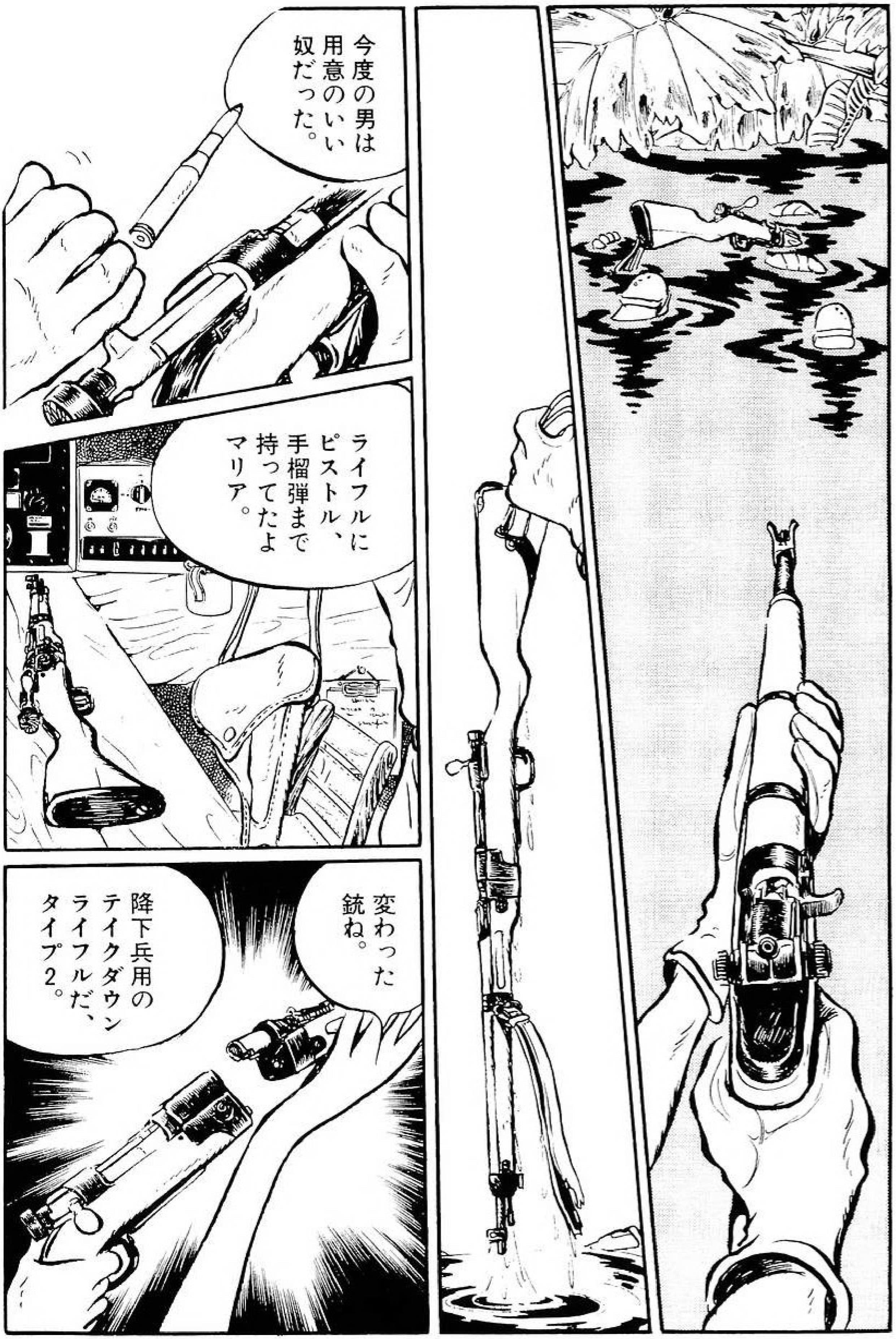
「妖精氷河帯」掲載・ビッグコミックオリジナル昭和54年3月5日号

私はフレッド・アルバドロス、
当時43歳。
はげしい近眼だったが
老眼も進行しはじめていて
遠くの方はよく見えた。
見えなくてもいいものまで
よく見えた……

サンタイザベラの
う

くびかざ
首飾り

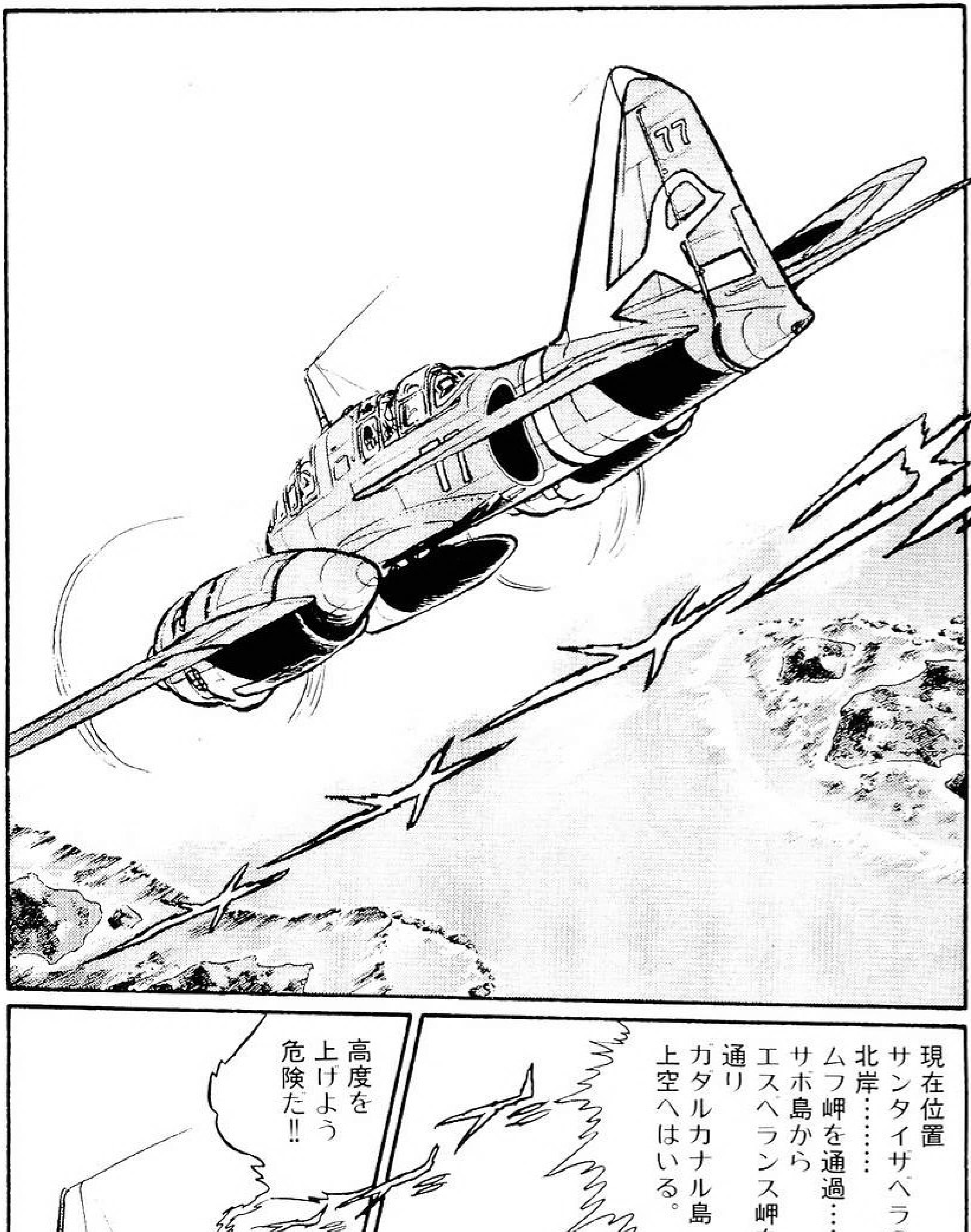
銃弾は音より速い。
この男はおそらく
銃声を聞く前に
あの世へ行った
だろう……
自分の身に何が
起こったかも
わからずに……
すべては
神の思召しである。


今度の男は用意のいい奴だった。
ライフルにピストル、手榴弾まで持ってたよマリア。
変わった銃ね。
降下兵用のテイクダウンライフルだ、タイプ2。

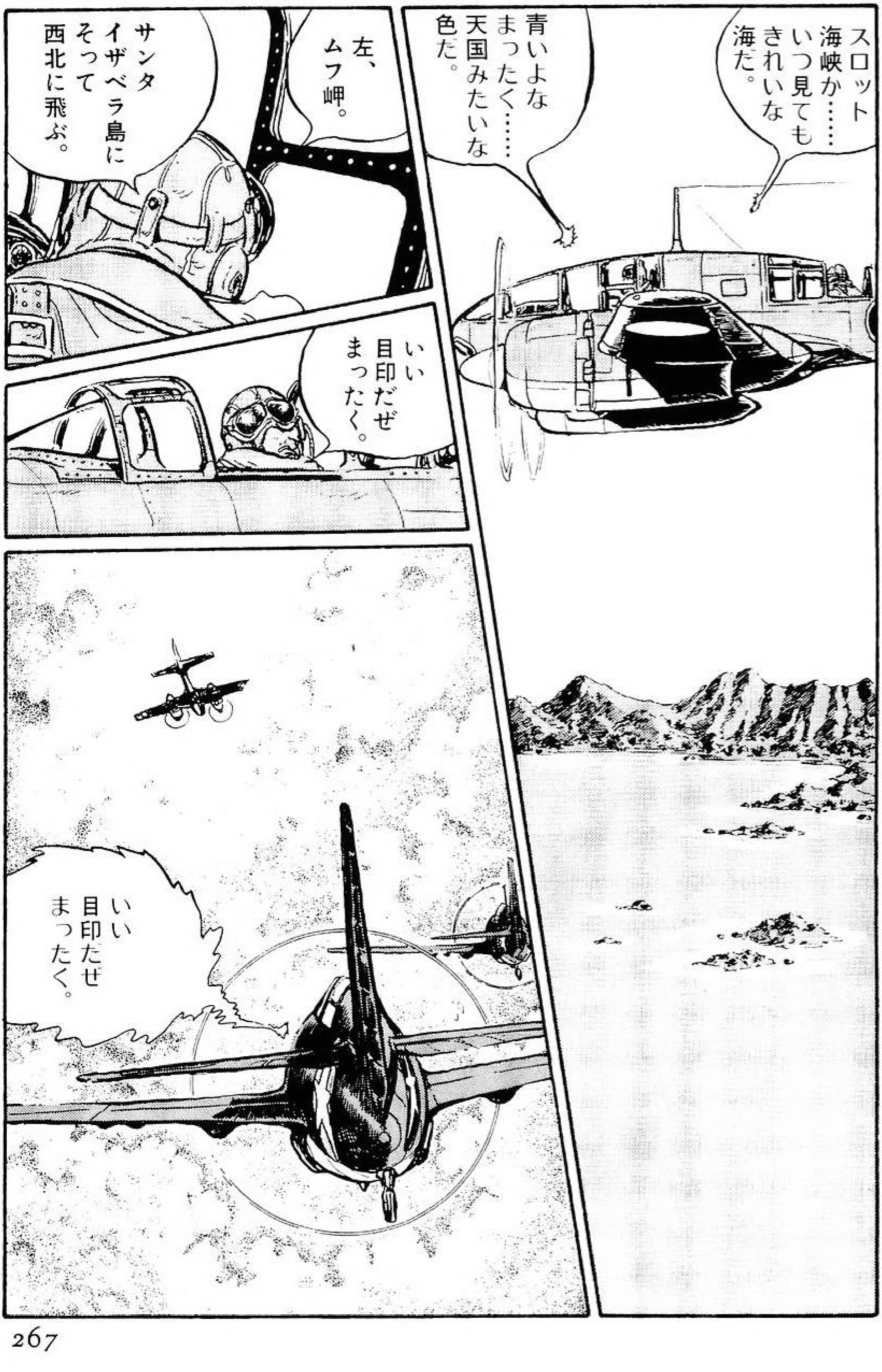
だいぶたまったわ。
そのうち銃砲屋でも開くか、ははは……
ヌーメアの司令部からの定時連絡よアルバドロス。
ヌーメアか……あそこはいい所だ。
何たって日本兵がいない……
ニューヘブリデス 諸島
サンタイザベラ島
ガダルカナル島
ヌーメア
ニューカレドニア島
珊瑚海

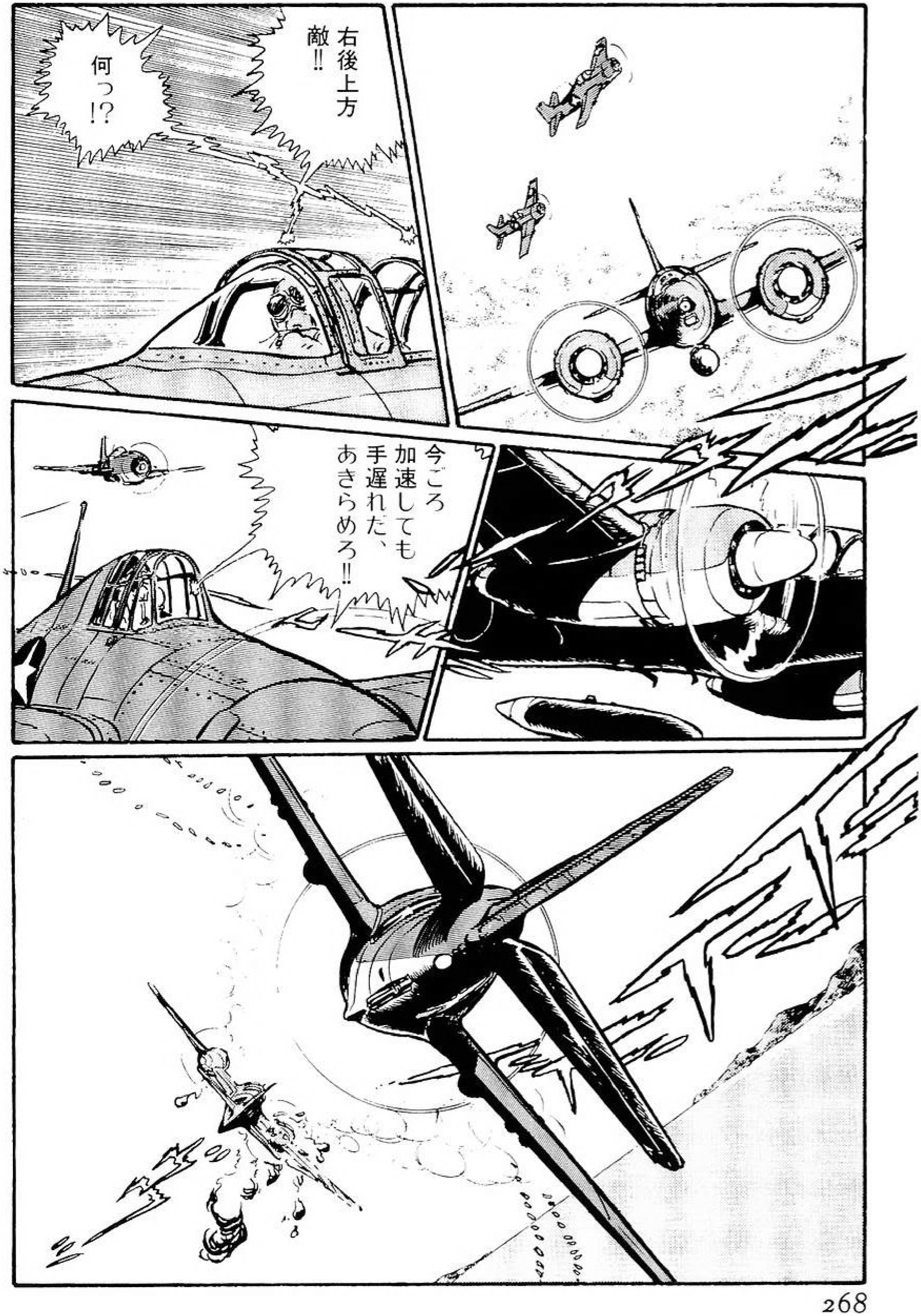
……
どうしたの?
……
もう少し大きな字で書いてくれ。
老眼って意外に早く始まるのね。
30を過ぎたら誰でも多かれ少なかれ老眼が進む、仕方がないさ。
私はまだとうぶん大丈夫。
!!
また来たわお客さんが……
……
あれはダイナだ、あいつらが百式司令部偵察機と呼んでいる高速戦略偵察機だ!!
!!

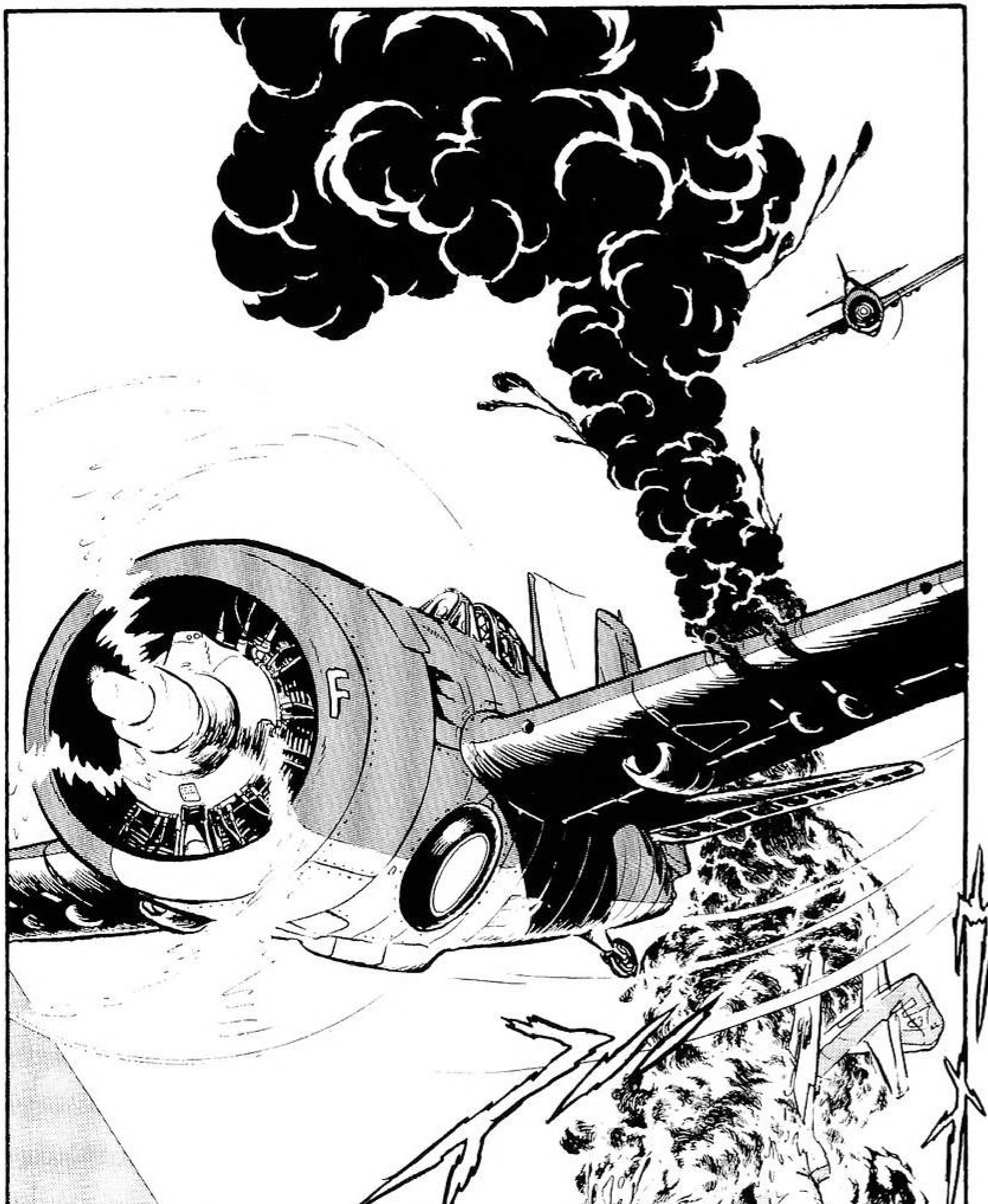
あなた、ここから見て何かわかるの？肉眼で？
老眼ってのはありがたいもんさ。
こちら〝首飾り(ネックレス)〟よりKEN局へ!!
ダイナ一機そちらへ向かう、タイプはII型!!
〝KEN局〟了解!!奴の帰りにそこの上空で始末する!!


現在位置サンタイザベラの北岸………ムフ岬を通過……サボ島からエスペランス岬を通りガダルカナル島上空へはいる。
高度を上げよう危険だ!!

ガダルカナルだ。
ちくしょう、雲が多くて飛行場も敵の上陸地点もよく見えない。
敵機の迎撃はない。
一機ぐらい気にしないいんだろう。
撮影が終わったら引き返すぞ。長居は無用だ。
出直しだ。
反転するぞ。


スロット海峡か……いつ見てもきれいな海だ。
青いよなまったく……天国みたいな色だ。
左、ムフ岬。
サンタイザベラ島にそって西北に飛ぶ。
いい目印だぜまったく。
いい目印だぜまったく。

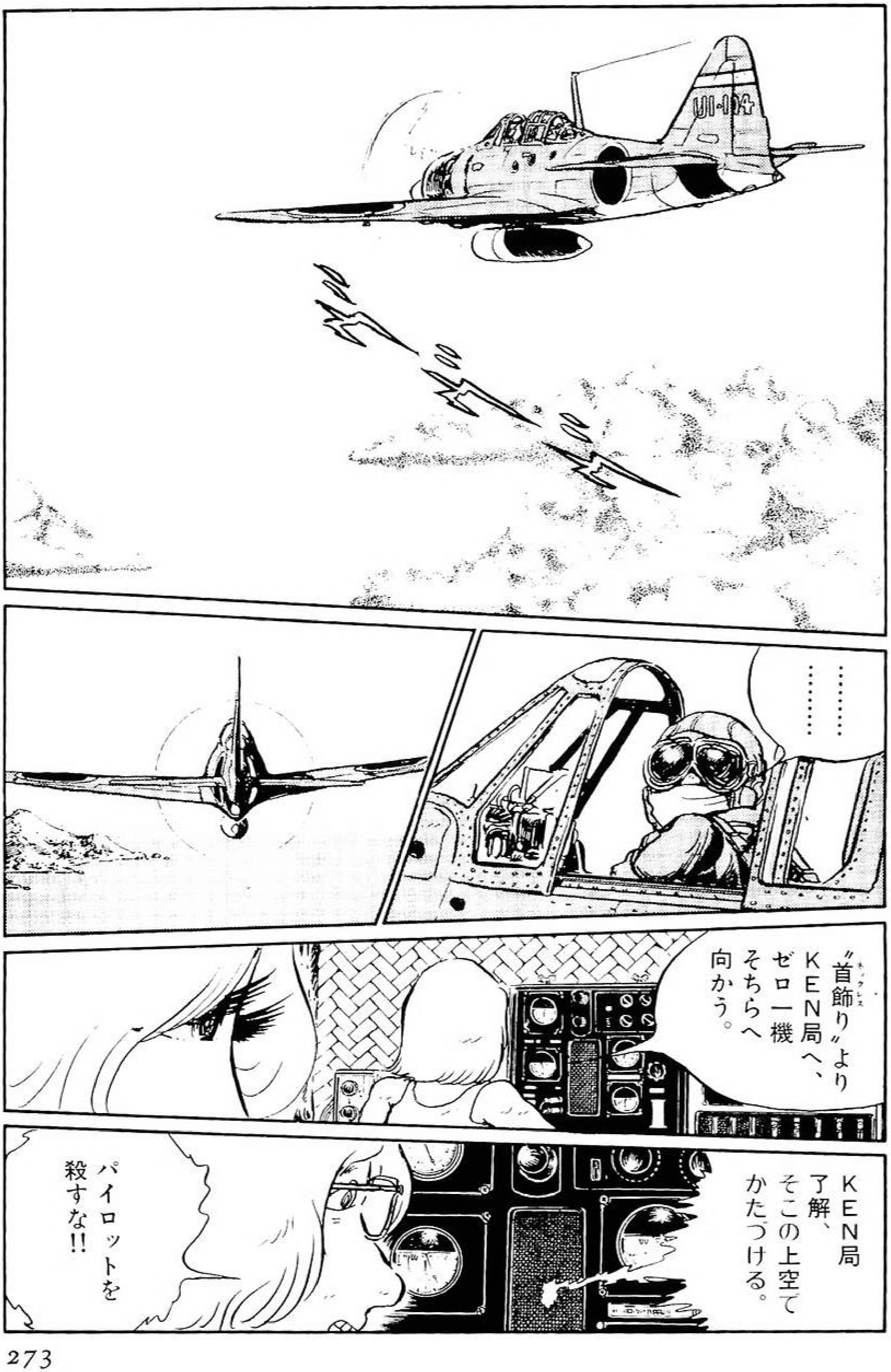

右後上方
敵!!
何っ!?
今ごろ
加速しても
手遅れだ、
あきらめろ!!



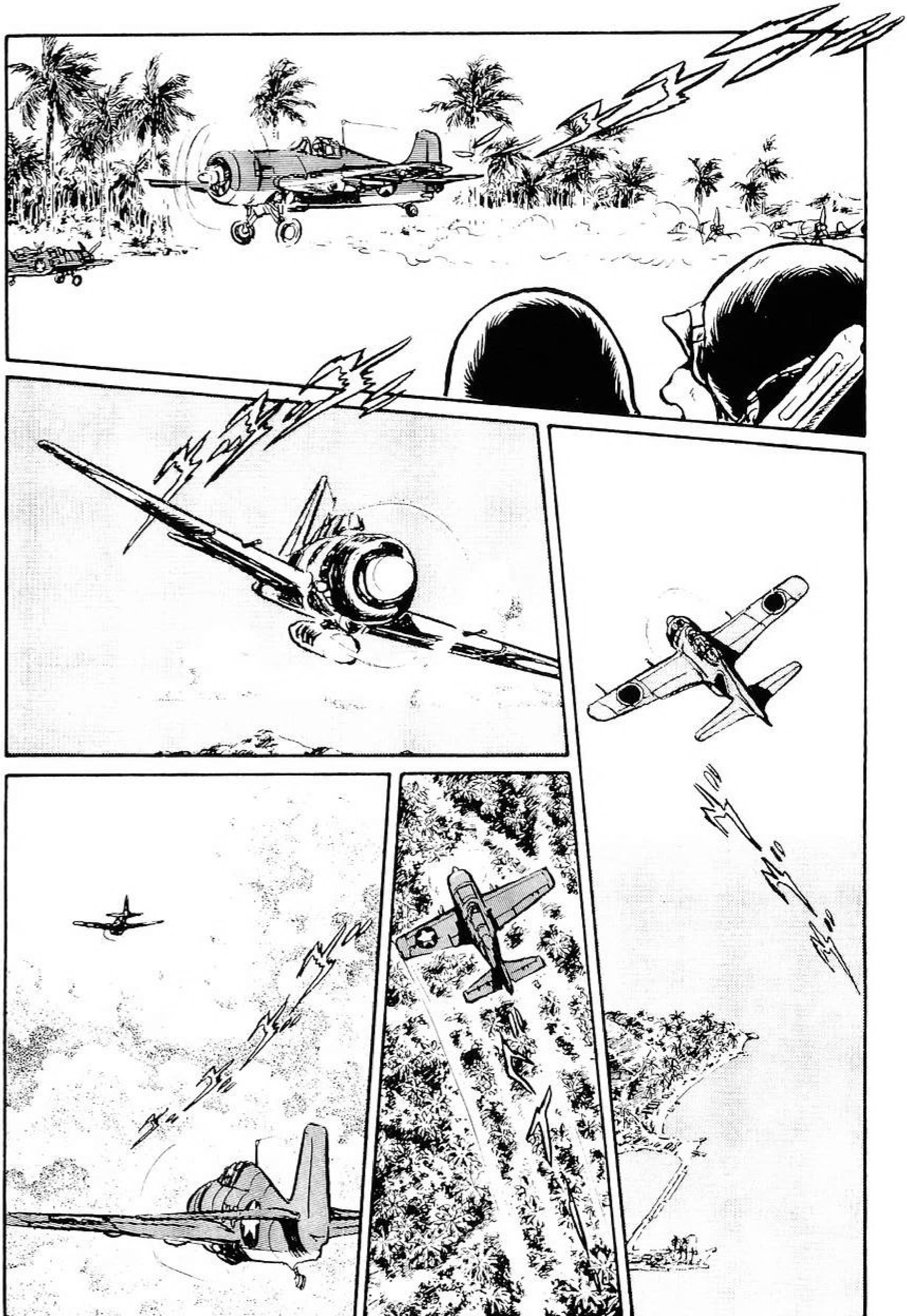
かたづけたわ。
あれでは台無しだ、パイロットをやらないように撃てないのか新米め!!
……
……
今日はもう来ないだろう、もうやめたい。
そう、もう今日の戦争はおしまい……
マリア……
天国だここは……

天国……
ソロモン群島は天国だ……ずっといたいぜ。
戦争さえなければね。
戦争？そうだ戦争だったな………やってるんだ俺は………
ここは敵のパイロットが降って来るだけで……とても気楽な所だ……
このままいつか戦いは終わるわ……そしたら本当の天国になる、私たちの……

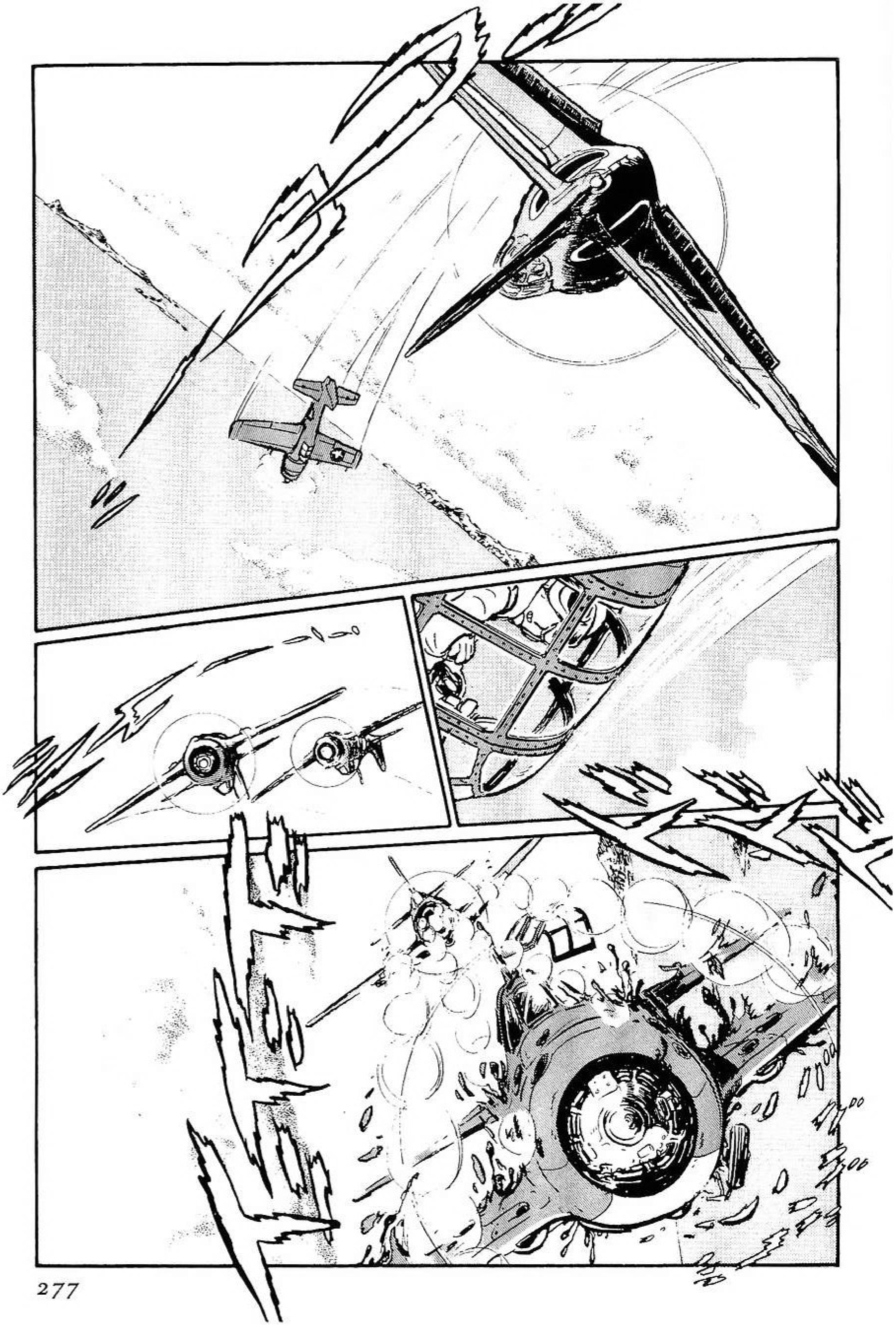
!!
ヴヴ
ヴゥ
来た!!
朝っぱらからゼロが一機だ……
あいつは暗いうちにラバウルを出たな……
あのゼロの仕事は偵察ね。
…………
偵察機では心細いんだろう、どっちでも同じだが……

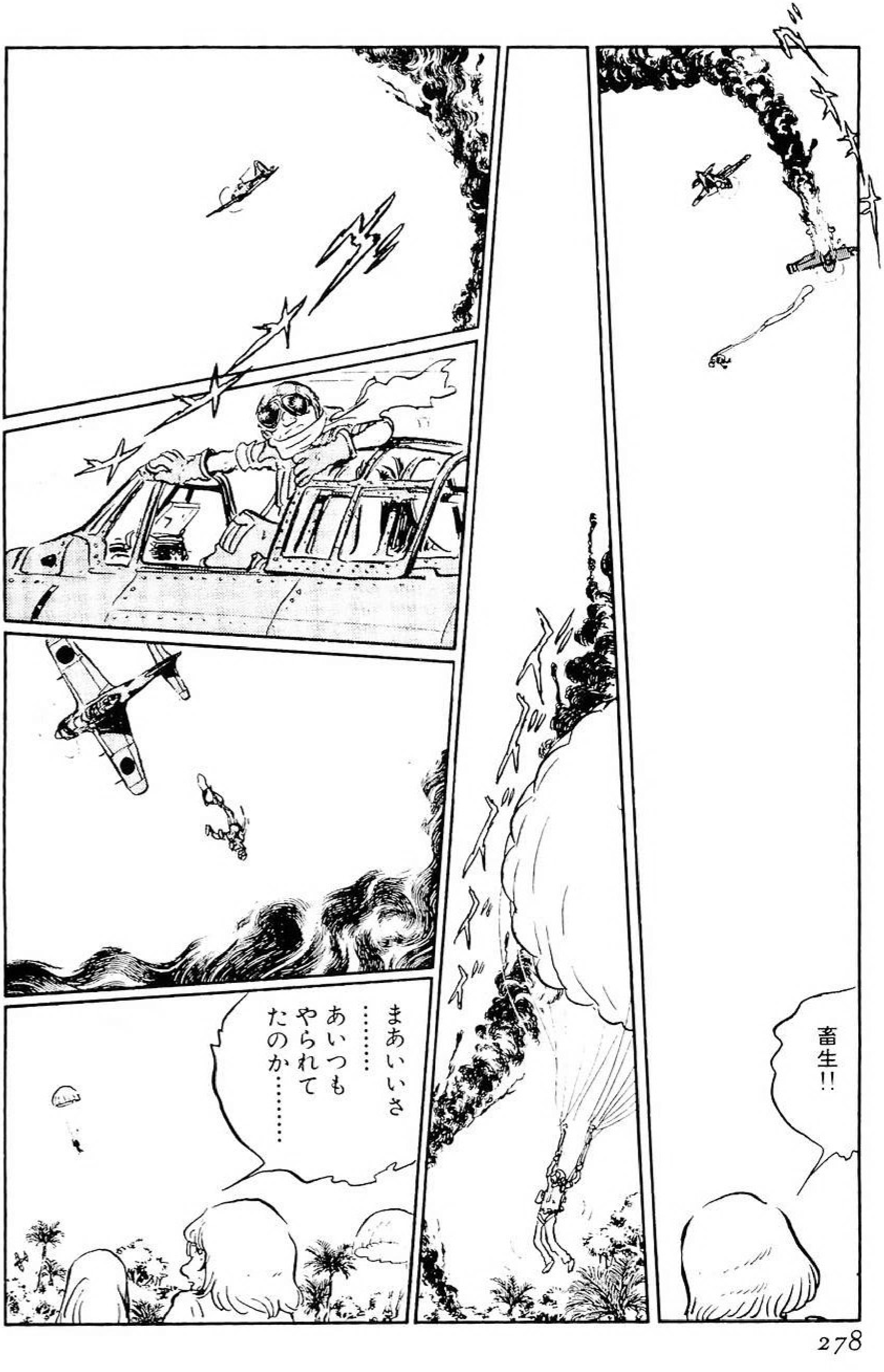

……
〝首飾り〟より KEN局へ、ゼロ一機 そちらへ 向かう。
KEN局 了解、そこの上空で かたづける。
パイロットを 殺すな!!

了解、腕のいいのをさし向ける。
1時間したらゼロはもどって来る。
食事ができるわ。
今日の幸せのために!!
明日の幸せのために!!



もどって来た!!
そう、よかったわね。
…………
ゼロがドロップタンクを捨てた……まさかあいつは……




畜生!!
まあいいさ
……あいつも
やられて
たのか………

味方はマリア、君に任せる。俺はいつものハンティングだ。
がんばってね老眼のハンターさん。
そう……俺は遠くまでよく見える……とても……
確かここらに……
!!
遠くへは行ってないはず。
そうだ、誰が遠くへ行くもんか……
まあいいさ、ゆっくり狩り出してやる……

ドジな味方は2キロ東か……
……
あそこ……
!!
あの人だけを見てる限りあの人は素晴しい人だった……
でも……他の人が来ると……あの人は……

……
う
くそっ
あいつは俺を
かたづける目的で
降下しやがった
のか……
くそ!!

あの銃声は？
アルバドロスの腕は確かよ、心配しないで。
なぜ撃たなかった、遠くからいつでも撃てたのに!!
考えていることはわかるぜ……俺の友達を大勢かたづけた勇者を近くで見たかったものでな。

……!!
う!!
無線機を破壊するのだけが目的だったのか……
そいつはなぜかとどめをささなかった……
かすらせただけか……

そいつはサムライだった……
私を殺す気など毛頭なかったに違いない……
死よりも苦しい地獄に私が落ちているのを見て……
哀れに思って助けてくれたのかもしれない……
そのパイロットが生きて帰ったかどうか私は知らない……
あのメガネから判断して……あいつも私と同じ位の老眼だったらしい……
見えなくてもいいものが見える年だ……

私はフレッド・
アルバドロス
当時43歳、
サンタイザベラで
地獄を見た……
私のコードネームは
〝首飾り(ネックレス)〟……

「サンタイザベラの首飾り」掲載・ビッグコミック昭和56年8月25日号

THE COCKPIT

LEIJI
MATSUMOTO
PRESENTS

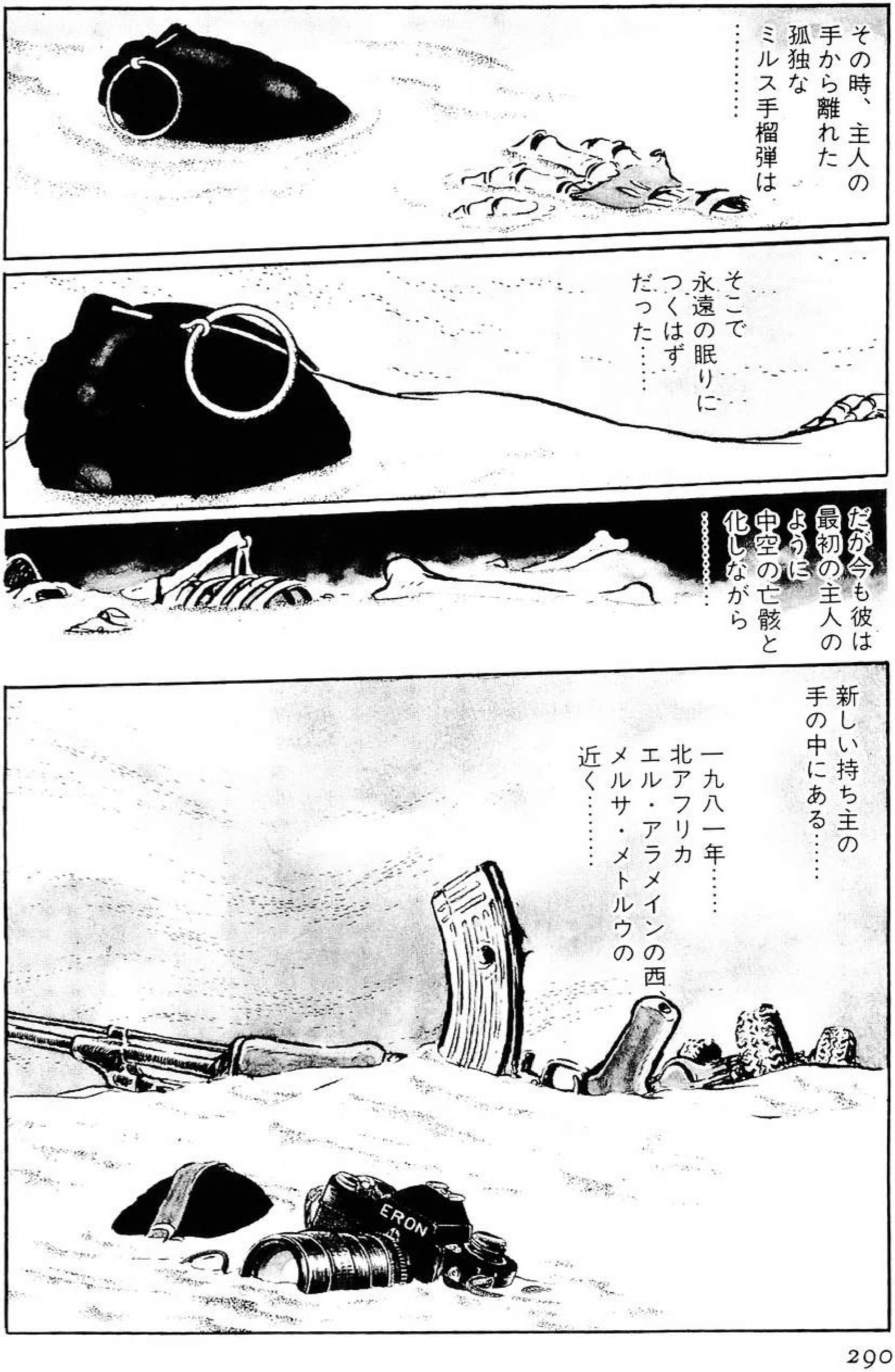
一発の古い手榴弾が
ここにある。
火薬のないぬけがらだ。
これはイギリスのもので、
一九一五年に原型が
開発されて以来、
第二次大戦以後まで
改良されながら
使われたものだ。
現在、新聞などで
手投げ弾と
書かれているのが
手榴弾のことである。

ミルス手榴弾

〝黒い悪魔〟——イギリス人が
そう呼んだ1915年以来、
ミルス5号手榴弾から
1916年、23号小銃擲弾を経て
1918年の36号手榴弾、
23M、36Mとなり、
第一次大戦の後さらに改良されて
1930年に完成された36Mが、
第二次大戦とその後まで
装備されていた。

迷路地図（めいろちず）

もともとこの手榴弾は
第二次大戦中、北アフリカの
サハラ砂漠に不時着した
大英帝国の不運な航空士官の
所有物だった………


その時、主人の
手から離れた
孤独な
ミルス手榴弾は
…………
そこで
永遠の眠りに
つくはず
だった……
だが今も彼は
最初の主人の
ように
中空の亡骸と
化しながら
…………
新しい持ち主の
手の中にある……
一九八一年……
北アフリカ
エル・アラメインの西、
メルサ・メトルウの
近く……
ERON

ひどいなこりゃ。
待ち伏せをくったんだハチの巣だぜ。
これを見なよ。
12・7ミリだ、こんなもので撃たれたんじゃジープでもランドクルーザーでもひとたまりもない。
ブローニングのM2重銃身機関銃か？
薬キョウがある、そうらしい。
こいつの持ち物はAK47にカメラに水筒。
ERON…か、どこ製だ？
日本製でしょう、どうせそんな下品な名前をつけるなんて。
ははは……メドレアがそう言ってるぜ、ミスター・モトヤマ!!
うるせーや、フェラチオや69マニアのフランス人にとやかく言われるいわれはねえ。

見ろよ
これを、
この下だ。
!!
ミルス
手榴弾の
山か……
全部中身は
抜いてある、
からっぽだ。
念入りに
点検
したって
わけか。
目的は
同じって
わけよね。
俺達と
ね。
武器は
ソビエト
のものだが
……
持ち主達は
イタリア人
らしいな。
マカロニ
でも
あったか？
これだ。

何だこりゃ?
イタリアの手榴弾だ、赤い悪魔って言われる奴さ、黒い悪魔といい勝負だぜ。
しかもそいつは新品だ、二百発もある。
エルアラメインでね、ロンメルの足手まといになって以来、イタ公の武器が役に立ったためしはない。
手榴弾はドイツのステイックグレネードが最高さ、確実だ。
そのロンメルも、モントゴメリーの英第八軍に負けたぜ、ロックハイム。
その英軍もアメリカの助けがなければとっくに地中海のモクズ。
違うかね、フリントバッテン伯?
喧嘩はよそうぜ昔のことだ、親父やじいさんの時代のことじゃねえか。
JAP…
食えモトヤマ、スキヤキと同じ牛肉だぜ。
今も昔もアメリカ人は包容力があるのね、商売仇じゃないのお国と日本は、ウォーカーさん?
昔のことを今さらクドクド言い合ってもしようがないってことさ。
ヘル考古学財団の依頼を受けてここへ来たんだ、同志さ、仲間さ。言ってみりゃファミリーみたいなもんだ。

な〜にがファミリーだい。
怒るなよモトヤマ。
差別をしたわけじゃないんだ。地形上テントを張ったらそうなっただけだ。
いいのよ、ジャポネなんてあれで。
ひがんでモトヤマが暴れ出したらどうするかね?
モトヤマの銃の弾倉は20発よ。
……………
タイプ64だ奴の銃は……
タイプ64は308……七・六二ミリNATO弾を使う。銃とその性能はともかく、小銃弾としてはクラシックだ。

我々の223、5・56ミリ軽量高速弾が現代の主流だ。銃も軽くて疲れないしな、弾薬も小さいからたくさん持てる。
アメリカの銃は嫌いだがこいつは気に入った、M－16でなくてMX－77だ。30発弾倉付きで便利だぜ。
弾のことは言うな、西ドイツ軍も英国軍も7・62ミリNATO弾だぜ。
米軍が我々に押しつけたんだ、日本にもね。
それが何だ、さっさと223に自分のところだけ取り替えやがって!!何が共同作戦だ!!
NATO弾は重いしね、サイズがこれほど違えば持てる量も違う、人間も疲れない。
ベトナムのジャングルで思い知ったのさ、軽量高速弾の威力をね。
ここは砂漠だぜ、ジャングルじゃねえ。
もうすぐジャングルへはいるさ……
地図のコピーを見てみな。
今はこの地点だ。
このイタリア人もこの地図を持っていたらしいな。ここまで正確に南下して来ている。

途中でミルス手榴弾を拾い集め、中を確かめながらな。
競争相手にここでやられた……
この地図の半分……と言うより、目的地から半径１キロたらずの、小さな範囲の部分図がないかどうか。
そう、楽園の一番大事な部分図……
不時着した某航空士官が手榴弾の中に入れていた地図……
二発の手榴弾に分けて……
一発は拾われて地図が世に出た……
それが騒ぎの元……
何しろ楽園の地図だものな。
古代アフリカ文明が築いた幻の遺跡……
多くの探険家や調査隊を招き寄せ、一人も帰さなかった所。
もう一発は行方不明。
この広い砂漠のどこかに埋れているか……
誰かが拾ったか……

もうすぐか
はははは……
……
戦車だぜ。
どこのだ？
例によって個人の所有物らしいぜ。
楽園を目指すお方のさ。
撃つな、くぼみへはいって様子を見よう。
何の様子を見るんだ？

こういうのには手順てものがあるのさ。
日本人は忘れちまったろうけどな。
フリントバッテン伯が右へ回った。
ウォーカーが左へ。
ロックハイムが中央を行く。
真ン中はやばいよロックハイム。
ドイツ兵はいつも勇敢なのさ。
いつも畜生!!何で俺が真ン中を行かなきゃならないんだ!!
そしてジャポネは何もせず、後で分け前だけをかすめ取る。
あんた行って無反動砲を撃ってる奴を、フェラチオでもして黙らせたら?
失礼な人ね。
小さいくせに。
小さい……か。
俺がウタマロだったらどうする?
…………
ジョークは人並みなのね、あなた……

ありゃ、逃げて来たぜ。
120ミリ砲を積んだ化け物だ、歯の立つ相手じゃねえ。
あいつらの国籍は？
我々と同じ混成部隊……
楽園を狙う同好の志ってわけか……
あんなのがいるんじゃ、帰りが思いやられるなあ。
帰って来れたらの話だ、取りこし苦労はよそうぜ。

音が低い……砂漠用の特殊なクッションをつけてやがる、スピードの出る………
アスファルトの上を走るようなものか？
念の入った奴らだ、油断するとヤバイぜ。
みんな欲の皮をつっ張らせて楽園を目指すか………
中心の欠けた地図を手に殺し合いながら……
どこかのパーティーが中心の部分図を持ってることを期待しながら………
ふふ……
もし誰も持ってないのに押し寄せるんじゃまるでギャグだ。
最後の1キロの円内で右往左往、そして殺し合って共倒れか。

奇襲して戦争をつぶそうか？
無理はよそう、あっちも夜は襲っては来ない。
!!
おい起きろ!!
俺達はツイてるぜ、見ろ、丘の向こうは目的地のジャングルだ。幽霊
ジャングル………
この中へはいってしまえば戦車は来られない。
ここだ我々の位置は。
GHOST JUNGLE
幽霊ジャングル。

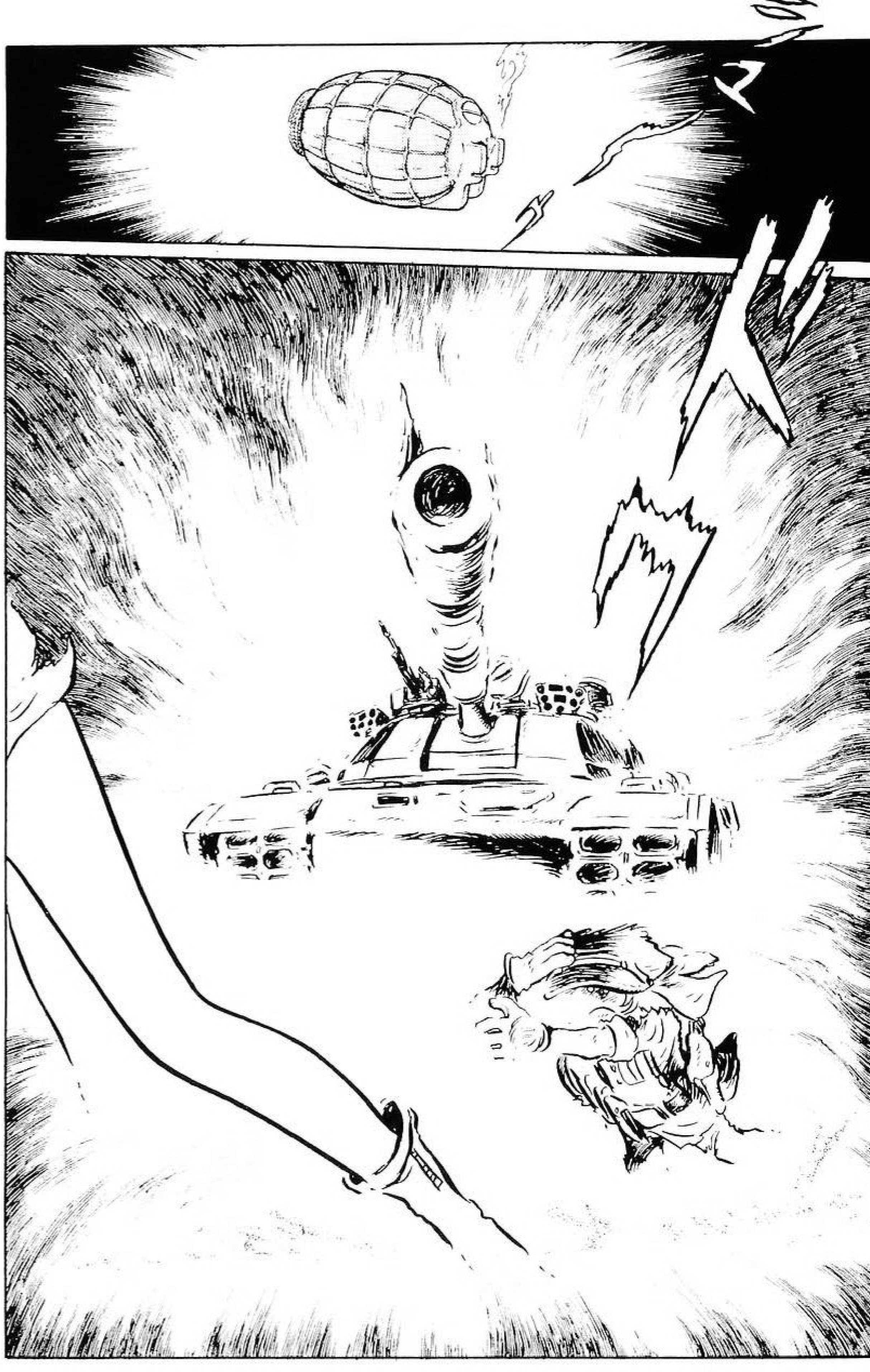
……………
ここが
楽園の淵
だとして
…………
さて、楽園の
中心はどこに
ある？
これじゃ
地図が
なけりゃ
雲をつかむ
ような
宝探しだ。
楽園、
楽園って
いったい
何がある
んだ？
知らないわ、
ヘル考古学
財団が私達に
高いお金
払って、
探せと
言ってる
だけよ。
しかも
見つけたら
その10倍を
払う……
宝探しの
外人部隊さ
我々は。
フリント
バッテン
伯!!

ぐ"…
ドクター・ノボルモトヤマ!!
君は日本のサハラ横断取材隊のオブザーバーだった……1976年の隊だ……
君の隊は不時着したハリケーンを発見したはずだ……
ついでに手榴弾もね、未発見の残りの一発をね。
さあ出したまえ、頭をなくしたくなければ。

よろしい、日本人は手を上げる時は聞きわけがいい。
なぜ知っていた？
わが国の情報部は伝統的に優秀だ。
民間の情報網も世界一だ。
というのは冗談でね、ヘル考古学財団は、私の一族の経営でね、その筋から情報がはいったのさ。
私自身、別にイギリス人でも英国籍でもない自由の立場だ。
ロックハイムもウォーカーもメドレアも、国籍がないも同然。
我々はそれぞれの所属する組織をバックに楽園探しをしていたまでだ、君もねモトヤマ!!
大勢の人間が死を賭けて探した中心部の地図。
カラは返すぞ、大事にしろ。

メドレア!!
!!
砂漠へ逃げりゃこっちのもんだ。
くそ……
まずお前を仕留める……
それからいったんもどって……
私を見守っている戦車隊員を連れて……楽園を見きわめる……

ここは砂漠だ、ジャングルじゃない…
いいか、軽量高速弾はこういう場所での大遠距離射撃にはむかないんだ。
地図……
う。
やめて、カラの手榴弾なんて役に立たないわ!!
地図入り手榴弾。



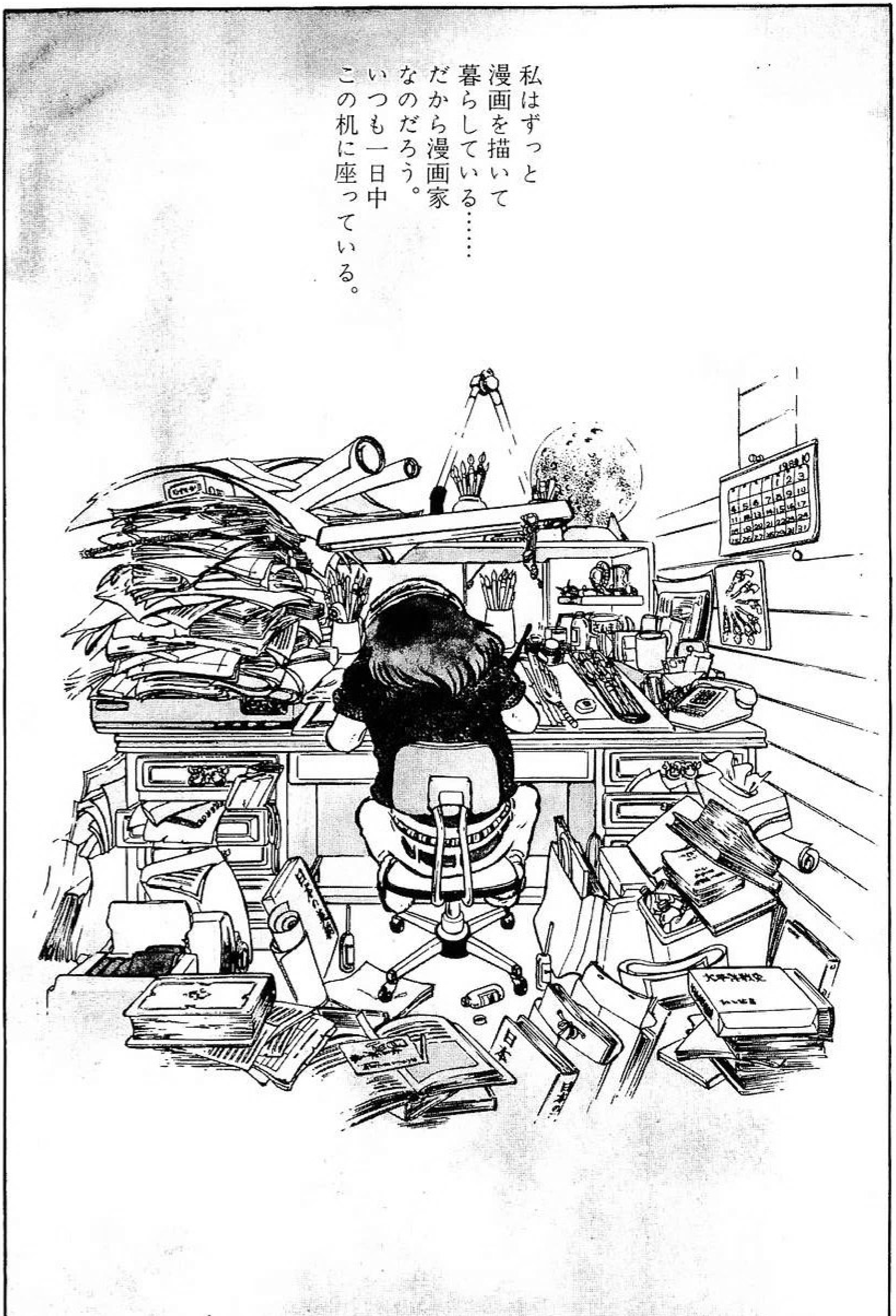
ズズズ

撃針は生きていたのさ。
さっきライフルの火薬を詰め替えてね。
また全滅ね。
仲よくすれば……楽園なんてあっさり見つかったかも……
仲よくすればね。
メドレア……あんたはほんとはどこの国の人だ?
私……私は……

「迷路地図」掲載・ビッグコミック昭和56年11月10日号

THE COCKPIT

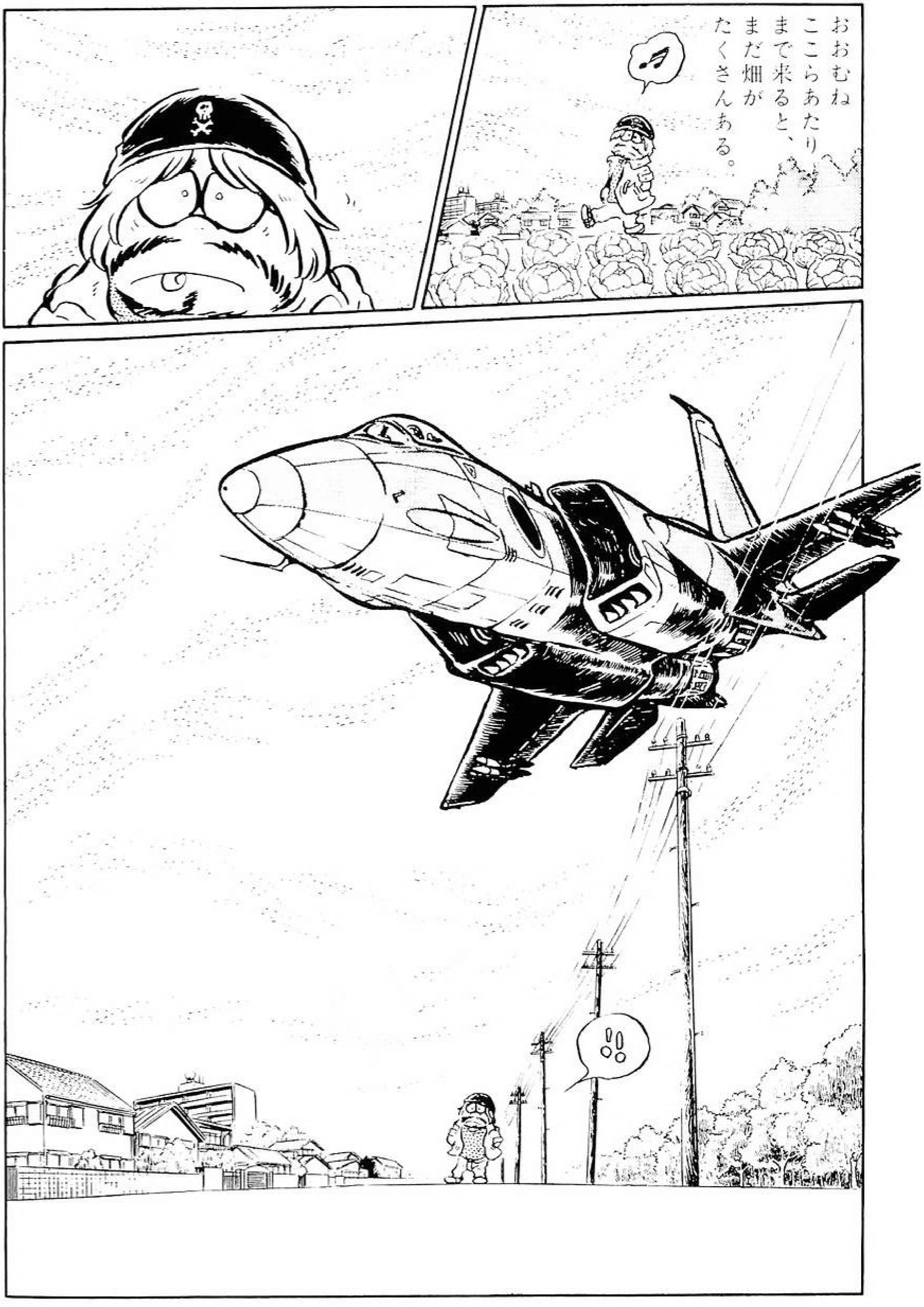
LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

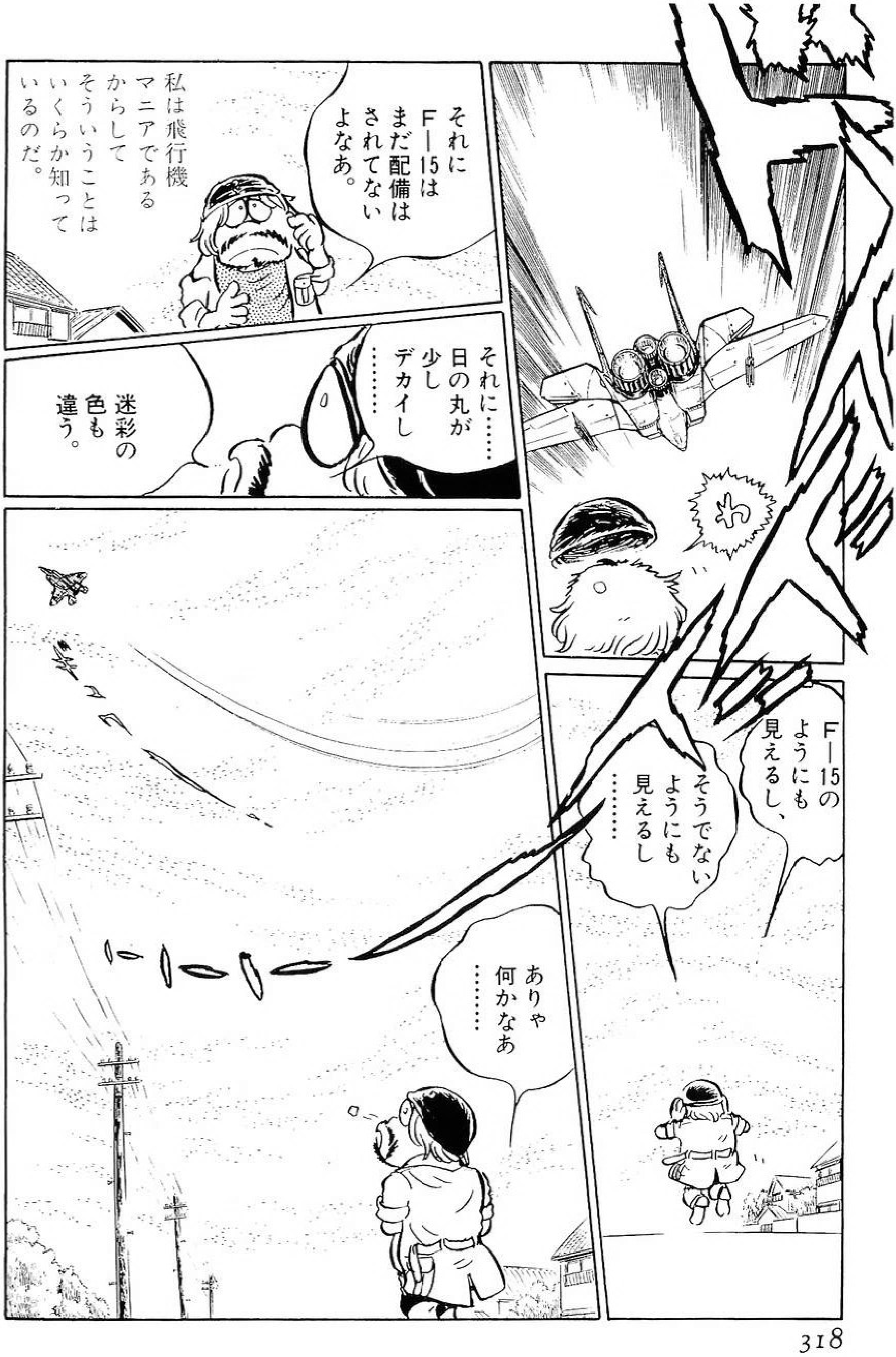

私はずっと
漫画を描いて
暮らしている……
だから漫画家
なのだろう。
いつも一日中
この机に座っている。

私の本性はグータラの極みである。人類以前のそれは本能的なものだとしか思えない。
LIFE
だから猫がやたらに慕い寄って来るのだ。同類だと見えるらしいのだ。
Victor
ビデオ カセットテープ
ぐ
仕事がない時私はゴロ寝をしているか……
古本を探しにぶらりとのんべんだらりと街へ出かける。
そうだ、古い昔の漫画の本が私は好きだ。

富嶽(ふがく)のいたところ
この頃は古本も
高くなって
だんだん買いづらく
なってきた。

だから遠くへ出かけなければ手にはいらなくなった気がするのだ。
東学園駅
遠くへ行けば古本があるというわけでもないが……
なぜか遠くの街にはまだ私の好きな古い漫画の本が幻のようにたくさんあるような気がするのだ。
昭和56年10月11日……
1981年10月11日……
午後3時頃朝刊を読んで、その間にメシを食って……
私は古本を探しに出かけた。
日差しの暖かい日曜日の午後だった。


おおむねここらあたりまで来ると、まだ畑がたくさんある。
♪
!!


わ
それにF―15はまだ配備はされてないよなあ。
私は飛行機マニアであるからしてそういうことはいくらか知っているのだ。
それに……日の丸が少しデカイし……
迷彩の色も違う。
F―15のようにも見えるし、
そうでないようにも見えるし……
ありゃ何かなあ……

V-3

私はこの先にある古本屋、古本堂が好きだ。
店のたたずまいそのものが、私が漫画の本を買って喜んでいた漫画少年の現役の頃にそのままだからである。
堂本古屋本古
大不動産
COFFEE
この家ごと持って帰りたいといつも思う。
持って帰って中に私の漫画の本のコレクションを詰め込んだら、さぞや楽しかろうと思うのだ。
?
入買価高書古
堂本古屋本古
このカンバン前から右書きだったかなあ？
まあおっさんもその気になって昔ふうに書き直したのかもなあ。
??

……
何だ、今日は妙に暗いぞ。
100ワット……じゃなくてこりゃ30ワット位だな……
は〜〜こりゃいよいよ気分を出すために、螢光灯をとっぱらって電球にしたのか!!
さすがおっさん、おやりになる。
ハテ?
私はここへはよく来る。
もう何百回来たかわからない。
だからどういう本がどのタナに並んでいるかは全部わかっている。
……しかし……

配列がこりゃムチャクチャに変わっている。
全部入れかわっているぞ!!
私の好きな古本漫画のコーナーが、どこへ行ったのかさっぱりわからない。
おっさん、これはまたどうしたわけで?
何が?
だって本の場所がみんな変わってて……
別に変わっとらんよ。
ほら、あんたのいつも見るタナはそこにあろうがね。
確かこの前はここに……
何を言っとるんかね、この前あんた3時間もそのタナをかき回して何も買わずに帰ったじゃんか。

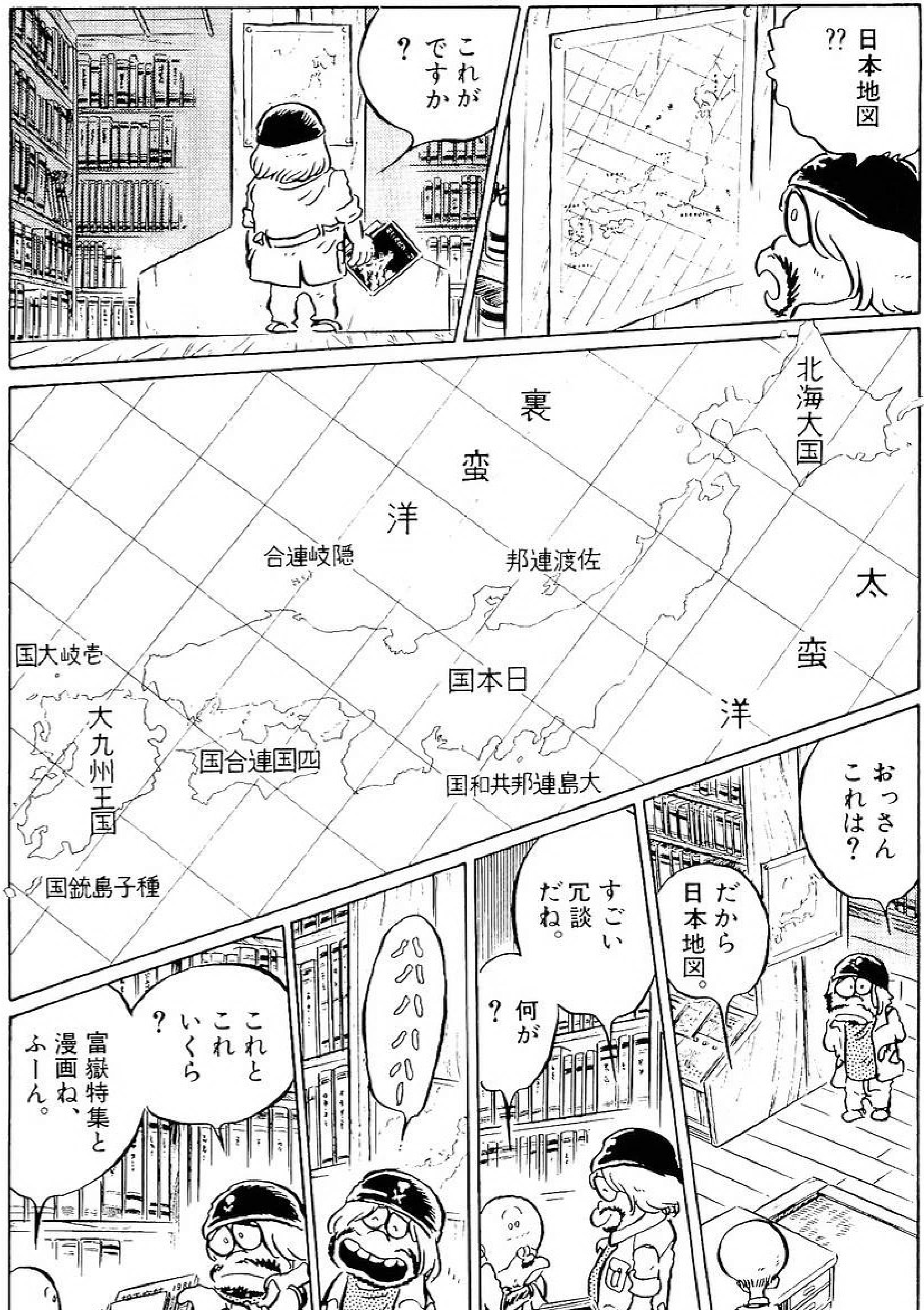
……そうだったっけ?
??
生活大百科辞典
人類大辞典
図説 高等物理辞典
何だ、漫画の本は一冊もないよ。
漫画?
あっちだよ漫画は。
やっぱりハデに入れ替えてるじゃないですか。
!!
はーん、かわりにここには古色蒼然たる航空雑誌がある。
航空少年
大圏航空
何だ、古いと思ったら新刊か……昭和56年11月号?
報画空航
1981 11月号
復刻版かな……いや違うなあ。
こんなのいつ創刊されたんだろ?
………
富嶽(ふがく)の未発表写真…?
報画空航
11月号

“富嶽”は計画だけで中止になって一機も作られなかったはかない幻……
写真なんかあるわけがないんや!!
G10N1、試作長距離爆撃機“富嶽”と呼ばれた超重爆は、“Z機”という呼称で昭和17年より試作に向けて計画開発されていた巨人機だが、実現不可能と判断され昭和19年に計画は中止された。実物が一機も存在しなかったのは、歴史的事実である。
昭和21年11月10日、ニューヨーク上空で被弾、編隊より脱落しつつある富嶽11型改超重爆、当日ニューヨーク市上空に達した日本重爆隊は、強い向い風を受けて、爆撃コースを大きくはずれ、高射砲の弾幕と、繰り返し襲いかかる米迎撃戦闘機にあって、3機が撃墜され16機が被弾した。
かろうじて基地に帰りつき、胴着によって大破した富嶽。震電の戦列に突っ込み、81機が巻き添えで大破した。
富嶽……に震電……
くひしひし
こりゃ何かな……特撮映画のパンフレットかな……

あはは……バカな奴だ、昭和21年11月10日にニューヨーク爆撃だって……年を間違えてら。
こういう映画を作るんだったら昭和20年8月15日以前でないとツジツマが合わねえぞ。
終戦は21年12月30日…………
富嶽が米本土爆撃に成功したのは11月10日と12月2日の2回きり。
!?
21年12月30日に終戦?
長かったものな、あの戦争は……
ここのまわりも住宅街だったが……
B—29の重爆撃でみな吹っ飛んでしもうた。
この上空で震電が3機もB—29に体当たりをしたよ。
B—29が落ちて……また街が焼けて大勢死んだ。
あれ、この裏はスナックやらパチンコ屋があったんだけど???
わしの女房も……
?だっておばさんついこの前元気に……

わしゃ それ以来 ずっと一人 じゃよ。
もっとも この頃じゃ 孫も手伝って くれるように なったけど……
いらっしゃい いつも、おじいさんが いろいろと……
は、いや どうも どうも。
ほら、そこに あんたの好きな 漫画があるよ。
へい へい へい。
?
魔法屋敷
MAHO YASHIKI
不二書房
有尾人
MAN OF TAIL
地獄の剣士
最後の世界
後世紀
WORLD
飛行星雲
え、何だ こりゃ ?
俺としたことが、こんな本が あったなんて 知らなかったぞ。
作者は？ 出版社は ?
……………!?

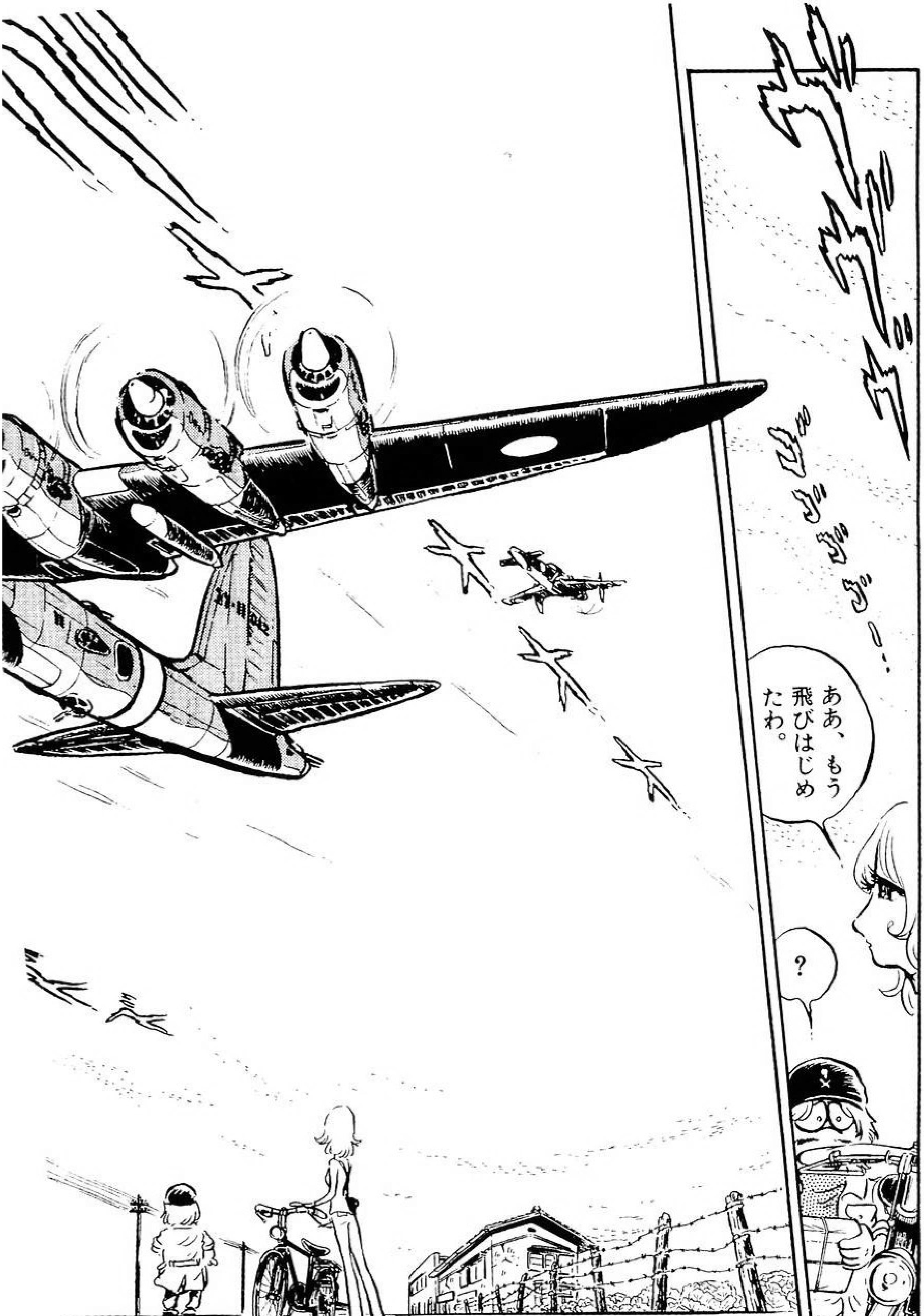
長編科學漫画叢書
底抜都市
SOKONUKE-TOSHI
火星怪人凸凹魔物団編
松本零士著
何だ?? こ、この古本は??
それは…確かに私の絵…のようだった……子供の頃、こんな漫画を描きたかった……描いた覚えも全くないが、名前も私のものだった……
ああ……その作者はセネガルからジャングルを通って、トンブクッーとかいうアフリカの秘境ツアーに出かけて3年前から行方不明だ。
セネガル？
アフリカだよ、アフリカ地図を見てみな。
地図？
そりゃ日本地図だよ、世界地図はこっちこっち。

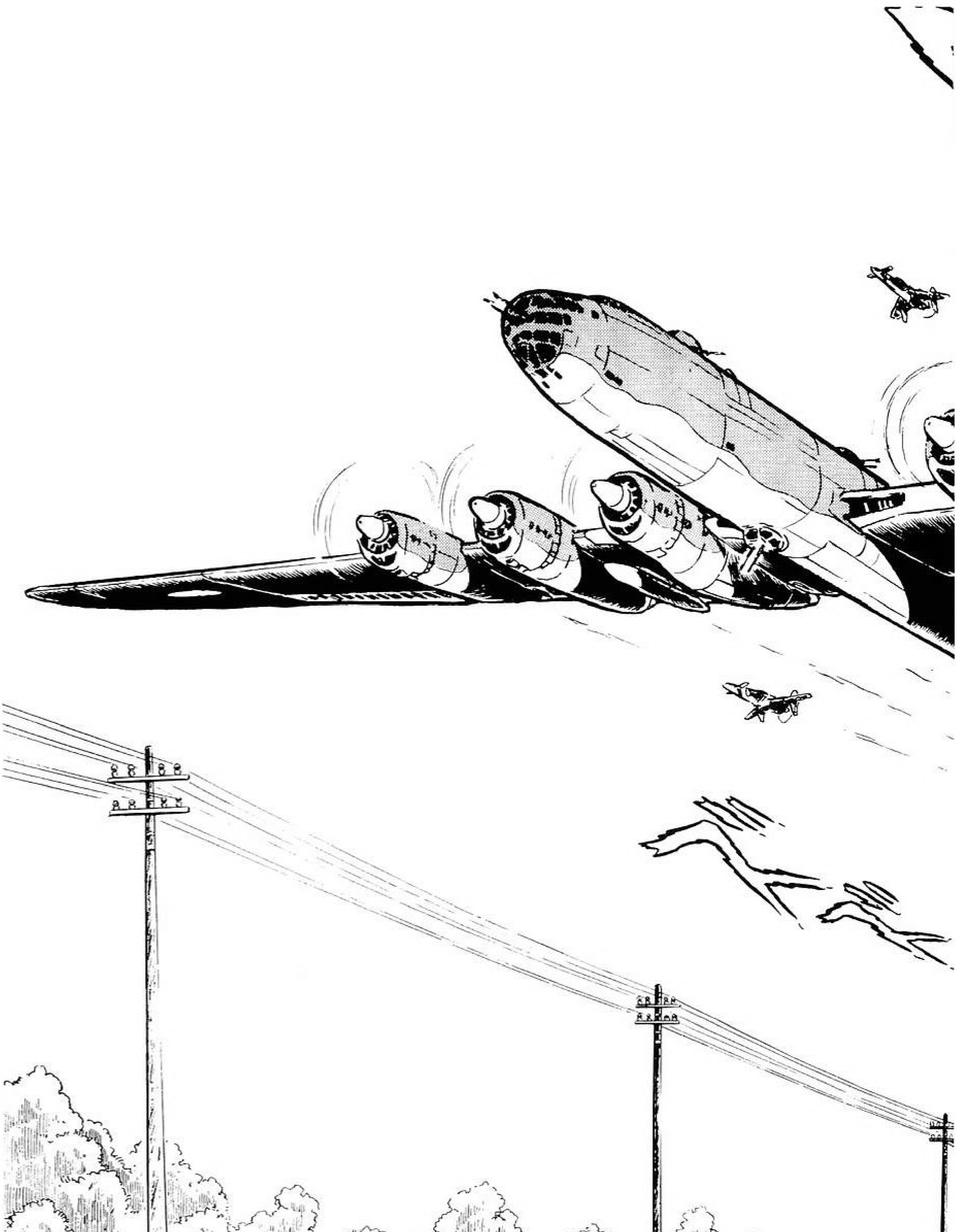

日本地図??
これがですか?
北海大国
裏蛮洋
太蛮洋
合連岐隠
邦連渡佐
国大岐壱
国本日
大九州王国
国合連国四
国和共邦連島大
国銃島子種
おっさんこれは?
だから日本地図。
すごい冗談だね。
何が?
ハハハハハ
これとこれいくら?
富嶽特集と漫画ね、ふーん。

ごくん
2冊で15円。
？15円
高かろうかね？え？あんた？
い、いやほんとに15円？
15円。
15円……
パチッ
何、こんなオモチャのお金、冗談はやめなよ。
オモチャ？
オモチャじゃないよ。
だってこれはオモチャだ。
本物はこれじゃあ見てみィ。

…………
何かわけがわからなくなってきたよ。
じゃいいや、この時計置いていくからこの2冊売ってください。
時計!?
こらすごいじゃん!! こんなモノスゴイ高級時計、どうして持ったの!?
去年の夏の終わりに買いました。
あんた、もしかして……
??
とても高貴な人には見えん。
大密輸団の高級幹部にも見えん。
……?
そうじやな〜 これほどの科学的な時計なら……
この店の本、全部やってもいいよ。
質流れ屋さんで一二五〇円で買った古物だけどな……

こんど15円持って来ますから、それまで預ってください。
わしゃこの時計の方がええけどね。
トコトン冗談で通すつもりだな、あのおっさん。
本屋古本
しかしこの本………
待ってください。
え…ああ…おっさんの孫………
しまった気が変わったか!!
おじいちゃんもこの頃冗談がきつくて……はい…これ、お返しします。
オ、オレはこの本の方がいい。
いつも買ってくださるお客さんに失礼ですからネ。
しかしいつからおっさんにこんな孫が…?
古本螢(ふるもとけい)です、ホタルと書きます。
ホ、ホタルみたいな名前ですね、はは……


ああ、もう飛びはじめたわ。
？



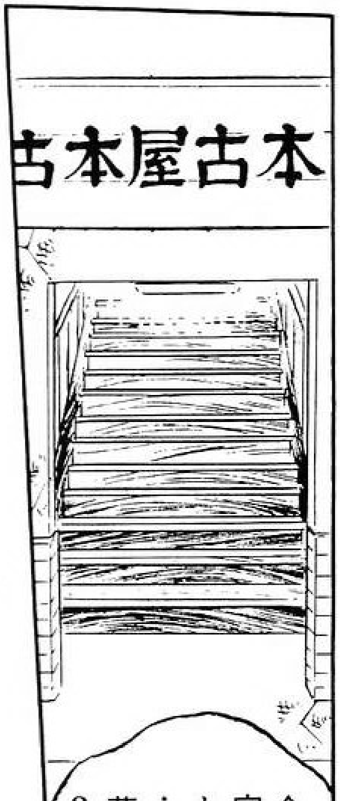
あれは？
今日、航空記念日です。復元機が所沢の飛行場で展示されます。
飛行機はお好きですか？
航空記念日って、今日だったかな……？
復元機……
確か富嶽は完成しなかったはずだがなあ……
……
家が少ないですね。
戦争で人が減りましたからね、そこら中ガラアキです。
人口は……？
今、バラバラになってる本来の日本全部を合わせて3千万人。
九州や四国も合わせて…？

北海道まで入れて日本人の全人口です。
三千万人しか……日本の人口が三千万…
俺は地獄に迷い込んでるんだろうか
？
ええ……もう長い間地獄です、ここは……
？
駅までお送りします。
こら珍しい……三連装砲の戦車だ。
かねて用意のポケットカメラ。
写してはダメ!!あれは海洋国際連合監視機構駐留軍の新型戦車です!!
シャカ

あ!!
早く逃げて……
あなたはなんて人なの？どこかの情報員？
じょ、情報員？
チュー!! チュー!!
うわーやめてくれー

逃すな!!
駅の方へ
行くに
違いない!!
ありがたい
霧が出てきた。
あんな
ユニフォームは
見たことがない。
駅へ
行ったって
俺の金じゃ
切符も
買えない……
しっかりしてくれ
おい頼む。
クソ、
一日も歩きゃ
帰れるわい、
陸路歩いて
家まで帰るぞ。
帰ったるわい……
……
……
あんた
何してるの?
車道で
寝てたら
ひかれて
死にますよ。
今、
何日?
10月11日。
おたっしゃで。

……
……
おっさんのお孫さんも……二冊の本も……影も形もない。感触はまだ残ってるのに……
俺のせいであのお孫さんは死んだ……確かに……
俺は俺であそこでも漫画を描いとったし、
何でアフリカへなんか行って帰らなかったんだろうか？よほど悩んでたんだろうか？事故か？
メッサーシュミット262がもう十年早く完成してりゃ第二次大戦の様子も変わったろうな。
連山や富嶽が3年位早く完成してりゃ太平洋も戦況が変わったろうなあ。
一度でいい、本物の富嶽を見たかったですな。
いやこの頃の若いのは、レシプロ機はオジンの趣味でジェット機の方がいいって話ですよ。
悲しいですなあ。
三千万人……
終戦が一年遅れて三千万……
私が描いた本を持ち帰れたとしても私にはその本を開いて見る勇気はないかもしれない……
次元のズレたあそこで……もう一人の私は何を考え…何に夢をかけていたのだろう？あの本を読むとわかるような気がして恐いのだ……とても恐ろしい。



私は富嶽のいたところへ行ってきた——
誰も信じてはくれないが——

「富嶽のいたところ」掲載・ビッグコミック昭和56年10月25日号

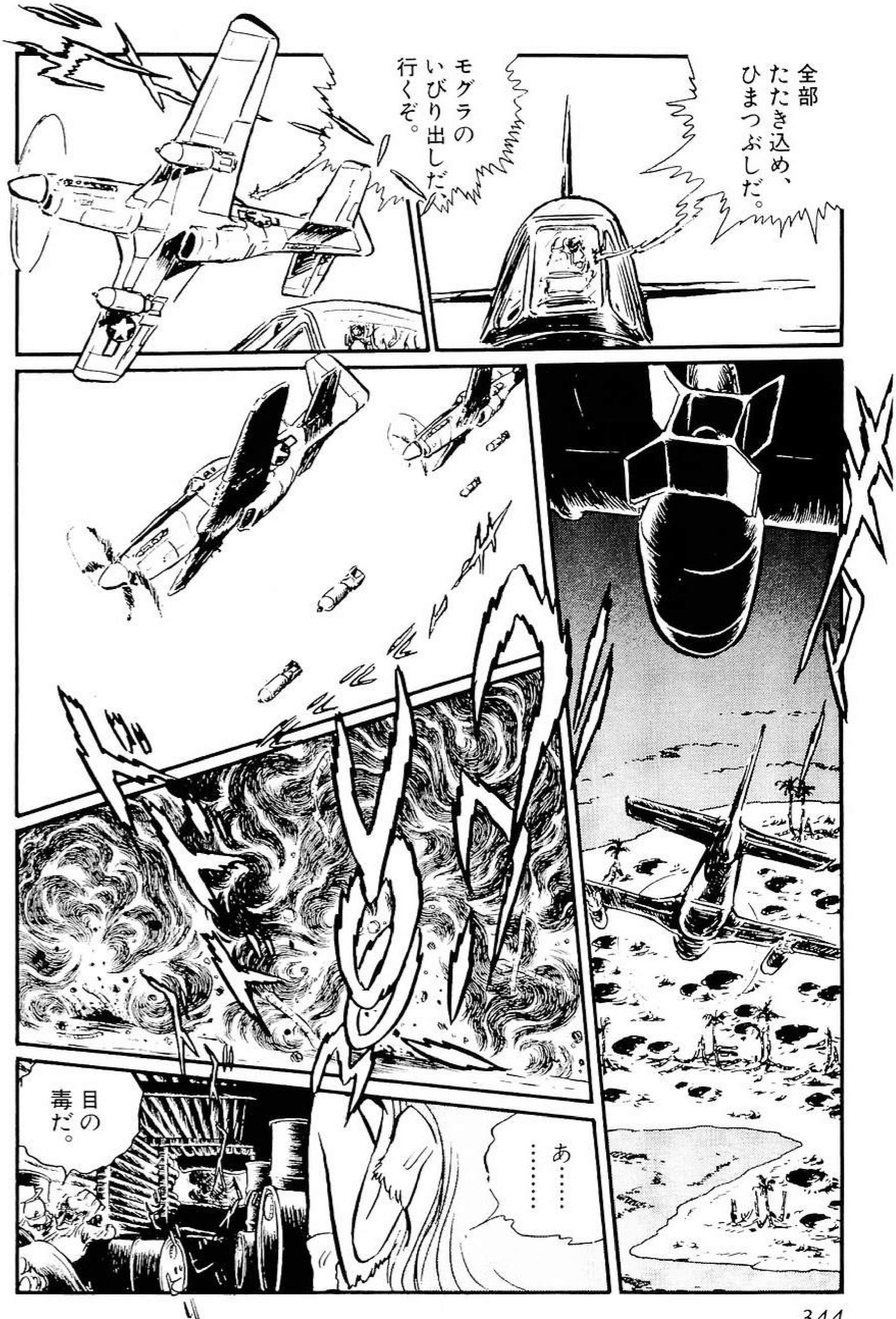
THE COCKPIT

LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

ヘイ、フォックス!! ふらついてるぜ、居眠りでもしてるのか?
え?ああ すまない ファーラー大尉。もうここらで することが ないのでね、 ついいい気持ちで 寝てしまった。
??
どうした フォックス ?

冬(ふゆ)の蜻蛉(かげろう)

少しはやることが残ってるようだ大尉。見てくれ俺の左翼に穴があいた。小銃弾か小口径の機関銃弾だ。
567


全部
たたき込め、
ひまつぶしだ。
モグラの
いびり出しだ、
行くぞ。
あ……
……
目の
毒だ。

地上へ出ると体に毒だ。
気がすんだらしい、行っちまいやがったぜ。
誰だ、小銃なんか撃った奴は？
すまない。狙ってたら引き金が落ちちまった。
おかげで芽を出してた豆がみんなぶっ飛んだぜ。
あいつらこの島を何だと思ってるんだろうな？
それとも毎日遊びに来てるんだろうか？
従軍画家に、機械屋が一人に看護婦が一人に医者一人。あと農業試験役営隊ちゅう特殊部隊員が二十名。
武器は38式歩兵銃四丁に銃剣が十本、手榴弾が六発。弾のなくなった機関砲が三門に、はじめから故障中の電波探知器がひとそろい……

壊れた飛行機が多いネ、十機。
シケた話よ。
この島もシケた島だ。
名前もなかったので、つけた名前が〝シケの島〟。
なんかエンギがよくねえ。
スコールだ。
爆弾の穴がいっぱいあるおかげで、
真水と真水による水浴にはことかかない。
ことかかないので困ることもある。

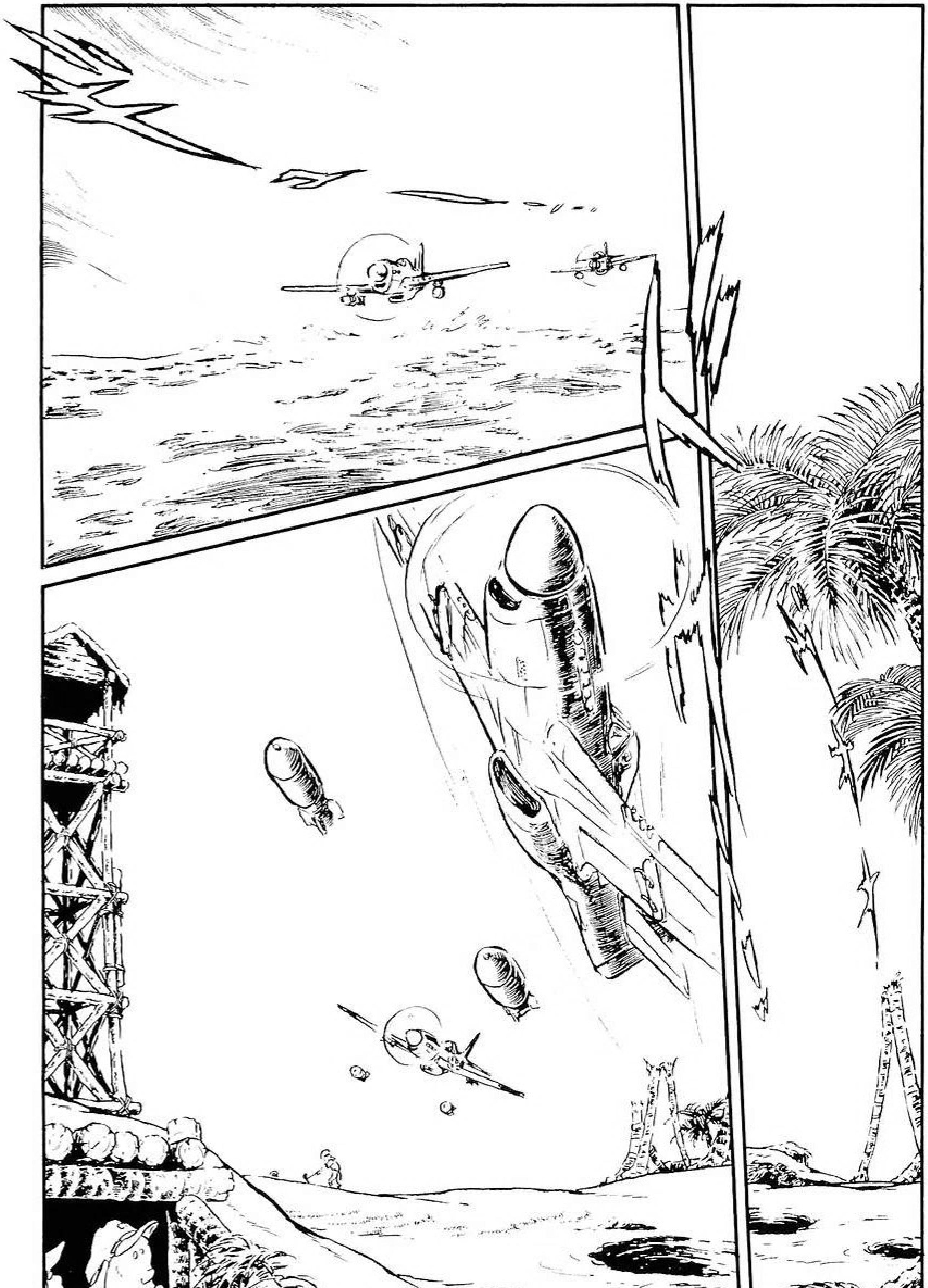
二十三人に一人じゃ、いくらなんでも品不足。
オロチのにらみ合いで、誰も手が出せない。
この島から出たいなあ。
いつか出られるわ。私はそう信じてる。
足山さん、有名な絵かきさん？私を絵に描いてれば、ひまつぶしになって気がまぎれるわ。
ぼ、僕は有名ではありません。

なんで逃げるの？
抜けがけと思われると村八分。
………
私はこういうのには慣れてるんだけどな……
看護婦としてここへ来たけど……
私は少しは有名な女優……と言ったってここの皆さん、誰も私の名前も顔も知らなかったんだから、たいしたことはないけど……
宇田さん、あんたが機械屋だというのはわかります。
発動機を回せるのもわかります。
ん？
しかし、ここから飛行機はもう飛べません。
まともに飛べるのはな。
……まともに

しかし、みんなの目が血走って来てる。早く何とかしないと……
殺し合いになるかも……
味方同士そんなこと……
味方も味方でなくなる。男の強敵があそこにいる。
結局は全員死んで骨になるのか……
それとも看護婦が誰かの子供を産んで、生きのびて…原始人の島になるか……
どっちにしろ俺の体力じゃ親になる競争にゃ勝てない……
絵かきさん……
え？

あんた飛行機を動かせるって言ってたね。
下手クソだけどね……
パリにいた時にフランス人の友達が大金持ちの倅でね、戦闘機みたいな自家用機を持ってた……そいつに少しだけ習ったのさ。
すんなり離陸できるようにしたら、女を連れて脱出してくれるか?
不可能だ、それよりみんなと一緒にいたい。
あれがいては気が散って安らかに暮らせんのだ。
殺し合いになるか……あの人を殺してしまうか……
何しろ場違いなんだ。あれほどこの場所にそぐわないものはこの世にないってぐらいね……
…………
…………

わかったよ、すんなり飛べたら脱出するよ、あの人を乗せて……
約束だよ。
どうせ飛べやしない。
わからんよ、宇田は天才だから。
世が世ならどえらい発明でもして博士になるか、自動車会社かなにかつくってもうける男だ。
そんなケチなもんじゃなくて、月へ行く宇宙艇でもつくるかもしれねえ。
天才もこんな絶海の孤島ではどうにもならない。
まあ、うさ晴らしにはなる。

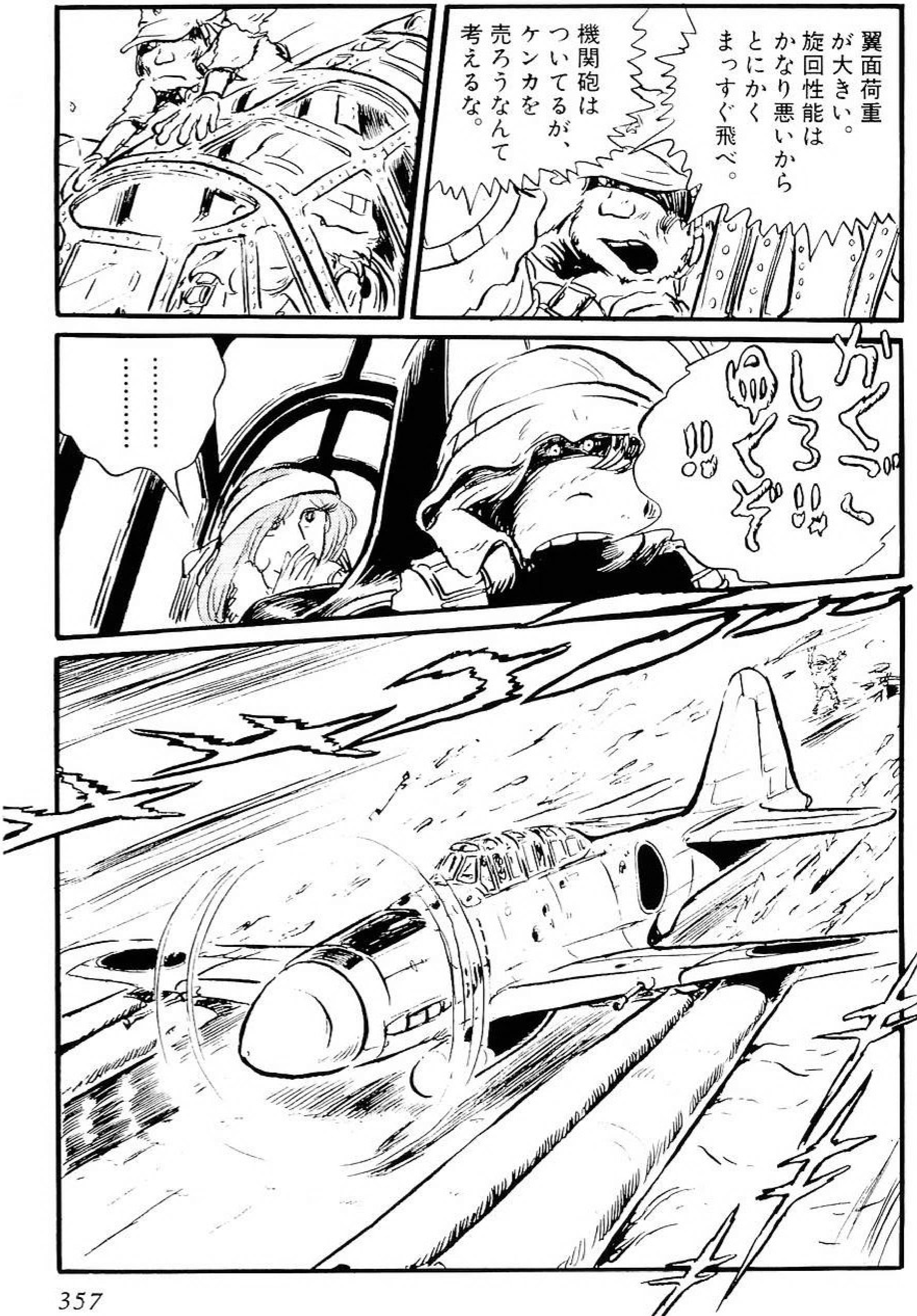


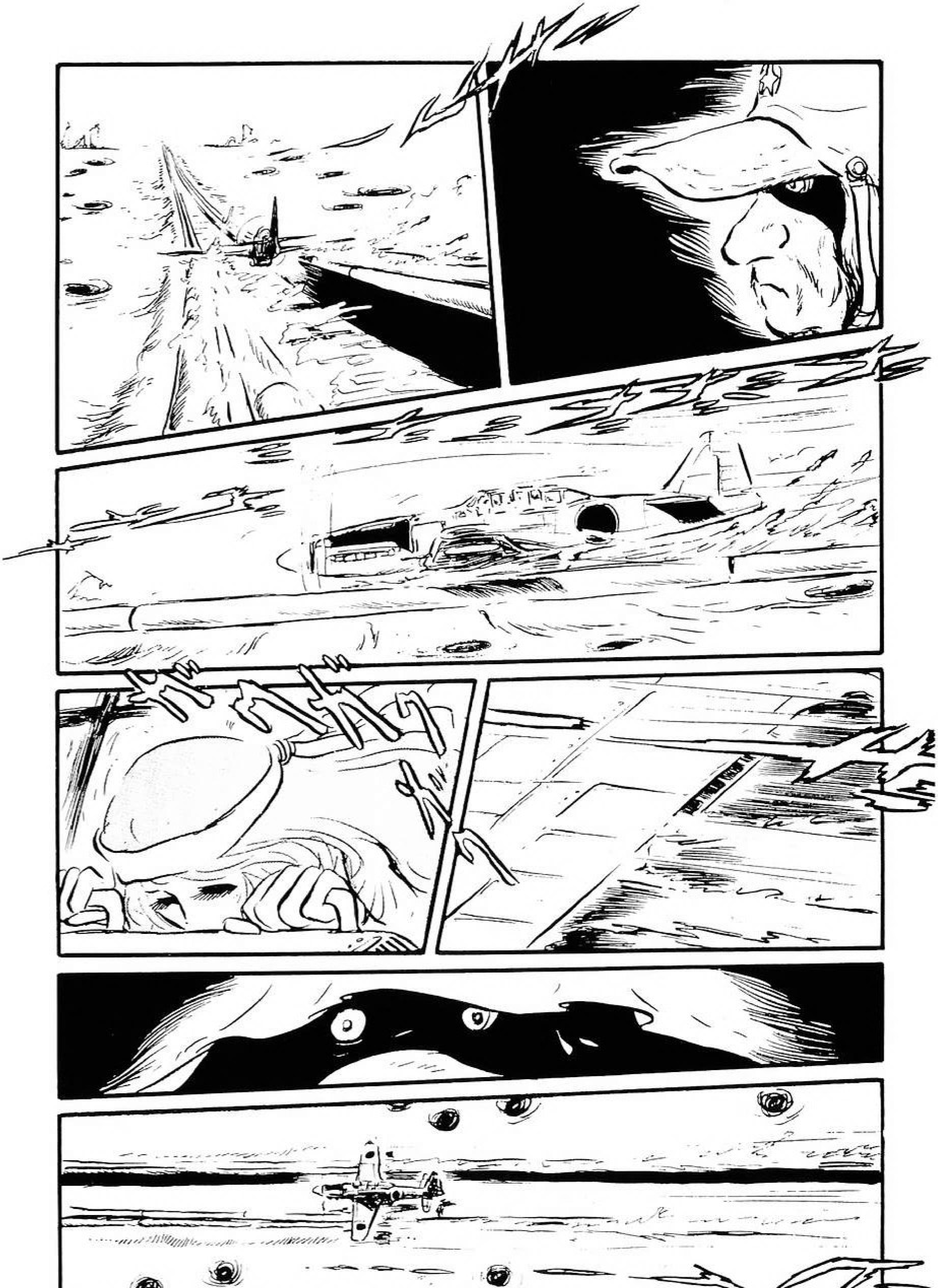
また来やがった。
あいつらもよほど退屈してるんだなあ。
ええっ、飛べるって?

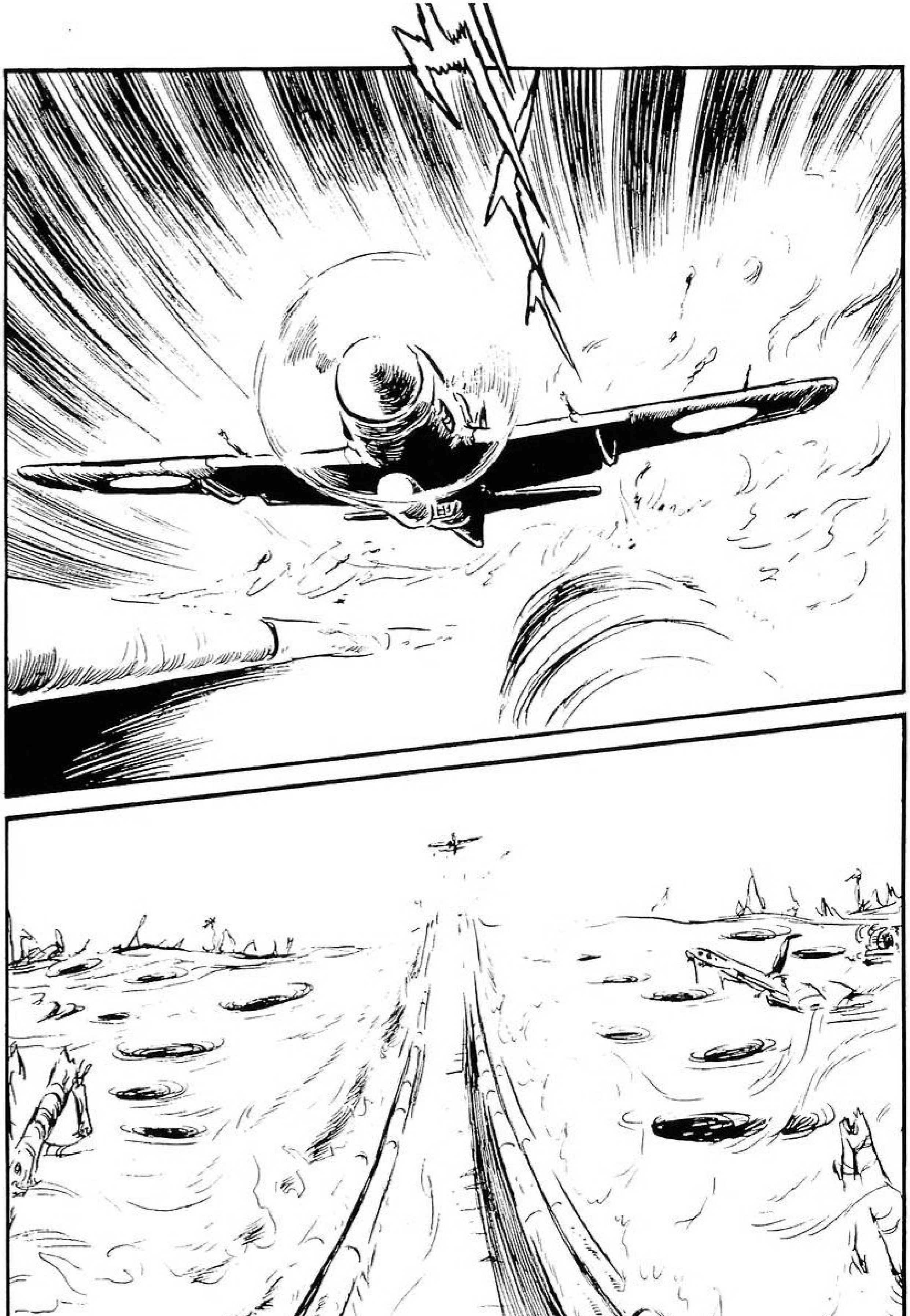
機体は陸軍機や海軍機や戦闘機や爆撃機のつなぎ合わせだし、
脚はつけてない、車輪はない。
それじゃ飛ばない。

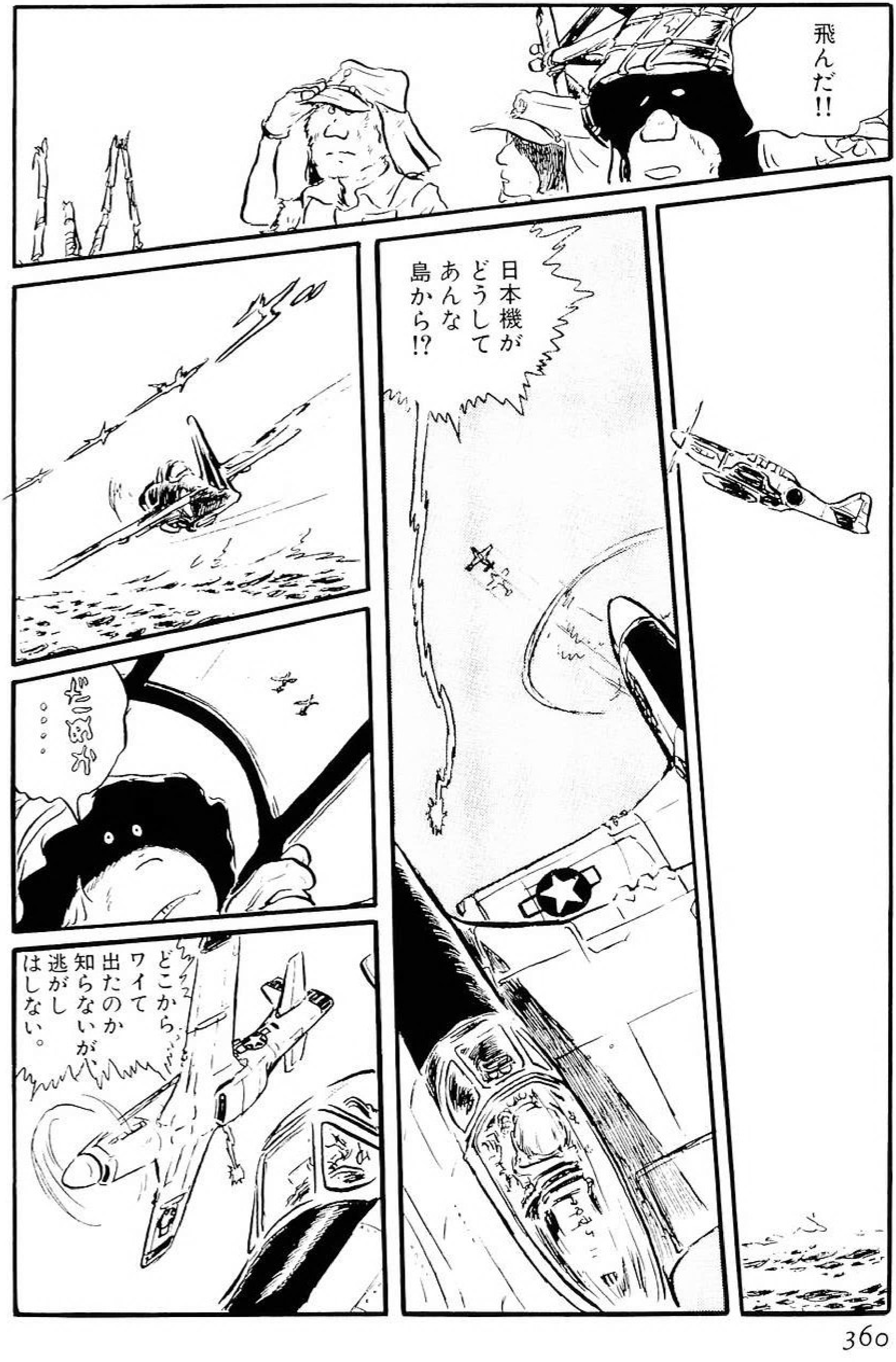
木のレールをすべって離陸する。
安全な所まで飛んだら着水するか、平たい土地へ胴体着陸してくれ。
いやよ、なぜ私が？私は女よ。
そう、女だから乗ってほしいのです。

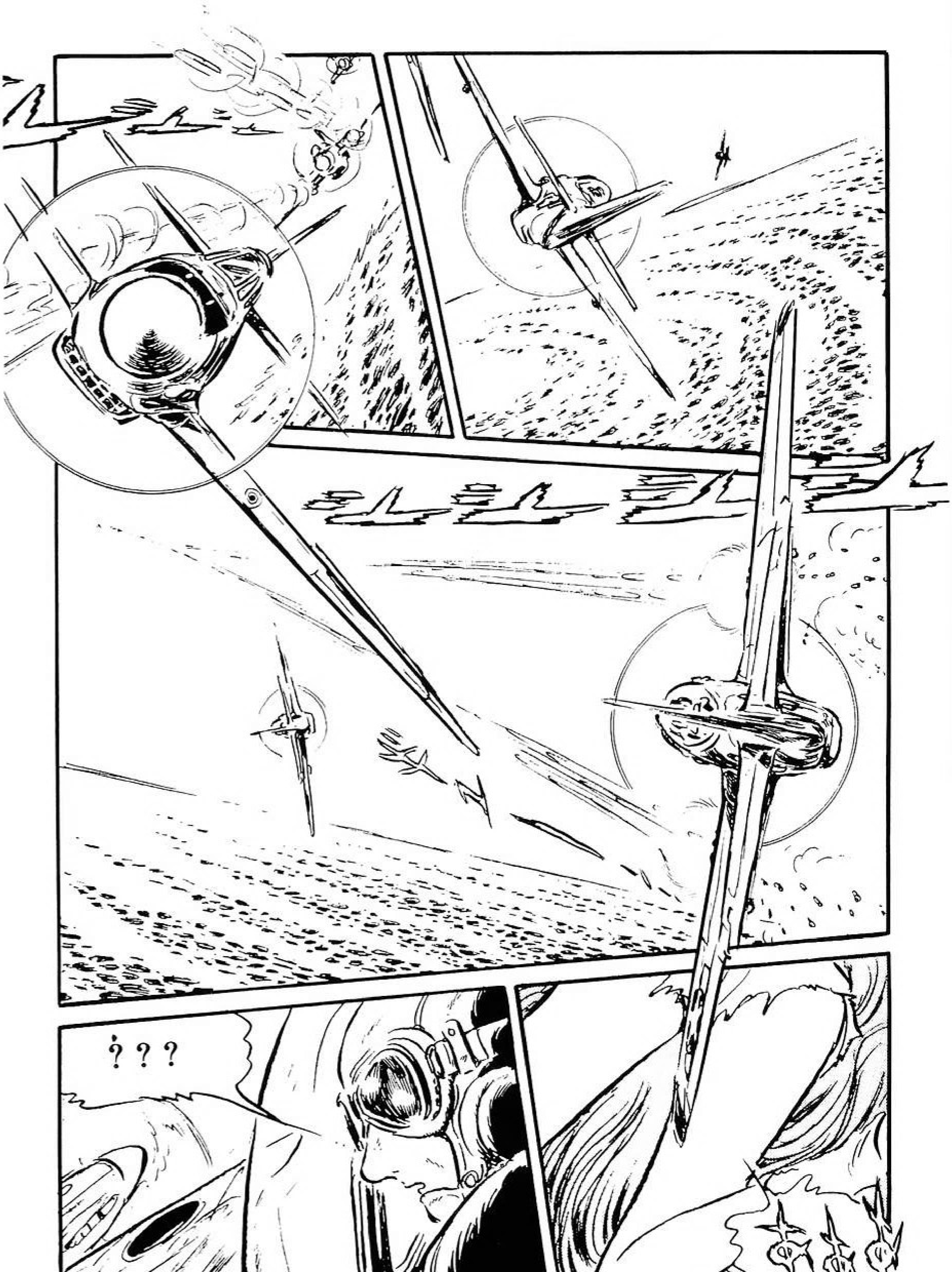
ひきょうよ、私を危険な目に合わせて、男らしくないわ。
我々は男です……
だから乗ってほしいのです。
そうでないとあんたを撃つ!!
あんたを殺さねばならん。
また来た!!
もう隠すヒマはない、飛べ!!
そうだ、充分に回転を上げてから行け!!

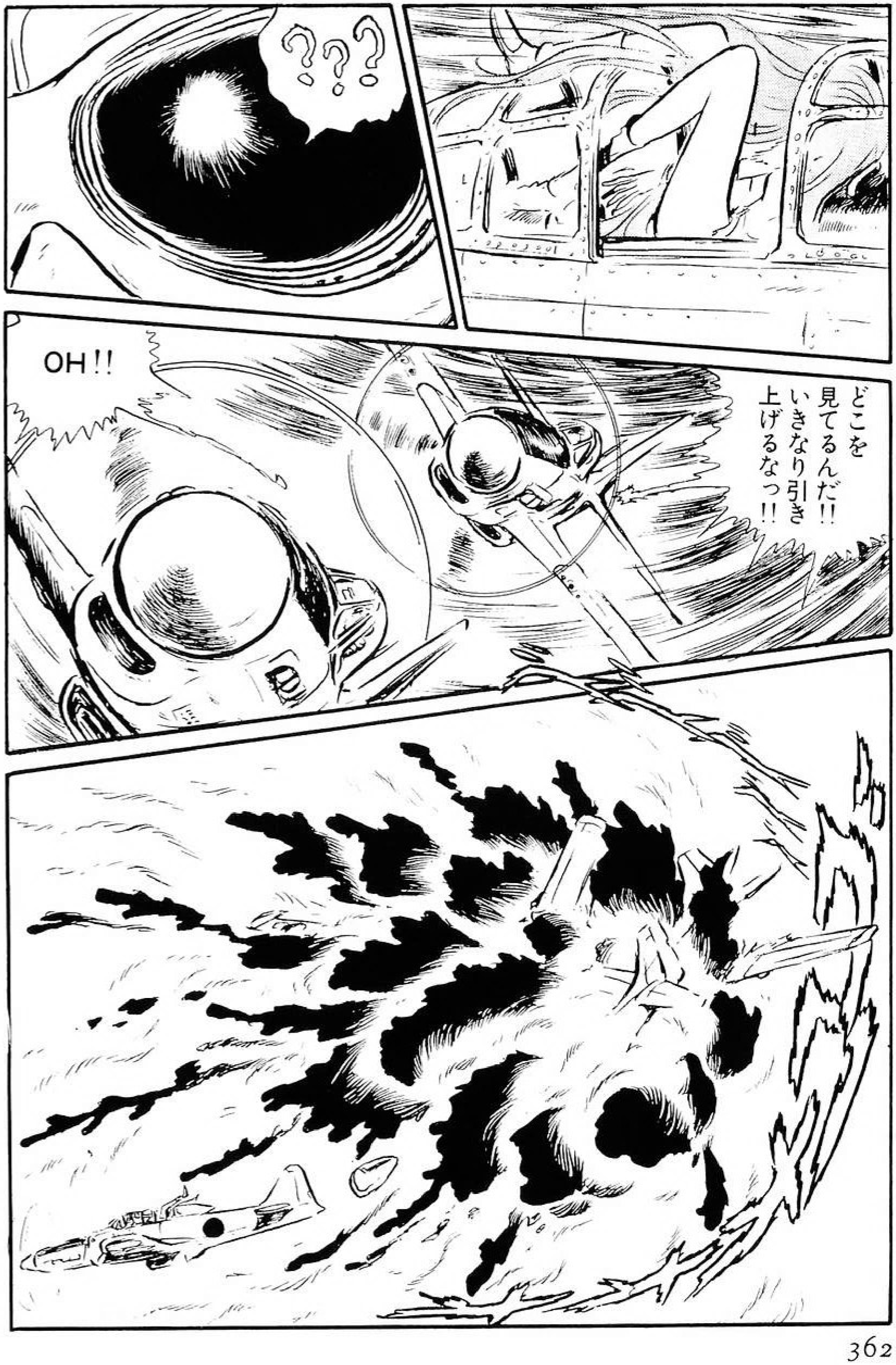

翼面荷重が大きい。旋回性能はかなり悪いからとにかくまっすぐ飛べ。
機関砲はついてるが、ケンカを売ろうなんて考えるな。
かくごしろ!!
ゆくぞ!!
…………
…………






飛んだ!!
日本機がどうしてあんな島から!?
だーれか……
どこからワイて出たのか知らないが逃がしはしない。




???
OH!!
どこを見てるんだ!! いきなり引き上げるなっ!!

うまくいった……これで我々も安らかに暮らせる。
ゴゴゴゴ
骨になるまで安らかに、気も散らず暮らせる……
機械屋さん……確かにあんた天才だよ、宇田さん……
むかえに来ますからねーがんばってくださいねー。
気休めなんか言うな!!二度と誰も来れるもんか!!
世が世なら……いろんなもの考えたり、造ったりする大天才が……
置きざりにされて……朽ち果ててゆく……
冬に生まれてきた蜻蛉(とんぼ)のように……
どこへも行けずに。

「冬の蜻蛉」掲載・ビッグコミック昭和58年2月10日号

イライラ島――
火の島という
意味の名前を持つ
この島は、昔
緑に覆われていた。
昔と言っても
ついこの前のことだ――

赤い蛍
あか ほたる
はね返ったぞ!!

右……206メートル……中型戦車……直接照準……
撃て!!

ふせろっ!!
砲が!!
バカッ!!
砲よりこの際命だ!!
情けない話だな。
まがりなりにも対戦車砲なのに……

いちばんいい場所を占領されたぜ。
取り返そうにも小銃と手榴弾ぐらいでは歯が立たん。
人数が3人ではなあ……
あっちも攻めて来るつもりはないらしい。
メシにするか中田よ。
そうするべえ。
また緑色のダンゴ汁か………
そう言いなさんな、この名前もわからん芋の親せきをすりつぶしたのしか、この島には食うものはないんだ。
ないことはない。
バカ、人間は食えないよ。

そういや こりゃ ビフテキの においだ なあ……
コンビーフ かも しれんぞ ………
あ〜あ 死ぬまでには あいつらの ビフテキ 分捕って、たらふく 食って 死にてえ。
あいつら…… 人数は 変わらんが…… 補給は 夜のうちに 受けてるんだ なあ。
散髪はしてるんだろうか? 風呂にははいってるんだろうか? アカはたまらんのだろうか?
髪が伸びても死にやすまいが食い物と爆薬が来なくて何をしろというのかクソ!!
あの戦車 だって 初めは なかった もんな。
小島よ、お前その双眼鏡、よく見える なあ。
見えると 信じれば 見える。
勝つと 信じても 勝ちそうに ないが……
まだ わからん !!
わからん けど 勝てん。

戦車1台に歯が立たんのではなあ。
日本陸軍には三八式(サンパチ)歩兵銃がある!!
ビフテキがない。
もう食いモノの話はよそう。
螢だ……
螢の火は故国(くに)と変わらねえ……
何の因果でこんな島へ送られたのかなあ、バックランド。
あの日本兵もそう思ってるかも知れないぜ。

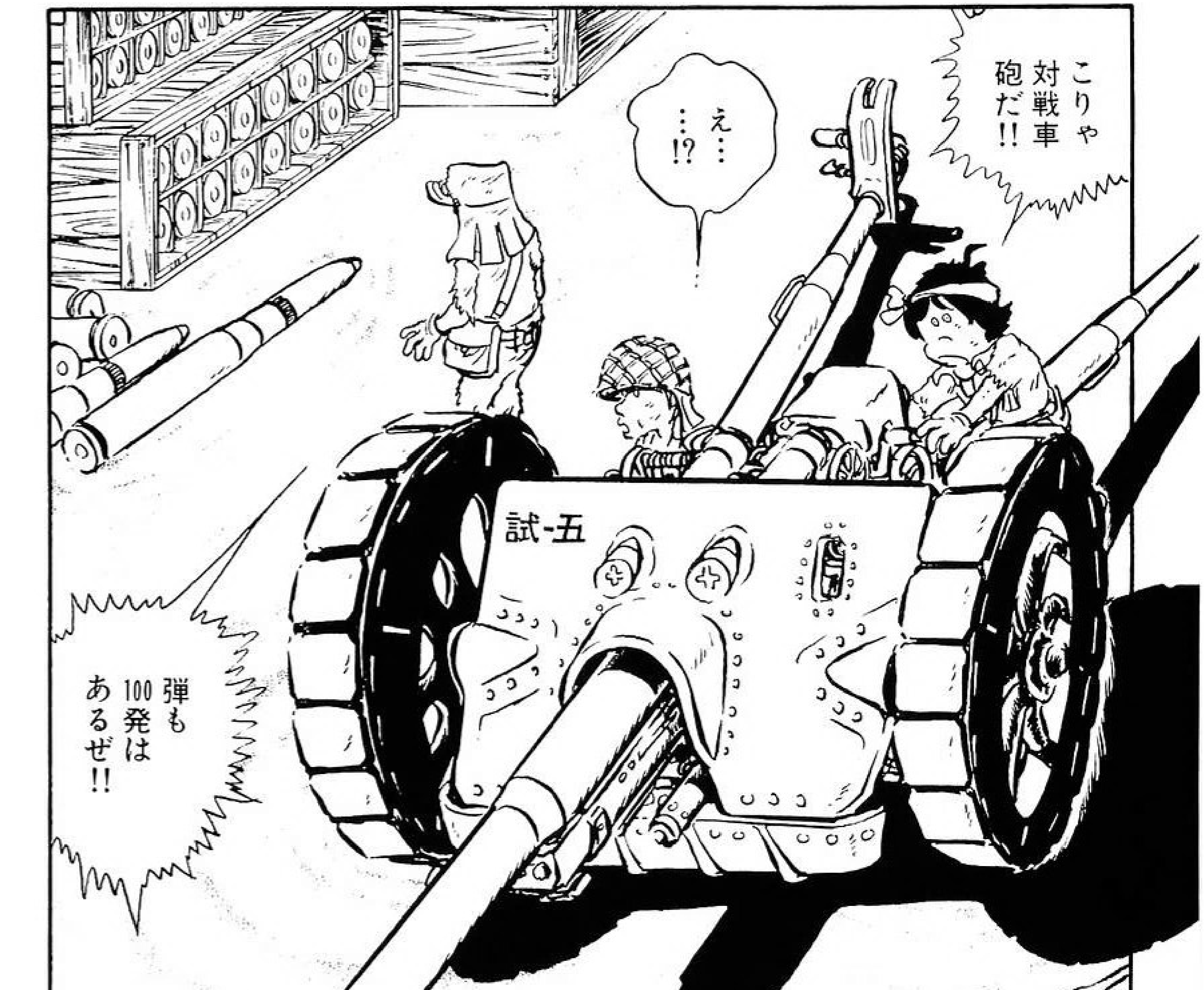
俺たち４人は装備実験班だ、仕方がねえや。
戦死実験班かもしれないぜ、ワックス。
こんなところじゃ死にたくねえ。
まったくだ。
日本の戦車はペコペコって話だぜ。
この島にはねえや。
まあな。37ミリ対戦車砲をこの島まで持ち込むようじゃ、あいつらの戦車もたいしたことはねえ。
日本人には車を運転する奴が少ないってことだぜ。
自転車がいいとこさ、日本の車はボロだしな。
日本の車の燃料は何だ？
さあなあ、ハニーバケツの中味かもしれないぜ。
ハニーバケツって、つまりクソションベンのタルのことか
？
螢は日本にもいるかな……
螢か……

日本本土のゲンジボタルは世界最大のホタルだそうだ。
それを見るまでは俺は死にたくない。
セクター、お前は昆虫学者だったな。
ああ、俺の昆虫コレクションはすごいぞ。
家にあるのか？
女房が面倒見てくれている。
螢か……熱のない不思議な光を出す虫だ……
死者の魂だって言い伝えも場所によってはあるぜ。
パッパッパッ
何かデカい螢だ。
螢!!

何だか船同士がハチ合わせしたみたいだぜ。
珍しくわが方の船が来たらしいぜ。
どっちが敵か味方かわからない、まるで花火大会だ。

油の航跡が右と左に泣き分かれだ。
右の方が味方のだな。
なぜ？
俺は沈んだ味方の船をいっぱい見た。いつもあんな色の油が浮かんでいた……
そういや左のは色が違うな。
何か運んで来たのかもしれないい、海岸へ行ってみよう。
ムダだな。

わざわざ来たんだ、何か理由があるに違いない。
何だあれは?
おい、これは……
……大砲だ!! ……それも……


こりゃ対戦車砲だ!!
え……!?
弾も100発はあるぜ!!
試-五
試製90粍弾

これならあの中戦車をブチ抜ける。
しかし試作品がなんでこんな島に……
もっと必要な場所があるだろうに……
イルイル島守備隊行……
ははは……間違えたんだ、ここはイライラ島……
よく似てるんだなあ。
陸揚げして軍艦のハチ合わせが起こって……放り出していったというわけか……
どうしようこいつ……
どうするって重いし、この海岸からは動けないよ。
ジャングルへ引っぱり込んでも、あの上へは持って行けない……
相手が来てくれりゃ世話ないんだが……
それほど親切じゃないさ。

食料も……おい100人分くらいあるぞ。
不親切だと思ったが……
海岸づたいに来るんだ!!
やるか、逃げるか?
逃げたらこの砲を踏みつぶされるか分捕られる。
しかしこの砲を扱うのははじめてだぜ。
大砲なんてものはみな似たりよったりさ、なせばなる。
押し込め押し込め。
照準器はどれだ?
こいつか……
来た!!
デタ!!

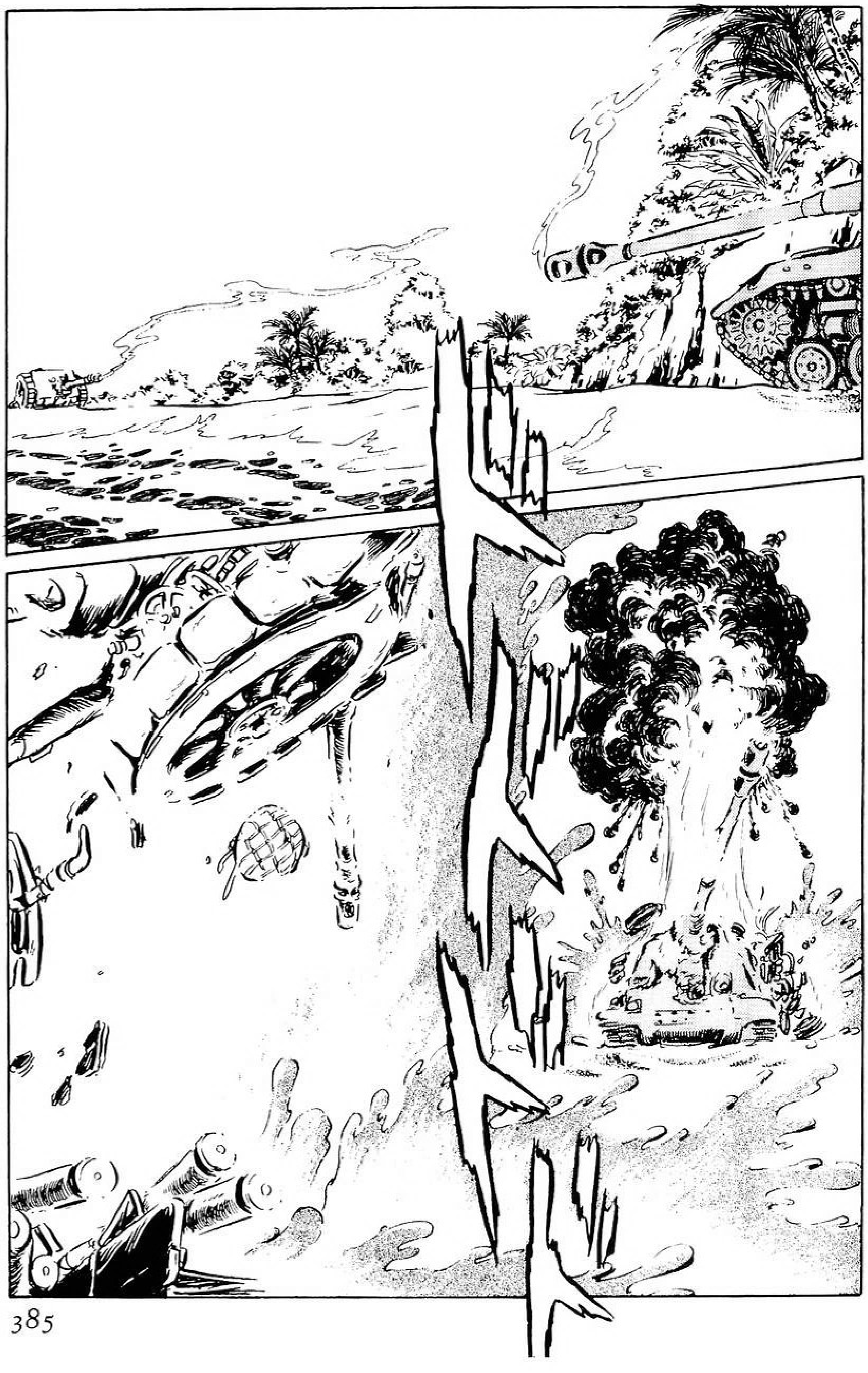
よし狙え!!落ち着け落ち着け!!
揺するな、バカ!!
!!
脱出しろ!!
奴ら、連射砲を陸揚げしやがったのか!!
もう一発!!

やったぜ、歯の立たなかった奴を……
搭乗兵は逃げた……
でもこれで互角になったわけだ。
お互いに島のあっちの端とこっちの端に離れて暮らせばケガをすることもない。
敵が来なけりゃな!!
好きこのんで来るものか。
お互い食料もあるし……

戦う理由がないのでは……中尉……
戦争が終わるのだ、ここで気長に待ってれば。
俺達は兵隊、そしてあっちに敵がいる。
その上われわれは実験班だ、次の奴を実験してみなけりゃ……
実験か……
新型の女でも送ってくれないかなあ……どんどん実験してやるのに……
こりゃ気が進まない実験だ。
ドドドドドド
おい、遠足は終わりだぜ中田……
え?

あいつらも新しいのを陸揚げしたのか!?
そんなバカな、それでは話ができすぎてるぜ。
これじゃ新兵器の実験場じゃないか!! ここは!!
なあワックス、テストの項目は熱帯地域でのエンジンと主砲の耐久テストだろう? それとエンジンオイルの……
何も実戦をやれってんじゃねえと俺は思うけど……
そりゃそうだけど、幸い敵兵がそこにいる。

幸か不幸かわからない………
来た!!
クソ!!前のよりひと回りデカいぞ!!
あそこで止まってやがる。
ダメだこれでは撃てない、少し前へ出せセクター!!
出たらやられるかも……
大丈夫だ、情報によれば日本の新しい対戦車砲は47ミリだ。
俺達の戦車の装甲板にゃ、正面からじゃ手も足も出ない代物よ。
……行け



情報によれば……か、バカタレが……
何でこんな所で俺達が……
一九四四年――この時のハリケーンは史上まれにみる激しさで、高波が何度もイライラ島全体を乗り越え、一木一草残らず根こそぎ洗い流し、消し去ったという――

「赤い螢」掲載・ビッグコミック昭和57年2月25日号

THE COCKPIT

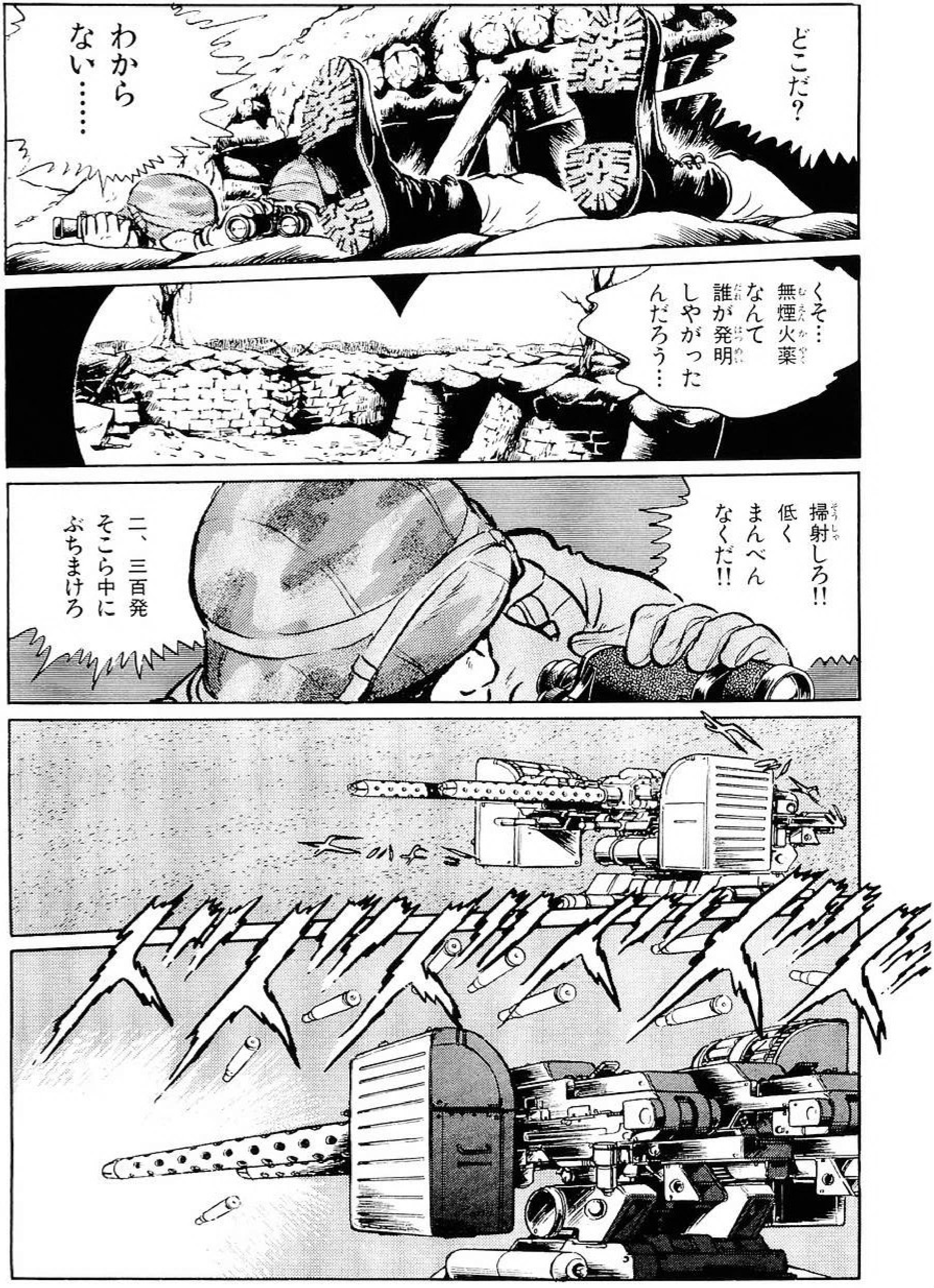
LEIJI MATSUMOTO PRESENTS

なるほど…ここ一週間…動く物は何も見えないな……
奴らの補給は完全に断たれた……おしまいさ
右に…ほら右の木の根っこの…そうだあそこの死体も…骨になりはじめている
もう大丈夫だ…出てみるか……

天使の

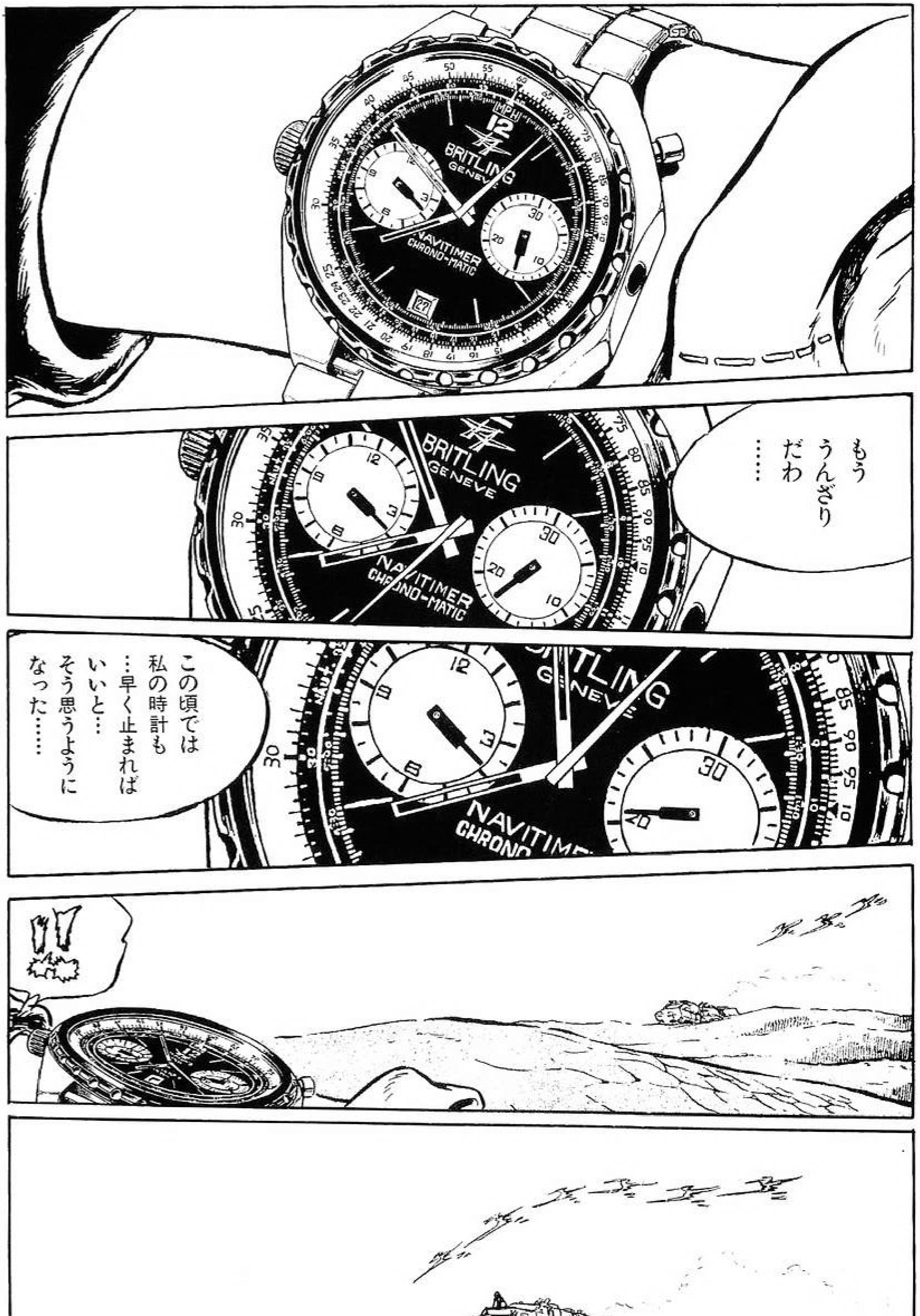
てっ こう だん

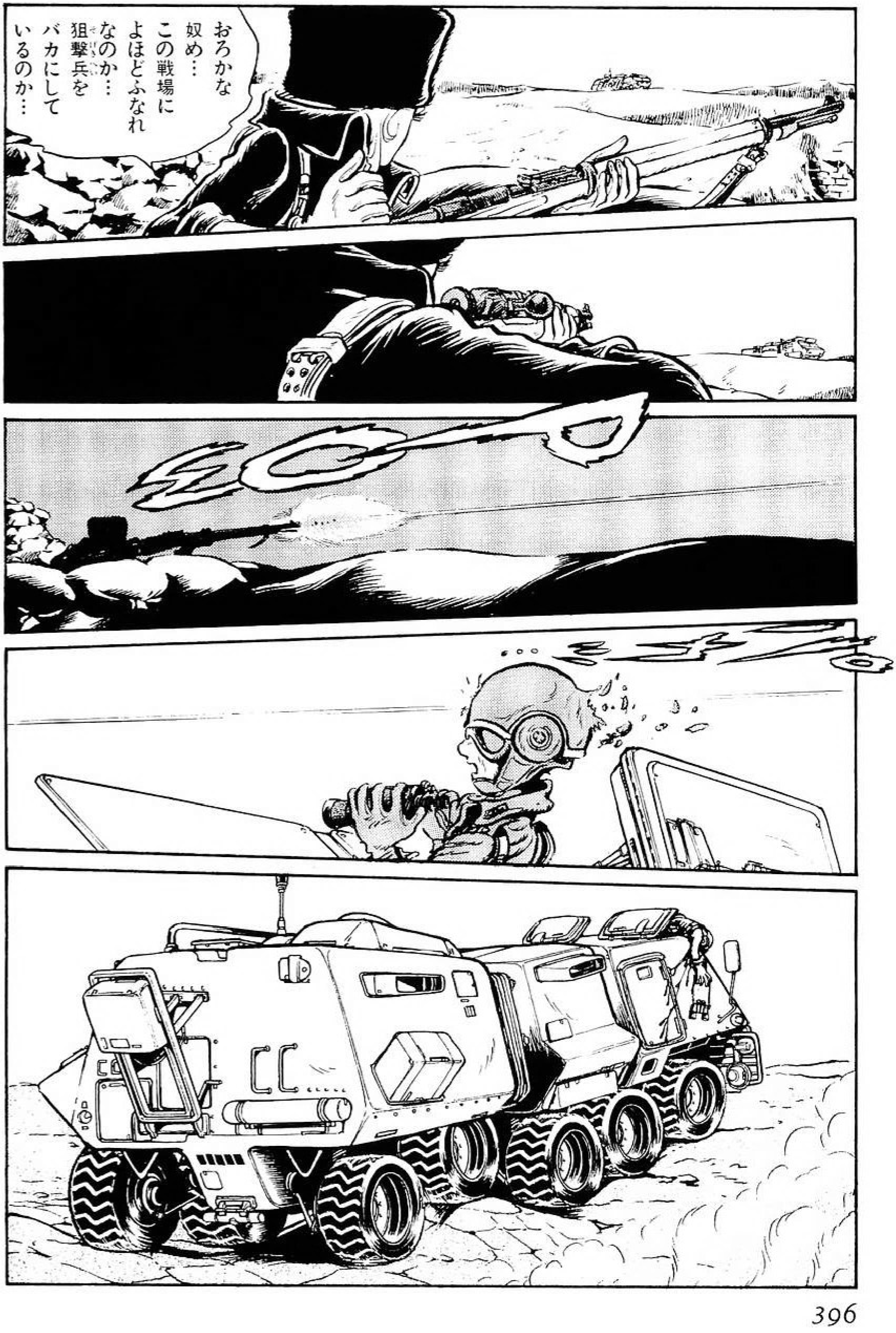
徹甲弾

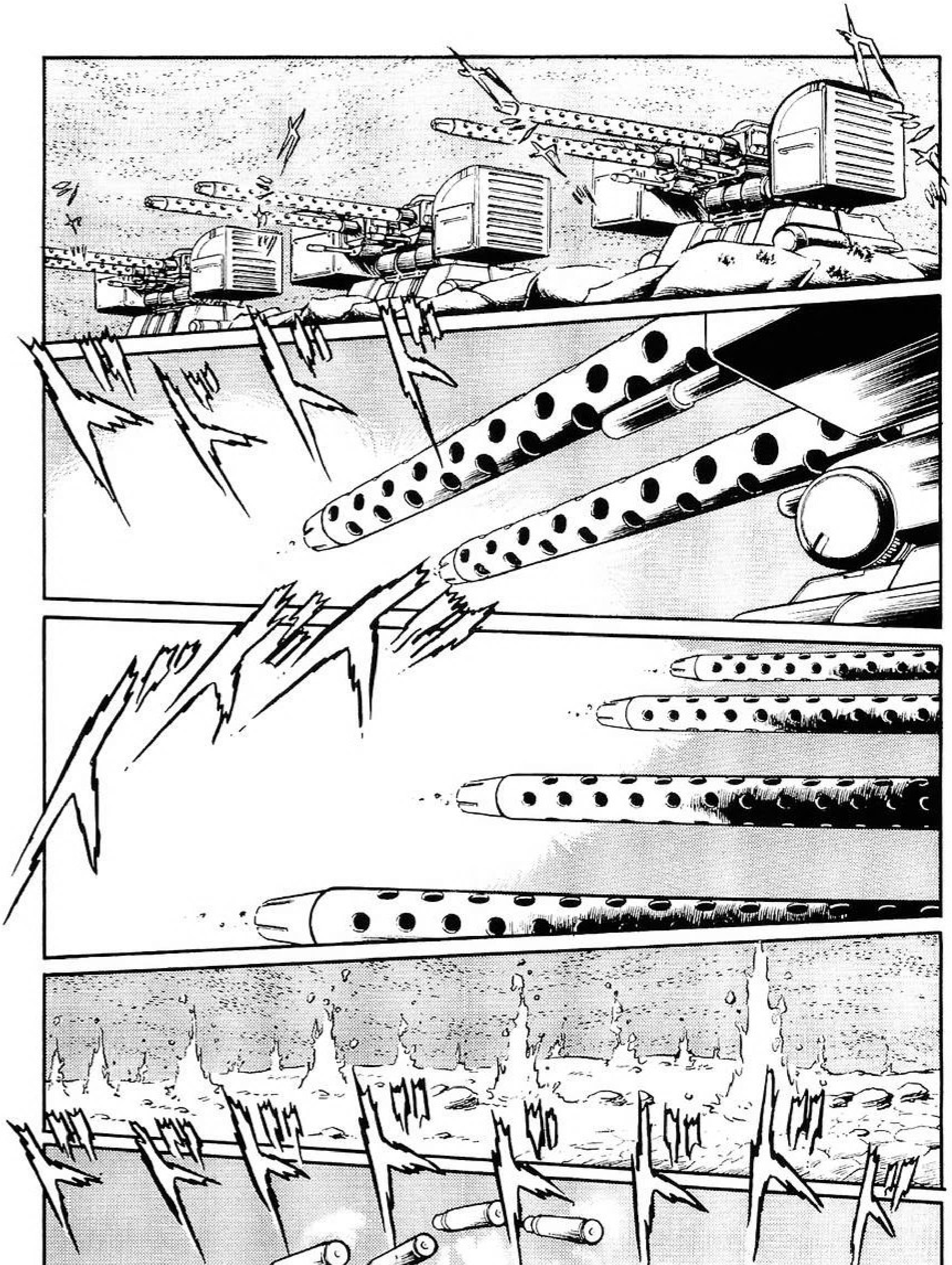

どこだ?
わから
ない……
くそ…
無煙火薬
なんて
誰が発明
しやがった
んだろう…
掃射しろ!!
低く
まんべん
なくだ!!
二、三百発
そこら中に
ぶちまけろ

……
……
補給はもう望めない……きみは逃げろ！
正規兵じゃないんだから敵前逃亡にはならない

あなたが生きているのならね……
一緒に逃げるのならね……そうするけど…
あなたはここを動けない……
だから私も動かないわ……
あなたの時計は止まってしまった……
私の時計は……まだ動いている
生きて…私がネジを巻くかぎり…動き続ける……


BRITLING
GENEVE
NAVITIMER
CHRONO-MATIC
もう
うんざり
だわ
……
この頃では
私の時計も
…早く止まれば
いいと…
そう思うように
なった……


おろかな
奴め…
この戦場に
よほどふなれ
なのか…
狙撃兵を
バカにして
いるのか…



片付いたか……
どこだ……
わからない…
弾道探知は?
地表の突起物が邪魔をして探知できません
相手はごく低い位置…
つまりどこかのタコ壺の中から狙撃しています
地表をはうように小銃弾が飛来するので不可能です

ここを通過できないと
全部隊の侵攻作戦に狂いがでてしまう
そうすると中尉あなたの責任となる
能力不足のカドで再びトレーニングセンター送り…もちろん将校の資格はなくなり…下級兵からのやり直し…
侵攻師団第17監視大隊付特別査察官カリ・グラス・ナウマン大尉ですよ…私は……
いい経歴だわねフォルニ・ヤン・ファイバー中尉
創造軍団平面造型学部出身……
つまり画家……

どうりで一人や二人の狙撃兵でてこずるわけね
……　……
食欲がおありですねナウマン大尉
当然だわよ
食欲と性欲のない人間には大したことはできない
生物としての基本資質ってものさ!!
迫撃砲は？
ありません　機銃と小銃だけで
……くそ
明日には自走砲が来る…
か……めんどうだ

ガスを使いなさい
ガス?
ホスゲンかヂボユゲンかルイサイトがあるでしょうが?
ルイサイトなら……
しかし近年あれを使用した例は……
わかっている
しかしことは急を要すのだ
明日までにこの地域を打破せねば我が方の輸送隊が通れない
やりなさい
SLICED PEACHES
……
……

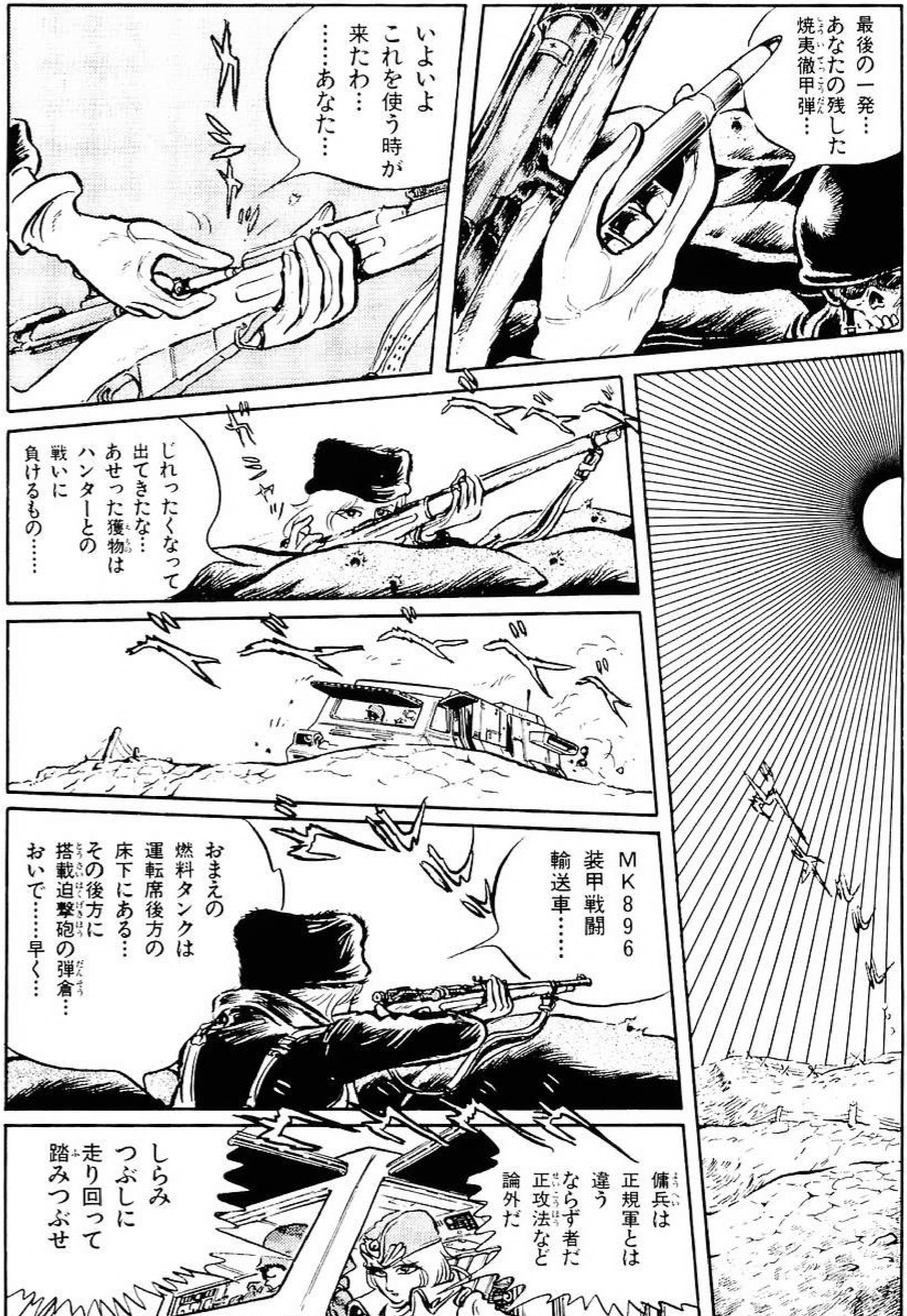
ルイサイトか……
急激に皮膚及び呼吸器を侵し…砒素化合物特有の吸収作用により肝・腎等を侵し死に致らしめる
クラシックだが糜爛性のいやな毒ガスだ
液体弾と気体弾がありますが
気体を使え！液体は我々が困る
恨むなよ

一発だけ
徹甲弾が
ある

重機関銃用の
焼夷徹甲弾だ
装薬量が
多いので
普通の小銃で
射撃すると
銃が壊れる
可能性がある
わかってるわ…
最後の一発
でしょう
……
あなた
……
汚い
奴ら……
ルイサイト
なんか
使って…
2千5百
風上です
したがって
ガスは
こちらへは
来ません
大尉殿
私は
毒ガス戦の
テストでは
いつも満点だったよ
その私にむかって
説教するのか?
ご心配は無用だ

行け！
は。。。
こら
おまえだ
行きな
さい!!
……
……
……
……
くそ
情けない
……

報告する
これは貴官以下掃射連隊の兵の不手際だ
明朝以後しかるべき処断を覚悟しなさい
明日12時にこれを打電しなさい
無電でだ ラジオは使うな盗聴される
……
……
掃射サボタージュで…連隊全員を処刑？
処刑…
……
……
風と雨がルイサイトを洗い流す


最後の一発…
あなたの残した
焼夷徹甲弾…
いよいよ
これを使う時が
来たわ…
……あなた…
じれったくなって
出てきたな…
あせった獲物は
ハンターとの
戦いに
負けるもの……
MK896
装甲戦闘
輸送車……
おまえの
燃料タンクは
運転席後方の
床下にある…
その後方に
搭載迫撃砲の弾倉…
おいで……早く…
傭兵は
正規軍とは
違う
ならず者だ
正攻法など
論外だ
しらみ
つぶしに
走り回って
踏みつぶせ

なに!?

徹甲弾を使ったのか!!
さすがねばりにねばった狙撃兵だ
だが…狙撃兵はどうした!?
…………
爆風で?
いいえ…
これは餓死ですよ
よく今まで体力がもったものだと思います気力で戦っていたのでしょう
女か…体が小さいのでエネルギーも少なくてすんで我々の想像を越えて生き続けたんだ
フォルニ中尉ナウマン大尉の報告は…打電しますか?
天使の徹甲弾に感謝しよう…焼いてすてろ
驚いたな小銃はM189モシン・ナガン帝政ロシア時代のアンティークだ……スコープも装着していないとは…
1895c
№
58142

「天使の徹甲弾」掲載・ヤング・シュート平成元年11月号

■ザ・コクピット　完

小学館叢書

ザ・コクピット－5

一九九〇年九月十日初版第一刷発行
一九九四年四月十日　第五刷発行

著者――松本零士
© LEIJI MATSUMOTO 1990

発行者――白井勝也

発行所――株式会社小学館
〔〒一〇一-〇一〕東京都千代田区一ツ橋二の三の一〔振替〕東京八-二〇〇
〔電話〕編集 東京(〇三)三二三〇-五四八一
販売 東京(〇三)三二三〇-五七三九

印刷所――図書印刷株式会社

装幀――海野一雄＋Bay Bridge Studio

●造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら、「業務部」あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。　業務部（TEL 0120-336-082）
●本書の一部あるいは全部を無断で複製・転載・上演・放送等をすることは、法律で認められた場合を除き、著作者および出版者の権利の侵害となります。あらかじめ小社あて許諾をお求めてください。
Ⓡ本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。複写を希望される場合は、日本複写権センター(TEL 03-3269-5784)にご連絡ください。

（検印廃止）

ISBN4-09-197235-7

Printed in Japan

BIG OF BIG COMICS

SHOGAKUKAN SOHSHO

愛蔵版コミック

小学館叢書

次から、次へと佳作、名作、力作。ますますビッグなスケールの全集になった。

小学館

BIG OF BIG COMICS

SHOGAKUKAN SOHSHO

愛蔵版コミック

小学館叢書

次から次へと佳作、名作、力作。ますますビッグスケールの全集に!!

宇宙を駆けめぐる999（スリーナイン）
謎めく愛、ロマンの旅。
星野鉄郎は、
あこがれの銀河鉄道に乗って
大宇宙へ旅立つ…!!
松本零士「銀河鉄道999」全10巻
SHOGAKUKAN SONSHO
BIG OF BIG COMICS
愛蔵版コミック
小学館叢書
現代人の名作全集である

時代のうねりの中、西洋医学に
未来と夢を託した医師・良庵！
巨匠・手塚治虫が、
自らのルーツに肉迫し、
限りなき愛情をこめて描いた話題の巨編!!
手塚治虫『陽だまりの樹』全7巻
SHOGAKUKAN
SOHSHO
BIG OF BIG
COMICS
愛蔵版コミック
小学館叢書
現代人の名作全集である